

歴史山手線ゲーム 第5部

お題【甲は乙をこう評した】 2001/12/ 6 20:09 [No.3960 / 15916]

また、皆さんの博識を頼んで新しいパターンに挑戦。
範囲は日本史世界史両方とします。

甲、乙には同時代に生きた歴史上の人物が入ります。

(甲が、乙の死後に述懐して評した場合もOK)

甲や乙に同じ人物が何度取り上げられてもOKですが、

甲と乙の組み合わせの重複はNGとします。

(甲と乙が入れ替わる場合はOK)

評した言葉の内容は、断片から長いまでなんでも構いません。

「こう評したと伝わっている」というのもOKです。

#番外 田中真紀子は小泉純一郎を

「変人」と評しました。

でも変人じゃ奇人ほどの取り柄がないような気がする。

ちなみに、表題は人物でも、評した内容でもどちらでもオッケーです。

hui*_kさん

#01 「龍馬、朴質愛スベシ」 2001/12/ 6 21:18 [No.3961 / 15916]

松平春嶽、坂本龍馬を評して曰く。

一介の浪人が、幕府の政事総裁職まで勤めた親藩の藩主にこのように評されたのです。

その事実自体も爽快ですが、言葉の内容も春嶽の龍馬に対する愛情が籠っていて、

「竜馬が行く」で初めて知って以来忘れられない言葉です。しばらくご無沙汰してしまいました。

ykm6812さん

#02 水戸光圀は足利尊氏を 2001/12/ 6 22:10 [No.3962 / 15916]

後醍醐天皇をないがしろにして、けしからん奴だと評しています。

もちろん、忠臣の楠木正成はえーやっちゃてな具合です。

しかし、足利尊氏がけしからんというのは徳川家康がけしからんというのと同じとおもうのだけれど。

ryozanpaku_69さん

0 3 西郷隆盛は河井継之助を 2001/12/ 6 22:46 [No.3963 / 15916]

かつて西郷隆盛は「東北には人材がない」と聞いて、

「そげんこつはなか。北越の長岡に河井継之助がおるじゃごわはんか。もし河井どんが生きちよったら、今の日本を支える大人物になっちゃつたろうよ」

と答えたそうです。

西郷隆盛からこうまで言われるとは、確かに大人物だったのかも知れません。

越後長岡藩の家老上席で、北越戦争の時には東軍側の実質的な最高司令官でした。西軍を散々に翻弄したものの、流れ弾に被弾、敗走行の最中、亡くなったそうです。

wak*k*97さん

#03 「なかなかおもしろき女にて候」 2001/12/ 6 23:05 [No.3964 / 15916]

坂本龍馬、妻お龍を評して曰く。

姉乙女に宛てた手紙の中に書いてあったと記憶しております。

家事はろくずっぽししないが、月琴などを弾き、「なかなかおもしろい女」ということだったと思います。

自分だけはお龍の良さが分かっている、という自負が伝わってきて、微笑ましいです。

また龍馬がらみで恐縮です。

それにしても、龍馬の手紙を捨てないで保管していた乙女は、大したものです。

余程弟を愛していたのでしょうね。

先程の春嶽もそうですが、龍馬は周囲の人々にとても愛され、また龍馬も周囲の人々にとても愛していたんだなど、

今更のように感じます。

ryozanpaku69さん；

「甲、乙には同時代に生きた歴史上の人物が入ります」

とお題にありますので・・・

番号を修正させていただきました。

ykm6812さん

「十万石以上の領主」お礼 2001/12/ 7 2:29 [No.3965 / 15916]

今回は、私のお題にレスありがとうございました。

お題該当の大名は20以上把握していたのですが、代々の石高の変遷や、政治的な意味合いで「10万石格」になるケースなどは初めて聞きまして、勉強になりましたね。

このお題、もう20か40はレス可能な所ですが、そうも行かないので、遠くない将来ニュアンスを替えて、大名の名をレスするお題を出せたらと思います。

Rockmonsénさん

#番外 「彼らこそ本物の戦士である。」 2001/12/ 7 2:44 [No.3966 / 15916]

「彼らドイツ人こそ本物の戦士である。」

第2次大戦時、ドイツ軍の優秀さ(特にドイツ人の兵士としての優れた資質)をイギリス首相チャーチルが嘆じた言葉。

第2次大戦時におけるドイツ軍は、開戦時からの一連の電撃戦が有名ですが、

それ以上に彼らが真価を発揮したのは、戦局が劣勢になってからでした。

対ソ戦においてスターリングラード、クルスクで壊滅的な敗北を喫し、

さらに連合軍がノルマンディー上陸に成功しました。

この時点で、全体的な勝敗の帰趨が明らかになったわけですが、

この後、不利な状況にもかかわらず、ドイツ軍は極めて粘り強く戦いました。

ほぼ全局面にわたって、ドイツ軍は連合軍に比して4割弱以下の兵力にもかかわらず、

個々の戦局では相手に同等の犠牲を強いる戦い展開しました。

特に、連合軍のイタリア本土侵攻作戦に対する彼らの粘りには、驚異的なものがあります。

航空戦力10：1、陸上戦力4：1、海上戦力ドイツ軍ほぼ皆無。

この状況下で、同盟国イタリアの降伏後も一年半以上にわたって大兵力の連合軍イタリア半島にを釘付けにしました。

結局イタリア方面の駐留ドイツ軍が降伏したのはベルリン陥落の一週間前でした。

冒頭の言葉は、イタリア戦の経過を省みてチャーチルが、思わず口にした言葉です。

（日本史を思うとき、日本人にはどうもその種のしぶとさに欠けるところがあると感じるのは私だけでしょうか・・・）

ひと君さん

#04 日本国第一の大天狗 2001/12/ 7 2:57 [No.3967 / 15916]

とりあえず、真っ先に思いつく所を。

源頼朝が、後白河法皇を称してこう呼んだといわれます。

後白河法皇は、二条・六条・高倉・安德・後鳥羽天皇の5代に渡って院政を行い、藤原氏から、平氏、木曾義仲、源義経、頼朝と、権力者が度々交代する、時代が古代から中世へ、政治権力が貴族から武家へと移行する激動の時代を、対立する勢力に院宣などを前後して下すなどの権謀術数を弄して乗り切り、頼朝にこう呼ばしめました。

Rockmonsénさん

#05 九尾の狐 2001/12/ 7 11:45 [No.3968 / 15916]

新選組内部において副長・土方歳三と総長・山南敬助は犬猿の仲。

山南は、新選組の実質的な指導権を握った土方のやり方に疑問を持っており、局長・近藤勇に何度も諫言しますが、聞き入れてもらえません。

業を煮やした山南は脱走しますが、大津で捕まり、京都に連れ戻されました。

「局を脱するを許さず」という局中法度にに基づき山南は切腹。その死の間際、検死にやってきた土方本人を目の前に、山南

が土方を評していったのが↑の言葉です。

正確には「来たな、九尾の狐！！」

s11*3_0*さん

#番外 「江戸城は広いナァ」 2001/12/ 7 14:58 [No.3969 / 15916]

十七歳の明治天皇が江戸城に移ったときに、三条実美にこう語ったそうです。

たしかに皇室は、徳川三百年の間、決して広くはない京都御所に幽閉されていた訳ですからね。

三条公は、後年この話をするたびごとに、目に涙を浮かべたそうです。

hui*_kさん

#06 一船の英雄 2001/12/ 7 15:54 [No.3970 / 15916]

1792年、ロシアが鎖国の日本に上陸する。

そのときロシアが手土産にしたのが大黒屋光太夫だった。

光太夫は7ヶ月も大海を漂い、北の孤島に漂着する。17人の船乗りうち、あまりの寒さと餓えのため漂流中に1人、アリューシャンで7人、ロシアで4人が死んだ。

奇跡的に帰国できた光太夫を<英雄>と評したのが時の為政者・松平定信である。慣れない異国で長く生活したその精神力を的確に見抜いた言葉だろう。

また世界一周して帰国した仙台漂流民、ロシアから小舟に乗り自力で帰還した陸奥漂流民、日本最初の牛痘をほどこした五郎治など、英雄は数多く日本の庶民の中に育っていたのである。

toshy.y.takahashiさん

#07 坂本龍馬は 2001/12/ 7 21:30 [No.3971 / 15916]

慶喜が大政奉還を申し入れたことを聞いた坂本龍馬は次のように言ったという。

「将軍家の今の心中は察するに余りある。よくぞ決心されたものだ。この後、もし慶喜公の身に万一のことがあれば、自分は誓って、命をかけて慶喜公をお守りする。慶喜公が天下のために公正な処置を取ってくれたことに対し、自分は感謝

せずにはいられない。」

kas*m*_w_27*3さん

#08 安国寺恵瓊は羽柴秀吉を 2001/12/ 7 22:00 [No.3972 / 15916]

さりとはの者と評しています。

信長のあとは秀吉であると予言したものとされています。信長、秀吉の将来は予言できましたが、家康と自分の将来は予言できなかったようです。

恵瓊が毛利氏の外交僧として活躍を始めたのは 安国寺の住持になる少し前であると推察されています。当時、中国地方一円、北九州に勢力を拡大しつつあった毛利氏の対外交渉を一任され手腕を発揮してゆきました。羽柴秀吉が率いる織田軍が中国地方に進攻して来た際には、恵瓊は毛利氏の使者として秀吉との交渉にあたりました。この交渉を通じて秀吉との繋がりが深まりました。

ryoanpaku_69さん

09 天下奇才也 2001/12/ 8 0:54 [No.3973 / 15916]

西暦234年、蜀の諸葛亮孔明は五丈原に出陣し、魏の司馬懿と対峙した。

時に諸葛孔明は病篤く、その情報に接していた司馬懿も動かず百余日が過ぎたが、ついに孔明は陣中に病没した。孔明の死は魏の陣営に伝わり、司馬懿は退却する蜀軍に迫った。そのとき蜀軍の姜維は孔明の軍をまとめていた楊儀に命じて旗をひるがえし、鼓を鳴らし司馬懿の軍に向かわせるようにして見せた。司馬懿は孔明は健在かと疑い、敢えて蜀軍に迫らず、蜀軍はこの間に撤退を完了し、その後孔明の喪を發した。

世の人は「死せる諸葛、生ける仲達（司馬懿のあざな）を走らす」と評し、孔明の陣地を見て回った司馬懿は孔明を評して「天下の奇才だ」と言ったという。（『資治通鑑』巻72） sakisakiさん

#10 安祿山 2001/12/ 8 19:24 [No.3974 / 15916]

島津久光、西郷隆盛を評して曰く。

信頼して重用したのに、勝手に挙兵して徳川幕府を倒し、新政府で旧藩を廃し、島津家をないがしろにした不忠者・・・唐の玄宗皇帝を裏切り反乱を起こした將軍の名になぞらえて、非難しました。

西郷は久光の兄・斉彬を慕い、

久光に対しては「地五郎め」と吐き捨てるほど嫌悪していました。

その西郷でも、旧主筋の非難はかなりこたえたようで、その後は腫れ物に触るようにして久光に接します。

ykm6812 さん

#番外 大海人皇子 2001/12/ 9 12:57 [No.3975 / 15916]

彼が出家して吉野に隠棲する際、ある人が

「虎に翼をつけて放つようなものだ」

と称したそうです。後に壬申の乱が起こる事を予言していたような言葉です。

”甲”の部分にあたる人が確か「ある人」としか書いていなかったと思うので、番外とさせて頂きました。

wak*k*97 さん

#11 北畠親房の北条泰時評 2001/12/ 9 14:53 [No.3976 / 15916]

南朝の重臣の親房が記した「神皇正統記」では、次のような北条泰時への評価を行っています。

「(義時の)あとをついだ泰時は、仁政を施し、厳正な裁判を行い、守るべき法を定立した。そのうえ、みずからはもとより北条一門御家人の末に至るまで武士としての分をわきまえさせたので、高位高官を望むものはいなかったのである。」
武家に対する朝廷の優位を説く親房ではありますが、「分」を弁えている限りは、武士の存在を肯定しています。その条件に当てはまる泰時への評価は、信じられている南朝観からは想像できないほどの褒めちぎりで、親房が持つ武士観としては、とても重要です。

tokacyan さん

#12 陽成院の宇多天皇評 2001/12/ 9 15:04 [No.3977 /

15916]

臣下を撲殺してしまったがゆえに皇位を退かざるを得なかったのが、陽成天皇。そして、その後をうけて、宇多天皇を含むすべての子供を臣籍降下することを条件に、皇位についたのが、宇多天皇父の光孝天皇。

その後を継いだ宇多天皇ですが、一時は姓を賜った元王であります。それがイキナリ皇位に就いたわけです。そのウップンゆえに吐いた陽成院の言葉が、これ。

「当代は家人にはあらずや。」

一時とはいえ源氏を名のっていた宇多天皇はおれの家来じゃねえか、というわけです。

tokacyan さん

#13 徳川慶喜評 2001/12/ 9 15:47 [No.3978 / 15916]

会津藩家老 山川浩の徳川慶喜評

元来、一橋慶喜卿は姿勢明敏で、学識もあり、その上世故に慣れているので、処断流るるがごとくであり、すごぶる人望のある人であるが、それは単に外観だけのことで、その実、志操堅固なところがなく、しばしば思慮が変わり、そのため前後でその処断を異にすることがあっても、あえて自ら反省しようとしめないのが卿の特性である。

慶喜の敵前逃亡後、大阪城代として残された兵士達を江戸に帰還させるなど、尻ぬぐいをやらされた人だけに、恨み…こもってます。

daw*_*さん

#14 表裏比興の者 2001/12/ 9 16:12 [No.3979 / 15916]

秀吉が真田昌幸を評して言った言葉です。

この時の《比興》は

卑怯ではなく、煮ても焼いても食えない奴と言う意味(´。^)ウフッ

皆さまご無沙汰で～す。

事情で海外へ逃避行してはりました(爆)

常連さまの名前が並んではって感激です！！

もうすぐ復帰しますんで

またよろしゅうお願いします。

KISSME_PLAY さん

#15 秀吉の黒田官兵衛評 2001/12/ 9 16:48 [No.3980 / 15916]

死期の迫った秀吉は側近たちを集めて、「わしが死んだら誰が天下を獲る」と聞くと側近たちは、「徳川家康」「前田利家」などの名前をあげましたが、秀吉は、「違う、あの男が天下を獲る」といったとか、あの男とは、黒田孝高のことです。それを聞いた官兵衛は「秀吉に警戒されている」と察知したのか、すぐに隠居しました。

P.S.トビ主さま、御帰りなさい、そうですか外国にいましたか、もしかして、NY。

ryozanpaku_69 さん

#16 「百万の軍の軍配を預けてみたい」 2001/12/ 9 16:52 [No.3981 / 15916]

同じく豊臣秀吉の大谷吉継の評です、しかしながら、実際の吉継は5万石の小大名、ハンセン病に侵されながら、関が原の露と消えました。

ryozanpaku_69 さん

1 7 治世之能臣、乱世之姦雄 2001/12/ 9 20:53 [No.3982 / 15916]

中国の後漢時代の末期、平輿の人許劭は少壮の頃から人物を見抜く鑑識眼に優れ、毎月郷党の人物評を行い、世人これを「月旦評」と称した。無名だった曹操も許劭の評を聞きたいと思ひ面会を求めたが、許劭は謝絶し続けた。

曹操は許劭の隙を伺って近づき脅しつけると、「君は治世の能臣、乱世の姦雄だ」と応じ、それを聞いた曹操は大いに喜んで立ち去ったという。

後漢も末期の頃は群雄各地に並び立とうとし、自分の名を売り込もうと色々運動している時期に当たります。曹操も名を売ろうといろいろやっていたのですね。

（「治世之能臣、乱世之姦雄」は、『三国志』武帝紀注による。『後漢書』許劭伝では「清平之姦賊、乱世之英雄」と答えており、若干ニュアンスが異なっている。）

sakisaki さん

#18 本多忠勝を 2001/12/ 9 22:41 [No.3983 / 15916]

☆「家康に過ぎたるものが二つあり、唐の頭に本多平八」「武田信玄が」とか「武田軍が」とか言われますが、史実は、信玄の近習小杉左近が、書き残したもののようです。

とはいっても、やっぱり、信玄さんも含めて、武田参謀本部のひとつのウワサ話として花を咲かせたんでしょうなあ。わざわざ別番で回答するのも面倒なので、

☆ 織田信長は本多忠勝を「花実兼備の武将」と評しています。

☆ 豊臣秀吉は本多忠勝を「日本第一古今独歩の勇士」と評しています。

なんというか、勇将・猛将系のさっぱりした人だったんじゃないでしょうか。

ぼくも好きです。よく知らんのに。

spat さん

#19 山県昌景を 2001/12/ 9 23:04 [No.3984 / 15916]

正確な言い回しはわかりませんが、

三方原における徳川家康の感想。

「さても山県という者、恐ろしき部将ぞ」

「山県とはききしにまさる猛将ぞ」

「さても恐ろしきは山県かな」

大久保彦左衛門の「三河物語」が出典のようです。

この「山県の赤備え」、とても怖かったようです。

のち、井伊配下に武田旧臣をつけ、「井伊の赤備え」を作ります。

それにしても、さっきの 「『唐の頭』なんてナマイキだ」に比べると、戦陣の雰囲気はずいぶん違いますなあ。

spat さん

#20 紫式部は清少納言を 2001/12/10 9:15 [No.3985 /

15916]

『なんでも知ったかぶりをして偉そうにしているが、漢籍の知識も未熟で間違いも多い』

と、けなしています。

紫式部は一条天皇の中宮で藤原道長の娘である彰子(988～1074)に仕えていました。

一方、清少納言は一条天皇の皇后で藤原道隆(道長の兄)の娘である定子(976～1000)に仕えていました。

ただ、紫支部が彰子に仕えたのは定子が亡くなってからのようなので

紫式部と清少納言が宮中で一緒になったことはなかったと思われる。

にざりいさん

お題【徳川家譜代の人々(苗字重複不可)】 2001/12/10 10:26 [No.3986 / 15916]

ちょうどうまい具合に20件に到達したので、

調子に乗って連続で出題させていただきます。

徳川家譜代の武将、大名、旗本、御家人などを20人挙げてください。

ただし、徳川姓と松平姓は除きます。

ひとつの苗字からはひとりだけとしますから、それぞれの姓のうち、

代表的な人物や一番好きな人物を選んで挙げてください。

ここで「譜代」とは、関ヶ原以前から徳川家の家臣だった家系の人々か、

関ヶ原以前から譜代の陪臣で、のちに直参になった家系の人も含みます。

#番外 福沢諭吉

主家の中津藩奥平家が譜代ですが、福沢家がどの時代から奥平家に仕えたかは分かりませんから、番外です。

陪臣の三男坊かなにかから、後に江戸へ出て

幕府に出仕するようになったので、

いちおう今回のお題的には譜代みたいになるんでしょうが...

でもどうせ幕末のゴチャゴチャした時代ですしね...

hui*_k さん

#01 加納久通 2001/12/10 16:35 [No.3987 / 15916]

ちょっと御無沙汰してましたが、今回のお題の先鋒を勤めさせていただきます。

8代将軍徳川吉宗に仕えた御側御用取次。伊勢国八田藩主。紀州藩士として生まれ、吉宗が紀州藩主になってからは御用役番頭として吉宗を支えました。

後に吉宗が将軍になると久通も幕臣となり、御側御用取次として享保の改革を進めていきます。

享保11年(1726)には石高が1万石となって大名になり、吉宗が家重に将軍職を譲って西の丸へ移ると、久通も西の丸若年寄となって吉宗の大御所政治を助けました。

「おいらかにつつしみふかい」性格だと言われ、周りの信任も厚かったようです。

久通が治めた八田藩の知行地は伊勢国三重郡で1000石、下総国相馬郡で1000石、伊勢国三重郡・多気郡、上総国長柄郡の内から8000石となっていて、合わせて1万石となります。

後に八田藩は陣屋を上総国一宮に移したので一宮藩と呼ばれました。

大河ドラマ「八代将軍吉宗」では小林念侍さんが加納久通を演じていましたが、あれは地元和歌山県の出身だったからと言う事は意外と知られていない・・・かな？

gre*t*fighb*rd さん

「甲は乙をこう評した」御礼 2001/12/10 18:25 [No.3988 / 15916]

難しいかなとも思いましたが、素晴らしい解答ばかりで圧倒されました。

時代やシチュエーションも適当にばらけて良かったと思います。

やっぱり語れるお題にすると皆さんの博識が光って面白い

ですね。
あんまり面白いのでまとめてみました。

#01 松平春嶽、坂本龍馬を評して曰く「龍馬、朴質愛スベシ」

#02 西郷隆盛は河井継之助を評して「北越の長岡に河井継之助がおるじゃごわはんか。もし河井どんが生きちゃったら、今の日本を支える大人物になっちゃったろうよ」

#03 坂本龍馬、妻お龍を評して曰く「なかなかおもしろき女にて候」

#04 源頼朝が、後白河法皇を評して「日本国第一の大天狗」

#05 山南敬助は土方歳三を評して「九尾の狐」

#06 松平定信は大黒屋光太夫を評して「一船の英雄」

#07 坂本龍馬は徳川慶喜について「將軍家の今の心中は察するに余りある。よくぞ決心されたものだ。この後、もし慶喜公の身に万一のことがあれば、自分は誓って、命をかけて慶喜公をお守りする。慶喜公が天下のために公正な処置を取ってくれたことに対し、自分は感謝せずにはいられない」

#08 安国寺恵瓊は羽柴秀吉を評して「さりとはの者」

#09 司馬懿は孔明を評して「天下奇才也」

#10 島津久光、西郷隆盛を評して曰く「安禄山」

#11 北畠親房の北条泰時評「(義時の)あとをついだ泰時は、仁政を施し、厳正な裁判を行い、守るべき法を定立した。そのうえ、みずからはもとより北条一門御家人の末に至るまで武士としての分をわきまえさせたので、高位高官を望むものはいなかったのである。」

#12 陽成院の宇多天皇評「当代は家人にはあらずや。」

#13 山川浩の徳川慶喜評「元来、一橋慶喜卿は姿勢明敏で、学識もあり、その上世故に慣れているので、処断流るるがごとくであり、すごぶる人望のある人であるが、それは単に外観だけのことで、その実、志操堅固なところがなく、しばしば思慮が変わり、そのため前後でその処断を異にすることがあっても、あえて自ら反省しようともしないのが卿の特性である。」

#14 秀吉が真田昌幸を評して「表裏比興の者（煮ても焼いても食えない奴）」

#15 秀吉の黒田官兵衛評「わしが死んだら...、あの男が天下を獲る」

#16 豊臣秀吉の大谷吉継の評「百万の軍の軍配を預けてみたい」

#17 許劭は曹操を評して「治世之能臣、乱世之姦雄」

#18 武田信玄が本多忠勝を評して「家康に過ぎたるものが二つあり、唐の頭に本多平八」

#19 徳川家康、山県昌景を評して「さても山県という者、恐ろしき部将ぞ」「山県とはききしにまさる猛将ぞ」「さても恐ろしきは山県かな」

#20 紫式部は清少納言を評して「なんでも知ったかぶりをして偉そうにしているが、漢籍の知識も未熟で間違いも多い」
こうしてみると、人物を的確に評価する能力というのが、評価される人物以上に、評価する側の人間の器を見る上でのひとつの尺度になるようにも思えます。

以上、お疲れさまでした。

hui*_k さん

#02 勝海舟 2001/12/10 20:06 [No.3989 / 15916]

れっきとした御家人の家柄ですが、系図はほとんど不明。大丈夫かな？

海舟の父親、勝小吉は、旗本の男谷家から、御家人・小普請組の勝家に養子に來た人ですが、この男谷家というのが、また系図がはっきりしていない。

でもまあ、御家人は御家人、多分、どっかで、三河からのつながりがあるのでしょうか？

こんな人物でも、幕府の中枢足り得たことに、幕末の混乱がうかがえますね。

ecc**ler さん

番外 忍者ハットリ君 2001/12/10 20:11 [No.3990 / 15916]

確か、服部半蔵の末裔という設定でしたよね。

ということは、本能寺の変以来の、立派な

徳川譜代の家柄、由緒正しき忍の家系ということになりますな

ecc**ler さん

#03 大久保彦左衛門 2001/12/10 21:08 [No.3991 / 15916]

「一心太助」の物語で有名な大久保彦左衛門(1560-1639)は三河の松平家の

古い家臣の家に生まれました。彼は多くの兄たちとともに家康に従って数々

の戦さで活躍し、家康を守って徳川幕府の成立に多大の貢献をしました。

しかしひとたび平和な時代が訪れると時代は戦いに優れた武士よりも政治に

必要な官僚を求めます。大久保家は所領を減らされ閑職に追いやられて不遇

な時代が続きました。また家康が苦勞をしていた頃に家康を裏切ったりした

ような元家臣が復権して高い地位に付いたりしているのを見るにつけ彦左衛

門の憤懣は募るのです。

その彦左衛門に光を当てたのは家康の孫・三代將軍家光です。彼は彦左衛門

を自分の伽衆に加え、祖父家康公の話や戦国の世の苦勞話などを進んで聞き

ました。彼も少しはむくわれるものを感じたに違いありません。

彦左衛門が遺した「三河物語」は家康自身の不遇な時代から平和な世の中に

至る時代の流れをよく記録した貴重な資料です。これは無論公開する種類の

著作ではなく、彼が自分の子孫の為に書き残したものであり、その中には上

記のような事情を背景として彼の不満がとめどもなく書き綴られています。

ryoanpaku_69 さん

#04 遠山金四郎 2001/12/11 8:35 [No.3992 / 15916]

遠山氏は、東美濃の有力武士でしたが、江戸幕府では、美濃国苗木藩主、また旗本として存続しました。

ご存知「遠山の金さん」とは、景元(1793-1855)のことです。勘定奉行を経て1840(天保11)年より江戸北町奉行。天保の改革の中、水野忠邦・鳥居耀蔵らの厳酷な市中取締りに抵抗、株仲間解散や芝居小屋移転、寄席全廃に反対して市政から外されました。43年大目付に転じ、45(弘化2)年、水野らの失脚後南町奉行に復帰、約7年間在勤しました。庶民に同情的な振る舞いから、名奉行として講談化されたのです。景元の父、景晋(かげみち、1764-1837)も、金四郎を名乗っていました。

1804年、レザノフの応接のために長崎に派遣、07年には蝦夷地に派遣され、途中、奥州各藩の海防巡検を行っています。その後長崎奉行となり経費節減を行い、勘定奉行に転じて江戸湾海防の仕法を行いました。
ykm6812さん

#05 菅沼定盈 2001/12/11 17:10 [No.3993 / 15916]
東三河の出身、長久手の戦いなどで軍功があり、上野の国で1万石を拝領します。しかし子孫の代で改易、7千石の旗本として以降は存続しています。
クイズ パンチ de デートさん

#06 本多忠勝 2001/12/11 17:43 [No.3994 / 15916]
わーい。
3題連続で 同じ回答します。
言わずと知れた 徳川四天王の一
13歳の初陣以来、名槍「蜻蛉切り」ひっさげて、参戦すること57度。「終に一所のでも負はず」(一度もケガしなかった)と伝えられる。

三河の本多家は藤原北家兼通流と称し、近世には大名十三家、旗本四十五家を出している。

このうち平八郎忠勝の系統が宗家とされる。
spatさん

#番外 読売巨人軍 2001/12/11 18:19 [No.3995 / 15916]
長嶋監督から原新監督へと若返りした読売ジャイアンツ。でも長嶋監督時代にFAで清原・江藤・工藤等の外様大名(他球団の選手)を獲りまくった為、レギュラー陣における譜代(巨人軍生え抜きの選手)の割合が減り、多国籍軍と呼ばれているのが実状です。

しかし、最近ではドラフトで獲得した選手でレギュラーになった者が多く(高橋伸・上原・二岡・高橋尚・阿部)、また今年は入来の嬉しい誤算があった為に譜代の力が戻りつつあります。ただ、入る者あれば去る者あり。長年に渡って巨人を支えた譜代大名の雄、斎藤雅・村田真・榎原の三人が引退し、世代交代の波が吹き荒れました。斎藤雅と村田真はコーチとして巨人軍に残りましたが、榎原は・・・
やはり、以前FAでもめた事が今だに影響しているんですね(笑)
ちなみに現在の譜代トップは松井・桑田・川相・仁志です。彼等は間違いなく、巨人軍監督・コーチになるでしょう。
gre*t*fighb*rdさん

#07 水野十郎左衛門 2001/12/11 21:34 [No.3996 / 15916]
?~1664。3000石の旗本。旗本奴の頭目として大小神祇組を率い、町奴・幡随院長兵衛と争い、殺害。こうした無頼の所業を幕府に咎められ、切腹に処せられました。「旗本奴」とは、江戸前期に江戸市中を横行した旗本・御家人からなる無頼の徒で、「かぶき者」と呼ばれました。その集団に神祇組・白柄組・吉弥組などがあります。「町奴」とは、江戸前期に江戸市中を闊歩した浪人が中心となった無頼の徒で、

旗本奴と併せて「かぶき者」「男伊達」と呼ばれました。その集団に唐犬組・浅草箆組などがあります。両者とも賭博常習者が多く、幕府に処罰を受け、町奴は元禄時代までにはほぼ消滅しました。しかし、芝居や講談を通じ、彼らの伊達男ぶりは現代にも影響を与えています。
ykm6812さん

#08 井伊直政 2001/12/11 22:07 [No.3997 / 15916]
遠江井伊谷に生まれる。
母は奥山親朝の娘。
永禄五年に父直親が殺害されると、難を逃れるため井伊谷を離れた。

天正三年(1575)、家康に仕える。同九年、高天神城攻めに参加。翌年の本能寺の変には家康に近侍していたため、伊賀越えに従う。同年七月の甲斐進出には徳川に使者として後北条氏との交渉にあたった。これにより武田の旧臣たち百二十名が配下に加えられたが、甲冑はすべて赤で統一させている。この年、兵部少輔を称す。

同十二年には井伊谷三人衆(菅谷忠久・近藤秀用・鈴木重時)が配属になる。
四月、長久手の戦いに先鋒として出陣し、池田勝入斎(恒興)らの軍を破った。同一三年には真田攻めに出兵、翌年、家康の上洛には人質の大政所を警護した。同十六年、従五位下・侍従となる。

同十八年、家康の関東入国には上野箕輪城(箕郷町)で二万石を与えられた。
慶長三年(1598)、居城を和田へ移し高崎城と改称する。
同五年、関ヶ原の戦いには本多忠勝とともに東軍先方の軍監として西上、主力決戦に退却する島津勢を追撃して島津豊久を討ち取った。また戦後処理として、毛利輝元との講和や山内一豊の土佐入国の援助を行っている。

この功により石田三成の旧城近江佐和山で十八万石を与えられた。
翌六年、従四位下、同七年二月一日、関ヶ原の戦傷がもとで死去。四二歳。墓所は彦根の清涼寺。

新参譜代の井伊直政は高天神城攻略を

はじめ誇るべき戦歴をもっている。

しかし、忠勝・康政らを追いこして大名

に駆けのぼれたのは、彼の才幹にあった。

たしか、現在の彦根市長は井伊氏の子孫だとおもいました
が...

ryozanpaku_69 さん

#番外 脇坂安治 2001/12/11 23:11 [No.3998 / 15916]

脇坂安治。

賤ヶ岳七本槍のひとり。

関ヶ原 土壇場寝返り組みのひとり。

「外様」でありながら、「帝鑑間」詰め。

これは、「譜代」同様の扱いです。

ちょっと調べた（WEB 検索）ところでは、「准譜代」「譜代格」という言い回しが載ってました。

脇坂家第8代安董は、老中もしています。

ただ、血筋的には、第3代で、某大身譜代の子を養子に
しています。

spat さん

#09 高力清長 2001/12/12 14:11 [No.3999 / 15916]

熊谷直実の子孫といわれています。家康の関東入府のとき、
岩槻城で2万石。清廉潔癖な人柄だったそうで、さすが直実
の子孫と言う感じですが、そのひ孫の代で改易になっていま
す。

4000件まであとひとつ。

クイズ パンチ de デートさん

#10 大岡越前 2001/12/12 16:05 [No.4000 / 15916]

越前守 大岡忠相。

大岡家の祖先は、三河の大岡明神の神職であったという。

大岡忠勝のとき徳川家（松平）につかえた、「三河譜代」
の家です。

家康の父、松平広忠の一字「忠」の字を代々名前に受け継
ぐことを許されました。

忠勝の子、大岡忠政は徳川家康の関東転封に従い、相模国
の堤村（茅ヶ崎市堤）に380石の知行地を与えられます。

忠政には3人の男子があり、

長男忠行が堤村の知行地を受け継ぎました。

次男忠世が大曲村（寒川町大曲）を、

三男忠吉が高田村（茅ヶ崎市高田）を与えられ分家し、旗
本になりました。

これより、堤村領主忠行家が本家となりました。

三男家 忠吉の孫忠高（1700石）の四男に生まれた忠
相は、10歳で次男家 忠世の子忠真（1920石 奈良町
奉行）の養子に迎えられ24歳で大曲村の領主となりました。

御書院番・御徒頭・御使番・御目付と出世し、のち、伊勢
山田奉行に就任しました。

ところで、伊勢には「出世地蔵」という地蔵があります。
忠相が参拝したと伝えられます。

山田奉行を5年ほどつとめたとき、紀州藩と伊勢天領の境
界問題の裁定の手際よさが、紀州藩主吉宗の目にとまり、そ
のエンコで、江戸町奉行に抜擢されます。

江戸町奉行を19年間、その後寺社奉行を15年間務め、
1万石に加封して三河国大平の大名に列しました。西大平藩、
当主は代々越前守。現、岡崎市内です。

將軍側近が大名になる例はありましたが、現場の官吏が大
名になるのは、かなり異例のことです。

大岡一族には、もう一人、9代將軍家重の通訳、忠光が有
名です。

ちょっと系図がWEB 上に見当たりません。

「1500石の旗本忠利の子」「代々300石の小身の旗本」と
いうのを見つけました。よくわかりません。

こちらは武蔵岩槻藩2万石になります。

spat さん

#11 鳥居忠政 2001/12/12 16:21 [No.4001 / 15916]

鳥居家は三河以来の譜代で、忠政の祖父の忠吉は、家康が今
川家の人質となって三河が今川家の属国となっている間、密
かに兵糧や金銭を蓄え、墓参りの為に三河へ戻ってきた家康
（当時は松平元信）にこれを見せて、独立できた時はこれを

使ってほしいと言って家康を感動させたというエピソード
があります。

忠吉の次男が元忠で、家康が今川家の人質だった時から側に
使え、家康の関東入国後は下総矢作4万石を治めます。慶長
5年（1600）、関ヶ原の戦いを前に会津征伐で家康が東
下した時、石田三成の挙兵に備えて伏見城を守り、討ち死に
しました。

そして元忠の次男で跡を継いだのが忠政です。忠政は慶長7
年（1602）、元忠の功により磐城平10万石を与えられ、
慶長10年（1605）には2万石加増されて12万石にな
ります。

大坂冬の陣・夏の陣では共に江戸城の留守居を任せられ、元和
8年（1622）には出羽山形20万石へ加増移封され、寛
永3年（1626）には2万石を加増され22万石となりま
した。

忠政には忠恒・定盛・忠春という3人の息子がいて、家督は
長男の忠恒が継ぐのですが、寛永13年（1636）に忠恒
は子供がいないまま死んでしまいます。この時、定盛は戸澤
家へ養子に入った為、鳥居家には忠春しか残っていませんで
した。忠恒は、忠春がまだ幼い事から養子に行った定盛に跡
を継がせるよう言い残していたのですが、これが末期養子と
みなされて定盛が鳥居家を継ぐ事は認められず、山形藩22
万石は改易となってしまいます。

しかし、父祖の功績によって忠春には信濃高遠に3万200
0石が与えられ、鳥居家は家名断絶を免れて明治まで残る事
になります。

忠政と忠春にとって、元忠は20万石や家名存続のきっかけ
となったありがたい先祖だったといえるでしょう。

忠恒の死による改易、そして忠春の高遠への入封。代わりに
高遠から山形へ入ったのが保科正之だという事を考えると、
これは家光の力が働いていたのでは・・・と思うのですが、
どうなのでしょうかね？

本当は「#11 鳥居元忠」にしようとも思ったのですが、歴
代鳥居家において最も出世したのが忠政だった為、忠政を
#10にしました。

gre*t*fighb*rd さん

#12 榊原康政 2001/12/12 16:31 [No.4002 / 15916]

こちらも徳川家康の四天王の一人で、長久手小牧で武功をあげ、重用されるようになったそうです。

越後の高田城には藩祖（というよりは榊原家の祖）康政を祭る榊神社というのがああるそうです。

実は、このお題を考えたきっかけは、「戊辰物語」というのに、上野戦争の時に、上野の山に比較的近い榊原屋敷の家中の者たちが、屋敷からわっと出てきて奮戦し、大いに評判を上げたという記述があり、その際も、「徳川四天王榊原の」と、幕末になっても「徳川四天王」という称号が、まるで枕詞のように付されていたことが面白くて、そうした徳川の譜代の家系を並べてみたらそれも壮観だろうと考えたことからです。

hui*_k さん

#13 石川数正 2001/12/12 17:02 [No.4003 / 15916]

家康（元忠）が今川に人質にいくとき随行したり、築姫などとの人質交換のとき交渉役になるなど、初期のころから大活躍しています。

しかし、秀吉との交渉役を経て、突然出奔、徳川家を去ってしまいます。

はっきりした理由はナゾですが、武闘派の台頭による家中での孤立、自分の地位の相対的な下落、秀吉と通じてるとうわさをたてられた（秀吉によって、わざと）などがあげられています。

子の康長とともに、松本城を作った（発展させたというべきか）ことでも有名ですが、その康長のとき改易になっています。

クイズ パンチ de デートさん

#14 吉良上野介 2001/12/12 20:47 [No.4004 / 15916]

あさっては赤穂浪士討ち入りの日ということで

吉良家、「高家」って、5千石の直臣だから、「旗本」と考えていいんですよね？

吉良家そのものは、足利將軍家につながる、由緒ある家柄。

「源氏」の一族であるということについては、徳川家の家系図などより、よほど信頼がおけますね。

応仁の乱以降、ご多分に漏れず没落していた吉良家ですが、上野介の曾祖父義定が、家康に取り立てられ、後に二代將軍秀忠の従臣となり、千五百石を賜って、この義定の時初めて「高家」となったそうです。

「高家」とは、朝廷との儀式などを司る家柄。赤穂の浅野さんも、もう少し言うことを聞いていれば…

ecc**ler さん

#15 阿部正弘 2001/12/12 21:12 [No.4005 / 15916]

1818年（天保7）～1857年（安政4）備後福山藩5代藩主阿部正精の六男に生まれ、1836年7代藩主となる。幕府の奏者番・寺社奉行などを歴任し、1843年25歳の時から15年間老中として活躍。水野忠邦の失脚後は老中主席となる。収拾に関する才能を見せ、ペリー来航の時は開国の政策をとり、日米和親条約を締結した。

將軍継嗣問題が起きた時は慶喜擁立派の中心となり行動したが、39歳で結果を見ず病死した。

ryozanpaku_69 さん

#16 太田重正 2001/12/12 22:01 [No.4006 / 15916]

1561-1610。

太田家をご存知のように太田道灌資長の後裔です。

小田原後北条氏の伸張にともなって、道灌二男の孫・太田資正は佐竹氏と結んで北条氏に対抗しますが、

嫡流の太田康資は北条傘下に入りました。

小田原落城後、太田康資の子・重正は家康に召し出されました。

徳川譜代としては新参でしたが、

江戸城の故守としての家柄、そして

重正の妹が家康の愛妾お梶の方となったことが大きかったです。

重正の子・資宗は下総山川に1万5千石を与えられて、諸侯に列しました。

資宗はのち三河西尾を経て、遠江浜松に、その後、数代は各地を転々としませんが、

資俊が館林から掛川に入り、定着しました。

太田家からは、井伊直弼と同時代に老中となった資始など、幕政の担当者を何人も出しています。

ykm6812 さん

#番外 徳田新之助 2001/12/13 11:08 [No.4007 / 15916]

「オレは 貧乏旗本の三男坊 徳田新之助だ」

さて、旗本に「徳田」家があったかどうか、調べてみたのがよくわかりません。

徳川慶喜が明治20年代に写真を習った「もと旗本だった写真師徳田孝吉」という人物を見つけました。

この記述が正しいのか、

そして江戸時代も徳田さんだったのかどうか。

よくわかりませんでしたので、回答は「実はうえさま」にして、番外とします。

spat さん

#17 柳生但馬守宗矩 2001/12/13 11:28 [No.4008 / 15916]

石舟斎宗厳の五男。十兵衛三厳の父親。

父石舟斎が徳川家康の前で無刀取りの術を披露。感嘆した家康が剣法指南役にと誘いますが、石舟斎は老齢を理由に固辞。代わりに宗矩を推挙します。これが柳生一族が徳川譜代となったきっかけでした。

宗矩は関ヶ原、大阪の陣で功を立て、一時失っていた柳生の旧領を回復、さらに徳川將軍家の剣法指南役となります。三代家光の時にはさらに出世して惣目付（のちの大目付）に任じられ、家格も一万二千五百石の大名となりました。

宗矩の死後、將軍家指南役は息子の十兵衛、宗冬が相次いで継ぎますが、それ以降は太平の世（剣法があまり重視されない時代）になったためか、宗矩が開祖となった江戸の柳生新陰流はあまりパツとしない存在のまま幕末を迎えたといわれています。

s11*3_0*さん

#18 牧野忠恭 2001/12/13 13:38 [No.4009 / 15916]

<まきのただゆき>

幕末の長岡藩主(約7万石)で、京都所司代、老中を勤めました。

長岡藩が新政府軍に対し「恭順すべきか」「開戦すべきか」を迫られる緊迫した情勢の中で、門閥家老を廃して、あの河井継之助を家老に登用。その判断をすべて継之助に委ねました(結果は、周知の通り開戦)。

徳川譜代の中でも寝返る藩が多くあった中で、忠恭は「三河以来の主家、徳川家を譜代大名・牧野家としては裏切る訳にはいかない」という考えを持った、なかなか骨のある殿様だったようです。

s11*3_0*さん

#18 伊奈忠次 2001/12/13 13:43 [No.4010 / 15916]

わたしの実家、東京の下町に備前堀という地名が残っているのですが、これはこの人の治績らしい。

伊奈忠次、三河一向一揆に参加し、家康に仕えたのは30すぎ。

関東へ移ってからは、大阪に対抗する大都市に江戸を育てるべく、治水事業に乗り出す。彼が作った水路を備前堀とよびました。自身の知行としては武蔵小室・鴻巣に一万三千石を有し、慶長十五年に没する。孫の忠勝にいたって、嗣子なく所領を収められる。

ぼちぼちでんな～さん

↓19です。 2001/12/13 13:44 [No.4011 / 15916]

こういうときもありますね。

ぼちぼちでんな～さん

#20 根岸鎮衛 2001/12/13 15:17 [No.4012 / 15916]

大岡越前と遠山の金さん、それに徳田新之助が出ているならこの人も出さないといけないでしょう。

根岸肥前守鎮衛

江戸南町奉行。「耳囊」という随筆を書いています。

下々の事情に詳しくて庶民からの人気もあり、老中松平定信の信任も厚かった人物です。

元々、根岸家は徳川家宣が將軍家世子となった時に新規に召抱えられた蔵米150俵の家柄です。

根岸鎮衛は安生定洪の三男として生まれたのですが、根岸衛規の末期養子として根岸家を継いでいます。最初は勘定役としてスタートしたのですが、勘定吟味役・佐渡奉行・勘定奉行と出世していき、最後に江戸南町奉行となって17年間も在職しました。

根岸鎮衛の実家である安生家は徳川綱吉が將軍に就任する以前から仕えていた家で、綱吉が將軍になると共に幕臣となった蔵米150俵の家柄です。鎮衛の父の安生定洪は安生定元の養子に入って安生家を継いだ人物で、代官にもなった人物です。

ただ、安生定洪が安生家に養子に入る時、安生家の御徒士株を買って安生家を継いでいます。

安生定洪は鈴木相秀の三男で、実家の鈴木家は元々後北条氏に仕えた家で、小田原城が落城した時に帰農し、相模川の川役をしていました。

このように根岸鎮衛が庶民に人気があったのは、下々に通じているだけではなく、実家の身分が低かった事や根岸鎮衛自身、蔵米150俵から出発して江戸町奉行にまで出世できた事が大きな理由です。

ちなみに月曜午後8時にTBS系列で放送された時代劇「南町奉行事件帖 怒れ!求馬I・II」や「大江戸を駆ける」で根岸鎮衛の孫の根岸求馬(主人公:原田龍二)や求馬の兄、榮太郎(岡野進一郎)が登場しましたが、この2人は本当に根岸鎮衛の孫で実在人物です。

gre*t*fighb*rdさん

お題 : 「將軍から一字拝領した人」 2001/12/13 16:02 [No.4013 / 15916]

「將軍から一字拝領した人」

將軍から、名前を一字もらった人を答えてください。

「名前を一字もらう」というのは、「偏諱を受ける」ことです。

將軍家は、足利・徳川の二家に限定します。

たくさんいますので、

「糸図で名前見ただけ」「名前しか知らん」という人物ではなく、

それなりの有名人を回答するか、なにかしらのエピソードを添えてください。

できるだけ 同じ家系の直系の人は回答しないでください。

まあ、他に思いつかなかったり、やっぱり回答したいビッグネームだったり、

というときは 遠慮なくどうぞ。

回答例

#00 徳川光圀

徳川3代將軍家光から「光」の字を拝領。

spatさん

#01 伊達輝宗 2001/12/13 16:36 [No.4014 / 15916]

いわずと知れた伊達政宗の父。室町13代將軍、足利義輝の「輝」の字をもらっています。

伊達家は南北朝時代、奥州における南朝側の有力な武将でしたが、北畠顕家の幕僚であった伊達行朝以後、北朝側に寝返っています。そしてその孫持宗に至っては、4代將軍義持の「持」の一字をもらうほど足利將軍家と親密になっています。以後伊達家の当主は、その時々々の將軍の一字をもらうのが、ある程度慣例化しました。他にも何人かおりますが、ここは代表して輝宗氏に登場してもらいました。

s11*3_0*さん

前題#21 長谷川平藏 2001/12/13 16:43 [No.4015 / 15916]

鬼平こと長谷川平藏宣以(のぶため)

長谷川家はもとは駿河国益津郡の土豪。

今川義元の没後 長谷川正長が、徳川家に仕える、「駿河譜代」の家柄。

正長は、三方原で戦死。

鬼平の家系は、この正長の次男、宣次の系。

代々「宣」が通字。

上総国武射山辺二郡のうち、采地400石。

小身の旗本です。

父 宣雄は、火盗改に一年ばかり在職、

その後 京都西町奉行を勤めています。

鬼平は 書院番・進物番・御徒頭・先手弓頭と出世し、

先手頭の加役（臨時で兼任するの意）である火付盗賊改に

任命される。

ここに8年、在職します。

刑政史上の大功績が、「人足寄場」の設立。

犯罪者に、ただ刑罰を与えるのではなく、技術を教え、社会復帰させるという発想です。

spat さん

↓訂正 2001/12/13 16:44 [No.4016 / 15916]

伊達持宗を行朝の孫と書いてしまいましたが、玄孫の間違えでした。失礼しました。訂正させていただきます。

s11*3_0*さん

前題#22～27 御三家付家老家 2001/12/13 17:02

[No.4017 / 15916]

名前だけの紹介にします。

家康公の信任厚く、実子のもり役としてつけました。

藩の家老でありながら、直参の家格を持っています。

尾張徳川家の

#22 平岩主税頭（親吉 12万3千石）

#23 成瀬隼人正（正成 3万5千石）

#24 竹腰山城守（正信 3万石）

紀伊徳川家の

#25 安東帯刀（直次 3万9千石）

#26 水野対馬守（重央 3万5千石）

水戸徳川家の

#27 中山備前守（信吉 2万5千石）

spat さん

#02 細川勝元 2001/12/13 21:04 [No.4018 / 15916]

室町幕府七代将軍である足利義勝の、「勝」の字をもらっています。というか、「三管四職家」や評定会議の常連の大名は、だいたい将軍の一字を拝領していますね。

いうまでもなく、応仁の乱においては東軍を率いて、義政弟の義視を擁立した人物です。

tokacyan さん

#03 柳沢吉保 2001/12/13 22:18 [No.4019 / 15916]

元々の名前は保明でしたが、徳川5代将軍・綱吉の信任を得、その一字である「吉」を貰って改名しています。

元はその美貌を気に入られて御側用人となり、出世した事で、言葉は悪いが「ほたる侍」などと陰口を叩かれていたようです。

（意味が判らない方、ごめんなさい）

wak*k*97 さん

「徳川家譜代の人々」御礼 2001/12/13 23:00 [No.4020 / 15916]

前にも申したように、譜代の人々の苗字が並んだら壮観だろうという、

身勝手な出題でしたが、お付き合いいただいて有り難うございました。

いろいろと面白い人物や、加増や減俸にまつわるエピソードなども伺えて勉強になりました。

番外も含めてまとめると、

平岩、成瀬、竹腰、安東、中山、長谷川、根岸、伊奈、牧野、柳生、太田、阿部、吉良、石川、

榊原、鳥居、大岡、高力、井伊、水野、本多、菅沼、遠山、大久保、勝海舟、加納、服部。

四天王の中では酒井が出ませんでした。

その他めばしいところでは、

堀田、戸田、土井、稲葉、板倉、青山、内藤、安藤、保科、小笠原、

それから坂崎あたりがいるでしょうか。

それから、

#番外 古今亭志ん生

本名は美濃部なんたらというれっきとした旗本の家系です。志ん朝さんは惜しいなァ....

hui*_k さん

#番外 前長☆県副知事 池○典隆 2001/12/14 17:08 [No.4021 / 15916]

前知事吉△牛良氏も、自治省時代は「悟朗」だったのを、姓名判断に凝っていた夫人に進められて改名（漢字だけ）しています。

△村夫人は夫の部下たちにも改名を勧めまくったそうで、従わなければ左遷と言うキビシー人事が行なわれる中、係長だった○田文彦という人は夫人の勧めに従いに改名し、以来とんとん拍子に出世し、あっという間に副知事の座にのし上がります。

でも、前の選挙では勇退した前知事のあとを受けて立候補するも、作家あがりの新人に敗れてあえなく敗退。

hui*_k さん

#04 武田晴信。 2001/12/14 18:10 [No.4022 / 15916]

信玄（1521～1573）。

足利12代将軍・義晴の一字をもらいました。

この頃の足利将軍家は財政が苦しく、名前の一字をたくさん

の大名に与えたとか。

お礼がくるから。

にざりいさん

#05 毛利輝元 2001/12/14 22:27 [No.4023 / 15916]

元就のお孫さんで、関ヶ原の西軍総大将

五大老の一人。

多分そうじゃないかなと思って、いろんなサイトを検索したら、

やっぱり、足利義輝より、「輝」の1字を賜ってました。

結局、この人の代には、毛利氏は「輝く」ことはなかったけどね。

うーん、番外が思いつかないなあ

Rockmosen さん、「ブラック将軍」から、名前もらった怪人とか、いませんでしたっけ？

ecc**ler さん

#06 島津斉彬 2001/12/15 10:11 [No.4024 / 15916]

徳川家斉より一字を。

(しまづ なりあきら)

1809 (文化6) ~ 1858 (安政5)

江戸末期の薩摩藩主。斉興の長男。お由羅騒動の後、1851 (嘉永4) 年に藩主となる。西洋の文明を取り入れ、精錬所を設け、磯の工業地帯に反射炉や溶鉱炉を作る。また日本で初めて銀板写真の撮影に成功している。西郷隆盛などの藩士を用い藩政改革を行い洋式兵備を充実させた。水戸や福井、宇和島の藩主とも交流があり将軍継嗣問題では一橋慶喜を推す。

ryozanpaku_69 さん

#07 伊達忠宗 2001/12/15 10:51 [No.4025 / 15916]

1599~1658。

伊達政宗の次男。

次男ですが、長男 (後の宇和島藩主・秀宗) は側室の子で忠宗は正室の子だったということから政宗の後を継ぎました。

秀宗は豊臣秀吉の「秀」の字をもらい、

忠宗は徳川2代将軍秀忠の「忠」をもらいました。

時代の流れを感じてしまいます。

にぎりいさん

#08 赤松満祐 2001/12/15 20:20 [No.4026 / 15916]

1373-1441.

足利義満より一字拝領。

播磨・備前・美作守護。

1428年、正長の土一揆を侍所所司として撃退、

翌年、播磨での反守護国人層の一揆も鎮圧しました。

1440年、将軍専制を目指す足利義教が、一色義貫・土岐持

頼を誅殺すると先手を打ち、

41(嘉吉1)年6月、義教を京の自邸にて殺害。

播磨に戻って防備を固めたが、幕府の追討軍に責められ、木山城で自害しました。

赤松氏惣領家は断絶、領国は山名氏に与えられました。

世に言う「嘉吉の乱」です。

ykm6812 さん

#09 山名宗全(持豊) 2001/12/16 14:57 [No.4027 / 15916]

細川勝元と来れば、あい対するは西軍を率いる、山名宗全でしょう。こちらは法名で、本名は持豊。四代将軍足利義持の「持」の字を拝領しました。

そういえば、山名宗全の娘って、細川勝元の奥方なんですわね。

tokacyan さん

#10 上杉治憲 2001/12/17 0:18 [No.4028 / 15916]

1751.7.20-1822.3.12。

本名では聞いたことがないと言う方も、「鷹山」の号を聞けば膝を打つことでしょう。

今更説明不要の有名人士ですね。

10代将軍・徳川家治から一字拝領。

一応、経歴と事績を。

父は日向国高鍋藩主・秋月種美。

1760年、米沢藩主・上杉重定の養子となり、67年家督相続。

69年米沢に入国。

73年、藩政を牛耳っていた重臣を処罰。

藩校・興譲館を創設し、世子時代から師事した細井平洲を招いて藩政改革に着手しました。

倭約を勧め、改革派の竹俣当綱 (たけのまた・まさつな、1729-93) らに、

離散農民の帰村、新田開発の奨励、用水路の開削、漆・養蚕等の特産品の奨励などの特産品の奨励などの

農村復興政策を行わせ、一定の成果を収めました。

85年、隠居して重定の4男・治広に家督を譲りますが、

後見として藩政を見ました。

今や、「上杉」と言えば、この人が真っ先に挙げられるよう

で、

謙信も、藩祖・景勝も霞みがちです。

先の見えない不況のご時世の、カリスマ的存在となっているようですね。

ykm6812 さん

#番外 伊達朝宗 2001/12/17 19:08 [No.4029 / 15916]

今回のお題の条件は足利、徳川両将軍からの拝領となっていますので、番外にします。

この人は藤原北家 (魚名流) の山蔭の子孫である伊達氏の中で最初に「伊達」を名乗った人です。源頼朝の奥州征伐に際し、四人の子供を従軍させ、その戦功によって伊達郡を頼朝から与えられ、伊達を称しました。と、同時に頼朝の「朝」の字を拝領したものと思われま

す。それにしても、伊達家では鎌倉幕府以来、室町幕府、江戸幕府を通じて、将軍からの一文字拝領が伝統化しているようですね。

s11*3_0*さん

#11 朝倉教景 2001/12/17 19:20 [No.4030 / 15916]

朝倉氏中興の教景は、永享の乱で関東へ出陣し、引き続き結城合戦で春王丸、安王丸を生け捕りにした功により、

将軍足利義教より一字を拝領しました。

ふう、やっとひとつ見つかりました。

hui*_k さん

#12 鍋島光茂 2001/12/17 21:03 [No.4031 / 15916]

うーん。

意外に回答ができません。

みなさん、名前は知ってても、将軍の字をもらったかどうか、という視点でその人物を見ていらっしゃるのすかね。

今まで、自分の題に回答を出した事はないのですが、ちょっとスピードアップのために回答します。

鍋島光茂 — 徳川家光から「光」の字を受ける。

肥前佐賀 鍋島の化け猫騒動

佐賀藩二代目藩主、鍋島光茂は、龍造寺家の当主・又一郎と囲碁の対局中にささいなことから口論となり、又一郎を殺してしまいます。

又一郎の母お政が、帰宅せぬ息子のことを心配していると、飼猫である黒猫の「コマ」が、血にまみれた又一郎の首をくわえてきます。

我が子を殺された恨み骨髓に達したお政は愛猫のコマに復讐の一念を託して自害してしまいました。

コマは、光茂の愛妾を殺し、その姿を借り、光茂にたたります。

で、まあ、いろいろ怖い怖い話があって、最後は化け猫は退治されます。

藩主はこの騒動の後、又一郎とその母を手厚く葬ったとき。
spat さん

#13 上杉輝虎(謙信) 2001/12/17 21:23 [No.4032 / 15916]
> できるだけ 同じ家系の直系の人は回答しないでください。

っていう制約もいかなのかな。

じゃあ、全然気にしないで下さい。

というわけで、#10の鷹山公の先祖です。(鷹山はまあ、養子ですが。。。)

さて、よく名前を変えた人です。

虎千代

長尾景虎

長尾政虎

上杉政虎

上杉輝虎

上杉謙信

はじめ、長尾家代々の通字「景」を名乗ります。

そして、関東管領上杉憲政から「政」をもらいます。

で、正式に山内上杉家を継ぎます。

そして、13代将軍足利義輝から「輝」をもらいます。

最後は出家して、おなじみ「謙信」となります。

spat さん

#13 畠山尚順 2001/12/17 21:40 [No.4033 / 15916]

足利九代将軍である義尚から一字拝領していますが、むしろこの人に近い位置にいた将軍は、足利義材(義種)でしょう。将軍足利義材は、対立していた細川政元によって将軍を廃されます(明応の政変)。そのときに将軍を支援して、細川政元と戦って破れたのが、畠山尚順の父である政長。結局義材は、畠山尚順の領国であった越中へと逃げてしまいます。

そういえば、畠山尚順の子は植長。世話をした将軍からの一字拝領なのでしょう。

tokacyan さん

#15 大内政弘 2001/12/17 22:28 [No.4034 / 15916]

1446-95.

8代将軍・足利義政から一字拝領。

彼が応仁の乱で西軍の主力となったのは、

瀬戸内の覇権をめぐる細川氏との対立が背景にあったとされます。

1477年帰国、石見・安芸で勢力を広げ、筑前少弐氏を破りました。

雪舟・宗祇をはじめ、公家・僧侶らを多く山口に迎えて保護し、

文化都市・山口の礎を築きます。

足利の場合、三管領・四職家以外から探すのは、なかなか大変ですね。

もともと、そういう時こそ日本史辞典をめくる指に力が入ったりして・・・

ykm6812 さん

#16 徳川宗春 2001/12/17 22:52 [No.4035 / 15916]

そうか、少しなぞが解けたぞ！

御三家の名前は時の将軍から一字拝領したのが殆どなんだ・・・

光圀さんのおうちも、名前をただで元服当時の将軍が分かっちゃうぞ・・・

ということで、吉宗の一字を頂いたのはこの人でしょうね、フランスで重農主義を唱えたケネーに対して重商主義を唱

えたイギリスの経済学者。

もとい、尾張藩主で、吉宗の改革を批判して勝手に商業重視の内政を進めたことで謹慎、というより軟禁されちゃった人です。

hui*_k さん

#17 徳川綱教 2001/12/18 9:18 [No.4036 / 15916]

1665～1705。

#00で水戸家、#16で尾張家が出たので、多分まだ出ていない紀伊家から。

紀伊徳川家第3代藩主。後の江戸幕府8代将軍・吉宗のお兄さんです。

江戸幕府5代将軍・綱吉の息女鶴姫と結婚したこともあり、男子のいない綱吉の有力な後継者候補と目されたいたようです。

でも結局、鶴姫は若くして亡くなり紀伊家の夢(野望?)はついえたかに見えましたが…。

#07で解答しました伊達忠宗、「直系はできるだけ避けて」と最初あったのに

思い切り、#01伊達輝宗の孫でした(--:)

近すぎで済みませんでした。

にざりいさん

↓すみません、つけたし。 2001/12/18 9:20 [No.4037 / 15916]

書き忘れたので…。(お分かりいただけるとは思うんですけど、念のため)

江戸幕府5代将軍・綱吉から一字もらっています。

たびたびすみません。

にざりいさん

#番外 徳川秀忠、家光 2001/12/18 10:39 [No.4038 / 15916]

天海＝光秀説の余談というべきか、これを補強すると言わべきか、

ともかく、光秀が徳川政権樹立の重要な黒幕であったという

仮説と関連して、
光秀の名から一字ずつをとって、秀忠、家光と名づけられたという話があります。

偶然かなあ....

hui*_k さん

#18 松平慶永(春嶽) 2001/12/18 10:46 [No.4039 / 15916]
御三卿出身で越前松平家に養子に出ますが、このひとの元服当時の将軍は十二代家慶です。

実は、徳川家で将軍から一字を拝領して後に将軍になった人は、綱吉、吉宗のほかに、もう二人いるのではないのでしょうか。

hui*_k さん

#19 徳川慶福(家茂) 2001/12/18 18:00 [No.4040 / 15916]

>実は、徳川家で将軍から一字を拝領して後に将軍になった人は、綱吉、吉宗のほかに、もう二人いるのではないのでしょうか。

その内の一人です。読み方は「よしとみ」。「慶」の字を12代将軍家慶より拝領。

「慶福」は紀州藩主時代の名前で、同じ「慶」の字のつくさるお方と将軍の地位を争いますが、井伊直弼の強力なバックアップで14代将軍家茂となりました。

s11*3_0*さん

#20 足利持氏 2001/12/18 18:42 [No.4041 / 15916]

足利氏の「家の字」は「氏」だったそうで、尊氏が好い例ですが、

将軍になってからは、源氏の棟梁として「家の字」を「義」に変え、

その代わり、「氏」の字は鎌倉公方家に引き継がれることになったそうです。

そのため、鎌倉公方家は、「将軍から一字を拝領」+「氏」のパターンが

比較的多くなったそうで、鎌倉公方足利持氏もその例に洩れ

ず、
時の将軍義持から一字を拝領しましたが、自分の長男には、本来ならば「教氏」とつけるべきところを、「義氏」と名づけ、

こうしていれば関東独立宣言を行なった持氏と幕府との間の戦争、
永享の乱へと発展します。

hui*_k さん

お題【「○州」形の旧国名+α】の名詞 2001/12/18 18:44 [No.4042 / 15916]

以前、【(旧国名)+漢字】の一般名詞

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&board=1835208&tid=nrbkbb3bcjc0fea52a1aa5e0&sid=1835208&action=m&mid=666>

というお題を出しましたが、今回は「○州」という形で名詞を搜しましょう。

前回は一般名詞に限りましたが、今回は固有名詞もオッケーとします。

さらに、前回は同一国名の重複はNGでしたが、今回はOKとします。

代わって、「α」の部分の重複はNGとしますのでお気を付けてください。

また「α」の部分も前回は漢字にできるものに限りましたが、今回は平仮名でもカタカナでもオッケーです。

さらに、できた名詞が特に歴史に関係がなくてもオッケーです。

#00 長州力

つまりこういうのもアリです(却って番外が出しにくいかも...).

hui*_k さん

#01 奥州藤原氏 2001/12/18 19:06 [No.4043 / 15916]

先祖の藤原経遠(だったかな?名前忘れた)は関東に拠点を持っていて、平将門・忠常の乱の時源氏に従ったといわれています。

藤原経清は前九年の役で敗れ刑死しましたが、その子清衡は後三年の役において源氏を出し抜き、平泉に拠点を作って3代の栄華の土台を作りました。

しかし4代目泰衡は源頼朝と戦い、平泉の栄華は潰えてしまいます。

こうしてみると、奥州藤原氏と源氏とはよくよくつながりが強い。奥州人のわしは、源氏が嫌いです(藁 toshy.y.takahashi さん

#02 雲州そろばん 2001/12/18 21:09 [No.4044 / 15916]
出雲の名産、そろばん。現在では、そろばんの全国生産の70%が出雲産の雲州そろばんだそうです。

主産地は、横田町。

雲州そろばんの歴史は、天保年間に、仁多町の大工、村上吉五郎が広島塩屋小八作の算盤をみて自作したのが始まりとか。

良質の材料と、腕のよい職人が、当時の出雲地方に多くいたことが、発展の原動力になったようですね。

ecc**ler さん

#03 小堀遠州 2001/12/18 21:40 [No.4045 / 15916]

・・・というのは、よろしいのでしょうか。

1579-1647.

江戸初期の大名、茶人です。

近江小堀村に生まれ、備中松山1万2000石余を継承しました。

08年、遠江守となりました。

幕府の作事奉行、国奉行をはじめ、伏見奉行などを歴任。

茶の湯・造庭に優れ、茶は古田織部に師事し、将軍家光の茶の湯指南もしました。

利休風のわび茶を基本としながらも、東山時代以来の書院の茶を復活させて、

優雅な王朝文化の要素を採り入れ、「きれいさび」といわれ

る茶風を軸に、寛永文化の中心として活躍しました。「遠州流」は、小堀遠州を始祖とする茶道の流派です。
ykm6812 さん

だめです 2001/12/18 21:59 [No.4046 / 15916]

すみません

考えていませんでしたが、いちおう駄目です。

悪しからず。

ううん.....「遠州流」で、OKというのはいかがでしょうか。

というわけで、次は#04です。

hui*_k さん

#04 石州瓦 2001/12/18 22:07 [No.4047 / 15916]

津和野に行ったときにタクシーの運転手さんがそういうものがあると言ってました。

石見の瓦の意味で、寒さだか雪だかに強いとか。

三河にも三州瓦というのがあるそうですが、「α」の重複はNGです。

hui*_k さん

#05 房州うちわ 2001/12/19 9:05 [No.4048 / 15916]

千葉県安房地方で生産されている団扇、丸い形が特長。名産品のひとつになっています。

クイズ パンチ de デートさん

#06 江州音頭 2001/12/19 11:13 [No.4049 / 15916]

河内音頭とならぶ、関西を代表する2大音頭。

滋賀県八日市市で幕末の頃から流行った盆踊り歌で、浄瑠璃や祭文の節を取り入れたリズムミクな音曲です。

現在は滋賀県全域はもちろん、大阪、京都、奈良などの近県でも、夏の盆踊りシーズンにライブ演奏で行われています。

s11*3_0*さん

#07 遠州森の石松 2001/12/19 12:29 [No.4050 / 15916]

「おお江戸っ子だってねえ、すし食いねえ」「で、大事なのを一人忘れていやあしませんか」(広沢虎造「石松三十国舟」より)。

・・・で訳で、忘れない内に投稿しました。

余談ですが#06の「江州音頭」、ATOKで変換すると「豪州音頭」とできます。オーストラリアの盆踊りか?

s11*3_0*さん

#08 加州屋敷 2001/12/19 12:54 [No.4051 / 15916]

加州銀行となるとカリフォルニア・フェデラル・バンクの中国語名になりますが、

加州屋敷という、一般には加賀前田藩の上屋敷を指すことになります。

かつては、今の皇居の吹上御所に当たる場所に御三家の上屋敷があり、

後にこれらが外堀の外側に移されることになり、紀州が赤坂、尾張が牛込、

水戸が小石川にそれぞれ広大な屋敷を構えることになりました。

加賀藩の上屋敷が本郷になった経緯は分かりませんが、水戸家と同格の

中納言の位階(厳密には「参議」だと言う話も聞きましたが)

が与えられる前田家も同じく外堀の外に広大な上屋敷を構えていました。

その加州屋敷が、今の東大のキャンパスで、赤門は将軍家からのお興入れを

迎えるために拵えた門だとか。

「加州屋敷」という言葉が歴史に登場するのは、彰義隊の上野戦争の時に、

鍋島藩の隊がここから上野の山めがけてアームストロング砲を

撃ち込んだことからでしょうか。

hui*_k さん

#09 肥州山 2001/12/19 15:03 [No.4052 / 15916]

うーむ。さっそく「長州力」なみの名前を出してしまったか。この肥州山とは昭和初期の力士です。名前から考えても九州西部の出身でしょう。

恐るべき怪力の持ち主だったとかで、大関・横綱も間違いなしといわれた逸材。

しかし相撲協会の改革をうたい離脱、関西に作られた新団体の中核力士として活躍していました。

関西の相撲団体が行き詰まりを見せ相撲協会に戻った時は盛りを過ぎた32歳。それでも関脇になり有名な無敵横綱双葉山を倒しているからすごい。

toshy.y.takahashi さん

#番外 筑州羽柴秀吉 2001/12/19 16:57 [No.4053 / 15916]

秀吉は羽柴筑前守だったので、「筑州」と呼ばれることがあり、光秀は日向守だったので「日州(にっしゅう)」と呼ばれたりもしたそうです。

また「知恵伊豆」こと松平伊豆守信綱は「豆州(ずしゅう)」と呼ばれることもあったそうです。

こういう例は沢山ありそうです。

hui*_k さん

#10 泉州銀行 2001/12/19 17:03 [No.4054 / 15916]

大阪府岸和田市に本店のある地方銀行、店舗数 66。資本金 445 億 75 百万円。従業員 1, 164 名。今日の株価は 213 円くらい。

ぼちぼちでんな～さん

#11 武州ガス 2001/12/19 17:06 [No.4055 / 15916]

埼玉県川越市に本社のある、都市ガスを供給している会社。川越ほか、所沢市や吉見町、大井町などをカバーしています。

こんなネタでいいのかなー。

ぼちぼちでんな～さん

#番外 温州ミカン 2001/12/19 17:13 [No.4056 / 15916]

このでの番外がいけそうです。

名前の由来になる「温州」とは、中国にある地名でミカンの

産地だそうですが、ミカンの方はそれとは無関係で、日本で改良されてできた品種だそうです。

印度リンゴとかフランクフルトソーセージみたいなものですね。

hui*_k さん

#番外 豪州牛肉 2001/12/19 17:36 [No.4057 / 15916]
オーストラリアビーフのことですが、漢字で書くことすごいですね。

豪国ではなく、豪州なのは、イギリス連邦の一員ということなのでしょうが、いまはほとんど独立国って感じらしいですね。(イギリスの友人に聞きました)

ぼちぼちでんな～さん

#番外 氷州石 2001/12/19 17:59 [No.4058 / 15916]
氷州石(ひょうしゅうせき)とは、氷州すなわちアイスランドで採れる方解石のことだそうです。

どうも、「州」とは区分けした一単位というよりは、「国」「島」くらいの独立した意味合いが強いようです。

アメリカの「州」もいちおう独立した国ですからね。

hui*_k さん

#12 播州米 2001/12/19 18:07 [No.4059 / 15916]
丹波杜氏の手によって、灘の生一本に生まれ変わります。
hui*_k さん

#番外 加州ナッツ 2001/12/19 18:13 [No.4060 / 15916]
これは私の勘違いと言うか、なんとも・・・。

カシューナッツって、カリフォルニアでとれるので、そういう名前なのかなと思いましたが、全然違うみたいです。

ぼちぼちでんな～さん

1 3 雲州往来 2001/12/19 22:21 [No.4061 / 15916]
・・・と言うのは如何でしょうか。雲州と言うのは出雲地方の事で、出雲守藤原明衡(989～1066)と言う、平安

後期の学者・漢詩人が書いた消息文集だそうです。普通には「明衡往来」と言うそうです。

wak*k*97 さん

#14 播州皿屋敷 2001/12/19 22:59 [No.4062 / 15916]
人形浄瑠璃の一。時代物。為永太郎兵衛・浅田一鳥作。1741年初演。

お家乗っ取りの悪事を腰元お菊に聞かれた青山鉄山は、重宝の皿紛失の咎を負わせてお菊を殺し井戸に捨てるが、お菊の亡霊によって滅ぼされる。

後の皿屋敷物のもとになった。

一枚、二枚、三枚・・・

ykm6812 さん

御礼「将軍から一字拝領した人」 2001/12/19 23:09 [No.4063 / 15916]

「将軍から一字拝領した人」御礼。

結構長くかかっちゃいましたね。気づいてみると、「ああ、あの人もそうなのか。」って感じだったのではないのでしょうか。

室町時代、江戸時代とも、一字を代々もらえる家というのは、ある程度固定されていました。

そういう家の嫡男は元服に際して、命名の儀、のような形で、名が下されたようです。

傍系当主の場合は、宗家当主着任に際して、当主としての名があらためて与えられたようです。ほかに、御三家紀伊 松平頼方→徳川吉宗の場合は、将軍にお目見えしたときに綱吉から与えられました。

室町時代では、鎌倉公方足利家、細川などがそうですか。斯波は「義」ですね。山名などは歴代というわけでもないようです。

義晴・義輝のころ、次第に幕府権力が衰え、偏諱を与えること、そこそこの謝礼が得られるということもあって、伝統的には与えていなかった、新興大名にも偏諱を与えるようになります。(武田晴信、今川輝元、上杉輝虎、毛利輝元)

さらには、源氏の通字である「義」の字も与えるようにな

ります(武田義信、今川義元)。なお、佐竹、里見など、もともと義が通字の家(もともと足利並、足利以上の名門源氏)も、室町時代はたくさんあります。この場合は、「偏諱を賜った」わけではないようです。こういうところにも見られる足利家の相対性というのが、足利幕府の弱さなんです。

江戸時代は、御三家・御三卿・越前松平家、国持格大名、將軍実子、が該当したようです。

將軍実子というと。駿河大納言忠長。甲府宰相綱重とその子綱豊(のち家宣)。家斉の、多産の子どももみな、斉〇の名で、各家の養子となっています。まあ、もともと、偏諱を受けるような大身のところに養子に行っています。

外様の大大名では、前田・毛利・島津・鍋島・細川・浅野・伊達・黒田・池田二家・上杉・蜂須賀などです。

大身であって、偏諱を受けていないのは、南部・佐竹・山内・藤堂・最上など。山内は二代忠義、三代忠豊なんです。

ちなみに、外様で松平姓は、加賀前田、仙台伊達、薩摩島津、福岡黒田、安芸浅野、長門毛利、佐賀鍋島、因幡池田、備前池田、阿波蜂須賀、土佐山内。

あと、福島正則家の二代は忠勝、加藤清正家の二代は忠広。存続していたら、どうだったでしょう。

わりときれいに、「偏諱」+「通字」なのが、「池田光政 綱政 宗政 治政 斉政 斉敏 慶政 茂政 章政」。

ちょっと混ざってるのが、「伊達政宗 忠宗 綱宗 綱村 吉村 宗村 重村 斎村 周宗 斎宗 斎義 斎邦 慶邦 宗基 邦宗」。

島津は、累代の「久」を、江戸時代は名乗っていません。いろんな政治的配慮の上なんでしょうね。

出なかった有名人では。

大友義鑑、大友義鎮、尼子晴久、細川藤孝(足利義輝:はじめ義藤と名乗っていた)、島津義弘。

「義」は、將軍の偏諱として名乗ったかどうか、ちょっと区別できませんね。

カンニングサイトは↓

<http://homepage1.nifty.com/YMSKy/index.htm>
spat さん

#15 上州やくざ 2001/12/19 23:14 [No.4064 / 15916]

赤城の山も今宵限りか

spat さん

1 6 作州浪人 2001/12/19 23:45 [No.4065 / 15916]

宮本武蔵 (by 吉川英治)

史実ではちがうらしい・・・

sakisaki さん

#17 遠州鉄道 2001/12/20 0:11 [No.4066 / 15916]

我が故郷。

今回は「遠州流 (小堀遠州)」「遠州森の石松」と、妙に人気が高いですね。

遠州鉄道は、

J R浜松駅から徒歩5分、「遠鉄 新浜松駅」から「西鹿島駅」まで。17.8km。単線で、1 2分間隔というから、きつと黒字線です。

遠鉄バスといえば、

どこよりも早く、バスが近づいてきたのを知らせるバス停システムを整備したし。

どこよりも早く、整理券にバーコードをいれて、お釣りの出る料金箱を整備し。

どこよりも早く、赤信号でエンジンのとまる、アイドリングストップバスを導入したし。

浜松市街は気軽に足として利用してもらおう、と、1 0 0円だし。

帰省するたびに、「やるじゃん」て思わせてくれます。

いや、それよりなにより、「遠鉄」と言ったら、浜松を中心とした県西部では、県西経済を牛耳る超巨大グループの総称です。

遠鉄がクシャミをすると、1 0 万人が肺炎で死ぬと言われています (いません)。

まあ、西武・東武・名鉄・近鉄・阪急・阪神をぐーぐーっと小さくしたような感じですがね。地元じゃあ、大きいはずらよ。

spat さん

18 九州男児 2001/12/20 0:20 [No.4067 / 15916]

地域によって差異もかなりあるが、一般に陽気。

調子に乗ればどこまでも勢いのままに突っ走る。

反面、熱しやすく冷めやすい。概して攻勢に強く、守勢に弱い。

九州に住む、この独特のキャラクターをもった辺境の人々は、幾度となくこの国の歴史を動かす原動力となった。

ひと君さん

↓ あ、#番外でした。 2001/12/20 0:23 [No.4068 / 15916]

旧「国名」じゃなくて地域名か・・・

ひと君さん

1 8 甲州金 2001/12/20 0:55 [No.4069 / 15916]

戦国武田氏による甲斐産出の金で鑄造された金貨。

http://www.imes.boj.or.jp/cm/htmls/history_06.htm

江戸期に甲斐産出の金で鑄造され流通した金貨も甲州金または甲州判とよばれる。

ひと君さん

#19 紀州梅 2001/12/20 9:35 [No.4070 / 15916]

チョーヤの梅酒の広告見てて、渡辺満里奈って歳とらないな一といつも思います。

クイズ パンチ de デートさん

#20 信州そば 2001/12/20 9:37 [No.4071 / 15916]

やっぱり最後はこれかな一と 생각합니다。

「州」の冠をつけたものは、「地域に密着している」イメージをアピールするものが、やはり多いですね。

クイズ パンチ de デートさん

お題「小京都・小江戸 20 選」 2001/12/20 10:12 [No.4072 / 15916]

ひさしぶりに出題します。

お題のとおり、あなたの好きな小京都、小江戸などと呼ばれている町、都市を列挙してください。

旅の思いでなんぞを織り込みながら、気軽に投稿してください。

クイズ パンチ de デートさん

#1 小江戸「川越」 2001/12/20 10:28 [No.4073 / 15916]

春日局の菩提寺もある、蔵の街。

「いも」で有名。

以前、酒飲み仲間で埼玉県の酒探しツアーをした時、期待していた秩父が全滅。(あくまで主観：笑)

こうなりゃやけくそだ、わらえ〜と、目指した川越の地ビール(発泡酒?)

原料は「いも」。

ウケ狙いと思ったら、これが嬉しい誤算(あくまで主観：笑笑)

で、かなりいけました。

あんまり風流な思い出ではないですが、こんなトコで。

b_blue_hearts さん

#01 川越 2001/12/20 10:41 [No.4074 / 15916]

古くからの関東の要衝でもあった川越は、江戸時代には柳沢吉保のような、譜代のエリートコースの城下町として栄え、江戸との間には新河岸川という運河も引かれ、近隣でとれた米や、青木昆陽が始めた甘藷など、多くの物資が行き来したそうです。

明治の初期に起こった大火の教訓から、蔵作りの商家が競って軒を並べる町へと変貌し、それがこの町の小江戸らしい風情を今に伝えることになり、東京から近いこともあり、休日は観光客で賑わっています。

維新の時は、今の埼玉県内では一番大きな町のひとつで、譜代の城下町ということで県庁所在地にはなれませんでした。が、市制施行したのは埼玉で最初だったそうで、最近では新

興都市所沢に押され気味なものの、今なお埼玉県中南部の中心都市として重要な地位にあります。

名物はなんといっても「芋ようかん」がお勧めですが、古い町だけあって和菓子屋さんなんかが多く、それ以外にもいろんな面白いものが見つかりますよ。

ポンせんみたいなものもおいしかった記憶が...

hui*_k さん

#02 飛騨高山 2001/12/20 10:48 [No.4075 / 15916]

今年6月に初めて行きました。

JR 高山駅前に車をとめ、レンタサイクルで街を巡りました(徒歩でも充分でしたね)。

中心を流れる宮川の周辺に、風情ある町並みが形成されています。

高山陣屋前、宮川沿いの2ヵ所に、朝市が開かれ、新鮮な野菜・果物、郷土工芸品などが売られています。

中でも、猿の赤ちゃんをかたどった「さるぼぼ」というお守りが名物です。

私はそれを買おうと朝市を歩いて回ったのですが、なかなか気に入ったものに巡り会いませんでした。

そうこうして宮川沿いを歩いていると、

80歳くらいのおばさんが静かに座っている店に目が留まりました。

その店の「さるぼぼ」は、見た目は綺麗ではないのですが、おばさんが一つ一つ心をこめて作った様子が伝わってきたのです。

思わず一つ買ってしまいました。

あのおばあさん、今日も元気に店を出していて欲しいなあ・・・

ykm6812 さん

#02 高山 2001/12/20 10:54 [No.4076 / 15916]

うっかりしていて、先を越されました。

飛騨高山は、市内に古い町並みがきちんと保存されていて「小京都」と呼ばれ、通りには市が立ち、落ち着いた雰囲気のある町です。

それほど大きな町ではないので、町全体を歩いて廻れたと思います。

町のいたるところに背の高い倉庫があり、祇園祭の山鉾に似た背の高い豪華な山車が格納されているそうで、これが練り歩く高山祭の方は見たことがありません。

飛騨の地は、江戸時代の中ほどからは天領に組み入れられたそうで、こうしたことも自慢の一つになるようでちょっと面白いと思いました。

ちょっと古すぎる記憶で、うまく言い表せなくてすみません。

PS.そうそう、川越の芋で作ったビールは結構いけます。

hui*_k さん

#03 角館 2001/12/20 11:02 [No.4077 / 15916]

秋田県の内陸部の角館は、佐竹藩の支城がおかれた城下町で、市内に武家屋敷が保存されていて、「みちのくの小京都」と呼ばれています。

かつて、佐竹の分家がここの城代だったそうで、平賀源内が伝えた秋田蘭画は、この町の城代らを中心に発展したと聞きました。

近くの桧木内川(だったかな)の堤防には桜並木があり、これもGW前頃に盛りを迎える名所だそうです。

hui*_k さん

#番外 戸越銀座 2001/12/20 11:19 [No.4078 / 15916]

こういうのは駄目ですか？

かなり長い(おそらく1km以上)直線の路地が戸越銀座商店街で、全国の〇〇銀座の走りだと聞きました。

本家の銀座とは似ても似つかないけれど、生活するには便利なようです。

近くの戸越公園はかつての肥後細川家の下屋敷だったそうです。

hui*_k さん

「〇州+α」のお題御礼 2001/12/20 15:34 [No.4079 / 15916]

みなさまお疲れさまでした。

実は、以前、別のトピックで、

「〇州」の形が比較的メジャーなものとして、奥州、上州、信州、甲州、遠州、泉州、紀州、播州、作州、長州あたりを挙げてみたのですが、今回は全部出ちゃいましたね。

「甲州街道」とか「信州一おみおつけ」とか、なにかと関連付けて憶えている場合が多いようです。

平仮名で二文字の国名や、四文字以上の国名、マ行の多いものなどの場合に、〇州が多用される傾向が強いようですね。

他に、羽州、武州、相州、房州、豆州、三州、勢州、江州、摂州、因州、雲州、石州、芸州、防州、讃州、土州、筑州、対州あたりは聞いた事があります。

その他、とりあえず考えていたのと、今回出たのを並べてみました。

羽州街道

羽州探題

雲州そろばん

雲州往来

遠州行灯

遠州高取

遠州七竃

遠州縞

遠州織物

遠州信楽

遠州森の石松

遠州鉄道

遠州灯籠

遠州灘

遠州流

奥州安達原

奥州街道

奥州征伐

奥州探題

奥州藤原氏

加州屋敷

加州金

紀州ネル
紀州ミカン
紀州家
紀州焼
紀州伝
紀州梅
紀州流
江州音頭
江州米
甲州ブドウ
甲州ワイン
甲州街道
甲州金
甲州法度
甲州流
甲州枳
作州浪人（宮本武蔵）
三州瓦
三州叩き
三州土
三州味噌
上州やくざ
上州屋
信州そば
信州川中島合戦
信州大学
信州味噌
石州瓦
泉州銀行
相州物
長州戦争
長州力
土州浪人坂本竜馬
播州歌舞伎
播州皿屋敷
播州米

肥州山
尾州絵
武州ガス
武州一揆
房州うちわ
房州砂
房州びわ
hui*_kさん

#04 石州津和野 2001/12/20 23:42 [No.4080 / 15916]

小さな城下町で、山陰の小京都の異名を持つそうです。
盆地宇宙の典型を見るような、山に囲まれた小さな町で、小京都の風情というよりも鄙びた感じがしましたが、こうした環境で英邁たちが育ったかと思うと、それなりに感慨の深いものがありました。
鷗外記念館のほか、西周の生家、坂崎出羽守や鷗外（森林太郎）の墓などがあります。
hui*_kさん

#05 周防山口 2001/12/21 14:40 [No.4083 / 15916]

中国地方の守護、大内氏は応仁の乱後、義興の時に最盛期を迎えました。
義興は山口を拠点に明や朝鮮と貿易を行ったりして、この地を大いに繁栄させます。
一時期、追放されていた10代将軍・義植を擁して京に上り、将軍に復職させ、自らも管領代になって幕府を左右する実力者になりましたが、後再び山口へ。その際、義興の徳を慕い多くの人々が京都から周防国・山口へ移り住んだということです。
そんなところから、山口は「西の京」もしくは「もうひとつの京」と呼ばれました。一説によれば、義興は山口に天皇や将軍を迎え、日本の首都（遷都）にしよう、という夢を描いたともいわれています。
s11*3_0*さん

#06 北総の小江戸佐原 2001/12/21 14:56 [No.4084 /

15916]

伊能忠敬の町として有名な佐原は、利根川水運の要衝として栄え、「北総の小江戸」の異名を持つそうです。
下総国一宮の香取神宮もこの町にあります。
実は、前から行ってみたいと思いながら、なかなか果たせずにいます。
hui*_kさん

#番外 北のヴェニス 2001/12/21 15:06 [No.4085 / 15916]

アムステルダムがそう呼ばれていました。
ブリュージュに行ったら、ベルギー人が
「ブリュージュは『北のヴェニス』と呼ばれている」と言っていました。
なので、よそにもまだ有りそうです。
hui*_kさん

*07 日向飢肥 2001/12/21 15:47 [No.4086 / 15916]

思っているよりススまないので、自分で投稿。
日南市のここは、伊東氏の城下町です。飢肥城をメインに、小村寿太郎を排出した振徳堂などが残っています。
町ぐるみで町並みを保存するため力をいれていて、なんとなく時間が止まっているような気分になってきます。私が行ったのは、もう15年も前なのですが、たぶんいまもまったく変わっていないはずです。
クイズ パンチ de デートさん

#08 郡上八幡 2001/12/21 16:39 [No.4087 / 15916]

はじめまして、彦左と申します。
美濃の国、郡上郡、八幡。
石高四万八千石、青山氏の城下町。
山村美妙の「小京都殺人事件」の舞台です。
郡上踊りで有名ですが、歴史をひとつ明治維新の際、当初佐幕だったので江戸詰め若い藩士を中心に「凌霜隊」を結成し、幕府の同盟軍として江戸から会津まで

転戦しました。

最後は、飯盛山で、かの「白虎隊」のとなりで戦い、

「白虎隊」は自刃して名を残しましたが、「凌霜隊」は降伏したので名が残りませんでした。

藩はさっさと官軍に乗り換えていたので

彼ら「凌霜隊」は、(藩に対する)

反乱者扱いとなり

故郷に帰ったところ、座敷牢に数年

閉じ込められたと言います。

名前の由来となった、藩士たちの学校。

「凌霜塾」は、

明治の始めに洋風に建直され、

後に国民宿舎になりました。

もしかすると、八幡城の城山の中腹に

今ものこってるかもしれません。

彦左衛門_〇さん

山手線といえば 2001/12/22 16:03 [No.4088 / 15916]

こんなものもあります。

<http://kodansha.cplaza.ne.jp/sexy/yamate/wg-sexy.html>

karachanzy さん

#09 松前。 2001/12/22 18:16 [No.4089 / 15916]

北の小京都。

北海道です。函館から100kmほど離れたところにあります。

松前藩がありました。北海道唯一の藩です。

松前城の桜が綺麗と有名です。

私は中学の修学旅行で訪れました。

5月に行ったのですが「桜の満開は先週でした」という頃でしかも私たちの修学旅行中に、自分の家の方が満開だったという記憶が…。

にざりいさん

#10 但馬出石 2001/12/22 20:52 [No.4090 / 15916]

最初お題を見たとき「20もあるんかい?」と思い、ちょっと

ヤフー検索してみたら・・・

私がアホでした(苦笑)。

ちょうど2年前の今ごろのことです。

友人と4人連れで城崎温泉でカニ・酒・温泉三昧し、解散した後、

せっかくだからと思い立って、寄ってみたのです。

1999年12月30日の朝9時台、豊岡駅発のバスに30分揺られ、

「但馬の小京都」出石にやってきました。

前日雪が降り、寒い日でしたが、

家老屋敷(江戸後期の上級武士の住居。大名行列の諸道具等も展示)、

出石城跡(37の朱の鳥居とお城の対比が美しい。更に上には此隅山城址がある)、

沢庵和尚ゆかりの宗鏡寺、

現在も実際に人々が生活している「町家造り」の家、

桂小五郎の隠れ家(司馬遼太郎の「幕末」にも出てきた記憶が)、船着場のなごりの「おりゅう灯籠」、

と訪ね歩きました。

そして、元は見張櫓で、

現在は時計台になっている「辰鼓楼」に昼過ぎに着いたときには、

「いつの間にこんなにいたんか!!」と思うほどの観光客でにぎわっていました。

名物は「出石そば」。

出石焼の小皿に盛り、一人前五皿から枚数を言って追加します。

「挽きたて、打ちたて、茹きたて」が信条とのこと。

美味かったのですが、「もうちょっとゆでてくれ～」というのが正直な心境。

それでも、年越しそば用にちゃんと買って帰りました。

JR山陰本線豊岡駅下車、全但バスで出石営業所まで約30分です。

ykm6812 さん

#11 肥前(佐賀) 小城 2001/12/23 0:13 [No.4091 /

15916]

小さいお城と書いて「おぎ」といいます。

私の在所です。

超マイナーな小京都ですいません。

地元に住んでいる私ですら、「小京都」と呼んでいるのは商工会議所や観光振興関係の人だけではないかと思うくらいマイナーです。

歴史的には、元寇・文永の役で下総から下向・土着した千葉氏によって栄えたところ です。

室町中期には、朝鮮貿易で財力を誇り一時期は肥前随一の勢力があり、

この千葉氏の支配下で、小城の基盤が形成されました。

その後、千葉家は内紛分裂で衰退、竜造寺家に服属しました。さらにその後竜造寺氏から鍋島氏への政権交代劇にともない、小城も鍋島家の分家の統治下となりました。

以来、佐賀鍋島の小城支藩の城下町として江戸期を通じました。

残念ながら、天守閣のあるお城はありません。(江戸期には、小高い丘に隠居城といった感じの庭園つきの屋形あったらしいですが。今は小城公園。桜の名所。)

歩いてみれば、そこかしこに何とな〜く落ち着いた城下町のような雰囲気があります。ただ、そのような場所がまとまってあるわけではなくて、本当にそこかしこにばらけてあるので知っている人でないと分かんないだろうなあ。

名物は、羊羹です。店によっては、ホントッ!に美味しいお店があります。(但し、かなり前から予約をしないと駄目らしい。地元の私もそこのは3度しか食べたことがありません。)

あと、近くには清水の滝というのがあって、そこで鯉料理が食べられます。無論、お店にもよりますが、美味しいお店は本当に絶品です。(それに、かなり安い。)

地元ネタで申し訳ございませんでした。

http://www.kyokanko.or.jp/shokyoto/sjpn_49.html

ひと君さん

#12 筑前 秋月 2001/12/23 1:34 [No.4092 / 15916]

福岡県甘木市秋月。山あいのこじんまりした城下町です。戦国時代、大友、島津、竜造寺の三強分立の中にあつて、第4勢力ともいふべき力量と独立性をもっていた秋月氏の根拠地・古処山城のあったところです。

私はここが好きで、3度ほど行ったことがあります。現在残っているのは、江戸期の福岡黒田藩から分かれた秋月黒田五万石の城下町です。

城下の通りは桜並木になっていて、小さな清流が沿っています。

石垣や土塀が続く景色には、山里のひそやかな城下町の雰囲気があります。

桜満開の秋月も素晴らしいですが、木々の緑が目染みる季節も清流のせせらぎに心が洗われるようでお勧めです。

秀吉の九州征伐に反抗したため、秋月種実は日向高鍋に移封されますが、そのとき、「たとえ十石でもいいから秋月にとどまりたい・・・」と嘆いたそうです。

古処山を見上げつつ秋月のこじんまりとしたやさしげな自然の中を歩くと、彼がこの小天地をどれほど愛していたかがわかったような気がしました。

若い頃はガソリン代だけでヒーヒー言っていてお金がなかったの、茶屋のおだんご（餅だったかな）は3回とも食べられませんでした。

ひと君さん

↓ # 1 2 秋月 補足 2001/12/23 1:51 [No.4093 / 15916]

無論、秋月は「小京都」のほうです。

ひと君さん

#13 金沢 2001/12/23 13:04 [No.4094 / 15916]

小京都。

2002年のNHK大河ドラマが「利家とまつ」ということで

1年程前に旅行した時にはすでにいたるところでPRされてきました。

兼六園は、けっこう車が通っている道路がすぐそばなのに中に入ると落ち着いた雰囲気よかったです。

有名な「雪吊」（漢字はこれでいいのでしょうか？）も見られました。

私がよく知っている北海道での「雪囲い」とはまたちょっと違いました。

雪の量と雪の重さが違うからなんだろうなと、勝手に一人で納得してましたが。

にざりいさん

#14 遠野 2001/12/23 19:22 [No.4095 / 15916]

柳田國男の「遠野物語」に紹介される、「民話のふるさと」岩手県の「小京都」とうたっているけど、私に言わせれば、「小奈良」です。

一面の田園風景の中、所々に史跡が点在するところは、奈良の飛鳥の雰囲気ですよ。

最近、JR東日本の戦略で、以前にもましてミーハー的な人気が高まっていますが、でも、いいところですよ。

ecc**lerさん

#15 松代 2001/12/24 16:03 [No.4096 / 15916]

どうも、ご無沙汰してました。

ちょっと、ヤフーIDを、取り直したこともあって、若干ニックネームに変更ありますが、六文銭です。

ここは、真田家10万石の城下町。

交通的に言うと、長野新幹線の長野駅からバス、もしくは上信越自動車道の長野ICを降りてすぐという所です。

豊臣秀吉死後の、豊臣方VS徳川方の抗争が本格化する頃、真田家では家名存続のため、真田昌幸の子、信之が徳川方、昌幸と信繁（幸村）が豊臣（石田）方に分かれて、関ヶ原を戦うこととなり、結果的に敗者の側に立った父と弟は、一命を救われ九度山へ蟄居、後に幸村は大坂の陣で戦死となるものの、真田家自体は信之の子孫が、松代城主として、明治維

新までを存続することになります。

松代の町には、現在は城下町時代からの武家屋敷が多く残るとともに、真田家の家宝を集めた真田宝物館、松代藩士で、幕末としては卓越した開明思想を持った、佐久間象山の資料館、そして近代史の遺跡として、太平洋戦争末期に、大本営や皇居の移転を図った地下壕跡、さらに足を伸ばせば、武田信玄と上杉謙信が5度刀を交えた、川中島古戦場跡もあり、歴史ファンには1日かけても興味を満たせ切れない地だと思います。

六文銭さん

#16 湯河原 2001/12/25 10:15 [No.4097 / 15916]

さがみの小京都、湯河原。

でも、行ってみると特に京都に町並みが似ていることはありません。

強いて言えば、貴船に似ているか！？

京都の仙洞御所に敷き詰められる石の産地ということ、また、万葉集で詠まれたり、多くの文人が逗留したことが小京都と呼ばれる（名乗っている？）理由のようです。

私は今年の夏にはじめて行きましたが、静かでいいところですよ。美術館もお勧めです。

でも個人的に吃驚したのは、帰りがけ、刺青をしたカップルが海岸を歩いていて、その女のほうが申し訳程度の布でできたビキニを着ていたことでした。目を奪われて、危うく前の車にぶつかることでした。

クイズ パンチ de デートさん

#17 栃木 2001/12/25 11:02 [No.4098 / 15916]

蔵の町として知られる栃木市も小江戸と呼ばれるそうです。この町は掘割も残されているそうですが、確か江戸時代にもこの辺りまでは水路が通じていたような...

行ったことがないので、これ以上はなにも言えません。

最近、自動車の「栃木」ナンバーが南北で分かれて、北は「宇都宮」、南は「とちぎ」になりました。

県名と県庁所在地とが異なると、面倒なこともありますね。廃藩置県の際に、栃木県と宇都宮県が合併する際に、県名と

県庁所在地とを分け合う形になったからだそうです。

hui*_k さん

#18 彦根 2001/12/25 14:24 [No.4099 / 15916]

井伊家三十五万石の彦根も「小江戸」の異名を持つそうです。この町では井伊直弼も石田三成も名君。

歴史の豊富な街だけあって、ホームページは盛りだくさんです。

<http://www.city.hikone.shiga.jp/>

盛りだくさんすぎて、どこを見れば良いのか分かり難いくらいです。

10年ほど前に駅からお城まで歩いて往復したきりです。

hui*_k さん

#19 笠間 2001/12/25 15:07 [No.4100 / 15916]

栃木県にあるこの町は、交通もあまり発達していないせいか（電車はある）、なんとなく時代に背を向けた雰囲気。でもそれがイイ感じで、稲荷神社周辺に陶器の店が並び、茶わんを眺めながら歩いているとなんとか落ち着いてきます。

益子とセットで焼き物めぐりをするとか、水戸にいったついでに寄ってみることをお勧めします。悪く無いですよ。

クイズ パンチ de デートさん

笠間... 補足 2001/12/25 16:34 [No.4101 / 15916]

笠間市があるのは栃木県ではありません。

茨城県です。

笠間から一山越えた場所にある益子は栃木県になります。

kintaro2 さん

失礼しました、 2001/12/25 16:37 [No.4102 / 15916]

どうも益子とごっちゃになっていたようです、記憶だけに頼ってはいけないと反省しました。

クイズ パンチ de デートさん

#20 足利 2001/12/25 18:37 [No.4103 / 15916]

八幡太郎義家の子孫が土着し源氏の名門・足利氏を生んだ土

地、足利は「東の京都」と呼ばれています（ということは元祖・東京か？）。

有名な史跡として、日本最古の学校といわれる足利学校があります。

森高千里の歌で有名な渡良瀬川が流れているのもここ。

s11*3_0*さん

お題 歴史／時代物に登場する架空の人物 2001/12/25 18:39 [No.4104 / 15916]

以前、フィクションに登場した「実在のヒーロー」というお題がありましたが、その逆をいかせていただきます。

歴史物／時代物に登場した「架空の人物」を20人挙げてください（世界史でも可。主役でなくても可）。

出典は、歴史／時代小説、古典文学、演劇（歌舞伎・大衆演劇等）、映画／テレビ番組、マンガ／アニメなどいずれもOKです。

時代がはっきりしていれば、その時代背景、絡みのある実在の人物等にも触れていただければ幸いです。

#00 ゴルゴ13

通称デューク東郷。出自、年齢、本名等すべて謎に包まれた無敵のスナイパーで、現代史の中で起こった様々な出来事の背後にこの人あり（?）。絡みのあった実在の人物は、モロトフ（元ソ連外相）、毛沢東、レーガン、パーレビ、カストロ、カダフィ、フセイン、クリントンなど多数。

s11*3_0*さん

#01 座頭の市 2001/12/25 19:02 [No.4105 / 15916]

勝新太郎の当り役だった座頭市は、敵役の「ども安」や「平出酒造（みき）」にはモデルがいるものの、座頭市自体は子母沢寛の創作のようです。

市は盲目、ども安は吃音、平出は肺病、と今では問題があり過ぎて作れないような設定でしたが、それゆえ哀愁も帯びていて面白いものでした。

同じようなお題を考えていたのですが、完全に架空の人物というとなかなか難しいものですね。

hui*_k さん

#02 鞍馬天狗 2001/12/25 19:13 [No.4106 / 15916]

大佛次郎の鞍馬天狗（といっても、私は読んだこと無く、ドラマか映画しか知りませんが）は勤皇の志士として活躍しますが、能に牛若丸に兵法を教える鞍馬天狗というのがあり、大佛次郎は、モデルは義経としているのでしょうか!？（神出鬼没だから・・・て、根拠なし）

随分むかし、草刈正男（字合ってる?）の主演でテレビドラマになったの覚えてますけど、土方役の細川俊之がやけに似合ってたねえ。杉作の伊藤つかさはすっかりおばさんになってしまいました。

ぼちぼちでんな～さん

#02 銭形平次 2001/12/25 19:13 [No.4107 / 15916]

野村胡堂は、岡本綺堂の「H捕物帳」のようなものと、文芸春秋社から依頼され、水滸伝の中の石投げの名人をもとに、平次親分というキャラクターを作り上げます。

「銭形」の名は、雑誌の広告にあった「銭高組」の名と社章から考えたそうです。

こちらは、大川橋蔵さんのはまり役でした。

「親分大変だあ」と走ってくる、子分の「ガラッハ」は、原作では「馬面」となっているそうですが、ドラマでは丸顔の噺家が演じていました。

hui*_k さん

↓#03 です 2001/12/25 19:14 [No.4108 / 15916]

失礼しました。

hui*_k さん

#04 ジャン・バルジャン 2001/12/25 19:59 [No.4109 / 15916]

「レ・ミゼラブル」の前半の主人公。

中学だか、小学校の教科書に、

銀の燭台となんたら司教とからんだ

人情話が有名。

本編は、ナポレオン戦役のあたりから

第二コミューン（だったっけ）ぐらいを

時代背景に、

前科を隠して、ブルジョワに上り詰める男と、

その養女の恋物語。

長くて長くて、読み通すのに大変だった。

彦左衛門_0さん

#05 ゴロ 2001/12/25 20:07 [No.4110 / 15916]

「快傑ゴロ」

スペイン植民地時代のカリフォルニアが舞台。

総督と軍隊の圧政に悩む人たちを、

鞭と剣で救う男「快傑ゴロ」

しかして、その正体は、スペイン貴族ドン・、、、

あれ？なんだったっけ？

白黒テレビの連続ドラマだったけど

そのころは、時代背景もなにもわからなかったなあ。

彦左衛門_0さん

#06 常陸坊海尊 2001/12/25 20:19 [No.4111 / 15916]

「義経記」によると、源義経の腹心には二人の法師武者がいます。有名なのは武蔵坊弁慶、これは伝説的になりすぎているが実在したと思われるので除外。

もう一人の常陸坊海尊は義経都落ちの時、弁慶とともに海戦で活躍し落ち目の義経を見限ることもなく一緒に奥州への逃避行…

ところが衣川の戦いの時、義経を守るために戦ったのは僅かに8人。その中に常陸坊の姿はありませんでした。敵前逃亡だったのです。

常陸坊は贖罪のため、仙人になって流浪したという伝説を残し義経の一生を語り伝えたとか。

toshy.y.takahashi さん

#07 佐武と市 2001/12/25 20:42 [No.4112 / 15916]

石ノ森章太郎のアニメに登場します。

ryoanpaku_69 さん

#08 寝待の藤兵衛 2001/12/25 20:58 [No.4113 / 15916]

司馬遼太郎の「竜馬が行く」より

若き日の竜馬が、江戸へ剣術修行の道中、家来とする泥棒です。

調べたわけじゃありませんが、まさか実在の人物とも思えませんので

でも、竜馬の配下に、モデルとなるような人物はいたのかな？

ecc**ler さん

#09 机竜之介 2001/12/25 21:27 [No.4114 / 15916]

「大菩薩峠」

日本屈指のピカレスクロマン、、とかいって、、、

読んだことないッス。

別件で調べて見たら、幕末の話なんですね。

追い剥ぎみたいにして登場するから、戦国時代あたりかなあ、と漠然と思ってました。

新撰組と絡むらしいですね。

#08「竜馬がゆく」の架空の人物と言えば、「福岡のお田鶴さま」。しばらく実在の人物だと思ってました。

b_blue_hearts さん

#10 オスカル・フランソワ・ド・ジャルジェ 2001/12/25 21:51 [No.4115 / 15916]

オスカルです。

ベルばらです。

あと

父 ジャルジェ伯将軍

夫 アンドレ・グランディエ

ロザリー・ラ・モリエール

ジャンヌ・パロワ

ベルナール・シャトレ

ポリニャック伯夫人

アラン・ド・ソワソン

ジェローデル

↑この辺はみんな架空の人物です。

↓この辺は実在します。

ルイ16世

王后マリー・アントワネット

ハンス・アクセル・フォン・フェルゼン

オルレアン公

マクシミリアン・マリー・イジドル・ド・ロベスピエール

ナポレオン（『ベルばら』ではちょい役。ていうか、一通行人）

spat さん

#11 柳沢兵庫 2001/12/25 22:02 [No.4116 / 15916]

南条範夫作「元禄太平記」に出て来た人物。柳沢吉保の甥で、世を捨てた変わり者・・・と言う設定で、今談話室で話題になってる大河ドラマでは若き日の竹脇無我が演じておりました。（当時、私は彼の大ファンでした）

堀部安兵衛と意気投合、敢えてお上に抗おうとする赤穂浪士にも共感して色々協力していました。

ところでSPAT1997さん。出て来ると思いました、オスカル様。それにしても、良くご存知ですね、登場人物・・・。もしかして、ファンでした？

wak*k*97 さん

兵庫お… 2001/12/25 22:17 [No.4117 / 15916]

実は、大河ドラマの話が出ていたので、架空の人物として最初に浮かんだのが柳沢兵庫です。

NHKのドラマでは竹脇無我さんが演じて、当時から評判になっていましたが、ともすれば政治の話に偏りがちなところに、庶民的な風景を描き出すのに一役買っていました。

大河ドラマ論とも関係の深いキャラクターだと思っていました。

ちょっとマイナーかなと思っていたので、ネタが減った頃にでも出そうと思っていたのに…

hui*_k さん

1 2 鬼麿 2001/12/25 22:30 [No.4118 / 15916]

隆慶一郎の小説鬼麿斬人剣の主人公です。

新々刀期最高の刀匠清源麿の弟子、師匠の遺言で清麿の打った数打ち（量産品）の刀を折る旅にでた。

man*b*y2000 さん

番外 ガダルーペ 2001/12/25 22:59 [No.4119 / 15916]

昔、NHKの人形劇に「紅孔雀」と言うのがありました。歴史物か？と問われると、実はあんまりはっきりお話を覚えていないもので・・・。

それで何で番外とは言え、出させて頂いたかと言うと、このガダルーペと言う女性の恋人がクォテモックと言う青年で、この名前はスペイン人に滅ぼされたアステカ王国最後の王の名前なのです。

スペイン人が侵入して来た時、煮え切らない態度を取ったが為に人質同然となったモクテスマ2世を見限った人々を選出したのがその甥にあたるクォテモックだったと言う事です。

尤もこの「紅孔雀」の中での彼の役割は全然覚えていないのですが・・・ちょっと珍しいかな、と思ったのでその恋人が空想上の人物、と言う事を出させて頂きました。

wak*k*97 さん

#13 音羽の半右衛門 2001/12/25 23:17 [No.4120 / 15916]

池波正太郎『仕掛人 藤枝梅安』の一連の作品に登場する香具師の大立物、裏では「生かしておいては、世のため人の為にならない子ども」を始末する仕掛人を束ねる元締でもある。

梅安が最も信頼をよせる元締の1人。

梅安や相棒の彦次郎も好いのですが、名前の響きがよいこの方に出てもらいました。

さて梅安らが活躍する時代は江戸時代も後期になるのでしょうか、経済的にも困窮した武士や羽振りをきかせる商人も結構出てきますし、江戸のあちこちにうまいものを出してくれる店もでているようです。実在の人物との絡みが

作品にあったかどうかは

憶えていませんが・・・

sakisaki さん

#14 赤胴鈴之助♪ 2001/12/26 1:21 [No.4121 / 15916]

「ちょございな小僧め！名を、名を名乗れいっ！」

「赤胴鈴之助だっ！」

私が小学生のときにアニメやってみました。（たぶん再放送）鈴之助君は確か、北辰一刀流の千葉周作の門人だったような記憶があります。

そういえば千葉周作先生の娘さんが「さな子」という名前だったような気がします。（いとこ同士で同じ名前とは、なんと安易なネーミングか。）

勤皇・佐幕とかがやかましくなる時代以前の設定らしくて、鬼面党という謎の団体とチャンバラごっこをやっていました。昔の漫画なので、お決まりの無茶な必殺技もちゃ〜んとありましたなあ。

「真空斬り」でしたっけ・・・

ライバル達もライバル達で、仕掛けられた無茶な技に無茶な返し技で応じていたような・・・

何せ昔のことなのでなので、よく覚えていないのですが、近代兵器の類も出たりして回を重ねるごとにハチャメチャになっていったような記憶があります。

ひと君さん

15 木枯らし紋次郎 2001/12/26 2:09 [No.4122 / 15916]

「あっしには関わりがねえ事でござんす」という有名な台詞と異様に長い爪楊枝がトレードマークでした。

上州新田郡三日月村（だったはず??）出身の渡世人です。笹沢佐保先生の代表作の一つです。

演じていたのは中村敦夫（先生）で主題歌を歌っていたのが上条恒彦。

kashitarou_itou_2001 さん、これからもよろしく^^

kintaro2 さん

1 6 シモーヌ 2001/12/26 2:16 [No.4123 / 15916]

アニメ続きですいません・・・

昔、「ラ・セーヌの星」というアニメがありました、その主人公です。

フランス革命前夜のパリが舞台で、

しがない花屋の娘が正義の剣士「ラ・セーヌの星」に扮し、革命活動に身を投じるというお話でした。

主人公シモーヌは、出生後誘拐されたエカチェリーナ2世の娘で、

マリーアントワネットとは実の姉妹だった。

というすごいというか安易な設定でした。

安易といえば、周りの登場人物のネーミングも安易で、花屋に同居している少年の名前も「ダントン」だったりしたっけ・・・

シモーヌの恋人も、あのロベスピエールでした。

結局、革命勃発後、シモーヌは実姉マリーアントワネットの二人の遺児を引き取ってどこへともなく去っていく・・・

というところで最終回だったと思います。

アニメな設定のお話でしたが、

バステューユ、ヴァレンヌ逃亡、ルイ16世とマリーの処刑など、

それなりに歴史上の劇的な場面をちりばめてありました。

処刑のシーンで、髪を乱したマリーが見せた毅然としつつも哀しみに満ちた表情。

子供心にも何事かを感じるところがあったことを覚えています。

ひと君さん

#17 猿飛佐助 2001/12/26 2:33 [No.4124 / 15916]

甲賀流の忍者、真田十勇士の主役。

戸沢白雲齋に忍術を学び、真田幸村に仕える。

大坂夏の陣で戦死。

旅回りの講釈師・玉田玉秀齋の創作。

立川文庫から1913年に刊行され、大衆に定着した。

西遊記の孫悟空にヒントを得たものだそうです。

池波正太郎「真田太平記」では、幸村の近習・向井佐平次の

息子、
向井佐助として登場します。

ykm6812 さん

#18 お通 2001/12/26 9:36 [No.4125 / 15916]

宮本武蔵の恋人、として登場します。

実在はしていないと聞いています。

でもあまりにも有名で、武蔵を題材にした時代劇には大抵登場しているような？

それは原作が同じだから？

創作だとすると、違う原作の時は使えませんか。

武蔵の恋人として「お通」以外の人物が登場することもあるということですね。

詳しくないのに、すみません。

にぎりいさん

御礼「小京都」 2001/12/26 9:55 [No.4126 / 15916]

御投稿ありがとうございました。

私は、けっこうあっさりクリアしてしまうと（時間的に早く）考えていたんですが、意外と時間がかかりました。

出ていないもので代表的な町は、

萩（山口）、弘前（青森）、備中高梁（岡山）、尾道（広島）、ほか、沢山ありますよ。

近くに行くことがありましたら、一度訪問してみてください。期待を裏切られることもあります、その地方の雰囲気を知るには格好です。

クイズ パンチ de デートさん

#19 伏姫 2001/12/26 10:01 [No.4127 / 15916]

南総里見八犬伝に登場、犬の八房（やつふさって字あってます？）とともに八犬士の持っている珠を産みます。（記憶だけで書いているので間違っているかも）

千葉県には伏姫の籠り穴というのが実存します。（創作なのに！？）

クイズ パンチ de デートさん

#20 七里研之助 並びに御礼 2001/12/26 10:43 [No.4128 / 15916]

司馬遼太郎「燃えよ剣」に登場する架空の剣豪。

主人公・土方歳三とは多摩の「バラ餓鬼」時代からの宿敵であり、恋敵でもあります。

勤王方に身を投じて京に赴き、新選組副長となった土方をつけ狙いますが、激闘の末、結局は斬られます。

昔、栗塚旭さんの映画版「燃えよ剣」では、今は亡き名悪役、内田良平さんが扮しており、とても凄みのある七里を演じていました。

さて皆さん、お題への投稿ありがとうございました。それにしても、一晩で#19まで進み、この盛り上がり、出題者としてはうれしい限りです。感謝、感謝。

s11*3_0*さん

#番外 光源氏 2001/12/26 10:48 [No.4129 / 15916]

エラく早いペースで驚きました。

折角考えたので、番外で挙げときます。

日本史上最大の架空の人物といえば、

やはりこの人ではないでしょうか。

プレイボーイというイメージには異論があるようですが、

モテモテであったことは確かです。

読まなきゃ読まなきゃと思いつつも……

今回、こんなカンニングサイトを見つけました。

<http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Cinema/5784/50onjun.html>

丹下左膳と丹下段平が並んでいたりします。

hui*_k さん

お題【ボーンヘッドな主君 20選】 2001/12/26 10:49 [No.4130 / 15916]

「ボーンヘッド」とは、マヌケ、おバカくらいに考えて下さい。

日本史世界史どちらでも構いません。

複数の部下を率いる立場の歴史上の人物の中で、その暗愚さや能力不足で知られる人、失言や失態など、ボーンヘッドなエピソードのある人、あるいは一種の狂疾を持っていた人などを20人挙げて下さい。

#00 浅野内匠頭

多分に潤色され、実像はあまり知られていませんが、要は、キレちゃって家臣を路頭に迷わしたんだから、見方によってはおバカと言って良いと思います。

hui*_k さん

#01 近藤勇 2001/12/26 11:21 [No.4131 / 15916]

この時期、あまり仕事がなくなってくるので、つついこのトピ見ちゃうなあ。

近藤勇、甲州へ向かう途中、地元出身だからって行く先々で歓迎会、便所で用を足しながら外を見てたら、決戦するはずの官軍が江戸へ向かい通過していった……びっくりした近藤は、尿道炎になってしまったという話ですが、本当かな。クイズ パンチ de デートさん

#02 乃木將軍 2001/12/26 12:55 [No.4132 / 15916]

日露戦争で、旅順攻撃を担当。

140日に及ぶ攻城戦で

無慮数万の日本兵を無策に投入して死傷させた。

児玉源太郎が指揮をかわり

わずか数日で、旅順は落ちた。

それなのに、乃木のみ有名である。

皮肉だなあ。

彦左衛門_0さん

#03 龍造寺隆信 2001/12/26 15:22 [No.4133 / 15916]

1584（天正12）年3月24日、島津・有馬連合軍との島原・沖田畷合戦で戦死した隆信ですが、その最期はあつけないものでした。

3月19日、隆信は有馬晴信攻撃のため、海路大軍を率いて出陣、島原城付近で有馬・島津連合軍と対峙しました。隆信は2万5000の精兵を従え、重臣鍋島直茂に指揮させており、兵力と装備では龍造寺方が圧倒的に優勢でした。隆信は肥満のため馬に乗れず、駕籠で移動していましたが、交戦するうち、島津方の川上忠堅が隆信の近くに迫りました。ところが、味方の喧嘩と勘違いした隆信は、こともあろうに「今は争うときにあらず。龍造寺隆信ここにあり」と叫んでしまったのです。これを聞いて川上は勇躍、隆信の首を討ち取ってしまいました。以後、龍造寺氏の肥前で勢力は後退、家も直茂の「乗っ取り」に遭ってしまったわけですから、悔やみきれないボーンヘッドでした。

ykm6812さん

#04 源頼家 2001/12/26 18:11 [No.4134 / 15916]
鎌倉の二代目は暴れん坊。源平合戦の時代なら大活躍したと思われるが、生まれてきた時代が遅かった。母の実家北条氏の専横を嫌い、比企一族（乳母の家・妻の実家）や側近梶原景時を重要視した。しかし御家人の反発にあうと政治を放り出し、同世代の若い御家人を集めて遊びまわっていたという。鎌倉の先行きを不安に思った北条一族により伊豆に幽閉され、のちに暗殺された。比企一族も全滅の憂き目に。…政治がわからないのは20そこそこの若者だから仕方ない。しかし将軍であることを自覚し、御家人13人衆の意見に耳を傾け、名君であろうと努力していれば歴史は変わったと思うのだが。

toshy.y.takahashiさん

#05 織田信長 2001/12/26 19:20 [No.4135 / 15916]
本能寺の変では、わずかに百名足らずの共のものしかつれおらず、明智光秀の謀反の前にひとたまりもありませんでした。

信長は大変猜疑心が強いのですが、変なところ自信過剰な面がありますね。浅井長政の時も裏切るなんてまったく考えていませんでした。

ryozanpaku_69さん

#6 帝辛（紂王） 2001/12/26 19:28 [No.4136 / 15916]
ご存知中国の元祖暴君。殷王朝最後の王。『史記』によれば天性能弁で、力は素手で猛獣を倒すほど強く、悪知恵があり悪事を善事と言い飾ることができ、天下で俺に勝る者はないと驕り高ぶり酒をおぼれるほど呑んだ。重い税金を課して財貨を集め、酒を注いで池をつくり肉をぶら下げて林として裸の男女をその間に走らせ長夜の宴を行う、言うことをきかない諸侯は捕まえて処刑してしまう・・・その後は周の武王に滅ぼされるのだけど、この王さまについて『韓非子』に面白い話が載っている。・・・紂王は連日長夜の宴にふけり、日付を忘れてしまった。側の者に尋ねても誰も分からない。そこで人を遣わして賢臣の箕子に尋ねさせた。箕子は身内の者に言った。「天下の主となりながら、今日の日付を忘れるのでは、天下は危ういことだ。国中の者が誰も知らないのに自分だけが知っているのでは、わが身は危ういことだ」そこで「酔っぱらってわたくしめも存じません」と言って断った。正論を吐けばかえってわが身が危ういというのは、時代をこえて普遍的な現象なのかも・・・

sakisakiさん

#07 武烈天皇 2001/12/26 22:15 [No.4137 / 15916]
第25代天皇。妊婦の腹を裂いたとか、爪を抜いた人に素手で芋を掘らせたとか・・・どっかで聞いたような悪逆の限りを尽くした挙げ句、跡取りも残さないで崩御されちゃったようです。その次の継体天皇が実は応神6世の孫、なんてのは真っ赤な嘘で、皇位を篡奪した為、その前の天皇を殊更悪く書いたのではないか・・・と言う話ですが。

でも仮りにも「応神6世の孫」とした訳だし、後に武烈天皇の娘の手白髪皇女を娶ってるんだからそんな必要もない気がするのですが・・・わざわざ天皇家の恥になるような話を何故残したものか、ちょっと判りかねますね。

wak*k*97さん

#08 劉禪 2001/12/26 23:49 [No.4138 / 15916]
蜀漢初代皇帝・劉備玄徳の嫡子で、2世皇帝ですが、父親の気質を全く受け継がなかったようで、彼の幼名「阿斗」が、暗愚な君主の代名詞となるほどだったそうです。記憶が正しければ・・・劉禪は、蜀漢滅亡後は魏の洛陽に連行され、邸宅を与えられ住んでいた。ある日、魏の高官が彼に「お国が懐かしいでしょう」と問い掛けたところ、「ここはとても住み心地が良いので、特に懐かしいとも思いません」と答えた。その高官は、「こんな男が君主だったとは、地下に眠る蜀の先達たちも浮かばれまい」と思ったとのこと。

ykm6812さん

#09 平宗盛 2001/12/27 17:16 [No.4139 / 15916]
平氏が滅んだ時の当主。しかし政治的能力も軍事的能力もなく、弟の知盛と重盛にすべてを任せていただけであつたらしい。壇ノ浦の戦いでは、入水するに出来ず波の間でアップアップしているところを源氏側の武者に捕まり（救われ？）、源氏も苦笑している。安徳天皇や平氏の女官たちなど、戦争に巻き込まれた女性子供の悲劇を描き涙を誘う壇ノ浦だが、宗盛の無様な姿だけは滑稽であつた。

toshy.y.takahashiさん

#10 齋藤龍興 2001/12/27 18:05 [No.4140 / 15916]

暗愚の代名詞のように言われる大名、実際はそれほどバカではなかったという説もありますが、やはり竹中半兵衛に城を乗っ取られたのは恥ずかしいでしょう。

家臣がつぎつぎ離反している事実も考えますと、本人に魅力があまりなかった証拠とも考えています。

クイズ パンチ de デートさん

#11 豊臣秀次 2001/12/27 21:59 [No.4141 / 15916]

以前、「評価が分かれる人物」でも取り上げたとおり、

「実は結構有能だった」とも評される場合がありますが、ここは一般論の「オバカさん」で

実際、せっかく、関白の地位をもらっても、まともな業績を残していないのだから、ねえ。

かわいそうな人物だとは思いますが。

秀吉にもっと早く実子（それもそこそこ優秀な）が生まれていれば、「身の程」をわきまえて、「そこそこな親族」として、当時も現代も批判にさらされることも少なかったかも知れませんね。

もちろん、「身の程」をわきまえていた場合の仮定ですけど

ecc**ler さん

#番外 仮面ライダーアギトの黒青年 2001/12/27 22:05

[No.4142 / 15916]

特撮ものの「悪の首領」って、皆さん当てはまるような気がします(^_^)

一番新しいところで（最近、結構はまってます）

先週の放送で、アギトの力を全て飲み込んだはずなのに、たかが人間に殴られた程度で、全部逃がしてしまうとは…

そして、結局自分一人逃げているし、オイオイ

それにしても、この人の目的って一体？

ecc**ler さん

#番外 バカ殿 2001/12/28 11:23 [No.4143 / 15916]

ご存知、志村けんの白塗りコント。

『全員集合』崩壊後の1986年4月に『月曜ドラマランド』

の1作として第1回目が放送されました。

もともとはドリフ大爆笑のバカ殿コントをドラマ化したもので、ドラマランド終了後は完全なお笑いバラエティ番組となりました。

ほんとのバカは 家臣のあの人 だったりする。

この家臣のTであるが、検索でみつかったサイトごとに、「側用人」「御用人」「家臣」「侍」などとなっており、いまひとつよくわからない。

きっと、制作側も、役職なんてどうでもいいんだろうな。

もう、バカ侍の復帰はありません。

spat さん

#番外 『風雲たけし城』のたけし 2001/12/28 11:27

[No.4144 / 15916]

『風雲たけし城』ってありましたね。

あの殿は、なんであんな城作って、あんなゲームしてたんでしょう。

『風雲たけし城』のたけし 氏。

この、『風雲たけし城』の」を除いても、バカ殿だというウワサもありますが、

結論はみなさんにゆだねます。

spat さん

#12 加藤明成 2001/12/28 13:47 [No.4145 / 15916]

以前「逃げた人、隠れた人」で投稿させていただいた堀主水の主君。

賤ヶ岳七本槍で有名な秀吉子飼いの加藤嘉明の息子で、父親の後を継いで会津40万石の領主となりました。

高名な父親とは異なり、藩政を省みず一分金を貯め込むことに熱中するような暗君だったため“加藤一分殿”などと陰口を叩かれていました。

いくら諫言をしても聞き入れないため、キレた家老の堀主水が出奔する時、行きがけの駄賃に城に向かって発砲したことに対し激怒。

会津40万石と引き替えにしてでも主水の身柄を引き渡すよう幕府に嘆願。願ひ通り主水は捕らえられ、明成よって一

族諸共惨殺されました。

そして明成も約束通り改易させられ、40万石を召し上げられたのです。

ちなみにあるサイトで発見した「大馬鹿大名ベスト5」（この場合、ワースト5とすべきなのだけど）では第1位に挙げられていました。

s11*3_0*さん

#13 朝倉義景 2001/12/28 14:21 [No.4146 / 15916]

これぞっていうエピソードが無いけど、信長包囲網を勝手に撤退して武田信玄に怒られたり、金ヶ崎の有名な信長の脱出劇なども、うまくやっていたら違う展開があったと思う。

軍事面はほとんど家臣に任せていたみたいだし、貴族化してぜい弱になった典型の大名でしょう。

クイズ パンチ de デートさん

番外 野村克也 2001/12/28 14:24 [No.4147 / 15916]

奥さんが原因で2回も監督を辞めているのは、本当は頭悪いのではないかと疑ってしまう。

クイズ パンチ de デートさん

#14 ルートヴィヒ二世 2001/12/28 15:54 [No.4148 / 15916]

バイエルン王ルートヴィヒは、若い頃は大変な美男子でしたが、ワグナーの「ローエングリン」を見て感激し、自分こそがまさに白鳥の騎士ローエングリンであると思い込み、ザクセン蜂起に連座して逃げていたワグナーを捜させて庇護し、その後、自分のために白鳥の城ノイシュヴァンシュタイン城を建て、次々に散財したため、退位させられ幽閉されて、まもなく湖で謎の水死を遂げます（暗殺されたと言われています）。

世に狂王ルートヴィヒと揶揄されるものの、その実像はいまだに杳として掴めていません。

ちなみに、死ぬ間際には、美食が崇って丸丸と太ったオジサンになっていたそうです。

hui*_k さん

#15 足利義政 2001/12/28 16:05 [No.4149 / 15916]

室町幕府八代将軍。

それなりの文化人将軍なのでしょうが、自分の趣味に没頭したいがために将軍の位を出家した弟（義親）に押しつけようとしたかと思えば、正妻・日野富子に男子が誕生したら前言を翻したり、とにかく勝手な行動が目立ちます。

この将軍継承問題のゴタゴタが応仁の乱の原因のひとつとなった訳ですが、今度は戦乱で京の民衆が途端の苦しみなめっているのを余所に、山荘の建築などにうつつを抜かしていました。

彼の父親、六代将軍・義隆という人もいろいろ問題があった人でしたが、まだ将軍の権威を持続させた人でした。これ以後の足利将軍家の権威失墜はこの義政に始まるといっていいでしょう。

s11*3_0*さん

#16 牟田口廉也 2001/12/28 18:28 [No.4150 / 15916]

「複数の部下を率いる立場の歴史上の人物」ということで一応OKかな。

昭和の軍人。最終的には、陸軍中将。

陸軍士官学校卒のエリートさんだったんでしょうが、この人のやったことはボンヘッドというより犯罪だったと思います。

1937(昭和12)年7月7日 蘆溝橋事件

大佐で支那駐屯歩兵第1聯隊長だった彼は、恐るべき短絡的判断により中国軍攻撃を指示。

日本は長い戦争の時代へと突入する。

1944(昭和19)年 インパール作戦。

ビルマ方面軍、第15軍司令官だった彼は、兵站上の常識を無視したインパール作戦を「敢行」。

死傷者は七万を数え、将兵の帰還率は一割にもみたなかった。

戦後も自己弁護に明け暮れつつ、生き続ける。

嫌なんだけど、私の同県人なんだよな～。

一般論ですが、どうも佐賀県人には、

自分よりも地位の低いものからの意見・反論に対しすぐに依

怙地になってしまう

狭量で独善的な県民性があります。

牟田口廉也は、その近視眼ともいべき戦略的思考オンチと我が県民性のマイナス面を体現した資質をもって日本史に最大級の害悪をもたらした、我が郷土が「輩出」した最悪の人物でしょう。

詳しくは、ヤフー検索すれば、死ぬほど出てきます。

最近では、NHKの「ドキュメント太平洋戦争・責任なき戦場・インパール作戦」という番組で取り上げられました。

(最近といっても3、4年前だったかな・・・)

ひと君さん

#17 小早川秀秋 2001/12/28 19:29 [No.4151 / 15916]

やっぱり、「豊臣」ファンにとって、この人ほど「につきき凡将」はいないでしょうね。

ねねの甥でありながら、豊臣を(しかも関ヶ原の戦場で)裏切って徳川に見方するんだから。

でも、考えてみれば、「ねね」って、家康びいきだったんだよね。ということは…

なんにしても、この人の戦場での裏切りで西軍総崩れ。

戦術的には見事というしかないのかもしれませんが、「おまえがそんなアホなことせーへんかったら、下手したら家康は関ヶ原で負けてたかも知れへんのや。そないなったら、今ごろ大阪が首都やったかもしれへんのに」

こういう仮定、ありでしょうか？

ecc**lerさん

#番外 バブルに踊った各界指導者 2001/12/28 19:44 [No.4152 / 15916]

大学生だったあの頃、企業経営者・政治家その他問わず、誰もが「うかれポンチ」だったなあ。

歴史から学ばない彼らのボンヘッドが、現在の状況へ帰結したといってもほぼ間違いはないでしょう。

どっかの政党も「消費税を導入しなくても『自然増収』で不足財源はまかなえる」と堂々と恥ずかしげもなく言っていました。

(あのとき私は、かつて「永遠の繁栄」を宣言したアメリカの大統領を思い出してつい笑ってしまいました。)

オランダ史やアメリカ史から少しでも学んでいればこんなことには・・・

といってもあの状況下で冷静なことを言っても却って馬鹿扱いされたかな。

とかいっている私も、絶頂を極めたバブルの最終局面期ごろは、

あまりに永く続く好景気とダンボール4箱分の企業紹介パンフレット、

それに就職活動で体験した企業側の接待攻勢(ホントに派手だった)といった異常現象に感覚が麻痺していました。

そして「歴史上の一局面が永遠に続くことはありえない。どういう形であれ必ず変化が訪れる。」

という当たり前のことを忘れていましたが・・・

(歴史愛好者として浅はかだったなあ)

ひと君さん

#18 石田三成 2001/12/28 20:00 [No.4153 / 15916]

土台19万石の大名で250万石の徳川家康と争うこと自体に無理がある。

関ヶ原では、毛利・島津の心を捉えることができず敗軍の将となりました。

ただ8万の大軍を組織できたのは秀吉の威厳があったとしてもよくやりました。

ryoanpaku_69さん

#19 細川護熙 2001/12/28 20:58 [No.4154 / 15916]

既に「歴史上の人物」と言って良いと思います(苦笑)。

熊本県知事としての実績を引っさげ、1993年日本新党を組織、

自民党羽田派(新生党)、社会党、民社党、社民連などを糾合して非自民連立政権を樹立しました。

「55年体制の崩壊」を象徴付ける出来事でした。

内閣支持率は70%を超えました。

しかし、まだこれからという1994年4月、

東京佐川急便事件で国会で追及され、
あっさりと政権を投げ出してしまいました。

数々のパフォーマンス、選挙制度「改革」、そして「国民福祉税」構想挫折の他は

ほとんど印象を残さないまま、表舞台から去ってしまいました。

まあ、自民党のマスメディアを利用した搦め手からの攻撃に屈した形ですが、

「殿、ご乱心!」という感じでした。

先祖の藤孝公が、関ヶ原の折に居城を西軍の大軍勢に包囲されながら、

機転を利かせて切り抜けたことを少しでも思い出していれば・・・

支持率の高い政治家に対する自民党(抵抗勢力)の、

マスメディア(週刊文春など)を利用したイメージダウン作戦は、

その後も菅直人氏、そして現在の小泉純一郎氏・田中真紀子氏に対して

存分に発揮されています。

ykm6812 さん

#20 細川忠興 2001/12/28 21:42 [No.4155 / 15916]

護熙公のご先祖にもご登場願いましょう。

藤孝の長男で、武将・文化人の忠興。

しかし、少々「イカれた」人だったようです。

妻の玉の美貌が他の男を惹きつけるのを恐れて彼女を「幽閉」、

本能寺の変後には反逆者の娘であるとして本当に幽閉。

彼女がキリシタンに帰依し、

「ガラシャ」となったのを怒って暴力を振るった。

かと思えば、彼女が関ヶ原の折に「自害」したのを知り、嫡男・忠隆の妻を「自分だけ脱出するのはけしからん」と言って離縁させてしまった。

忠隆はいたく悲しみ、細川家を出奔。

黒田家の旧臣・後藤又兵衛を召抱えようとして黒田家と無用の緊張事態を起こした。

大坂の陣の折、次男・興秋は父を見限って大坂方に着いてしまった(戦後誅殺)。

家督を継いだ三男・忠利は、ひたすら父の機嫌を損ねぬよう、賢く立ち回った。

その忠利も、父に先立って 56 歳で逝去(1641 年)、

79 歳の忠興は悲嘆にくれたといひます。

忠利の死の折は、多くの家臣が殉死して哀悼の意を表したが、忠興についてはそのような話は聞いていません。

忠興と同じ年(1645 年)に、肥後藩に寄寓していた宮本武蔵が逝去していますが、

武蔵は自分を召抱えた忠利に恩義は感じていても、

忠興には感じていなかったと思います。

ykm6812 さん

「ボーンヘッドな主君」御礼 2001/12/29 0:09 [No.4157 / 15916]

お疲れ様でした。

こういうテーマだと、どうしても少し意地悪な気分にならなければならなくなるので、それを避けて、表現を柔らかに「ボーンヘッド」として見ましたが、実は何のことはない「バカ殿 20 選」ということでした。

ただ、ボーンヘッドとしたことで、却ってイメージが膨らんだのかもしれませんが、さすがに皆さんバランス良く面白いところを選んできていると感心させられ、勉強させられました。

異論はありまじょうが、他に出る可能性があると考えていたのをざっと挙げると、孝謙女帝、藤原頼長、上杉定正、今川氏真、佐久間信盛、武田カツヨリ、坂崎出羽守、徳川綱吉、稲葉正休、徳川家重、井伊直弼、江藤新平、近衛文麿、ネロ、ジョン王、ハインリッヒ 4 世、ジョージ 3 世、ジョージ 4 世、チェンバレンなどですが、まだまだたくさんいそうですね。

hui*_k さん

新題 : 行く年「へび」にちなむもの 2001/12/29 9:29

[No.4160 / 15916]

行く年「へび」にちなんだ、歴史的な・歴史上の・歴史的由来のある、

人、事件、場所、物語、もの、などなどお答えください。

日本史世界史郷土史 問いません。

名前に「蛇」「巳」がつく。

「巳年」に生まれた、死んだ。

「巳年」の事件。

へびにまつわる、神話や伝説や史実。

へびに関係した風習。

へびに関係した神社仏閣、名所旧跡。

ちなみに行く年、平成 13 年は「辛巳」かのこのへびです。甲子から数えて 18 年目です。

実は 20 回答自身がありません。

もし大晦日の除夜の鐘が鳴り、紅白がおわり、二年参りの人がぞろぞろ動き出し、

「明けまして」とあいさつがはじまったら、この題のタイムリミット・刻限とさせていただきます。

ちなみにちなみに、来る年は「壬午」みずのえのうまです。

spat さん

#01 歌川広重 2001/12/29 10:01 [No.4161 / 15916]

(1797~1858) 巳年生まれです。

安藤氏。幼名徳太郎、後に重右衛門。安藤家は幕府定火消同心で江戸八代州河岸に住んだ。

歌川豊広に入門し、当初、人物・役者絵を発表するが、天保 4 年から翌年にかけて保永堂から刊行した

「東海道五十三次之内 (保永堂版)」が大ベストセラーになり、一躍人気絵師となった。江戸を中心として名所絵を多く発表するが、花鳥画にも佳作が多い。

ryozanpaku_69 さん

#番外 へび〜級 2001/12/29 10:02 [No.4162 / 15916]

ボクシングには、現在体重別に 17 階級があるそうです。

今の階級制が生まれたのは十八世紀のイギリス。
当時はライト級とヘビー級の2階級だけ。
十九世紀後半にバンタム級からヘビー級の7階級になり、
今世紀に入ってフライ級、
さらに70～80年代に各階級間にジュニアクラスが続々と生まれた。

80年代後半に、ジュニアフライ級の下にストロー級、
ミドル級の上にスーパーミドル級が新設され、
いまでは17階級に区分されている。
へび〜級というのは、
86・00キロ以上=190ポンド以上なのだそうです。
spatさん

#番外 南井 克巳 2001/12/29 10:23 [No.4163 / 15916]
南井 克巳 (みない・かつみ)
1953年1月17生 へび年生まれ
元騎手、現調教師
へび年ゆえか、ジャ(蛇)パンカップに2回優勝しています。
ryozanpaku_69さん

#02 道成寺 2001/12/29 10:25 [No.4164 / 15916]
安珍と清姫のお話。
いくつか話を聞いたことがあるのですがまあこんな感じですね。
安珍に恋焦がれた清姫が、去っていく安珍を追いかけるうちに蛇に変貌し
恐れをなした安珍は道成寺に逃げ込み、鐘の中に隠してもらったが
それを察知した清姫がその蛇体で鐘を巻き込み
怒りの(?嫉妬の?)炎で鐘ごと安珍を焼き殺してしまったという。
その後日談が日本舞踊の一連の道成寺ものです。
にぎりいさん

#03 水神 2001/12/29 11:16 [No.4165 / 15916]
記憶と、半ば想像とで書いてしまいましたが、かつて山あいの

狭い谷地を耕作して米を作ってきた日本民族にとって、曲がりくねった谷川や谷そのものを蛇に見立て、その上流の水源部に水神さまを祭ることが多かったそうです。
それはときとして暴れ川となり災害を招くために大蛇にもなぞらえられ、恐れられながらも、水の恵みをもたらす有り難いものとして崇められたそうです。

hui*_kさん

#04 乙巳の変 2001/12/29 12:20 [No.4166 / 15916]
巳年の事件として、真っ先に思いついたのがこれです。
いっしのへん。
645(乙巳の年)6月、中大兄皇子が中臣鎌足らと謀り、飛鳥板蓋宮で蘇我入鹿を暗殺し、
次いで父蝦夷を自尽させ、権力を奪取した政変。
その結果、孝徳天皇が即位し、東国国司派遣等の政治改革が行われた。
日本書紀の叙述する大化改新の政治過程を資料批判する視点から、
蝦夷・蘇我入鹿討滅事件を大化改新と区別して評価するために作られた用語だそうです。
ykm6812さん

#番外 ホワイトスネイク 2001/12/29 12:25 [No.4167 / 15916]
80年代後半は、このロックグループの曲をよく聴きました。
ㄥ Here I go again ㄥ Is this love ㄥが懐かしいです。
ykm6812さん

#05 常山の蛇 2001/12/29 12:27 [No.4168 / 15916]
古代中国の兵法書「孫子」に出てくる言葉です。
善く兵を用いる者は、例えば率然の如し。
率然とは常山の蛇なり。
その頭をうてば尾にいたり、その尾をうてば頭にいたり、その中をうてば首尾ともにいたる。(第十一編 九地)
という一節ですが、具体的な一戦術を述べたものではなく、戦術を組み立てる基礎となる思考そのものあり方を述べた

ものだと思います。
硬直したの固定観念にとらわれない柔軟性、
状況の変化に変幻自在に即応できる、「無窮の主体性」とも表現すべき臨機応変の重要性といったところでしょうか。
ひと君さん

#番外 スネークモンキー・蛇拳 2001/12/29 12:31 [No.4169 / 15916]
ジャッキー・チェンお得意の拳法。
肘と手首をそれぞれ直角に曲げて蛇に見立て、関節を柔らかく使って敵に痛撃を食らわせる。
よくマネしたものでした・・・
ykm6812さん

↓訂正 2001/12/29 12:32 [No.4170 / 15916]
善く兵を用いる者は、例えば率然の如し。
率然とは常山の蛇なり。
その頭をうてば尾にいたり、その尾をうてば頭にいたり、その中をうてば首尾ともにいたる。(第十一編 九地)
「尾にいたり」の「に」が間違いでした。
（「に」をつけてしまうとぜんぜん文意が違ってしまう・・・）
ひと君さん

#番外 白蛇抄 2001/12/29 12:36 [No.4171 / 15916]
小柳ルミ子初の主演映画。共演は杉本哲太。
主役よりも、脇役の仙道敦子がかワイイ・・・
ykm6812さん

#06 八岐大蛇 2001/12/29 12:46 [No.4172 / 15916]
蛇・・・と言うと一番最初に思い出したのがこれですね。ご存知、須佐之男命が退治した怪物です。
出雲の地で、美女を人身御供に要求していた邪悪な存在・・・となっていますが、人によっては水害をもたらす川を表したものだ、と言う見方もあるようです。
悪にせよ、善にせよ、水の神と言う発想は多いようです。
wak*k*97さん

#番外 蛇女 (by うめずかずお) 2001/12/29 13:01 [No.4173 / 15916]

いつか忘れたが昔、そんな題名(あるいは内容)の漫画を読んだ記憶がある。怖かった。

他に、「骨なし女」とかもあったなあ……(小学生のとき相当びびった。)

同名の映画があるらしいですが、そちらの方はよく知りません。

ひと君さん

#番外 ヘビ〜メタル 2001/12/29 13:25 [No.4174 / 15916]

ヘビーメタル【heavy metal】

ロック音楽のスタイルの一。

電子装置による金属音と重いビートを特徴とする。

先程書いたホワイトスネイクとヘビ〜メタルとの関係……『ホワイトスネイクの残したものは、ヘヴィメタルしか知らない

80年代リアルタイム世代に、

70年代以前の本物のハードロック・テイストを伝えたという意味でたいへん貴重だ。

言い換えれば、ヘヴィ・メタルのルーツであるハードロックが、

ブルースとロックとの結びつきの中から生まれてきたことを、身をもって体現し、

本物の素晴らしさを教えてくれた大人のロッカー集団が

ホワイトスネイクと言えよう。』

なのだそうです。

<http://www.pure.cc/~hine/rock-3/whitesnake.html>

そんなことも知らずただ聴いていた昔の日々……

ちなみに、ホワイトスネイクのアルバムの最高傑作とされているのが、

『Whitesnake (サーペンス・アルバス〜白蛇の紋章)』(87年発売)で、

全米最高2位、1000万枚のセールスを記録したとのことですよ。

ヴォーカル・David Coverdale

(第3期ディープ・パープルのヴォーカルに抜擢され一躍有名になった名シンガー)

の声がとてもいいです。

ykm6812さん

#07 雨月物語 2001/12/29 14:26 [No.4175 / 15916]

上田秋成の雨月物語に「蛇性の淫(現題は女偏)」という一編があり、

蛇が美女に化けて、狙いをつけた美男をストーカーのように執拗に

追いかけて、どこまでも邪悪に悩ましつづけるというのがあります。

上田秋成は国学を中心に修めた人ですが、題材はむしろ中国の小説に

典拠するものが多いようで、蛇が化けるという発想も、日本本来の

ものとは少し異なるような気がします。

hui*_kさん

#番外 つちのこ 2001/12/29 14:26 [No.4176 / 15916]

便秘の蛇だったんじゃないのか?

hui*_kさん

#08 クレオパトラ 2001/12/29 14:57 [No.4177 / 15916]

世界史で蛇といえば、やっぱりこの人か。

7世。前69-前30。

古代エジプト、プトレマイオス朝の女王(在位前51-前30)。

その才知と美貌でカエサルの愛人となり、

のちアントニウスと結婚して専制支配を図ったが、

アクチウムの海戦で敗れる。

毒蛇に身を嚙ませて自殺。

塩野七生「ローマ人の物語」には、まだ手をつけていません。読み出したら本当に仕事に手がつかなくなるのが分かりき

っているから……

(既に手遅れという説もある)。

う〜ん、読みたい……

ykm6812さん

#番外 毒蝮三太夫 2001/12/29 15:17 [No.4178 / 15916]

「まだ生きてんのかよ、このババア!!」

……いかん、今日はネタばかり思いついてしまふ……

ykm6812さん

#番外 レッドスネーク COME ON! 2001/12/29 15:45

[No.4179 / 15916]

東京コミックショーでおなじみですね。

ryoanpaku_69さん

#09 メデューサ 2001/12/29 16:59 [No.4180 / 15916]

う〜ん、もしかして番外かと思ったのですが……もしそうなら出題者様、ご指摘下さいませ。

実は「う〜ん、蛇、蛇……」と唸っていたら姪っ子が、「メデューサは駄目なの？」

と言ったもので……。頼りないお婆さんでごめんよ……。

余りにも有名なギリシア神話の女性。ゴルゴーンと言う三姉妹の一人で、アテナと美しさを競い合った為、その髪を蛇に変えられたとか……。その三人の中でメデューサだけが不死

ではなく、英雄ペルセウスに首を切り落とされてしまいます。実は資料を読むまでメデューサとゴルゴーンの違いなんて考

えた事ありませんでした……。

しかし今回は番外が多いですねー。(笑)

wak*k*97さん

#番外 田中邦衛 2001/12/29 18:56 [No.4181 / 15916]

昔アイドルだったという加山雄三出演の映画「若大将シリーズ」。

田中邦衛演ずる敵役キャラクターの名前が、たしか「あおだいしょう」でしたっけ……

(由来はやっぱり蛇の青大将ですよ?)

どうでもいいけど今日は忘年会。

遅れていくので、皆から「食べる前に呑む!」と口を尖らせ

てお酒を強要されそう。

(ちょっと昔の某製薬会社の漢方胃腸薬のコマーシャルのノリで)

ひと君さん

メデューサOKです 2001/12/30 0:02 [No.4182 / 15916]

全然OK。

ぼくも考えていた回答です。

spat さん

#10 野口英世 2001/12/30 0:14 [No.4183 / 15916]

英世は、1900年渡米、

フレクスナーの助手になって蛇毒の研究に従事し、

その業績によってカーネギー研究所から奨励金を受けました。

英世の「業績」は、後世になってほとんどが否定されましたが、

この蛇毒の研究、及び梅毒病原体スピロヘータの純粋培養は、現在に至るまで彼の業績と言えるそうです。

渡辺淳一「遠き落日」は、

最近の日本人（特に児童文学に接して成長した人々）の「偉人・野口英世」像を、

根底から突き崩した点で画期的なものだったと思います。

私も最初読んだときはかなりの衝撃を受けました。

と同時に、英世という人物に親しみが湧いてきました。

同じ人が「失樂園」を書いたとはとても思えない・・・

ykm6812 さん

#11 斎藤道三 2001/12/30 0:29 [No.4184 / 15916]

ご存じ、蝮の道三。

山城の油商人から身を起こして一代で美濃国主となったという「国盗り物語」は、

最近発見された六角氏文書によって否定されつつあります。美濃に地歩を築いたのは、父・西村新左衛門尉の活動により

ます。

道三は、1533年に初めて史料上に現れ、

35年頃に土岐頼芸を守護に擁立、実権を握ったと見られています。

斎藤氏を称したのは38年以後です。

48年、織田信長を女婿とし同盟を結び、

52年頃、頼芸を近江に追放して名実ともに美濃国主となりました。

54年、嫡子義龍に家督を譲るが、

これは引退を強要された結果と見られているそうです。

後、義龍と武力衝突、1556年の長良川合戦で敗死。

享年63歳、または53歳。

「国盗り物語」を、「翔ぶが如く」や「坂の上の雲」の後に読んだので、

同じ作家が書いたとは思えなかった記憶が（またしても）あります・・・

ykm6812 さん

#番外 三木道三 2001/12/30 0:38 [No.4185 / 15916]

蛇とは全く関係ありませんが、「道三」と見るとついこの人を思い出してしまう・・・

♪一生一緒にいてくれや・・・

最初コンビニかどこかで聴いたときには「関西弁でラップか？」といぶかしんだものですが、

よくよく歌詞を聴いてみると、結構いい歌だと思うようになりました。

今年リリースされた歌の中では「マイベスト10」に入るでしょう。

(後の9曲は思いつきませんが)

ykm6812 さん

#12 劉邦 芒蕩山に蛇を斬る 2001/12/30 0:59 [No.4186 / 15916]

劉邦がまた兵を挙げる前のこと。始皇帝の陵墓を築くために驪山に向かう途中通りかかった芒蕩山で、道に十丈程の大蛇が横たわっているのを見た。皆は回り道をしようとしたが、

劉邦は大蛇をまっぶたつに斬って悠然と通り過ぎた。

という劉邦の斬蛇伝説です。

c6h14o6 さん

#13 倭迹迹日百襲姫 2001/12/30 3:44 [No.4187 / 15916]

日本書紀の崇神紀から。倭迹迹日百襲姫（やまとととびももそひめ）は、大物主神の妻となったが、この神様の正体が蛇だったと知って、驚いて箸で陰をつけて死んだ、この人を葬ったのが箸墓だ、という記事があります。

おひさです！やっとな参加できたあ、ふう・・・

qch*nn*im*uto さん

#番外 スネークマンショー 2001/12/30 15:05 [No.4188 / 15916]

あれは中1の頃だったか・・・

友達がYMOの「増殖」というアルバムを聴かせてくれたのですが、

YMOの曲と交互に変なDJが入っている。

これが病みつきになるほど面白い。

どうやら友達も、YMOが目的ではなくこの「スネークマンショー」が目的で買ったらしい・・・

TBSラジオのHPから引用すると・・・

今をさかのぼること4半世紀も前の1976年から4年間、ラジオ関東(現ラジオ日本)とTBSラジオを感染メディアとして猛威をふるった爆笑レトロ・ウイルスがあった。

『スネークマンショー』である。

第一感染者は、桑原茂一を筆頭に、小林克也、伊武雅刀等の鬼才たち。

パンクやニューウェーブなどをいち早く紹介しながら、

時代のツボをサイバーパンクSM風にいたぶって

ブラック&シュールな笑いを発生させるという症状は、次第にエスカレート。

咲坂、桃内、ジャンキー大山などのキャラクター(=飛び道具)や神をも恐れぬ社会風刺ネタなどが続出し、

感染者(スネークマン・ポジティブ)の人数は、インフルエンザを上回ったとか上回らなかったとか囁かれながら伝説の病となった。

ラジオを聞かずにいた人々も、

Y.M.O.のミニ 25cm アルバム『増殖』に挿入されたのをきっ
かけとして感染。

ちなみに感染者は絶対に遅かれ早かれ 100 パーセント死ぬ。
『スネークマンショー』の患者は、寿命までしか生きられないのだ。

(引用終了)

・・・私が伊武雅刀氏を知ったのはこのときが初めてで、
彼が「まともな」俳優であることを知ったのはそれからずっと
後のことである。

wakako さんに厳しいツッコミを入れられたのにもかかわら
ず、
またやってしまった・・・

本日の回答権は既に行行使してしまったので、
明日になったらまたきちんと回答します・・・

ykm6812 さん

#14 伊東巳代治 2001/12/30 19:30 [No.4189 / 15916]
(1857-1934)巳年生まれ

1889 年に発布された大日本帝国憲法、いわゆる明治憲法の
起草は、伊藤博文を中心に井上毅(いのうえこわし)・伊東巳
代治(いとみよじ)・金子堅太郎(かねこけんたろう)によって
着手されました。起草に先立って、1882 年に伊藤博文は伊
東巳代治をともなってヨーロッパに渡り、ドイツ流の憲法理
論をシュタイン、グナイストの法学者から学びます。

1885 年に内閣制度を創設して自ら初代の総理大臣となっ
た伊藤博文は、憲法の起草のために井上、伊東、金子を任命
します。自由民権運動家から攻撃されないように、徹底し
た？秘密主義のもとで作業がおこなわれました。4 人は熱の
入った議論をかわし、主に井上毅が憲法の作成にあたってと
言われています。

ryoanpaku_69 さん

#15 飯田蛇笏 2001/12/30 20:02 [No.4190 / 15916]

(いいだ・だこつ) 1885～1962 巳年生まれではありません
が。
山梨県に生れる。早稲田大学英文科の出身。早稲田吟社に参

加、その中心となる。仲間に中塚一碧楼、白石実三らがいた。
高浜虚子の門下に入って「ホトトギス」で頭角を現し、のち
俳誌「雲母」を主宰。山梨の自然の中で数々の秀句を生み出
した。格調の高い句風で知られ、『山廬集』『白獄』『雪峽』
等の句集がある。随筆、評論も多い。没後俳壇での功績を讃
え、蛇笏賞が創設された。

kas*m*_w_27*3 さん

1 6 旧約聖書の蛇 2001/12/30 22:42 [No.4191 /
15916]

SPAT1997 さん、OK有難うございます。で、調子に乗って
こんなのを選んで見ました・・・。

最初、神が食べてはいけない、と言っていた禁断の実をイヴ
に食べるよう唆したのは蛇だったとか・・・。その為にアダム
とイヴも罰を受けましたが、蛇自身も永遠に地を這わなくて
はならない、と言う罰を与えられたそうです。

ところで Huis_K さん・・・便秘の蛇には笑ってしまいまし
た☆

wak*k*97 さん

#17 徳川秀忠、征夷大將軍に就く 2001/12/31 7:47
[No.4192 / 15916]

乙巳の変から 960 年後の 1605(慶長 10)年 4 月 16 日、
徳川家康の 3 男・秀忠が伏見城に勅使を迎え、征夷大將軍に
就任しました。

もともと、源氏長者及び奨学院別当は秀忠に譲らず、
家康の兼帯とされました。

秀忠、時に 27 歳。

家康は、2 年前に將軍職を手に入れて幕府を開いたが、
政治的状況から上洛を繰り返さざるを得ず、
過半を伏見城で過ごしていました。

その打開策が秀忠への將軍職譲渡で、

徳川氏の將軍職世襲を天下に知らしめ、
更に將軍が幕府所在地の江戸に腰を据える体制作りが狙い
でした。

勿論、家康に隠居したつもりなどなく、

大御所と称されて駿府に移り、
將軍秀忠との二元体制で幕府の基礎固めを図ります。
江戸幕府が鎌倉・室町に比べ早期に安定したのは、
いろいろ要因があるでしょうが、
初代が長命だったことと、
2 代が政治家として有能だったことも大きかったように思い
ます。

ykm6812 さん

#18 たのきゅう 2001/12/31 7:54 [No.4193 / 15916]

西洋の神話があるのに、日本の民話がないのはちょっと寂し
い。

「まんが日本昔ばなし」の中でも好きだったこの民話はいか
がでしょうか。

それでは皆様、よいお年をお迎え下さい。

むかしむかし、あるところに、たのきゅうという やくしゃ
が おったそうな。

ある日、たのきゅうが、しばいを していると、つかいの人
が来て、

「おかあさんが びょうきなので、早くかえってあげてく
ださい。」

ということじゃった。

たのきゅうは、すぐかえらねば とおもって にもつをま
とめて かえろうとしたら、みんなが、

「今から、かえったら 夜になると 大蛇(だいじゃ)が
出るという とうげを こさにゃあいけん。」

「やめたほうがええ、あしたの朝 しゅっぱつしたらええ
が。」

とみんなが くちぐちに いうのを たのきゅうは、

「かかさんの びょうきが しんばいでいけん。すぐ し
ゅっぱつします。」

と行って、とびだしたそうな。

どンドン どンドン はしって とうげにさしかかると、
日がとつぷりとくれてしもうたんじゃ。

とつぜん、ざわざわっという音がして、一人のおじいさんが
出てきて、

「わしは、このとうげに すんでおる 大蛇（だいじゃ）じゃ。夜 ここを とおるもんは わしの ごちそうになるんじゃ かくごせえ。」

「わたしは たのきゅうと いうものです。みのがしてください。」

「なに、たぬき。うまく人?にばけたのう。さすがたぬきじゃ。」

だいじゃは としをとって耳が 聞こえにくくなっていたので、「たのきゅう」を「たぬき」と聞きちがえたらしい。

「わしも ばけることが できるが、じいさまにしか ばけられん。なにか ばけてみせてくれんか。うまくばけたらいのちはたすけてやろう。」

たのきゅうは ほっとして

「それじゃあ ばけてみせますけえ ちょっとのま 目をつむっていて ください。」

というも、もっていた にもつの中から おひめさまの いししょうを とりだして、さつときがえると だいじゃの前にすすみでた。たのきゅうは やくしゃじゃから いつも しばいの いししょうは もっとったんじやと。

「おう うまいこと ばけたのう。」

と だいじゃのじいさまは たいそう かんしんして おおよろこびじゃった。

「ほかのものにも ばけてみい。」

というので また たのきゅうは とのさまの かつらをかぶって かたなをさして りっぱなどのさまにへんしんすると、だいじゃのじいさまは、

「おう、これもうまいことばけたのお。ほかにもやってみい。」

と、なんかいもねだってはおおよろこびをしたんじやと。

そうしているうちに、すっかりうちとけてきて、

「たぬき、おまえはこのよでなにがいちばんおそろしいんじやな？」

ときいた。

「わたしが いちばん おそろしいのは お金です。なかでも こばんというお金が 一番おそろしい。あれをみたらしんでしまう。じいさまはなにがいちばんおそろしいんじ

や？」

ときいたら、

「わしは、たばこのやにじゃ。あれが からだにくっついたら、そこから くさって行って、しんでしまうからなあ。」

ほかにも いろいろはなしをして、ふたりは わかれて、だいじゃのじいさまは やまへかえり、たのきゅうは いそいで わがやへかえった。

かえてみると、おかあさんは すっかりよくなっていたので、たのきゅうは村の人たちに

「とうげにすんでいるだいじゃは、たばこのやにが いちばんにがてなので、みんなであつめて だいじゃをこらしめてやろう。」

といて、みんなでたばこのやにをあつめて だいじゃのすむ あなの入り口に ぬりたくって かえてきたそうなの。

そのつぎの日、ドスドスンという音がして、それはそれは おおきなへびが たのきゅうの家の前までくると、

「たぬき、たぬきよ。おまえのおかげで わしのからだがかさってきた。もうじき わしはしんでしまうが、おまえもいっしょじゃ。」

といて、こばんをいっばいなげつけて、よたよたとにげていったそうなの。

おかげで たのきゅうは おおがねもちになり、おかあさんといっしょに しあわせに くらしましたとき。

ykm6812 さん

#19 空襲下の上野動物園のへび 2001/12/31 10:32 [No.4194 / 15916]

どうも、またご無沙汰しました。

太平洋戦争末期、動物園では、空襲で檻が破壊され、猛獣が脱走し市民を襲うのを恐れた軍部の命令によって、猛獣に殺処分が行われました。

特に、3頭の象が、毒の入った餌を、頭が良いゆえに口をつけず、餓死させる処分となり、最後には餌がもらえらると思つて、芸をしながら息絶えたという悲劇は、小学校の教科書で「かわいそうなぞう」の物語として、取り上げられています。が、猛獣の中では、へび類も、ガラガラへびが、針金で頭を

突き刺し、さらに翌朝頸部をぐるぐる巻きにする処分、ニシキヘビは、解剖刀での処分で、息絶えたそうです。

六文銭さん

#番外 ヘビ女 e t c 2001/12/31 10:57 [No.4195 / 15916]

久々に特撮ネタより。

「ヘビ女」

『仮面ライダーストロンガー』終盤に登場した。デルザー軍団の改造魔人。ストロンガーの強力なライバルだった、ジェネラルシャドウの片腕的存在で、ストロンガーの血を吸い取り、毒を注入するなどして、苦戦させますが、最後は立花藤兵衛や、V3・風見志郎の救援を受け、超電子改造人間になったストロンガーに倒される。

他に、仮面ライダーシリーズの、へび類の怪人としては、

コブラ男、海蛇男 「仮面ライダー」

マシンガンスネーク 「仮面ライダーV3」

メドウサ 「仮面ライダーX」

へビ獣人「仮面ライダーアマゾン」

コブランジン、ヘビンガー 「スカイライダー」

スネークコブラン、ヘビンダー 「仮面ライダースーパー1」

コブラ怪人 「仮面ライダーBLACK」

ゴ・メビウ・ダ (ウミへび種怪人) 「仮面ライダークウガ」

と、ほとんど全作品に登場しています。

最新の「仮面ライダーアギト」にも、スネークロード・アングィス・マスキルス、スネークロード・アングィス・フェミニウスの、2体のアンノウンが登場してますね。

六文銭さん

#20 祟りをなした白蛇?! 2001/12/31 14:27 [No.4196 / 15916]

1803年、ロシアの首都ペテルブルグを訪問した日本人は、そこでピョートル大帝の像を見ます。馬に乗ったピョートルが白い蛇を踏みつけているもので、日本人が帰国後に語ったところによると「国に祟りをなした白蛇を踏みつけている」とのこと。

「崇り」など日本風の解釈が面白いですね。

鎖国時代の話ですが、これは大黒屋光太夫と同じ運命を辿った人々の物語です。

へび年のうちにお題が終わった…

toshy.y.takahashi さん

お題「外国との戦争・紛争」 2001/12/31 14:49 [No.4197 / 15916]

2001年は対外関係を考えさせられる年でもありました。そこで新しい年に向けて、日本と外国との紛争・戦争、また殺し合いにならなくても国際問題に発展した事件を取り上げてまいりましょう。

お題「外国との戦争・紛争」

#00 元寇

2001年の大河ドラマ「北条時宗」で話題に上りました。文永・弘安と二度の元襲来に日本中が震撼。弘安の役では台風によって日本側が辛勝しますが、この戦争の疲弊がもとで鎌倉幕府は滅亡の道を迎えることに。

toshy.y.takahashi さん

#01 白村江の戦い 2001/12/31 20:16 [No.4198 / 15916]

663年、歴史上、日本が外国に初めて大敗した戦い。百済救済の為の出陣でしたが、強大な唐・新羅連合軍の前に甚大な被害を被り、事実上、ここで百済は滅亡する事になります。

まあしかし、国内での政治の不満を外国に向ける事でごまかす・・・と言うのは、東西古今、余り変わらないようですね。

wak*k*97 さん

#02 生麦事件・薩英戦争 2002/ 1/ 1 0:33 [No.4199 / 15916]

謹賀新年

2002年一番乗りをはたしました。

文久2（1862）年に起こった生麦事件で、薩摩藩はイギリスの要求を拒否し、攘夷実行の準備を着々と進めました。イギリス艦隊は、本国からの訓令に基づいて、同2（1863）年7隻が鹿児島に來攻しました。同年7月2日イギリス艦隊は行動を開始、荒天の中で激しい交戦が続きました。イギリス海軍の世界最新のアームストロング砲は、十分に威力を発揮して、市街焼失1割の損害をあたえました。古い装備の薩摩軍は、士気が旺盛で訓練も十分であったので、戦死者60余名におよぶ打撃を与えました。薩摩藩は、この戦争で攘夷の不可能を悟り、藩論を開国へ大きく転回しました。

ryozaanpaku_69 さん

御礼：へび 2002/ 1/ 1 1:00 [No.4200 / 15916]

あけまして おめでとうございます。

辛巳の年も 既に 行った年になりました。

わずかばかり考えてた回答例も、みなさんに答えてもらいました。

今年もよろしく願います。

楽しい遊び場で 楽しく遊びましょう。

spat さん

#03 刀伊の入寇 2002/ 1/ 1 7:31 [No.4201 / 15916]

朱に染まる東雲・・・2002年の初日を見つつ書いています。1019年、沿海州の女真人が入寇して甚大な被害を与えました。

「トイ」とは朝鮮語で夷狄の意味です。

対馬次いで壱岐、更に博多付近を襲いましたが、大宰権帥・藤原隆家に率いられた在地の武士の奮闘で撃退しました。

女真人は帰途高麗で敗れ、多数の日本人捕虜が送還されまし

た。

藤原隆家(979-1044)は、父は道隆、兄は伊周です。996年、花山法皇に矢を射掛けるなどの事件によって、兄伊周とともに左遷されました。

叔父・道長(966-1027)との政争に敗れたわけです。

998年赦されて帰京後、中納言等を歴任。

1019年刀伊の入寇当時は、大宰権帥でした。

権力の中枢から遠ざけられ失意の日々を送っていた隆家が、気力を振り絞って日本を防衛した姿に一種の感慨を覚えます。

都で栄華を極めていた道長は、少しでも彼に酬いてあげたのでしょうか。

ykm6812 さん

#04 マードレ・デ・デウス号事件 2002/ 1/ 2 9:10 [No.4202 / 15916]

ノッサ・セニョーラ・ダ・グラッサ号事件とも。

有馬晴信が長崎でポルトガル船を撃沈した事件です。

1608年、有馬氏の朱印船がチャンパ(占城)に渡航、帰路マカオで乗組員が紛擾を起こし、日本人多数が死亡。翌年アンドレア・ペッソアが来日、徳川家康に日本船のマカオ渡航停止を訴えたが、ついに砲撃戦へと発展しました。

事件後、幕府はポルトガルと断交。

11年ドン・ヌーノ・ソートマヨールがインド副王の使節として来日、

家康に謁見し貿易再開を許され、

12年オラシヨ・ナレットが来日、再確認されました。

この事件には、「岡本大八事件」という後日談があります。

本多正純の与力岡本大八が有馬晴信に対し、

1610年12月ポルトガル船を撃沈した恩賞を斡旋すると騙し賄賂を取った。

これが発覚すると大八は晴信が長崎奉行長谷川藤広毒殺を企てたと告発。

12年晴信は甲斐に配流・斬罪、大八は火刑に。

両者がキリシタンであったため、幕府のキリシタン禁制の端

緒となりました。

晴信の長子・直純は遺領肥前有馬に再封。

領内のキリシタン禁制に失敗し、

14年日向延岡に転封(5万3000石。最終的には越前丸岡で明治維新を迎える)。

キリシタン家臣の多くが有馬に残り、島原の乱の遠因となりました。

ykm6812さん

#05 第一次世界大戦参加 2002/1/3 11:16 [No.4203 / 15916]

あけましておめでとうございます。

第一次世界大戦時、日本は英国の要請により、連合国側にたちドイツの租借地だった

青島を攻撃しました。青島はあっさり陥落。

ドイツ兵5000人あまりは、千葉県習志野の収容所に入れられます。

(このとき、収容所の所長は西郷隆盛の孫だったか、縁戚の人のはずですが名前を忘れた)

ドイツ兵は捕虜として、しばらくこの収容所で暮らすのですが、意外にも(?)手厚い待遇を受けていたといえます。自由な環境もあったようで、フランクフルトが代名詞になったソーセージや、パンの製造などもここから広がっていったそうです。

そして、年末はなぜか第九を合唱しますね、あれもこのドイツ人捕虜から伝わっていった文化なのだそうです。これを書きたくて私はこのネタを投稿したのでした。

余談：中国のビールは青島ビールが有名ですが、これもドイツ租借地だったことと関係があるそうです。

クイズ パンチ de デートさん

>#01 白村江の戦い 2002/1/4 0:42 [No.4204 / 15916]

>663年、歴史上、日本が外国に初めて大敗した戦い。

4世紀以降、朝鮮半島に置いて、勝ったり負けたりしている。

>まあしかし、国内での政治の不満を外国に向ける事でごま

かす

全く事実誤認をしている。古代日本は、任那に直轄領を有し、新羅・百済を属国にしたりと、朝鮮半島南部を勢力圏に置いていた。

強大な唐(+手下の新羅)によって、日本が朝鮮半島から追いやられた、重大な事件なのがこの戦いという認識を持つべき。

ony*n*oさん

#06 朝鮮出兵 2002/1/4 14:44 [No.4205 / 15916]

みなさん、あけましておめでとうございます。

今年もよろしく願います。

文禄・慶長の役の2度にわたる朝鮮出兵。被害者の韓国では「倭乱」と呼んでいるようですが、それほど彼らの恨みが400年を過ぎてでも伝わってくる出来事です。

日本を統一した豊臣秀吉の政権に、ひとつの矛盾点が生じていました。

それは秀吉が気前よく領土を保証してきたため、恩賞に期待した豊臣系の武将が新領土を得るところがなくなり、財政難に陥るものがあつたのです。

加藤光泰という子飼いだ名などは家臣を多く雇いすぎたため、家臣が屋敷に入れず路上にまで溢れ秀吉に叱られたと。彼らに領地を与えるには、新しく領土を得なければならない。そこで始まったのが朝鮮出兵。

文禄の役ではソウルを簡単に落としピョンヤンまで進軍する破竹の勢いでしたが、明の大軍が南下するに及んで敗退。各武将はそれでも戦闘続行を主張しますが石田三成・大谷吉継の必死の説得で停戦しました。

慶長の役は苦戦続き。前回達したピョンヤンどころかソウルに達することもなく、朝鮮人の恨みを買って国を疲弊させただけ。

加藤清正ら主力の武将はさらにひどい財政難に苦しみますが、徳川家康が借金を肩代わりしてくれます。これが関ヶ原の戦いに大きな影響を...

朝鮮出兵は、豊臣政権を転覆の危機に追い込んだ愚行という結果だけが残りました。

toshy.y.takahashiさん

今回のお題・補足 2002/1/4 14:46 [No.4206 / 15916]

第二次世界大戦は広範囲かつ広意義なので、独立した一つ一つの出来事も可としましょう。

それではこれからもお題をよろしく願います。

toshy.y.takahashiさん

#07 大津事件 2002/1/4 15:06 [No.4207 / 15916]

大津事件(1891)

明治24年(1891年)5月11日、日本を訪問中のロシア皇太子ニコライが、滋賀県

大津市で警備の巡查・津田三蔵に突然斬りかかられました。幸いなことに津田巡查はすぐに取り押さえられ、皇太子も額

に2ヶ所傷を負っただけで命に別状はありませんでしたが、一応大事をとり、そのあとの日程を

キャンセルして数日後帰国の途に付きます。

当時日本はまだ国際舞台に登場してから30年の弱小国、相手は大ロシア帝国と

いうことで政府は震え上がり、明治天皇が事件の2日後には京都に駆けつけて

皇太子の宿舎を訪問しお見舞いをするとともに、全国に鳴り物自粛の通達が出

るなど、日本中が大騒ぎになります。全国からのニコライ皇太子へのお見舞い

の手紙も1万通に及びました。

政府は更にロシアに対して謝罪の意を明らかにするため、津田巡查を死刑にす

べく裁判所に圧力を掛けます。

しかし、法的に見ると被害者が日本の皇族であれば死刑を宣告することが可能

でしたが、相手は外国の皇族であり、法律上は一般人と同じ扱いになります。

従って怪我を負わせただけなのに死刑を宣告することは法的には無理がありま

した。このため裁判を担当した大審院（現在の最高裁判所）院長の児島惟謙は
法治主義遵守の立場から政府の圧力をはねつけ、法定刑内で
「無期懲役」の判決を下します。この事件はこのことにより、児島が司法の独立を守った事件として語り継がれることになりました。

なお、このニコライ皇太子はこのあと悲惨な運命を背負っていました。

この事件の3年後即位してニコライ2世となりますが、その10年後1904年には

この日本と日露戦争を戦い、この戦争で、この地の果ての小さな島国に負けて

しまいます。その戦争のさなか革命(ロシア第一革命)が起き、国内の舵取りに

苦心することになり、宮廷内は怪僧ラスプーチンに荒され、最後1917年にロシア

2月革命が起きると退位させられ、翌年家族ともどもレーニンらの革命政府

に処刑されてしまいます。

ryozanpaku_69さん

#08 真珠湾攻撃。 2002/ 1/ 5 8:55 [No.4208 / 15916]

「Remember Pearl Harbor」

1941年12月7日（日本時間では12月8日）、日本軍が、アメリカ太平洋艦隊の基地であるハワイ・オアフ島南岸の真珠湾を攻撃。

これから太平洋戦争が始まりました。

この攻撃はだまし討ち、奇襲だとしてアメリカから批判されました。

去年でしたか、映画『パールハーバー』が公開されましたね。

見ていないので、なんともいえませんが…。

にぎりいさん

#09 モリソン号事件 2002/ 1/ 5 14:13 [No.4209 /

15916]

1837年、アメリカ船モリソン号が、日本陣の漂流民を乗せて浦賀に来航

しかし、幕府が「異国船打払令」をたてに漂流民の受け取りを拒否。

この事件で、幕府批判を行なった高野長英や渡辺崋山が、捕らえられるという、「蛮社の獄」も起こりました。

なお、モリソン号で、日本に帰るはずだった、「音吉」という漂流民が、その後、イギリスに帰化。ロンドンを訪れた最初の日本人ということですよ。

聖書の日本語訳なども成し遂げ、日英和親条約締結には、イギリス側通訳として、来日したとか

ecc**lerさん

#番外 地球対バルタン星人 2002/ 1/ 5 14:27 [No.4210 / 15916]

ウルトラシリーズの「宿敵」と呼んでも差し支えないでしょう。

とあるサイトによると、TVシリーズだけで計6回。海外版のウルトラマンパワードでは、シリーズを通しての敵映画のウルトラマンコスモスにも出てましたね（見てないけど）

これはもはや対外戦争だ！地球よ、このまま、一方的な侵略行為を撃退するだけでよいのか？

元を断たねば、いつかはやられるのではないか？今度は、こちらから責めるべきだ！

こんな発想するから、人間の歴史から、戦争が消えないのかな？

ecc**lerさん

#10 倭寇 2002/ 1/ 5 14:53 [No.4211 / 15916]

「倭寇」の原意は、倭人による略奪行為で、中国大陸・朝鮮半島の文字資料の中で古くから用いられてきた用語です。

もっとも、重大な倭寇の活動は以下の二つです。

第一に、14世紀半ばから15世紀初めにかけてのもの。

構成員は、対馬・壹岐・北部九州の日本人を中心とし、禾尺（かしやく）・才人と呼ばれる朝鮮半島の賤民など、更には済州島民も含まれています。

主たる活動地域は朝鮮半島・山東半島などで、食料の略奪と人間の捕獲を行いました。

第二に、16世紀初めから半ばにかけてのもので、構成員は、浙江省・福建省の富豪層によって組織された武装商人団を中核とし、

北部九州を中心とする西日本各地の人々が武装勢力として加わりました。

密貿易を行っていた武装商人団は、16世紀半ば明軍の攻撃により壊滅的な打撃を受けたため、

九州各地に拠点を移し、日本人を雇い大船団を組織して中国大陸沿岸・朝鮮半島南端を攻撃しました。

その代表的な頭目が王直です。

この「嘉靖の大倭寇」は、1555年がピークとなりましたが、王直が1557年に投降、59年に斬首されると衰えていきます。

ykm6812さん

#11 文化魯寇 2002/ 1/ 5 17:02 [No.4212 / 15916]

倭寇、元寇ときたら魯寇を出さねば。あまり知られていませんが…

19世紀はじめ日本に通商を迫るロシアは大使レザノフを日本に派遣しましたが、日本はロシアの要求を拒否しました。ロシアの南下を警戒する幕府は津軽・南部の兵士を北海道に派遣し警備に当たらせました。

1806年、2隻のロシア船が樺太南部を襲撃。日本人4人とアイヌ人1人が捕虜になり、アイヌ人はすぐに釈放されましたが日本人4人はカムチャッカへと連れて行かれます。

1807年5月、今度は択捉にロシア船が現れました。放火と掠奪の限りを尽くすロシアと、警備に来ていた日本兵が遭遇し戦闘に…と思いきや、平和ボケした日本兵は戦わずに逃走し、笑いものになりました。

（ロシア20人、日本200人…）

ここで6人の日本人が捕虜になり、前述4人とともにロシア船の中で不安な日々を過ごしています。択捉に続いて礼文・

利尻もロシアによって襲撃。また1人が捕虜になっています。ここで11人の日本人のうち、挾捉で捕虜になった五郎治、左兵衛の2人を残して全員釈放。2人は遠くオホーツクへと運ばれていきました。ロシア船はその後姿を見せず、帰国できなかった左兵衛はロシアで死亡。

1809年、ロシアの測量船が国後にきます。この人たちは、たった2隻の船のしたことだからと前回の魯寇を気にしていなかったらしく、戦闘することもなく日本兵に捕らわれてしまいます。

ロシアは高田屋嘉兵衛を捕らえ人質交換を申し出ます。この日露の紛争は高田屋嘉兵衛とリコルド少佐の努力により、平和裏に解決しました。

このときにウルップ島を中立地点として以南を日本領、以北がロシア領となり、現在の北方領土問題へと…

文化魯寇は、間接的に日本に利益をもたらしています。五郎治は1812年に帰国して、松前で牛痘法を行いました。当時天然痘は死の病でしたが、五郎治に救われた人の数はかなりのもので、松前の人たちはロシアによって命を救われた、といえるでしょう。

toshy.y.takahashi さん

#12 応永の外寇 2002/1/5 20:57 [No.4213 / 15916]

もう一つ、「寇」のつく事件を。

1419 (応永 26) 年、朝鮮軍が対馬島を攻撃した事件です。前年、倭寇 (前期倭寇) 沈静化に尽くした対馬島主宗貞茂が没し、この貞盛が継ぐが、島内の実権は倭寇の頭目・早田左衛門太郎に移りました。

19 年、倭寇が朝鮮半島沿岸を襲撃。朝鮮国主世宗の父太宗は、この情勢を見て、倭寇の根拠地と見ていた対馬島の攻撃を決意します。同年 6 月、兵船 227 隻・軍兵 1 万 7285 人の大軍を派遣しましたが、

糠嶽 (ぬかだけ) の戦いで多数の戦死者を出し撤退。

京都方面では明来寇などの風説も流れました。

室町幕府は、無涯亮暎(むがいがりょうげい)を朝鮮に送って実状を探らせたのに対し、

1420 年、朝鮮は回礼使を日本に派遣し、日本側の事情を掌握しました。

対日強硬論者の太宗が 23 年に没した後、世宗が親日的な外交を進め、

対馬でも貞盛の統制が確立し、ようやく日朝間は円満な関係になりました。

ykm6812 さん

#13 四国艦隊下関砲撃事件 2002/1/6 19:43 [No.4214 / 15916]

1864 年(元治元)、アメリカ、イギリス、フランス、オランダ 4 カ国艦隊が下関の砲台を砲撃して長州藩を屈伏させた事件。四国連合艦隊下関砲撃事件・下関事件・馬関(ばかん)戦争ともいう。前年の 63 年(文久 3)、長州藩は尊王攘夷(尊攘)派が幕府に約束させた攘夷決行の期限だった 5 月 10 日、下関(馬関)海峡を通過するアメリカ商船、フランス・オランダ軍艦を砲撃した。すぐにアメリカ・フランス軍艦からも攻撃を受けたが、長州藩は砲台を増強して攘夷の方針をくずさなかった。翌 1864 年 8 月、この砲撃の報復として、四国艦隊は軍艦 17 隻、大砲 288 門、兵員約 5000 名で下関を攻撃し、3 日間で下関砲台をことごとく破壊した。これに対する長州藩兵は劣悪な装備の兵約 2000 名、砲台は 70 門のみ。藩の正規兵は戦意を欠き、勇敢にたたかったのは約 600 名の奇兵隊らだけだった。

高杉晋作の和平交渉によって、長州藩は、外国船の下関通行の自由、石炭・食物・水ほか外国船の必要品の売り渡し、砲台の撤去などの条件をうけいれ、1864 年 8 月 14 日に調停が成立した。同年 7 月の禁門の変から四国艦隊下関砲撃事件の敗北により、長州藩内の攘夷派を没落させ、保守派主導にうつるきっかけとなった。

ryoanpaku_69 さん

#14 日清戦争 2002/1/6 22:19 [No.4215 / 15916]

三が日も終わり、やっと戦争の話題もしてみようという気分になってきました。

日清戦争

1894 年 (明治 27 年) 8 月 ～ 1895 年 (明治 28 年) 3 月 ちなみに、

☆ 日清製粉 は 小麦粉を主に扱う会社です。

1900 年(明治 33 年)「館林製粉株式会社」設立

1908 年(明治 41 年)「日清製粉株式会社」と改めた。

1959 年 (昭和 34 年) 皇太子殿下が、正田美智子さん (日清製粉社長正田英三郎の長女) と結婚しました。

☆ 日清製油株式会社 はあぶらやさんです。

創立 1907 年 3 月 7 日(明治 40 年)

☆ 日清紡績株式会社 は 紡績やさんです。

設立 1907 (明治 40) 年 2 月 5 日

☆ 日清食品株式会社 スパ王はうまいです。

設立 1948 年 9 月 (1958 年 12 月商号変更)

☆ 日清医療食品株式会社 ふとん屋さんが、医療ベッド・医療シーツなんか扱ってるうちに、病院食なんかも手がけるようになったみたいです。

設立年月日 : 昭和 47 年 9 月 25 日

☆ 日清鋼業株式会社

1950 (昭和 25) 年 神戸製鋼所材料課の指定業者として営業開始

1958 (昭和 33) 年 1 月 日清鋼業株式会社を設立

それ以外に「日清」を冠した会社は、多分、上 4 社のグループ会社です。

いま調べるまで、「からあげ粉」と「サラダ油」と「ラ王」はみんなおんなじ会社だと思ってた。。

spat さん

1 5 江華島事件 2002/1/7 0:50 [No.4216 / 15916]

1875 年日本の軍艦雲揚号が朝鮮漢江河口の江華島付近で示威を行い、砲撃を受けた事件。そのため日本は永宗城を占領。その結果、翌年日朝修好条規を締結。

bw_bu_l さん

#16 白船事件 2002/1/7 20:11 [No.4217 / 15916]

ryoanpaku_69 改め ryoanpaku_2002

『「白船事件」

1908年3月、16隻の戦艦で構成されたアメリカの大西洋艦隊が、目的地サンフランシスコ寄港をへて突如、世界一周を口実にして、大平洋を西へ向かって進んできた。日本には7隻の戦艦しかない。パリの新聞は日米戦争必死と書き、日本の外債は暴落した。

日本政府は慌てた。アメリカの砲艦外交風の威嚇の意図は明らかだった。船団は白いペンキで塗られていたので、半世紀前の黒船来航と区別し、白船来航と呼ばれる。

日本政府は国を挙げて艦隊を歓迎する作戦に出た。新聞はアメリカを讃える歌を載せ、Welcome!と書いた英文の社告を載せた。横浜入港の日、日本人群衆は小旗を振って万歳を連呼し、アメリカ海軍将校たちは歓迎パーティーせめに合った。彼等に乗せた列車が駅につくと、1000名近い小学生が「星条旗よ永遠なれ」を歌った。

日本人のみせたこの対応は、心の底からアメリカを恐れていた事を物語っている。』

以上「新しい歴史教科書」より
ryoanpaku_2002さん

#17 三浦（さんぽ）の乱 2002/ 1/ 7 21:16 [No.4218 / 15916]

三浦とは、李氏朝鮮において、朝鮮と交易する日本人の居住が許可された3つの港、
齋浦（せいほ）（鎮海（チンヘ）市）・富山浦（ふざんほ）（釜山市）・塩浦（えんぼ）（蔚山（ウルサン）市）の三つここにすむ日本人が、1510年、朝鮮に対して暴動を起こしたのが、「三浦の乱」

（韓国・朝鮮では三浦倭乱と呼ばれているとか）
原因は、当局の統制が強化されるのに対し、反対したためだとか何とか、読んだサイトに書いてありました。
対馬の宗氏の援助もあったとか、というか、暴動を起こした三浦の日本人居住者は、そのほとんどが宗氏の関係者だとか。
原因は何にせよ、この事件で、日朝貿易は半減したそうです。やっぱり、暴力行為は、ロクな結果を生まないという良い見本。

ecc**lerさん

#番外 死ぬ死ぬ団が日本を襲う！ 2002/ 1/ 7 21:35 [No.4219 / 15916]

愛の戦士レインボーマンより

死ぬ死ぬ団とは、「日本人の抹殺」を狙う悪の秘密結社彼らがなぜ、日本人の抹殺を狙うのかは、まったくの謎である。

「インドの山奥で、修業をしてー♪」レインボーマンの力を身につけたヤマトタケシは、死ぬ死ぬ団の攻撃から、日夜日本を守るのだ。

しかし、こんな敵、スーパーヒーローより、国際社会に訴えたほうが…

今回のお題は、なぜか番外が少ないので、再び遊んでみました。

ecc**lerさん

#番外 湾岸戦争 2002/ 1/ 7 21:45 [No.4220 / 15916]

戦闘には参加しなかったものの、多国籍軍側の一員として自衛隊が戦後の機雷処理などに協力しました。

何人かの日本の若者が、フランスの傭兵部隊のメンバーとして

戦闘に参加したそうです。

hui*_kさん

#18 神宮皇后の三韓征伐 2002/ 1/ 7 21:47 [No.4221 / 15916]

本当にあったことなのかも定かではありませんし、当時どこまでを自国で、どこからを外国と考えていたかさえも

定かではありませんが、ともかく、九州から海峡を渡り

三韓を征伐して帰ってきたと記紀にあるので、

一応歴史上の外国との戦闘の一つと言って良いと思います。

hui*_kさん

#19 シベリア出兵 2002/ 1/ 8 1:04 [No.4222 / 15916]

1917年、第1次世界大戦下のロシアで、2月革命、そし

てレーニンの10月革命が発生し、世界初の社会主義国家の誕生に脅威を感じた日本の寺内内閣は、翌1918年、シベリアでボルシェビキ軍と戦っていたチェコ軍を支援する名目で、アメリカ、イギリスと共に、シベリアへ出兵を開始、当初は米英と兵員数を制限する協定を結んだ上の出兵だったのが、軍部が独断で人数を増やし、7万2千の兵をシベリアに投入、ハバロフスク、チタなどを占領、バイカル湖まで勢力圏としましたが、その後はボルシェビキ軍の勢力拡大に圧迫され、1920年5月には、サハリン対岸のニコライエフスクでの、日本人居留民虐殺などの悲劇を招き、結局成果を得られぬまま1922年には沿海州からの完全撤退となりました。

六文銭さん

#20 明治初年の台湾出兵 2002/ 1/ 8 1:32 [No.4223 / 15916]

明治4年に、沖縄の宮古島の島民69人が、台湾の南東岸に漂着した際、略奪を受けた上、54人が虐殺されるという惨事があり、日本政府内では台湾征討の声が高まり、大久保利通、大隈重信、西郷従道らが推進を図り、中でも西郷は、兄西郷隆盛が征韓論の論議に敗れた事もあり、征台に熱心だったといえます。

明治7年、ついに日本軍は台湾征討を決定、直前になり、日本の台湾占領などを恐れた米・英・露・仏・伊といった列強の中止を求める圧力に、大久保や大隈は延期を求めましたが、西郷は、「自ら陣頭に立って台湾を征討し、責任は自分が負う」頑として譲らず、4月25日には兵を出航させ、実質10日間の戦闘で、6月3日には、原住民の制圧の成功したといえます。

戦後交渉では、大久保が「万国公法を説き、現地が清国の所轄ではない旨を鋭く主張」し、結果的に、清朝より賠償金を支払わせる事に成功しました。

このときの清の弱体ぶりが、後の日清戦争での敗北にも繋がっているようです。

六文銭さん

お題：新年「うま」にちなむもの 2002/ 1/ 8 2:18 [No.4224 / 15916]

SPAT1997 さんのお題に便乗・・・

新年「うま」にちなんだ、歴史的な・歴史上の・歴史的由来のある、

人、事件、場所、物語、もの、などなどお答えください。

日本史世界史郷土史 問いません。

名前に「馬」「午」がつく。

「午年」に生まれた、死んだ。

「午年」の事件。

馬にまつわる、神話や伝説や史実。

馬に関係した風習。

馬に関係した神社仏閣、名所旧跡。

馬に関係した事件。

よろしく願います。

#00 オグリキャップ、有馬記念での感動ラストラン！

1990年12月、武豊騎乗の「怪物」オグリキャップが、下馬評を覆し見事引退レースを飾る。

あのときの感動は忘れようにも忘れられない・・・

yk6812 さん

「外国との戦争・紛争」御礼 2002/ 1/ 8 8:38 [No.4226 / 15916]

正月早々の題をやらせていただき、そしてまた皆様のすばらしい知識をご披露してもらってありがとうございます。

「補足」を出したように、第二次世界大戦ガラミが来ると思っていたのですが、今回の傾向は意外でした。

いやあ結構あるものですね。

それにしても ECCOOLER さんとは話題が合いそうです。もしかしてヒーロー掲示板あたりでお会いしているかな？

バルタン星人に対抗して、第四惑星事件（ウルトラセブン43話）を出そうかと思っていました（わら

toshy.y.takahashi さん

#01 ワルキューレ 2002/ 1/ 8 12:41 [No.4227 / 15916]

「神話」や「伝説」でもOKというこであれば先ずこれから。

北欧神話やゲルマン神話に登場する戦乙女たち。

翼のある馬に乗って空を駆け回り、主神オーディン（ドイツではヴォータン）の命令で戦場で死んだ勇者たちをワルハラ

の城に招き入れる役目を担っています。

ワーグナーの4部からなる長大な楽劇『ニーベルングの指環』の中の1話「ワルキューレ」でよく知られています。

s11*3_0*さん

#02 駒ヶ岳 2002/ 1/ 8 13:12 [No.4228 / 15916]

「駒」という言葉は、てっきり「子馬」あたりが訛りでもしたのかと思っていたのですが、どうやら、当初は「高麗」からの輸入馬が中心で、それゆえ「舶来」で高価であることを強調して、「こま」と呼ぶことがあったのだそうです。

ここからは友人に聞いた話ですが、全国にある「駒ヶ岳」という名称も、てっきり尾根の馬の背が、馬のように見えただのかと思っていたら、こちらも「高麗」が見えるほど高い山、くらしい意味なのだそうです。

九州にある「韓国岳（からくにだけ）」はどうなんだろう？

詳しい方はご教示を...

hui*_k さん

#03 ラオコオンとトロイの木馬 2002/ 1/ 8 13:19 [No.4229 / 15916]

トロイ戦争でトロイの王子ヘクトルが敗れ、戦争の帰趨がほぼ確定した後、ギリシア方から大きな木馬が送られることになり、これを「怪しい、なにか良からぬ仕掛けが有りそうだ」と言い出したのがラオコオンという老人でしたが、ギリシアを勝利に導こうとするアテナ女神が放った蛇に、息子たちともどもからまれて動けなくなってしまいます。

結局ラオコオンの忠告を無視して木馬を城門の内に入れてしまったトロイは、木馬の中から出てきたギリシア兵によって滅ぼされてしまいます。

ということで、伝説でもオッカーということなので、「蛇」と「馬」とを結び付けてみました。

hui*_k さん

#04 平将門 2002/ 1/ 8 16:02 [No.4230 / 15916]

何かと「馬」と縁のある武将がこの方です。

将門は若年の頃「相馬の小次郎」と呼ばれており、後の大名・相馬氏は将門を始祖としているといわれています。

その旧相馬藩領一帯（福島県の2市6町1村）で行われる国の重要無形民俗文化財である「相馬野馬追」は、将門が原野に放してあった野馬を捕らえる軍事訓練と、捕らえた馬を神前に奉納したことに由来しているともいわれています。

また、江戸時代には、荒馬を繋ぎとめた形の「繋ぎ馬」の紋が将門の紋であると広く信じられていたそうです。

かつて将門を主人公とした「風と雲と虹と」（加藤剛・主演）という、NHKの大河ドラマがありました。そのタイトルバックには原野を疾走する乗り手のいない荒馬の映像が使われていたのが、今でも印象に残っています。

s11*3_0*さん

#05 武田信虎・信玄 親子仲たがいの原因 2002/ 1/ 8 19:41 [No.4231 / 15916]

幼い太郎（信玄）が父、信虎の愛馬「花鹿毛（字が不安）」を自分に譲ってほしいと父に懇願したところ、信虎は「お前にはまだ早い」と嗜めたことが最初の発端だといわれています。

花鹿毛は関東一の名馬といわれ、父もいずれは息子にと思っていたのでしょうが。

仲たがいの原因なんてキッカケは些細の事が原因ですね。

PS.オグリキャップのラストラン、最後はオグリでと心に決めていましたので、私も馬券とらせてもらいました。

ryoanpaku_2002 さん

#06 ナポレオンの愛馬 2002/ 1/ 8 19:44 [No.4232 / 15916]

マレンゴといいます。

マレンゴにまたがって右手を上げている肖像画が有名です。ハンニバルは象に乗って、ナポレオンは馬に乗ってアルプスを超えました。

ryoanpaku_2002 さん

#07 馬超 2002/ 1/ 8 20:09 [No.4233 / 15916]

三国時代の劉備に仕えた猛将。西涼で曹操と争い敗れ、逃亡。劉備が蜀に進撃したのを聞いて傘下に加わった。

（『三国志演義』では張飛と華々しい一騎打ちをしている）劉備陣営の古参超雲を差し置いて、関羽・張飛・黄忠とともに前後左右將軍の一人に選ばれた。劉備が死ぬ1年前に死に、蜀ではさしたる働きをしていない。

後継者は従弟の馬タイ。この人物は蜀の猛将魏延を倒したという記録があるのみ。

toshy.y.takahashi さん

#番外 ハリー・ポッターと賢者の石 2002/ 1/ 8 22:52 [No.4234 / 15916]

最近はやってる映画より。

最初のところで、動物園(?)の大蛇が、最後近くで、チェスのナイト(騎馬)が出てきた。

ということで、これも「蛇」と「馬」が結びついて、今年の正月映画にふさわしかった?

こんばんは。ずっと読んでるだけでしたが、日本史のトピで書き込みしたのは今回が初めてです。よろしく。

H o s h i k u s u さん

0 8 人中有呂布、馬中有赤菟 2002/ 1/ 8 23:25 [No.4235 / 15916]

三国志と言えば、名馬が多く登場しますが、中でも有名なのが董卓の腹心である呂布の乗っていた赤菟でしょう。敵陣の塹壕を飛び越え、日に千里を駆けたといいます。当時の人は「人中有呂布、馬中有赤菟」と囁いたとか。

『三国志演義』では呂布の死後、赤菟は曹操が関羽に与えています。

関羽の義兄弟の張飛も名馬を所有していたそうで、「玉追」という雅びな名がありました。

時にこう歌われています、

「人中有張飛、馬中有玉追」。(『太平寰宇記』による)

sakisaki さん

#09 馬鳴 2002/ 1/ 9 0:11 [No.4236 / 15916]

馬鳴(めみょう)。あまり馴染みのない人物かもしれませんが、1世紀後半～2世紀にかけてのインドの仏教詩人です。バラモン教の論師から仏教に転じ、文学的才能を発揮して釈迦の生涯をうたった叙事詩「ブッダーチャリタ(仏所行讃)」を著しました。馬鳴菩薩として祀られることもあります。芥川龍之介の『鼻』にも「勿論竜樹や馬鳴も、人並の鼻を備えた菩薩である」というふうに名前が出て来ます。

c6h14o6 さん

#10 甲斐の黒駒 2002/ 1/ 9 10:43 [No.4237 / 15916]

日本書紀にも「甲斐の黒駒」の記述があるほど、甲斐は古来より名馬の産地として知られ、奈良時代には朝廷直轄の牧場である

「御牧(みまき)」が、その名も「巨摩郡」に三つおかれ、甲斐国司が自らいくつかの「牧」を設け関白へ献上したという記録があるそうです。

新羅三郎義光も甲斐守だった頃にその良質な馬に目をつけ、北巨摩に牧を経営するようになったようで、後にその子孫が常陸からこの地に移り、牧の実質的な支配権を握り、甲斐信濃源氏すなわち武田氏などとして勢力を広げることになります。

このように武田氏の繁栄の基盤としては、この「牧」の存在が重要だった

そうですが、中世以来の騎馬を中心とした上杉や武田の軍団に対して、尾張などの新興勢力では「御徒」と呼ばれる歩兵の割合が高くなっていったようです。

hui*_k さん

#11 曲垣平九郎と出世の石段 2002/ 1/ 9 11:11 [No.4238 / 15916]

將軍家光が増上寺参拝に帰りに、愛宕山の石段の上の梅を見つけて

「誰か馬にてあの梅をとって参れ」と命じ、他の家来がたじろぐ中、曲垣平九郎が名乗りをあげ、見事に馬で石段を上り下りし、梅を献上したことから、「日本一の馬術の名人」と將軍からお褒めをいただき、出世を遂げたと言われていました。

たしかにこの石段は上から見下ろすと足が竦むほどの急勾配で、

途中に踊り場もないので、歩いて登っても結構大変です。

後に、明治、大正、昭和にそれぞれひとりずつ馬での上り下りに

成功しているそうです。

失敗例は数知れないんだろうなあ....

hui*_k さん

#11 平手政秀の切腹の原因 2002/ 1/ 9 11:16 [No.4239 / 15916]

信長の家臣、平手政秀は信長の奇行を諫めるため切腹した・・・となっていますが(一般的には)、実は信長が平手政秀の長男の馬を欲しがって、これを拒否されたため不仲になってしまい、切腹してしまったという説があります。

昔の大河ドラマで「信長」がありましたが、この長男役を黒田アーサーがやってて、これに近いようなストーリーを展開していたような・・・。

クイズ パンチ de デートさん

↓ 12です。 2002/ 1/ 9 11:18 [No.4240 / 15916]

うーむ。

クイズ パンチ de デートさん

#番外 上田馬之助 2002/ 1/ 9 11:20 [No.4241 / 15916]

昔は誰でも知ってる悪役プロレスラーでしたが、最近とんと

名前を聞かないので、どうしてるかと調べて見ますと交通事故にあって引退状態だそうです。

クイズ パンチ de デートさん

#番外 上田右馬之亮 2002/ 1/ 9 11:37 [No.4242 / 15916]

ちょっと漢字が怪しいのですが、幕末の剣豪にも「うえだうまのすけ」というのがいました。

この人の武勇伝はなかなか爽快で、江戸っ子の間でも評判だったようですが、詳しいことは忘れてしまいました....

とんねるずの石橋は、むかし「馬田馬之助」というキャラクターをやっていました。

hui*_k さん

#番外 白馬に乗った王子様 2002/ 1/ 9 11:43 [No.4243 / 15916]

いい歳をしていまだに「白馬に乗った王子様」が迎えに来るのを待っているという女の子がいたので、「ここは日本だから『白馬に乗った王子様』なんて来ないよ。来るとすれば『駕籠に乗ったお殿様』だよ。それもせいぜい『くるしゅうない、そばめにしてつかわずぞ』なんていうのがオチだよ」と言ってあげたら、意外にもウケてました。

hui*_k さん

#13 群馬県 うまや橋 2002/ 1/ 9 13:51 [No.4244 / 15916]

群馬県・・・古代、榛名山東南麓～東麓地域の呼び名が「クルマ」。その後、時代やシチュエーションに応じて、「車評」「群馬（くるま）の郡」などと呼ばれたようです。「クルマ」が訛って「グンマ」になったそうです。

現在の前橋市周辺は、利根川の流れているあたりに車川と称する流れがありました。10世紀平安中期には、「駅家（うまや）の郷」「群馬（くるま）の駅」という地名が文献に出てきます。

戦国時代に長野賢忠が、箕輪城の支城として「厩橋（うまやばし）」城を作りました。上杉・北条・武田の三つ巴の戦場です。のち、織田滝川軍が入ります。

江戸時代になり、「うまやばし」訛って「まやばし」は「まえばし」に改められました。

「慶安年中（1648年から1651年まで）酒井忠清が城主であった頃」という記述と、「1681年から1707年まで、酒井忠挙が城主であった頃」という記述が、WEB上にはありません。

spat さん

#14 磨墨、生月 2002/ 1/ 9 19:24 [No.4245 / 15916]

磨墨、生月（するすみ、いけづき）

平家物語、源義経の入京の際、

（悪役）梶原源太景季が宇治川の先陣争いで、負けそうになったので

わざと「馬の腹帯がゆるんでいるぞ、直したまえ」と声をかけ、

気を取られている隙に、一番乗りをしてしまった。

その時、梶原が乗っていたのが関東の名馬「生月」

二番になってしまったのが黒馬「磨墨」

で、その「磨墨」を産したのが、岐阜県郡上郡明宝村だという。

で、国道沿いにある道の駅の名が「磨墨の里」

彦左の生まれ在所の近くの伝説なんだけど、

一番じゃなく二番になってしまった<残念>を、自慢するってのは。

なんだかなあ。

岐阜県郡上郡八幡町には、「山内一豊の妻の在所」という伝説もあって

なんだかなあ。

マイナーな自慢てのは、岐阜の県民性なのかねえ。

彦左衛門_0さん

#15 西竹一とウラヌス 2002/ 1/ 9 19:52 [No.4246 / 15916]

以前にも取り上げられましたが、バロン西と愛馬ウラヌスを。

10万観衆の度肝を抜いた。1932年8月14日、西竹一さんと愛馬ウラヌスは伝説を作った。当時は五輪の華とし

て、閉会式に先だって行われた馬術大障害。超満員のスタジアムに11番目で馬場に飛び出し、大小19の障害を次々にクリアした。10番目の選手までで完走者4人という難コース。減点12でトップだったチェンバレン（米国）を上回る減点8でフィニッシュした。「バロン・ニシ、バロン・ニシ！」。前回五輪最下位の日本から来た男爵に、スタンドの観客が総立ちで拍手を送った。ロサンゼルス市からは、市民栄誉賞が贈られた。

それから13年後の45年3月22日、太平洋戦争末期に、西さんは壮絶な最期を遂げた。連隊長として赴任した硫黄島で、米軍将校から追いつめられ、こう呼びかけられた。「バロン・ニシ、ロサンゼルスでの名誉は知っている。もう終わりだから、降伏しなさい」。しかし、これを拒絶。両足に銃弾を浴び、戦地で永眠した。胸には、ウラヌスとの写真がしのばせてあった。その6日後、愛馬も主人の後を追うように息を引き取った。

西さんの功績をたたえるため、84年のロサンゼルス五輪には長男泰徳さん（72）が招待を受けた。当時、父が優勝したスタジアムを訪れると、入り口の銅板に「JAPAN TAKEICHI NISHI」と刻まれていた。半世紀以上を隔てて、同地で開催された五輪が、西親子をロサンゼルスで結びつけた。メダルは今、東京・国立競技場内の秩父宮記念スポーツ博物館に、ウラヌスのてい鉄とともに飾られている。

泰徳さんは現在、硫黄島協会の副会長を務めている。主に硫黄島戦死者の遺族を中心に、会員約5000人。毎年、遺族たちとの慰霊墓参を欠かさない。厚生省を中心に行われている遺骨収集にも、積極的にかかわっている。「硫黄島では約2万人が亡くなったといわれています。収集されたのはまだ8000体。終戦から55年たった今でも、1万2000の遺骨が残っています。一刻も早く、日本に迎えることが念願なんです」と泰徳さん。父竹一さんの遺骨もまだ、硫黄島東岸に眠っている。【五輪取材班】

◆西竹一（にし・たけいち） 1902年（明35）、東京・麻布生まれ。父は外相も務めた男爵・徳二郎さん。10歳のときに父が死去し、爵位を受け継ぐ。広島陸軍幼年学

校時代に馬術を始める。陸軍士官学校を経て、騎兵第1連隊の中尉に任官。32年ロサンゼルス五輪金メダル、36年ベルリン五輪は20位。45年、硫黄島で死去。

ryoanpaku_2002 さん

↓ 2002/1/9 19:55 [No.4247 / 15916]

日刊スポーツよりのコピペでした。

<http://www.nikkansports.com/sydney/rensai/nishi.html>

ryoanpaku_2002 さん

#16 厩戸皇子（聖徳太子） 2002/1/9 20:04 [No.4248 / 15916]

超有名人ゆえ、皆さん遠慮なさったのかな？

用明天皇の皇子。母は穴穂部間人皇女(欽明天皇と蘇我小姉君の子)。両親とも蘇我稲目の血をひき、馬子は大伯父にあたる。子は山背大兄王をはじめ九男六女が知られる。

用明二年(587)、蘇我馬子・泊瀬部皇子らの物部守屋討伐軍に参加。推古一年(593)、推古天皇の皇太子となり、摂政に就く。

同九年(601)、斑鳩宮を建てる。十一年(603)、秦造河勝に仏像を与え、蜂岡寺(今の広隆寺)を建立させる。同年、冠位十二階を制定。十二年、十七条憲法を制定。十三年、斑鳩宮に移る。十四年、勝鬘経・法華経を講読。十五年、斑鳩寺(法隆寺)建立。この年、馬子のむすめ刀自功郎女らを娶る。二十一年(613)、片岡(大和国葛下郡)へ行き、長歌を詠む(下記歌謡参照)。

二十八年(620)、蘇我馬子と共に「天皇記・国記」などを記す。崩御の年月日は諸伝あり、紀では推古二十九年二月五日、天寿国繡帳では三十年二月二十二日、法隆寺金堂釈迦像銘では同年一月二十二日。また『聖徳太子伝暦』には、二十九年二月、斑鳩宮で死を予知した(または自殺を決意した、とも取れる)太子が膳妃(菩岐々美郎女)と共に

聖徳太子の壱万円札がなつかしい。

ryoanpaku_2002 さん

#16 厩戸皇子（聖徳太子）訂正 2002/1/9 20:08 [No.4249 / 15916]

用明天皇の皇子。母は穴穂部間人皇女(欽明天皇と蘇我小姉君

の子)。両親とも蘇我稲目の血をひき、馬子は大伯父にあたる。子は山背大兄王をはじめ九男六女が知られる。

用明二年(587)、蘇我馬子・泊瀬部皇子らの物部守屋討伐軍に参加。推古一年(593)、推古天皇の皇太子となり、摂政に就く。

同九年(601)、斑鳩宮を建てる。十一年(603)、秦造河勝に仏像を与え、蜂岡寺(今の広隆寺)を建立させる。同年、冠位十二階を制定。十二年、十七条憲法を制定。十三年、斑鳩宮に移る。十四年、勝鬘経・法華経を講読。十五年、斑鳩寺(法隆寺)建立。この年、馬子のむすめ刀自功郎女らを娶る。二十一年(613)、片岡(大和国葛下郡)へ行き、長歌を詠む(下記歌謡参照)。

二十八年(620)、蘇我馬子と共に「天皇記・国記」などを記す。崩御の年月日は諸伝あり、紀では推古二十九年二月五日、天寿国繡帳では三十年二月二十二日、法隆寺金堂釈迦像銘では同年一月二十二日。また『聖徳太子伝暦』には、二十九年二月、斑鳩宮で死を予知した(または自殺を決意した、とも取れる)太子が膳妃(菩岐々美郎女)と共に遷化したとある。前年末崩じた母間人皇女と膳妃と共に、河内国の叡福寺磯長陵に合葬された。

聖徳太子の壱万円札がなつかしい。

母親が厩の前で産気づいたと言うのはキリスト生誕を思わせませぬ。

キリスト教の全身景教の影響によるものと言われています。

ryoanpaku_2002 さん

#番外 なんだ馬之介 2002/1/9 20:17 [No.4250 / 15916]

トシちゃん感激!!!

ykm6812 さん

#番外 馬軍団 2002/1/9 20:24 [No.4251 / 15916]

現在の我が「積水化学・小出軍団」に勝るとも劣らない軍団が、

90年代半ば頃の中国に駐屯していた。

馬俊仁コーチを軍団長とし、王軍霞・曲雲霞といった優駿を抱え、

世界の長距離界に君臨した。

中国3000年の歴史の結晶たる「魔法のスープ」こそが、

彼女らの馬力の源であった。

東洋人に席卷されると「ドーピング疑惑」をかけたたり、理不尽なルール改正をするのは、

今も昔も変わらぬ欧米人の習癖である。

ykm6812 さん

#17 チャグチャグ馬っこ 2002/1/9 20:50 [No.4252 / 15916]

毎年6月15日、盛岡で行われるお祭り。

一度見てみたいなと思いつつ、果たせずにいます。

むかしむかし、この地方の有力者の家で飼われていた馬が、あまりに苛酷な労働をさせられたため、それを哀れんだ村人たちが精一杯飾り立てて埋葬してあげたのが始まりだとか？（違ってたらごめんなさい）

今でも、このお祭りには、色とりどりに飾り立てられた馬たちが、田んぼのあぜ道を練り歩き、そのさまはとってもきれいだとか

ecc**ler さん

#番外 藤村俊二(西遊記の馬) 2002/1/9 20:54 [No.4253 / 15916]

西遊記IIで、夏目雅子さん演じる三蔵法師が乗る馬の役実際に夏目雅子が自分の背中に乗っていると想像すると…

ecc**ler さん

#18 白米城伝説 2002/1/9 20:57 [No.4254 / 15916]

柳田國男の『木思石語』や南方熊楠の『十二支考』にも紹介されている白米城伝説は

全国各地に残されていますが、その一つを

天正11年土佐の長曾我部元親は讃岐の安富氏を攻め、その城雨滝城は長曾我部軍に包囲され城の水の手を断られた。飲み水が尽きて落城寸前の所を一計を思いつき、城内の白米を馬の背に流しかけ、寄手の長曾我部軍に水が豊富にあるようにみせかけた。長曾我部軍は他にも水の用意があったかと驚いたが、よくよく見ると鳥が来て水を啄ばむので、馬の背に注いだのは白米と見破り、ついに落城したという。

この話は白米の計が図に当たり、敵が包囲を解いて退却するというものと、裏切り者の密告等で計が見破られ落城するというのに大別できるようです。

sakisaki さん

#番外 星飛雄馬 2002/ 1/ 9 22:33 [No.4255 / 15916]

とうちゃんおれ巨人にいくから、ちゃぶ台いくらでも買ってあげるよ・・・

ps.「白米城伝説」は、記憶が正しければ柴田勝家が「甕割り柴田」の異名を取る元になった逸話でもありませんでしたっけ？

ykm6812 さん

#19 典厩 2002/ 1/ 9 23:12 [No.4256 / 15916]

左右馬寮(まりょう)のカミは頭。スケは助。ジョウは允です。諸国の牧場(武蔵・上野・甲斐・信濃)から集められた宮中の馬の飼育・調教、馬具・飼料の管理を行った役所です。

自称も含めて、典厩(唐風。中納言が黄門なのと同じ)を名乗った人は。(ってこれだけでお題になるな。でもマイナーすぎ)

Google 検索で、とにかく一番出てきたのは、

☆ 「武田典厩信繁」(左馬助) 信玄の弟。長野市の典厩寺は、第4回川中島大会戦で亡くなった信繁はじめ、両軍戦没者6000余名を供養しています。

☆ 「武田典厩信豊」(左馬助) 信繁の息子。信玄の甥。勝頼のイトコ。オヤジを古典厩、こちらを新典厩・後典厩と言うこともあります。

「武田」を除いて検索すると次は、

☆ 「源左典厩義朝」(左馬頭) こちらは、正式に任官されてます。保元の乱の功績により、ですが、武官としては高位ですが、平清盛と差をつけられた形になり、平治の乱へと。そして

☆ 「細川典厩家」 足利幕府の四管領の家、細川の本宗家は「京兆家」です。典厩家は分家のひとつですが、宗家に近い位置にいました。摂津西成郡守護。ちなみにのちの熊本

藩家は「上守護家」といい、また別の分家です。

☆ 「足利將軍家」 嫡流であれば、まず左馬頭になります。次期將軍の宣告みたいなものです。

☆ 「足利鎌倉公方家」 こちらも、左馬頭をやります。で、左右の兵衛督になるのが慣例です。江戸時代の喜連川藩主(古河公方家)も、藩主13代中4人は左馬頭。ほかは兵衛督です。

このほか、有名人は。

左馬頭は、源満仲、木曾義昌、肝付良兼、筑紫広門、里見義堯、里見義弘、里見義康。

左馬助は、肝付兼護、松田憲秀、最上家親、山名誠通。

左馬允は、安東種季。

右馬寮のほうがパツとした人物がいません。

多分、義朝以来足利家含め、左馬頭が武門源氏らしい官職だったからでしょうか。

右馬頭は、江馬時盛(姉小路家)、畠山(二本松)盛国、毛利輝元、毛利元就。

右馬権頭は、佐竹義篤。

右馬助は、大村純直(喜前弟)、南部晴政。

右馬允は、九鬼嘉隆、芳賀高継(宇都宮家)。

Thank you! (てんきゅー)

spat さん

#番外 1889年トリノの馬 2002/ 1/ 9 23:41 [No.4257 / 15916]

1889年1月3日の朝、北イタリア・トリノの下宿を出た直後、動きの悪い馬に御者が鞭を入れているのを見て、異常な興奮に襲われたニーチェは、馬を庇って抱き着き、その後は、彼の哲学が名声を得つつあることも知らず、1900年の死に至るまで狂気の闇の中にありました。

21世紀は、良くも悪くもニーチェの影響が

社会の基盤にあったように思われます。

ところで、

「うえだうまのすけ」は「上田右馬之允」と書くようです。桃井道場士学館の四天王と謳われた門人で、背の丈六尺を超える大男ながらおとなしい男で、ある日、京橋の松田という

料理屋の二階で子供連れで食事していたところ、子供が過って四人連れのさむらいの刀をちょこんと蹴ってしまった。

帰り際に、さむらい連中が「真剣勝負をしろ」と凄んできたので、さんざん詫びてそれ以上相手にせず、階段を降りかけようとしたところに四人が一斉に斬り込んできた。

そこを振り返りざまにひとりを深胴に斬り、転げ落として、後の三人も子供を庇いながら無理な体勢で斬り捨ててしまった。

これは、完全な正当防衛として、斬られた方は身元も分からぬまま葬られ、斬り合いの様子を聞いた山岡鉄舟も賞賛まくったそうです。

最近チョーお勧めの『戊辰物語』から・・・

hui*_k さん

#20 司馬懿仲達 2002/ 1/10 0:49 [No.4258 / 15916] 179-251

諸葛亮孔明の最大のライバルであり、

「死せる孔明、生ける仲達を走らす」の当事者として、

三国志演義では完全に孔明の引き立て役です。

現代中国でも不人気だそうです。

しかし、無理な外征を繰り返す蜀の国力を見計らい、持久戦に持ち込んで最終的な勝利を収めたその戦略眼は、卓越したものがあると思います。

最終的には蜀・呉とも自滅に近い形で滅亡、

魏も仲達の子孫に取って代わられ晋となり、

三国時代は終焉を迎えます。

ただ惜しむらくは、その後の晋の皇帝に仲達の資質を僅かでも受け継ぐ者がいなかったため、晋が40年持たずして滅亡したことです。

ykm6812 さん

【うま】御礼 2002/ 1/10 0:50 [No.4259 / 15916]

SPAT1997さんがまた一步三十路にお近づきになったのを祝して、お題を出させて頂きました(もうすぐ仲間入りですね♪)。

・・・もちろんウソです。

さすがに馬は蛇と違い、人間の歴史と切っても切れない関係にありましたから、回答をお考えになるのは比較的容易であろうと予想いたしました。

ところが、寄せられた回答は私の予想をはるかに上回るものばかりで、

皆さんの博識ぶりを堪能させて頂きました。

どうもありがとうございました。

ちなみに、私が考えていた回答としては、例えば以下のようなものがあります。

【名前に馬のつく人物】

司馬達等、蘇我馬子、司馬江漢、式亭三馬、曲亭馬琴、坂本龍馬、司馬遼太郎、

司馬炎、司馬遷、有馬晴信、有馬新七、

怒れ求馬(実在人物でしょうか?)

【午年の事件】

庚午年籍、甲午農民戦争、壬午軍乱

【馬にまつわる史実】

信長の馬揃え、馬防柵、伊達騎馬鉄砲隊、秋山好古騎兵軍団、堀部安兵衛の高田馬場決闘

【馬にまつわる神話・伝説・俗説】

ペガサス、スーホの白い馬、馬盗人、丙午生まれの女は夫を食い殺す

【馬のつく地名】

馬関(下関)

【馬にまつわる故事】

塞翁が馬、鹿を指して馬となした趙高、3頭の馬が飼葉桶に首を突っ込む夢を見た曹操

【馬、馬にまつわる物】

汗血馬、馬頭琴、前田慶次の愛馬松風

この他にもまだまだあると思います。

「談話室」のほうで披露して頂ければ幸いです。

ykm6812 さん

お題【歴史上の人物と神社の関係】 2002/ 1/10 10:28 [No.4260 / 15916]

みなさま初詣はどちらへいらっしゃったでしょうか。

以前、ご祭神20選というお題がありました、

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=1&board=1835208&tid=nrbbkbb3bcjc0f>

ea52a1aa5e0&sid=1835208&mid=2003

今回は、祭神という形以外、すなわち

氏神、勧請、祈願、再建、元服、婚礼....

などの形で関わった歴史上の人物(集団も可)と

神社との組み合わせを20組挙げて下さい。

同一人物や同じ神社が何度登場しても構いません。

組み合わせの重複のみ不可です。

hui*_k さん

#01 新田義貞と小働神社 2002/ 1/10 12:47 [No.4261 / 15916]

(こゆるぎじんじゃ)

江ノ島と稲村が崎の間にある小さな神社ですが、1333年、新田義貞の再建、とあります。

稲村で太刀を投げる前に、村の社を再建しているんですね。

鎌倉征伐の戦勝祈願だそうです、..、

なんで、江ノ島神社への寄進じゃないんだろう?その方が簡単だろうに。

そもそもイクサの最中に、神社なんか建ててる場合か?

まあ、位置関係からすると、稲村へ行く準備としての前線基地か、敗退した場合の防波堤として、「砦」にしたかったのかな?と思います。

義経の腰越状の、満福寺のほぼ正面ですから、切り通しのさらに前の、鎌倉の防衛ラインだったと予測できます。

fre*_b*h さん

#02 子安神社(千葉市畑町)と千葉康胤 2002/ 1/10 14:13 [No.4262 / 15916]

自宅の近くにある神社として、雅子様に岩田帯を献上した(というか、できたというべきか。全国の立候補した神社か

ら選ばれた中のひとつだったらしい)由緒有る神社ですが、正月でもひっそりしています。有名になってもらいたいので、投稿します。以下、由緒抜粋。

室町時代、千葉介21代幕張城主馬加睦奥守平康胤氏の奥方

が妊娠し11ヶ月になっても兆しがなく心痛し日頃

崇敬している船橋三山の二宮神社、畑の子安神社、武石の三代王神社、幕張の子守神社、四社の神主を呼び

寄せ幕張の浜で安産祈祷した処、間もなく奥方が無事に男子を安産し時に西暦1445年(文安2年)9月16日

であった。康胤はじめ家臣、領民が欣喜し四社の御神徳に報ゆる為の祭りを安産の御礼として奉行した、この行事

を知って新たに菊田、大原、時平、八王子、高津比め神社の五社が参加し九社のお祭りとなる。時に西暦1727年

享保12年(八代將軍吉宗)の頃から七年目毎に行われる大祭となる。(千葉市風土記)

このエピソードもローカルですが、この神社はいまでも安産、子育てに御利益があります。

クイズ パンチ de デートさん

#03 俊寛と喜界ヶ島の岩殿 2002/ 1/10 14:52 [No.4263 / 15916]

平家物語に載っている、絶海の孤島に残された悲劇の物語。実際には頼康・成経と岩殿、といったほうが正確ですが、有名なのは俊寛なので。

平家に対する謀反の疑いで、俊寛・頼康・成経は当時日本の領域というには遠すぎた喜(鬼)界ヶ島に流されます。そこで頼康と成経は、洞穴を神社と決めそこに参拝しました。

その御利益からか、都で赦免の令がくだって二人は島流しの生活を終了、都に戻ります。俊寛だけはこれをしなかったためか、一人喜界ヶ島に残されました。

その後俊寛は岩殿に参拝に行ったのでしょうか。弟子の有王が俊寛に会うため喜界ヶ島へと渡り、二人は対面しました。なお、芥川龍之介の「俊寛」は、この島流しでも明るく生きるたくましい俊寛の姿を描いています。

toshy.y.takahashi さん

#04 讃岐の金毘羅神社と遠州森の石松 2002/ 1/10 15:24
[No.4264 / 15916]

清水の次郎長は、ほげたの久六なるヤクザ？を討ち果たし、恩人の仇を報いることを祈願、それを成就します。そのお礼参りに、自分は行くことができなかったため森の石松に代参させます。

これが例の（といっても、分かる人が少ないような気が）寿司食いねえ、の道中です。

代参を果たした石松は、帰りに見受山鎌太郎なる侠客に世話になり、また次郎長の奥さんが死去していたため、香典として25両もの大金を預かります。

その帰途、またまたヤクザの都鳥一家に出会った石松は、大金を持っていることをうっかり漏らしてしまい、それをだまし取られたばかりか、殺されてしまいます。

その後、次郎長一家の復讐に怯える都鳥一家でしたが、次郎長がフグにあたって虫の息の噂をきいて、やられるまえにやっちまえてことで清水に赴きますが、これがとんだデマで、待ち伏せていた次郎長に逆にやられてしまうのでした。

クイズ パンチ de デートさん

#05 鶴岡八幡宮と源実朝 2002/ 1/10 20:15 [No.4265 / 15916]

雪のなか3代将軍、源実朝が甥の公暁に暗殺された場所です、鶴岡八幡宮は康平6年(1063)源頼義公が奥州を平定して鎌倉に帰り源氏の氏神として由比ヶ浜辺にお祀りしたのが始めです。その後、頼朝公は鎌倉に入るや直ちに神意を伺って現在の地に八幡宮を移し祀り、建久2年(1191)には鎌倉幕府の宗社にふさわしく上下両宮の現在の姿に整えました。鎌倉は、このころすでに事実上、京都と並んで政治文化の中心となっており、頼朝公は関東の総鎮守として崇敬を寄せました。以後、国家鎮護の神として多くの人々の崇敬を集め、全国津々浦々にお祀りされ、広く国民から尊崇されるようになりました。御本殿は文政11年(1828)1代将軍徳川家齊公の造営で代表的な江戸建築です。又、2代将軍徳川秀忠公が修復した若宮とあわせ国の重要文化財に指定されております。境内には源平池を始め、静御前で知られる舞殿。3代将軍源

実朝公があやめられた場所と伝えられるところには、大銀杏が樹齢千年の貫禄とともに八百年の長い歴史を伝えております。表参道である段葛、若宮大路から眺める社殿は漆の朱と山の緑と空の青が見事に調和して、その美しさには驚嘆するばかりです。

J R 鎌倉駅下車 5分

ryoanpaku_2002 さん

#06 熱田神宮と織田信長 2002/ 1/10 20:58 [No.4266 / 15916]

桶狭間の戦いの折、信長が隊列を整え、必勝祈願をし、見事勝利した後は土堀を奉納(日本三大土堀の一つ)。

熱田さんと信長の関わりは余りにも有名ですね。

ykm6812 さん

0 7 笠森稲荷と笠森お仙 2002/ 1/10 21:50 [No.4267 / 15916]

今はない神社でもいいのかな？

江戸は谷中にあった笠森稲荷は流行病(かさ=梅毒)から身を守ってくれるありがたい神様として特に江戸の遊女から信仰されていました。この笠森稲荷の境内にあった水茶屋「鍵屋」の娘が美人で評判のお仙でした。

美人画が次々に刷られお仙を一目見ようと店は押すな押すなの大盛況。

ところが二十歳でお仙は幕府御家人倉地甚左衛門の妻になり、店にその姿は見えなくなりました。

代わって店に出た老父を見て「とんだ茶釜が薬缶に化けた」という流行語も生まれたそうです。

ところで谷中には複数の笠森稲荷が存在していたようで、どこがお仙がいた笠森稲荷であったか論争もあったとか。

sakisaki さん

#08 三囲稲荷と宝井其角 2002/ 1/10 23:51 [No.4268 / 15916]

芭蕉の高弟として知られる俳人の宝井(榎本)其角のエピソードです。

ある日、三囲稲荷を参詣した其角。そこで雨乞いをしていたお百姓衆に、僧侶と間違えられ祈禱を頼まれてしまいます。そこで其角は、祈禱はできないがと、一句詠みました。

夕立や 田を三囲の 神ならば

するとこの句を詠んだ途端、たちまち雨が降って来たのでした。というお話。

この逸話はよく知られていたようで、これに関する川柳がいろいろと残っています。

夕立の 一句稲荷も 裸足なり

夕立の 句に謝った 稲荷様

恐れ入りましたを其角 聞きあきる

嵐雪に その日濡れたと 恨みられ

雨蛙 すぐに其角が 脇をつけ …etc

c6h14o6 さん

#09 箱根権現と北条幻庵 2002/ 1/11 5:08 [No.4269 / 15916]

眠気覚ましの投稿・・・

幻庵(長綱)は早雲の三男。

生まれは明応二年(1493)、すなわち早雲が駿河国興国寺城から伊豆の堀越に討ち入り、足利茶々丸を滅ぼし伊豆一国を手中におさめた翌々年です。父早雲は62歳でした。

少年時代、京に上り三井寺勸学院で修行しました。

これは、いずれ箱根権現別当になるためであったといわれています。

また30歳前後にも再び上洛しています。

26歳の折、父早雲が韮山で没したが、

死に先だつて与えられた彼の知行は4465貫と一族中最大の領でした。

32歳の頃、海実僧正のあとをうけて俗体のまま第40世箱根権現別当となり、

西相模・東駿河・伊豆の宗教界に大きな勢力を振るいました。

一方、長兄氏綱はこのころ上杉氏を相手に武蔵で苦戦していたため、

幻庵はしばしば応援のために出陣しています。

氏綱が亡くなったとき、甥の氏康はまだ 26 歳の若さ、また翌年には次兄葛山氏時も没したため、
幻庵は一門の長老として氏康を後見し、以後の南関東の経営はこの両者のもとに行われた。
天文 21 年（1552）1 月、山内上杉氏の最後の拠点上州平井城を襲い、これを陥したため、
上杉憲政はまったく関東に足場を失い、雪の三国峠を越えて越後に走り長尾景虎を頼りました。
そして憲政から関東管理領の名跡と上杉の系図を受け継いだ景虎が執拗に関東に攻め込んでくるが、
最初に平井で戦ったのも幻庵でした。
その後実に 40 年、その間北条氏は氏康から氏政、氏直へと当主は替わりましたが、
幻庵は歴代の後見を務め、北条氏の全盛時代を築きました。
幻庵は武人としては、弓矢をとって無双の達人、馬はかの養由に勝るとたたえられたのみでなく、
他面で鼓の名手であり、尺八の芸はあまりに著名であり、
また歌人として、あるいは連歌の道の心得も一流、
さらに有名な「幻庵覚書」を著わし教育者としての風格も併せ持った、
実に多芸多才、文武兼備の名将でした。
そして、彼が天正 17 年（1589）11 月、97 歳の長寿で没してわずかに三週間後、
豊臣秀吉の小田原攻めが始まり、半年後には北条氏は滅亡したわけですから、
幻庵の生涯は、後北条氏百年の歴史とともにあったということになります。
彼の名を初めて知ったのがかの「信長の野望」シリーズ、早雲以上の長命で(当時としてはほとんど化け物?)、たちまち覚えてしまいました。
以来文人としてのイメージが強かったのですが、その実マルチな才能を持った武将だったようですね。

ykm6812 さん

#10 秦河勝と蚕ノ社 2002/ 1/11 15:40 [No.4270 / 15916]
本当は「秦氏と…」とした方が良いのかもかもしれませんが、

ちょっと調べてみたのですが、よく分からなかったのですが、
殆ど想像だけで書いてしまいますから、ゆめゆめ信用しないで下さい。
日本書紀では雄略天皇の時代に秦一族を統括させ、そのときの貢ぎ物が
「うずたかく」積まれたから「うずまさ」の姓を賜ったという話がありました。
蚕ノ社という名は実は木嶋神社の撰社の養蚕神社の通称ですが、
機織りなどを良くする秦氏の氏神として木嶋神社は尊崇されたそうです。
有名な三つ柱鳥居のあるのが、境内の「元糺の池」というところで、
河合の下鴨神社が「糺の森」ですから、関係が深いことが分かります。
始め太秦の地にいた鴨氏の祭祀を秦氏が引き継いだのが、通称「蚕ノ社」と
呼ばれる木嶋神社で、鴨氏はその後東の鴨川の河合へ移ったのではないかと
思われます。
三つ柱鳥居は、ダヴィデの星にも似たその形状から、ネストリウス派の影響があったのではないかとする説もあるそうで、聖徳太子のブレーンとして十七条憲法策定にも参画した秦河勝が、モーゼの十戒から影響を受けていたのではないかなんて言う見方さえあります。
木嶋神社は、延喜式の名神大社にも連なっている格式の高い神社で、
格の上でも位置関係でも、下鴨神社と対の関係にあり、下鴨神社の真南に、
平安京四神の「青龍」にあたる鴨川が真っ直ぐ伸びるのと対になる形で、
木嶋神社の真南には「木嶋大路」というのが伸びていたことが最近の発掘で
分かり、従来山陰道ではないかとされていた「白虎」に当た

る道路が
この道であることがほぼはっきりし、平安京の都市計画の全貌がかなり
明確になったようです。
hui*_k さん

#11 諏訪大社（上社）と諏訪四郎勝頼 2002/ 1/11 17:37 [No.4271 / 15916]

時は戦国 諏訪の惣領兼大祝の諏訪頼重

諏訪家は、一時惣領家と大祝家とに分かれていましたが、抗争を経て、このときには惣領家が大祝職も兼ねました。
大祝（おおほうり、おおはふり）とは諏訪明神のよりしろ（＝現人神あらひとがみ）として、諏訪社の頂点に位置していた役職で、上社大祝は古代から江戸時代末に至るまで代々世襲され、「諏訪」または「神（じん、みわ）」姓を名乗った。
その頼重は、隣国甲斐の武田晴信によって滅ぼされます。
頼重の娘と武田晴信との間の男子が、勝頼です。
勝頼が、諏訪家を継ぐことになりました。
そう、だから勝頼は武田の家督を継ぎませんでした。
大河ドラマの原作でもあった、新田次郎氏の『武田信玄』では、勝頼が「大祝」にもなったと書いてあったように記憶していますが、いま調べてみると、そういう記述は見当たりません。
頼重の従弟頼忠が徳川家康に仕えて所領を安堵され、その子・頼水は諏訪高島郡三万石を与えられて、近世大名として明治維新を迎えた。諏訪大祝職は頼水の弟頼広が継いで、子孫相継いで明治に至ったのだそうです。

spat さん

↓ 若干説明補完 2002/ 1/11 17:42 [No.4272 / 15916]
> 大河ドラマの原作でもあった、新田次郎氏の『武田信玄』では、勝頼が「大祝」にもなったと書いてあったように記憶していますが、いま調べてみると、そういう記述は見当たりません。
「いま調べてみると」は、小説を読み返したのではなくて、WEB検索で「勝頼が大祝に就任した」という記述が見当た

りません、ということです。

spat さん

#12 建水分神社と楠木正成 2002/ 1/11 18:17 [No.4273 / 15916]

大阪府南河内郡千早赤阪村にある神社。建水分は「たけみくまり」と読みます。

千早赤坂といえば、周知のように鎌倉幕府末期における楠木正成の拠点であり、正成が千早城、赤坂城に立てこもり、攻め寄せ幕府軍をゲリラ戦でさんざん手こずらせたことで有名な土地です。

神社の創建は崇神天皇の御代に、水神として水分神を祀りました。本社三殿中の中殿には天御中主命、左殿には天水分神、水波乃売命右殿には国水分神、瀬織津姫神が祀られています。

正成は後醍醐天皇の勅令により、もとあった場所から現在の場所に移転造営させました。そんなところから地元では「楠公はん」ゆかりの神社として親しまれています。

余談ですが、千早赤阪村では明治時代に世間を震駭させた「水分事件」という殺人事件が起きています。これは借金と不倫のもつれから二人のやくざ者が、喧嘩相手の家族十人を惨殺するという凄惨なもので、地元では一般的に「河内十人斬り」と呼ばれ、河内音頭の外題のスタンダードナンバーとなっています。

楠木正成と建水分神社はそのストーリーの中でも、必ず象徴的に歌い込まれています。

s11*3_0*さん

#13 愛宕神社と明智光秀 2002/ 1/11 20:13 [No.4274 / 15916]

光秀は本能寺に信長を襲う前、愛宕山に参詣して戦勝祈願を行い、この時、連歌会を催した。

世に有名な愛宕百韻だ。
光秀は発句で「時は今 天が下しる（一説には（下なる）ともある。） 五月哉」と詠んだ。

この解釈について、「時」は『土岐』に通じること。すな

わち土岐氏出身の明智光秀が「天が下しる」ということは、『天下を知行する。』と言う意味となり、『今、まさに土岐家出身の明智光秀が天下を支配することになる五月という季節である。』という解釈になる。要するに光秀は天下を望んでいたという事になる。

この「時は今」の句の解釈の仕方については、光秀が播磨の陣に赴く途中、里村紹巴に天正6年5月4日付で次のような句を送っているので光秀の句の作り方（手法）について学んで、解釈の参考にすべきであると考え。

「ほととぎす いくたびもりの 木間（このま）哉」
「夏は今朝（けさ） 島がくれ行く なのみ哉」
この「夏は今朝」の句の詠み方は、愛宕山での発句「時は今」に驚くほどに似ている。

この句を参考とするならば、愛宕山での句で、『土岐』を「時」に託していたとはとても思えない。

ryoanpaku_2002 さん

#14 厳島神社と勝海舟 2002/ 1/11 21:53 [No.4275 / 15916]

第二次長州征伐

長州にメタメタにやられた幕府が、停戦交渉に勝海舟を派遣。その停戦交渉の場が、安芸の宮島、厳島神社でした。

厳島神社といえば、平清盛はじめ、歴史上の有名人が数多く刀剣などを奉納していますが、海舟も交渉の後、彼らに倣おうとしたのでしょうか？

脇差を奉納しようとする、正体を知らない神官に断られたとか

「竜馬が行く」のエピソードですから、本当かどうかは知りませんが、いかにも、海舟らしいエピソードですね。

船から見た宮島の鳥居は見事でした。

ecc**ler さん

#15 東照宮と左甚五郎 2002/ 1/12 12:46 [No.4276 / 15916]

日光東照宮の『眠り猫』の作者は左甚五郎と伝えられています。

しかしこの左甚五郎は生没年不詳の伝承的人物のようで詳しいことがほとんどわかっていません。

しかしあちらこちらに『甚五郎作』というのが残されているとのこと。

「左」は『左手で彫っている』ということから呼ばれるようになったそうで

言ってみれば「うっかり八兵衛」の「うっかり」のようなものですね。

（ほ、ほかに例えが思いつかなくて…）

ただし、左利きだったというわけではなく、右手を負傷した後に左手で彫るようになったとか。歌舞伎では甚五郎が右手を負傷する演目があります。（確か題は『京人形』）

私は6年位前にはじめて日光東照宮へ行き、そしてそれ以来行っていないのですが、

眠り猫がどこにあるのか全くわからなかったおバカちゃんです…。

いつかちゃんと見に行こうと思っているうちに6年も経ってしまいました。

にざりいさん

#16 大国魂神社と八幡太郎義家 2002/ 1/12 22:59 [No.4277 / 15916]

源頼義・義家父子が康平5年(1062)の奥州征伐(前九年の役)の帰途、神恵を感謝してケヤキを奉植したのが起源で、並木の南の端に残る老株はその一本であるといわれている。その後、徳川家康が参道の両側に馬場を寄進し、土手を築き、ケヤキの並木を植えそろうたのが現在の並木である。大国魂神社大鳥居前より北に約700mにわたって空に聳え、沿道の建物を制圧している。

また奥州征伐のおり、戦捷を大国魂神社に祈願し、帰途、神前にスモモ(李)と粟飯を供えて感謝したのが7月20日。それ以降この日は「すもも祭り」と呼ばれて無病息災を祈る祭りとなり、境内には近隣でとれたスモモを売る露店が並び立つ。この祭りでは神社から鳥の姿を描いた団扇(うちわ)が授与されるが、この団扇であおぐと病を防ぎ、秋の収穫期には

蝗(イナゴ)の害をあおぎとばして幸いを招くと言いつた。

馬場大門櫓並木の参道の南端、旧甲州街道を横切ると大鳥居ごしに大国魂神社の境内で、木立に囲まれた社殿を中心に撰社(本社に付属して縁故の深い神をまつた社の称で、格は本社と末社の中間に位置する。必ずしも境内にあるとはかぎらず、本社から離れていることもある。)・末社が配置され、厳かな雰囲気醸し出している。隨身門(平安時代、貴人の外出の時の護衛として、勅宣によりつき従った近衛府の舎人である隨身姿の二神の像を左右に安置する門。この二神は門守の神=矢大臣と、平安時代、檢非遺使の属官として罪人の追捕や牢獄のことがらをつかさどった看督長で、仏門の仁王門の二王になぞえられ世俗に矢大神、左大神という。)・中門を入った正面が拜殿で、その奥に三殿を一棟とした相殿造り(同じ社殿に二柱以上の神を合祀すること。この場合、とびらは別々につける。なお、祀神は相殿神とも呼ばれる。)の本殿があるが、もともと別々であったものを、寛文7年(1667)の造営に際し、改めたとされる。

京王線、府中駅下車5分

東京競馬場に近いため競馬開催日は込み合います。

ryoanpaku_2002さん

#17 日枝神社と太田道灌 2002/ 1/14 22:05 [No.4278 / 15916]

これも諸説があり、ある程度想像が混じっていますが悪しからず。

平安京の表鬼門を守るのが比叡山なら、比叡山の表鬼門を守るとされたのが

近江坂本の日吉神社で、これをはじめは川越城の守りとして、次いで

江戸城の裏鬼門の守りとして太田道灌が勧請したのが現在の赤坂の

日枝神社の始まりだそうです。

江戸城の表鬼門の守りとしては、神田明神がその位置にありましたが、

家康入部の際に天海が比叡山の末寺として創建したその名

も東叡山寛永寺が

江戸城の鬼門を守る主役となったようです。

hui*_kさん

#18 神田明神と平将門 2002/ 1/14 22:21 [No.4279 / 15916]

日枝神社とくれば神田明神も

神田明神は天平2年(730年)、武蔵の国豊島郡芝崎、現在の千代田区大手町将門塚周辺に創建されました。それから約200年後、平将門公が俵藤太に討たれ、その首が京都で晒されましたが、これを奪い返して塚を築き、葬りました。さらに、延慶2年(1309年)には将門公の霊をも相殿に祀り、神田明神と名付けました。天正18年(1590年)徳川家康は江戸を幕政の地と定め大規模な城下の造成工事を開始しました。元和2年(1616年)には現在の場所に移り、江戸城の鬼門の守護神となりました。その後、桃山風の豪華な社殿が築かれ、歴代将軍の崇敬厚く、江戸総鎮守として江戸の庶民にも親しまれてきました。

ryoanpaku_2002さん

#19 熊野本宮大社と平清盛 2002/ 1/15 0:11 [No.4280 / 15916]

熊野本宮大社は、同じ紀州にある熊野那智大社、熊野速玉大社と共に、熊野三山と呼ばれ、古代から、中世に渡り、100回を越える、上皇や法皇の参詣を集め、特に後白河法皇は34回の参詣を数えたほか、一般庶民の参詣も多く、「蟻の熊野詣」と呼ばれています。その参詣に使われた道は、今も一部が「熊野古道」として遊歩道として整備されています。その中で、平清盛の信仰も厚く、「平家物語」によりますと、清盛が伊勢の国から熊野へ向かう途中、舟に一匹の大きな鱸(スズキ)が飛び込み、先達の修験者が、これは熊野権現のご利益だから、食するよというお告げを受けて、自ら調理して、家来と共に食べた所、吉事が続き、清盛は太政大臣に出世、平氏は繁栄を極めるようになったといわれます。また、平治元年、清盛が熊野詣に息子重盛らと向かっていた際に、源義朝らが京都で反乱を起こしましたが、それを察知

した清盛は、機敏に京都へ取って返してこれを鎮圧、この平治の乱の勝利で、平氏の地位は確固たるものになりました。

六文銭さん

#20 香取・鹿島両神宮と中臣鎌足 2002/ 1/15 0:48 [No.4281 / 15916]

中臣氏はもとは香取神宮や鹿島神宮の宮司を世襲していた家系で、

一説には鎌足も常陸の生まれだとされていて、鹿に乗って奈良の地へ

やってきたという絵も見たことがあります。

東国への勢力拡大の前線基地だったとも言われる香取、鹿島の祭神は、

記紀ではオオナムチとの国譲りの交渉に赴いていて、中臣氏の氏神として

尊崇され、中臣氏の朝廷での位が上がるとともに、社格も上がり、

「神宮」号を与えられるようになったそうです。

香取、鹿島に加えて牧岡の祭神を分祀して平城京の守りとして勧請したのが、

春日大社で、その後はこちらが藤原氏の氏神として発展します。

hui*_kさん

#番外 源頼朝と伊豆山神社 2002/ 1/15 1:02 [No.4282 / 15916]

伊豆山神社は、温泉地熱海より、湯河原方向に進んだ中間にあり、岩戸山の山麓の子小高い丘上にあり、かつては修験道の霊場として、伊豆山権現とも呼ばれていました。

#19の平治の乱で、父義朝が打ち取られ、処刑されかけた所を辛うじて一命を救われ、伊豆の蛭ヶ小島へ配流となった源頼朝は、地元の豪族、北条時政の娘、政子と恋に落ち、この神社で密会し、結婚を果たしたほか、頼朝が伊東祐親追われていた時、この神社に身を隠していたと言われます。

後に念願かなって平氏を破ったあと、頼朝はこの神社に戦勝のお礼参りをし、以降鎌倉將軍の厚い信仰を受けたといいま

す。

こういった故事のある神社ゆえ、現在も、境内にあるナギの葉は、政子が鏡の下に敷いて頼朝との愛を祈ったものとされ、そのはをコンパクトなどに納めて携帯すると、良縁がかなうと言われてます。

P・S 文章は出来上がっていたのですが、掲示板のページの不具合かなかなか投稿が出来ず、そのうちに20件に達しましたので、番外で入れました。

六文銭さん

お題 「利家とまつ～加賀百万石」 2002/ 1/15 10:01 [No.4283 / 15916]

に關係する、人、物なんでも結構です。

時代も戦国時代に限らず、前田家の子孫も可能です。

#00 梅鉢紋

前田家の家紋です、菅原家の子孫ということになっているようです。

ryozanpaku_2002 さん

#01 裏千家 2002/ 1/15 10:33 [No.4284 / 15916]

千利休(宗易)切腹から数年の後にお家の再興が許され、孫の宗旦が三人の息子たちの仕官への運動を始め、ようやく宗左は紀州家に、宗室は前田家に、宗守は高松松平家に仕えることとなりますが、後に宗守は官を辞して京の武者小路に「官休庵」というのを建てて茶道の教授を始めたため「武者小路千家」と呼ばれるようになったそうです。

宗旦は自分の庵であった「不審庵」を宗左に譲り、自らはその北側の裏に「今日庵」というのを建てて隠居しますが、その「今日庵」も宗室に譲ってしまったので、これらの二家がそれぞれ「表千家」「裏千家」と呼ばれるようになったのだそうです。

日本列島の表と裏じゃなかったのね....

hui*_k さん

「歴史上の人物と神社」御礼 2002/ 1/15 12:26 [No.4285 / 15916]

お疲れさまでございました。

当初は「誰それがお参りしましたとさ」くらいの感じで考えていたのですが、出題者の予想に反して

格調の高い解答ばかりが揃い、番外が21件目に

なっちゃった六文銭さんの解答だけという

大変に真面目な展開になってしまい、

出題者自身がついていくのにゼイゼイ言っていました。

出された回答の殆どが予想できなかった、というより

知らなかった話ですが、他にざっと考えていたものとしては、

熱田神宮と日本武尊

熱田神宮と源義朝

大山祇神社と村上水軍

宇佐八幡と和氣清麻呂

巖島神社と平氏

湊川神社と徳川光圀

氷川神社と大正天皇

あと、石清水八幡宮で元服したことで八幡太郎と呼ばれた源義家が、「七世の孫が天下を取る」という神託を受けたものの、

七世に当たる足利なんちゃらが天下に手の届かないのを忸怩として

「三代後には天下を取らせ給へ」と願をかけて八幡の前で自刃し、

その三代目に当たるのが尊氏であるなどという真偽の不祥な話も

聞いたことがあります、詳しい方はご教示を....

hui*_k さん

#02 金沢大学 2002/ 1/15 12:36 [No.4286 / 15916]

金沢城の跡地に建っているそうです。

むかし、出身大が「キンダイ」と言われて、関西弁を想像していたら、北陸弁だったので、「あれ?」と思った事がありました。

「金大」なんですね。

ちなみに「シンダイ」は3通り知ってます。

う～ん、これは番外かな?

b_blue_hearts さん

#03 金沢城の鉛瓦 2002/ 1/15 14:32 [No.4287 / 15916]

金沢城の屋根は鉛瓦葺で知られており、これは戦争になったときに弾丸に鋳直すつもりだったとか、雪の重みと冬の寒さに耐えるための強度上の選択とか、佐渡の金を精練するために使われた鉛で貨幣を鋳造しようとしたら

各藩による鋳造が禁止されたためにダブっていたとか、美観上の問題ではないかななどの説があるそうです。

明治期に金沢城は炎上し、解けた鉛が雪とともに滝のように流れ落ちてきたそうで、今でも金沢城址は鉛汚染地帯だそうです。

<http://www.hokkoku.co.jp/kagakikou/chikujyo/chiku23.html>

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&board=1835208&tid=a4a2a4na1d3za4>

[7a4afnrbbka4noca1a2a47a4dea4bba4sa4aba1a9&sid=1835208&mid=2657](http://www.hokkoku.co.jp/kagakikou/chikujyo/chiku23.html)

hui*_k さん

#04 東京大学 赤門 2002/ 1/15 18:42 [No.4288 / 15916]

11代将軍、徳川家斉の21女、溶姫の輿入れの際に前田家が新築させたものです。

B_BLUE_HEARTS さん、金沢大学OKです。

ryozanpaku_2002 さん

#05 天徳院 2002/ 1/15 20:17 [No.4289 / 15916]

3代藩主前田利常の正室珠姫の菩提寺です。

「葵三代」で、西田敏行と岩下志麻が涙ながらに前田家に嫁にやったのが、珠姫。

つまり徳川の姫だから、「徳」の字がついたのかな?

「天徳院」は珠姫の法名だそうです。

現地では、からくり人形 「珠姫・天徳院物語」が上演されるそうなので、市内から結構遠いところを、チャリンコで一生懸命行ってみた所、「本日の上演は終わりました(泣)」今回のお題、なんだか、「金沢・名所旧跡めぐり」になりそうですね。

それはそれで楽しみだ。

ecc**ler さん

#番外 宮沢りえ 2002/ 1/15 20:20 [No.4290 / 15916]

むかーし、利家とまつ の 4 女で、秀吉夫婦の養女になったお姫様の役をやりましたよね。

見てないけど

映画の主演は、これが最初だったのでは？

このあたりに詳しい方、解説よろしく

ecc**ler さん

#06 鐘馗さま 2002/ 1/15 21:52 [No.4291 / 15916]

鐘馗さまは、魔を除き疫病の悪神を 追ひ払うという神。

唐の玄宗皇帝の夢に現れ、邪気・病魔・妖怪・鬼 を追ひ払ったという故事がある。

利家は馬印に「鐘馗」の旗を用いたことがあります。

陣羽織も残っています。

spat さん

Re 金沢大学 2002/ 1/15 23:45 [No.4292 / 15916]

10 年くらい前になるんでしょうか。

金大の城内キャンパスは金沢市郊外の角間というところに移転してしまいました。

今の城内は金沢城公園として整備されているようです。

中警察署が移転したのはずいぶん前だけど、付属小・中も移転しちゃったし。

けっこうあの近辺の風景も変わったなあ。以上、元市民でした。

c6h14o6 さん

#07 加賀八家 2002/ 1/16 11:40 [No.4293 / 15916]

「はっか」と読み家老八家で、前田家中の陪臣ながら、石高はいずれも一万石を越えているものばかりでした。最も石高が高かったのが、本多正信の次男を迎えて家老とした本多家で、五万石の石高を以って遇しました。本多家を迎えたことに始まり、それ以後も前田家は将軍家と緊密な関係を作るための政策を続け、十四代の当主の内、七人までが将軍家から正室を迎えているそうです。hui*_k さん

#08 銭屋五兵衛 2002/ 1/16 11:41 [No.4294 / 15916]

金沢の両替商から海運業へと事業を広げて成功した銭五は、全国に支店を持ち、地方での木材や海産物の生産までを取り仕切るようにもなったそうで、逼迫していた加賀藩の経済や財政の振興に手腕を発揮した経済人でしたが、念願だった河北潟の干拓を許可されて事業を進めるさ中に、潟に毒を入れた容疑で一族が捕らえられ、銭五もまもなく牢死します。

これは、加賀藩の重臣たちが仕組んだ陰謀であったと言われ、勝海舟はこの陰謀が、日本にとって大きな損失であったと評価し、もし維新まで生きていれば銭五は国際的にも通用する代表的な経済人になったのではないかとも言われています。

hui*_k さん

#09 焰硝街道 2002/ 1/16 18:46 [No.4295 / 15916]

富山、石川、岐阜の 3 県境の近く

富山県五箇荘村から金沢に抜ける街道。

五箇荘は

昭和の始めまで陸の孤島、秘境であり、合掌集落が残っている。

現在は岐阜県白川村とともに世界遺産になっている。

江戸時代に、加賀藩が秘密の火薬原料製造工場として焰硝（硝酸カリウム）を

この村に作らせ、金沢まで運ばせた。という。

それから、街道名がついた。

うーーーん。

300 年間、秘密が保たれたのだろうか？

いくら、鶏の糞などからカリウムが取れたとしても

大量に生産できるものなのだろうか？

ろくに、調べもしないで投稿しちゃいました。

NG ですかね？

彦左衛門_O さん

#10 越前府中城 2002/ 1/16 19:12 [No.4296 / 15916]

現在の福井県武生市 JR 武生駅前だそうです、現在では影も形もないそうです。

武生市は、「越前府中」の名の通り、かつては越前の中心地。信長軍の越前一向一揆攻略の後、前田利家が、この地に城を築き、府中城となったとか。

徳川時代は、越前松平家の家老本多家の居城として、明治を迎えることとなったそうです。

賤ヶ岳の後、北の庄の柴田勝家を攻め込む途中、秀吉がこの城に立ち寄って、直接厨に駆け込み、まつに向かって「湯漬けをくれ」

ほんまかいな？とは思いますが、このシーン、大河では省いて欲しくないなあ

（何年か前の「秀吉」ではもの見事にすっ飛ばされた）

ecc**ler さん

#11 賤ヶ岳の戦い 2002/ 1/16 20:36 [No.4297 / 15916]

天正 11 年 3 月柴田勝家が北近江まで出陣してきたという連絡を受け、織田信雄・蒲生氏郷を残し、秀吉は近江に戻り柳ヶ瀬の勝家本陣に対抗する形で余呉湖東岸の大岩山に

中川清秀、岩崎山に高山右近、賤ヶ岳に桑山重晴を配備する。更に、勝家の背後を脅かすために上杉景勝、加賀一向宗に密約を送る。16 日織田信孝が岐阜で再度、反秀吉の兵を挙げた。17 日秀吉は勝家の押さえを秀長に託し、2 万の軍勢を

引き連れ大垣城に移動し岐阜城を攻撃すべく軍議を開いた。岐阜城へ侵攻しようとした 20 日、北近江で佐久間盛政が秀吉不在の情報をつかみ大岩山の中川清秀に対し奇襲攻撃をかける。これにより中川清秀討死高山右近も撤退し秀長軍と合流し大岩山・岩崎山は佐久間盛政に落ちた。

これを聞いた秀吉は岐阜城攻めを美濃の諸将に申しつける

と 13 里の距離を約 3 時間で戻り盛政軍にあたった。

これに坂本に待機していた 丹羽長秀 軍も合流し怒濤の勢いで盛政軍を蹴散らした。

秀吉と友好関係にあった前田利家は秀吉軍と一戦も交えることなく撤退を開始する。前田の撤退を知るや、金森・不破なども戦線を離脱、勝家も北の庄へ撤退した。

利家の評価が割れる合戦ですね。

kos*uya*h*nab*shi さん

#番外 あたり前田のクラッカー 2002/ 1/16 20:43 [No.4298 / 15916]

「てなもんや三度笠」(TBS系列)に登場する主役の藤田まことが登場すると、番組の中で悪役を演じる出演者が絡んできて、藤田まことがいとも簡単に悪役をひねりあげてしまっています。

そして、おもむろに懐に手を入れ、「俺がこんなに強いのも、あたり前田のクラッカー」といいながら、前田製菓のクラッカーをTVカメラに向かって差し出すという、それだけのものですが、この「あたり前田のクラッカー」というフレーズは、それこそ、当時、文字通り、老若男女を問わず、という感じで、いろいろな局面で使われる大変な流行語になったことを、昭和30年生まれのはきは、リアルタイムではっきりと記憶しております。TVを軽佻浮薄の代名詞として嫌っていた私の親父でさえ、このフレーズを口にしていたほどですから、その浸透ぶりが、大変なものだったのではないかと憶測されるわけでありませう。

この番組には、その当時のいわゆる流行歌手が登場し、番組の中で、その時々ヒット曲を歌う構成になっておりました。ですから、たとえば、三田明が出てきたりすると、「カリブの花」などという、どう考えても、てなもんや三度笠という股旅ものの舞台劇には似つかわしくない、その時の自分の持ち歌を、ストーリーとは関係なく、突然、本当に、唐突といってもいいくらい突然に、「エルピラー、エルピラー、カーリブのは一なー」とか言って歌い出すという、実に、荒唐無稽な展開になっても、テレビの前の私たちはもちろん、客席の皆さんも、それを自然に受け入れてしまうという、実に、おらかな時代だったわけでありませう。

主役を演じていた藤田まことは、テレビの必殺シリーズをはじめ、大物俳優として活躍を続けていらっしゃいますが、先日、いわゆる「あの人は今…」形式のテレビ番組を見ていたら、藤田まことが演じていたあんかけの時次郎と二人旅を続ける珍念役だった白木みのるも、どこか温泉地に別荘をもち、すでに悠々自適の生活を送られているとのことでありませう。

[資料]

■「テレビ史ハンドブック」(自由国民社)

「てなもんや三度笠」(TBS系列)

あんかけの時次郎(藤田まこと)と珍念(白木みのる)の二人の旅道中に起こるいろいろな珍事件を描くコメディで、公開録画番組だった。当時の藤田まことは、無名ではないとしてもまだ主役クラスではなかったもので、とくに関西の大物が共演を渋った。そのため主に関東から大物ゲストを招いて厚みを加えながら藤田らのチャレンジ精神を奮い立たせようとした。奇声を発する財津一郎ら脇役の人気も出だし、番組のオープニングに行われる生CM「俺がこんなに強いのも、あたり前田のクラッカー」も大人気だった。

関西地区での視聴率が60%を超えたこともあり、上方コメディの決定版としてテレビ史に残る番組。朝日放送制作、脚本・香川登志緒、演出・澤田隆司。1962年5月～1968年3月。

kos*uya*h*nab*shi さん

#12 九谷焼 2002/ 1/16 21:16 [No.4299 / 15916]

石川県南部の能美郡・小松市・加賀市を中心に作られる色絵磁器。

17世紀半ば、大聖寺藩主前田利治の奨励により、加賀九谷村に開窯したことから始まるといいます。初期の作を古九谷と呼び、その一部は有田で作られたという説もあります。

19世紀初め、吉田屋伝右衛門が古九谷青手の法を再興、天保の頃、飯田屋八郎右衛門らが赤絵・金襷手の技法を開発しました。

「金襷手」とは、色絵の地に金彩を施した磁器です。

明治半ば、日本の輸出陶磁器の首位に立ち、「ジャパニクス」の名で世界に知られました。

ykm6812 さん

#番外 前田馬之介 2002/ 1/16 21:18 [No.4300 / 15916]

別名・なんだ馬之介。

伝説として語り継がれる漫画「マカロニほうれん荘」の名バイプレーヤー。

トシちゃんかんげきーーっ!!!

ykm6812 さん

#番外 高校の先輩 2002/ 1/16 22:55 [No.4301 / 15916]

私の高校時代の先輩が「BE・LOVE パフェ」というレディースコミック誌で大河と連動で利家とまつを漫画を描いています。目指せコミックス化! 後輩一同大宣伝中。

takcoll さん

#13 兼六園 2002/ 1/17 12:23 [No.4302 / 15916]

前田藩の庭園として作られました。

水戸の偕楽園、岡山の後楽園とともに、日本三大名園の1つに上げられています

ほぼ現在の姿に造園されたのは13代藩主・斉泰の時代で、「兼六園」の名称もその頃に定められたそうです。

名前の由来は宋の詩人・李格非が書いた「洛陽名園記」に由来し

宏大・幽邃・人力・蒼古・水泉・眺望の六つを兼ね備える名園として

時の老中・松平定信が命名したと伝えられています。

金沢へは一昨年12月初めに行ってきました。(前にも書いたような気がしますが、一応書きます)

兼六園も見てきましたが、有名な燈籠が思ったより小さかったので驚きました。

でもよく考えたら、燈籠がそんなに大きいはずがありませんでした。

雪吊もしてありました。

私は雪国育ちのせいか、雪吊にはそれほど感動しなかったと

というのが本音です。

観光名所を自由に巡ることができるバスが走っていてしかもそのバスがレトロな感じでとてもよかったです。
にぎりいさん

#14 石山本願寺 2002/ 1/17 12:45 [No.4303 / 15916]

「又左の槍」と呼ばれる長槍で名を馳せた利家は、信長のもと出めきめきと頭角をあらわし、母衣衆と呼ばれる織田側近軍団の赤の筆頭として働きましたが、まつとの結婚からまもなく、無礼をはたらいた信長の側近を斬り捨てたため、信長から勘当され流浪の身となります。

その後、何度か手弁当で馳せ参じて奮戦し信長を援護し、石山の合戦などでの活躍でようやく織田の軍団への参加が許されたそうです。

後に入部した加賀はその一向宗の本拠地でもありましたが、利家はむしろこれに敵対せず、支配に都合の良いものと考え、城下に東西本願寺の末寺をおいて、一向信徒を組織化させることでコントロール下に置く政策を施したそうです。

hui*_k さん

#15 村雨の壺 2002/ 1/17 12:53 [No.4304 / 15916]

藩老本多蔵品館というのが兼六園近くにあります、名前の通り家老の本多氏のお宝を展示しているのですが、そこに随一の家宝として展示されているのがこの壺。なんでもルソンからの舶来品とかで、5万石の領地と引き換えにこれをもたらったという逸話もあるのですが、実際に見た感じでは、むこうの生活用具のような印象を受けました。(水かめのような・・・)

ちょっと美術品に興味の有る方にはおすすめします。

クイズ パンチ de デートさん

#番外 前田日明 2002/ 1/17 14:34 [No.4305 / 15916]

まえだ あきら、と読みます。

大阪で空手をやっている時、当時まだ若手レスラーの佐山悟(のちの初代タイガーマスク)と知り合い、手合わせをやっていると。

その縁で新日本プロレスに入門し、修行でイギリスに渡ってヨーロッパチャンピオンのタイトル奪取。

新日本プロレスの体制と対立を繰り返し、UWF設立。タイガーマスクや藤原嘉明と好勝負を演じた。

ショー的要素を取り除いた格闘技路線は世界中から注目を浴び、キックボクシングのDNニールセンをはじめ柔道・マッシュアルーツ・サンボなどのチャンピオンと他流試合もこなした。

toshy.y.takahashi さん

#16 金沢百万石祭り 2002/ 1/17 17:39 [No.4306 / 15916]

加賀藩祖・前田利家が天正11年(1583年)金沢に入城し、金沢の礎を築いた偉業をしのんで開催されているそうです。尾山神社誌によるとその日が6月14日となっているそうで、そこから毎年6月に行われているとのこと。

現在の形態は、昭和27年に行われた商工祭りが第1回となり今年で51回目になります。

メインイベントとしては百万石行列があり

前田利家役は昭和59年以来毎年、俳優さんが務めるそうです。

今年は6月7日から祭りが始まり、行列は6月8日だそうです。

にぎりいさん

第四高等学校 2002/ 1/18 19:35 [No.4307 / 15916]

全国に官立の高等学校を設立することになり、設置区域は、初め

第一区から第五区までに分かれていて、おおむね一区：関東・東海、二区：東北、三区：近畿・中四国、四区：北陸、五区：九州という形に

分けられ、それぞれに第一高等学校から第五高等学校までが設置されました。

いわゆるナンバースクールとしては、のちに第二期として、三区内の岡山に六高が、五区内の鹿児島藩校造士館を七高

とし、

最後に一区内の名古屋に八高が設立されることになります。第四区である北陸四県では金沢の城下に第四高等学校が設立され、

四高は土地柄もあつてか文化の香りも高く、西田幾多郎などの有名な教官が教鞭を執り、井上靖、中野重治など多く文人を輩出したそうです。

金沢城の南の香林坊近くにあった第四高校の校舎は、現在は近代文学館

となっていて、四高出身や石川県出身の文学者を始め、ホンのちょっと

石川県と関わったことのある文学者に関する展示してあります。

十一人が亡くなった昭和十六年琵琶湖での四高漕艇部の遭難事故に関する

記事なども見られます。

hui*_k さん

↓ #17です 2002/ 1/18 19:37 [No.4308 / 15916]

本編も頑張りましょう

hui*_k さん

#18 前田利祐 2002/ 1/18 19:53 [No.4309 / 15916]

現在の前田家の当主です、愛子さま誕生の鳴弦役(めいげんやく)として徳川家十八代当主の徳川恒孝とともに弓を引いたおられました。

なかなか凛々しい姿でした。

宮内庁は5日、皇太子ご夫妻のお子さまのお名前が決まる「命名の儀」など、一般の「お七夜」にあたる7日に行われる儀式の詳細を発表した。

お子さまの文運と健康を祈る「浴湯(よくとう)の儀」は午前9時から行われ、皇居内の宮内庁病院の皇室専用特別室で、読書役(とくしょやく)の児玉幸多・元学習院大学長(91)が日本書紀の一節を朗読。続いて旧大名家が行うことが慣例となっている鳴弦役(めいげんやく)として徳川家十八

代当主の徳川恒孝（つねなり）氏（61）、加賀・前田家十八代当主の前田利祐（としやす）氏（66）が弓の弦を引いて、「おー」と叫ぶ。

同10時30分には、東京・元赤坂の東宮御所で、「命名の儀」が行われる。お名前と称号を記した和紙を渡辺允・侍従長が古川清・東宮大夫に手渡し、皇太子さまがご覧になった後、お子さまのまくら元に置かれる。

引き続き、天皇、皇后両陛下と皇太子さまは宮殿で、小泉首相や衆参両院議長、最高裁長官らから祝賀を受けられる。また、夕方には、宮殿で皇族方や雅子さまの親族らを招いた祝宴も開かれる。

(2001年12月6日)

http://www.yomiuri.co.jp/princess/p1206_01.htm
ryoanpaku_2002さん

#19 忍者寺(妙立寺) 2002/1/18 21:23 [No.4310 / 15916]
金沢市内の中心地から、犀川を渡った寺町通りの中心、外見は何の変哲もないお寺が、「忍者寺」の愛称で親しまれる妙立寺です。

「忍者寺」の名の通り、その内部はまさしく入り組んだ迷路状態、案内がなければ、内部で迷うこと必定です。実際に行方不明者が出たとか出ないとか？

拝観（というか屋敷の見学ですね）は、原則として、予約による時間制ですが、飛び込みで行っても、余裕があればその回にいれてくれますよ。個人的には、金沢でも最も好きな遊び場です。

元々は、前田利家が金沢入府の際、政治の理念を日蓮宗・法華経の中道精神に求め、藩を守護する祈願所として建立したとか。

その後、利常がいざというときに備えとして兵舎がわりに寺院群を移築ないし新しく建立し（それで寺町が出来たのかな？）、その中心に城という本丸になるような建物が必要とあって、現在の・要塞・のような当妙立寺が出来たそうです。

うーん、番外が思いつかない…

ecc**lerさん

#20 輪島塗 2002/1/19 0:10 [No.4311 / 15916]

室町中期に始まったとされる輪島塗は、当初は奥能登の農民を中心に使われる庶民的な日用品に過ぎませんでした。が、加賀藩の時代に入ってから技術的に改良され、堅牢な漆器として他藩への輸出品も苦になり、さらには加賀蒔絵の手法なども取りいれて洗練され、前田藩の工芸品として重要な地位を占めるようになりました。

今では庶民には手の届かない高級品になっています。

hui*_kさん

お題【私はここで〇〇の肖像を見た】 2002/1/19 0:11 [No.4312 / 15916]

日本史や世界史上の人物を直接描いたとされる肖像画、彫像、塑像

などの中で、公園などに置かれてようないものではなく、芸術的なものとして保存公開されているものを実際に見た人は、それを「私は△△で、〇〇の肖像を見た」という形で報告してください。

同じ人物に関するものでも、別の肖像であればオッケーです。また、バレなければ「見てきたように言い」というのもオッケーです。

さらに、「歴史上の人物の生きている実物を見た」とか、「歴史上の人物のミイラの実物を見た」というのもオッケーです。

#番外 林家ペーパー

十年以上前に、北区内の歩道で、車を待っている風になっている、背中に大きなリボンのついた派手目の柄のワンピースのオバサンがいて、「なんだ派手な格好のオバサンだなあ... あれじゃまるで林家

家パ....」

..... ホンモノのパー子さんでした。

少しして迎えに来た車の運転者は紛れもなくペーさんでした。

まだ歴史上に人物にはなっていないので、番外です。

hui*_kさん

#01 フランシスコ＝ザビエル 2002/1/19 10:56 [No.4313 / 15916]

1999年、来日450年記念で、全国を巡回展示していた、「大ザビエル展」を、川崎市市民ミュージアムにて。

あとで図録を確認すると、やはり川崎展はハズレ。

鹿児島展だと、聖遺骸「右腕」（本物）が見れたらしい。

遺体の一部を切り取って、崇敬の対象にするなんて、日本人の感性ではピンときませんね。即身仏でさえ、遺体の全体ですもの。

実際に見たのは、教科書でおなじみな肖像画。本物は神戸市立博物館蔵。この複製品を見ました。

ほかにもザビエルの肖像はたくさんみました。

一番の傑作は、(実際、WEB上でも、検索かけてみたら、みんなの印象に残っていて、いろんな人が、「ウケタ」と感想を述べている)、「豊後大名大友宗麟に拝謁するフランシスコザビエル」。

ヨーロッパ人が、のちに想像して書いた絵、なので、インドカペルシャあたりの王様のイメージで描かれています。

床も柱も石造りの建物の中、王冠かぶったバター顔の大友宗麟が、絢爛豪華な椅子に座ってます。黒人奴隷兵が槍持ってひかえています。

spatさん

番外 カンカンとランラン 2002/1/19 11:36 [No.4314 / 15916]

1972年9月、日中国交正常化を記念して中国から日本に贈られた2頭のパンダ。

私が彼らを見たのは初めて上京した6歳の時。

人ごみの中、父にだっこしてもらい、檻の中のカンカンカラ

ンランのどちらかを見ました。

見る直前まで愛くるしい姿を想像し大変わくわくしていた私ですが

実際に見たのはせまい檻の中で隅っこでまるまっている姿でした。

微動だにしないので『ほんとに本物?』と疑ってしまったものです。

おまけにまるまっているからか、あの独特の模様がよく見えないし…。

なんだか夢が音を立てて崩れた感じでした。

私が夢に見ていたような愛くるしいパンダの姿を見ることができたのは

それから約15年後でした。…あれはトントンだったかしら? 割と広く作られた運動場みたいなところで遊んでました。

にぎりいさん

#02 空也上人 2002/ 1/19 22:02 [No.4315 / 15916]

これも教科書でおなじみ。

空也上人像

京都 六波羅密寺にて。

口から「南無阿弥陀仏」の6文字を意味する6体の阿弥陀仏が出ています。

運慶の四男によって造られたと言われているそうです。

去年の秋に、「西国霊場」のスタンプ(＃17)をもらいにいきました。

＃16の清水寺から、ちょっと歩きますが、20分くらいだったかな。

spatさん

#03 平清盛 2002/ 1/19 23:22 [No.4316 / 15916]

ひさしぶりに投稿します。というか、空也上人を投稿しようとしたら、先にやられてしまいました(爆)。

ということで、同じ京都の六波羅密寺にある塑像で、平清盛像を挙げておきます。像の清盛の視線が、手元の写経したお経に注がれているところが、みごとです。

ちなみに、六波羅密寺はその昔は平氏の軍事拠点だったそう

です。敵にせめこまれても防ぎきれるように、入り組んだ路地が今も錯綜しています。というか、私も去年にこのお寺を訪れたのですが、みごとに迷いました。

tokacyanさん

#04 北条時宗 2002/ 1/19 23:40 [No.4317 / 15916]

あのブームは、すでに去年のものとなってしまいましたが・・・。

熊本県南小国町という九州の山奥にある満願寺というお寺に、絹本着色の時宗像があります。すでに出家した姿でして、禅宗の形式どおりに描かれております。ただ、顔はどちらかというと、頭を丸めた渡辺徹に似ているような気が・・・。

tokacyanさん

#05 オラニエ公ウィレム一世 2002/ 1/20 1:26 [No.4318 / 15916]

今回のお題はちょっと失敗だったかな・・・

進捗が悪いようでしたらルールを拡大します。

アムステルダムにある名目上の王宮(実際には迎賓館として使われ、王室はデンハーグで暮らしています)が時々公開され、そのときに見ました。

八十年に渡るスペインからの独立戦役の初期の英雄です。

物静かなことで「沈黙公」とも言われますが、

その独立への不屈の情熱は、近代的ヒューマンイズムの走りとも評されています。

hui*_kさん

御礼 利家とまつ 2002/ 1/20 11:27 [No.4319 / 15916]

ご回答ありがとうございます。

実はわたし、大河はまだみておりません。

今日の放送で、まつ(松嶋菜々子)が信長(反町)に利家の命ごいするシーンがあるとのこと、ちょっと見てみようとおもいます。

ryoanpaku_2002さん

#06 広隆寺 弥勒菩薩 2002/ 1/20 11:30 [No.4320 /

15916]

修学旅行の時にみました。

京大の学生が菩薩さまにキスをして指を折ってしまったなんてエピソードを聞いたことがあります。

釈迦入滅後5億6千7百万年後現れるとのことです。

ryoanpaku_2002さん

↓取り消し 2002/ 1/20 11:53 [No.4321 / 15916]

弥勒菩薩は実在ではありませんので取り消しさせていただきます。

ryoanpaku_2002さん

#番外 福沢諭吉 2002/ 1/20 11:55 [No.4322 / 15916]

サイフのなかの諭吉さん。

いまどこに。

ryoanpaku_2002さん

#06 忠海上人 2002/ 1/20 17:54 [No.4323 / 15916]

真言宗の坊さんだそうですが、何をなされた人物かは、全く存じません。

じゃあ、どうして取り上げたかというと、

山形県は酒田市、海向寺というお寺に、この方の即身仏(ミイラ)が安置してあります。

このお寺に即身仏があるというので、拝観に行った際に見せていただいたのが、この方の即身仏でした。

即身仏とは、衆上の幸福を願い、生きたまま五穀断ちを行い、ミイラ化して、自らを仏とすること。実際に見てみると、リアルな木像といった感じです。

即身仏の拝観は、確か時間制でした。お出かけの際には、ご確認ください。

ecc**lerさん

#番外 酒田の米担ぎおばちゃん 2002/ 1/20 17:57 [No.4324 / 15916]

即身仏を見た酒田への旅行の際、資料館の写真に、とんでもないものが

なんとこのおばちゃん、米俵を5俵、担いでいるのです。
300kg だけ、信じられん。
ecc**ler さん

番外 佐川急便の銅像 2002/ 1/20 22:04 [No.4325 / 15916]

・・・とは言うものの、実は見る事が出来なかったのです。
先年、滋賀県の「佐川美術館」に行ったのですが、その際友人から「入り口にあの佐川急便のマークの銅像が建ってるんだって」と聞いていたので、捜して見たのですが・・・何処にあるのか判らなかつたのです。何せ遠いし、バスの本数も少なかつたので結局見られず・・・。しかし、あんな辺鄙な場所に美術館なぞ造って、元が取れるんでしょうか・・・？
wak*k*97 さん

【ルール変更】 2002/ 1/21 11:54 [No.4326 / 15916]

実際に見た経験がなければならぬとなると、やはりきついですね。
なので、「ここに、〇〇の肖像がある」というのもオクケーとします。
通常一般に公開されているのはもちろん、滅多に見ることが許されないものでもオクケーとします。
失礼致しました。
hui*_k さん

#07 聖徳太子 2002/ 1/21 15:43 [No.4327 / 15916]

「聖徳太子展」
えねえちけえが主催して全国巡回していますが（もう終わったのかな？）
私は東京都美術館で見ました。
一万円札の有名な肖像（これは模写でしたが）から、童、青年、晩年と様々な聖徳太子が。
柔和な仏法の守護者、というよりは、理想に燃える青年革命家、トいった風情の眼光鋭い像が多い様に感じました。
実際に安置されているものとしては、橘寺の太子童子像を、修学旅行で見た記憶があります。

b_blue_hearts さん

#番外 2002/ 1/21 15:46 [No.4328 / 15916]

今上陛下。
<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?action=m&board=1835562&tid=a4ffckdcelc0bebp7ha1a1a4ia4aa4ia4acbeea4aba1a9&sid=1835562&mid=95>
b_blue_hearts さん

#番外 2002/ 1/21 15:59 [No.4329 / 15916]

ぼくが見たわけではなく、友人が東京駅で見たものなので番外です。
その友人が見たのは、総理大臣時代のナマ宇野宗佑。
hui*_k さん

#番外 金丸信 2002/ 1/21 16:21 [No.4330 / 15916]

上京してきた父と待ち合わせたときだったか、まだ私も東京に住んでなくて父と共に上京した時だったかは忘れましたが
とあるホテルのロビーで一人で座って父を待っていたら
なんか入口がちょっと騒がしくなり
見ると、記者らしき人に囲まれて頑丈そうな人（SP?）がいて
その横に金丸さんがいました。
しかし私はそれが誰かわからず、「あのちっちゃくて偉そうにしてた有名人らしい人は誰だったか」とずっと考えていました。
判明したのは、その晩か翌日、ニュースを見てからでした…（-;-）
総理大臣になった人でもなく、歴史に今後残るか不明なので、番外にいたします。
にざりいさん

#09 奥州藤原三代 2002/ 1/21 16:36 [No.4331 / 15916]

岩手県西磐井郡平泉町の中尊寺金色堂の須弥壇の下には奥州藤原三代（清衡・基衡・秀衡）のミイラが安置されてい

るそうです。
10 年位前に、当時岩手にいた兄を頼って旅に行ってみてきました。
もちろん、ミイラは須弥壇の下なので、本物は見えませんが
発掘調査のときのビデオが横でひっそりと放映されていました。
あと、四代:泰衡の首だけのミイラもあるそうです。
にざりいさん

#10 ゴッホ 2002/ 1/21 17:06 [No.4332 / 15916]

パリのオルセー美術館に行った時、あの有名なゴッホの自画像を観ました。
本で見ている時は、別にどうとも思わなかつたのですが、実際に目の当たりにしますと、感動を覚えます。
自画像のバックに描かれているうずまき状のものは、ゴッホがメニエール病であることを証明しているそうです。
（つまり、目が回っているということです）
クイズ パンチ de デートさん

#11 土井利位 2002/ 1/21 17:23 [No.4333 / 15916]

第1 1代古河藩主、土井利位（どいとしつら）です。
3～4年前、茨城在住時代に
茨城県古河市の、古河歴史博物館で、肖像を見たような気がします。
博物館のHPで確認すると、「正定寺蔵」と書いてありますので、複写か複製品か写真だったかもしれません。
古河藩の中興の藩主。
幕府においては老中もしております。
藩主・政治家としての功績もともかく、なによりも「雪の殿様」として有名です。
オランダ製の顕微鏡を使い、雪の結晶の研究をし、『雪華図説』なる研究書まで書いています。
雪の結晶についての自然科学的な研究の、世界的な先駆者です。
また、雪の結晶模様は、江戸で「大炊模様」（土井本家は

代々 官途は大炊頭)と呼ばれ、衣服の模様に用いられ、流行しました。

詳細は、「古河歴史博物館」のHPへ。

とにかく、きれいですよ。雪印。

この博物館、毎年冬は、土井利位展をしているようです。
spatさん

#番外 永井路子 2002/ 1/21 17:33 [No.4334 / 15916]

実は、古河に行ったのは「古河文学館」に行きたかったからです。

古河出身の歴史小説家、永井路子さんをはじめ、何人かの作家さんの作品や資料を展示しています。

永井路子さんは学生時代に一通り読みました。作風は、歴史観と人間観が大変バランス良いので、大好きです。

下の古河歴史博物館とセットでどうぞ。

古河公方館跡は、ぼくは行きませんでした。是非セットでどうぞ。

spatさん

#番外 本居宣長 2002/ 1/21 18:06 [No.4335 / 15916]

よく知られている本居宣長の肖像画がどこに収蔵されているのかは知りません。

十年近く前に伊勢松阪で電車の待ち合わせのついでに本居宣長の記念館に行ってみたら、入り口の横に例の肖像画の等身大のコピーのパネルがあり、顔の所が穴になっていて顔を入れて記念写真が取れるようになっていたので、通りかかったカップルにお願いして写真を取ってもらいました。

hui*_kさん

#12 土方歳三のポートレート 2002/ 1/21 19:07 [No.4336 / 15916]

あの有名な土方歳三のポートレートは、土方が函館から強引に脱出させた小姓・市村鉄之助によって日野石田の佐藤彦五郎(土方の義兄)の元に届けられたもの。

どれが現物で、どれが複写なのかはわかりませんが、現在は日野石田の土方歳三資料館をはじめ町田の小島資料館、函館

の五稜郭内の資料館などでみられます。

わたしはいずれも実際に行ってみてきましたが、土方資料館の近くの石田寺(せきでんじ)にある土方の墓石の前に額に入れてポツンと飾られているのが、同じ写真でも、私には印象的でした。

ここにも土方ファンが多く訪ねてくるようですが、熱狂的ファンにありがちな、「持って行ってしまおう」などという不屈き者がいないのは喜ばしいことです。

s11*3_0*さん

#08 二宮金次郎 2002/ 1/21 20:06 [No.4337 / 15916]

そうそう、わが小学校にありました。

ryoanpaku_2002さん

#13 上野の西郷さん 2002/ 1/21 20:20 [No.4338 / 15916]

ご存知上野の西郷隆盛の銅像です、お雇い外国人キヨソネの銅版画を元に製作されましたが、除幕式のとき奥さんが「うちの人はこげなひとでなかい」と言って帰ってしまったいわくつきのもです。

キヨソネの版画も上半分は弟の西郷従道、下半分を従兄弟の大山巖を模したものとされています。

なお、西郷は大の写真嫌い写真存在しないといわれています。

ryoanpaku_2002さん

#10 安達泰盛 2002/ 1/21 21:03 [No.4339 / 15916]

「北条時宗」も終わったのに、まだこのネタを繰り返します。竹崎季長が描かせた「蒙古襲来絵詞」に、「秋田城介泰盛」の姿が登場します。季長が恩賞を訴えて鎌倉にでむいて、訴えたのが、この泰盛。板張りの床に座って事を訴える季長の前に、畳に鎮座する泰盛の姿が描かれています。

この「絵詞」の写本は、江戸時代よりあちこちで作られましたので、どこかを探せば見る事ができます。ただ、本物は宮内庁の宝物ですので、よほどの機会がないかぎり現物は拝めません。

tokacyanさん

次は#15からです 2002/ 1/21 21:13 [No.4340 / 15916]

#08は欠番補充です。

よろしくお願いします。

ryoanpaku_2002さん

#11 後醍醐天皇 2002/ 1/21 21:14 [No.4341 / 15916]

藤沢の清浄光寺に伝わる後醍醐天皇の肖像は、その異様な姿で有名です。頭には天皇が被る礼冠を頂きながら、密教の法服を被り、独鈷を手に持つという、まさに「異形の王権」の姿です。「天子自ら金輪の法を行はせ給う」て幕府を調伏したという、「太平記」がしるすとおりの、肖像です。

一度くらいは拝んでみたいとは思いますが、どこかの博物館の企画展で出展されていないでしょうか。

tokacyanさん

↓#15です。 2002/ 1/21 21:15 [No.4342 / 15916]

訂正します、すみません。

tokacyanさん

金丸信 OK, 次は17から 2002/ 1/21 21:54 [No.4343 / 15916]

♪お味噌なら... かなまるしん

hui*_kさん

#17 鑑真和上 2002/ 1/21 22:34 [No.4344 / 15916]

奈良時代、唐の高僧の地位にありながら、日本人僧の招聘に応じ、何度もの海での遭難や、失明の苦難を負いながらも来日を果たし、唐招提寺を創設、律宗の開祖となった名僧です。「鑑真和上展」が、ちょうど1年前、#7の聖徳太子展と同じ、東京都美術館で開かれ、その中のメイン展示として、鑑真の木製の坐像がありましたが、瞑目して座するその姿は、温和な表情の中にも、宗教的な達観といったものが、製作者によつて的確に表されていたように感じました。

六文銭さん

#18 坂本龍馬 2002/ 1/21 23:00 [No.4345 / 15916]

メジャー所になりますが、歴史的人物の像というと、一番印象に残ったのは、高知の桂浜にある、この人の立像ですね。ロケーション的には、高知の市街地からバスで30分程度の、弧を描く海岸沿いの、林の中にある感じで、周辺には土佐犬の闘犬ショーの会場もあり、土産物屋も多い、観光地の中ですが、その中でも明治維新の立役者にふさわしい、視線も鋭く未来を見据えて佇立するという印象を受けました。

同郷で、盟友であったNの像も、同じ高知県の室戸岬にあり、これも見学しましたが、方向的にこの2つの像は向かいあっているといわれますが、本当なのかな？

六文銭さん

#19 死んだイエスを抱く悲しみの聖母 2002/ 1/21 23:33 [No.4346 / 15916]

ミケランジェロのピエタ。

本物は、バチカンの「サンピエトロ（聖ペテロ）大聖堂」にあります。

この複製品を見ました。

「カトリック関口教会」こと、「東京大司教区の司教座聖堂」、すなわち「東京カテドラル」である、「マリア大聖堂」にあります。

「ピエタ」というのは「悲しみ」という意味で、十字架から下ろされたイエスさんのなきがらを抱えて悲しんでいるマリアさんの様子をあらわした絵画や彫刻等はみなピエタと呼ばれています。

ここにあるのは、ミケランジェロの作の複製品。フィレンツェのリド・ボッキ教授の指導の元で作成され、日本文化財団から寄贈されたとのこと。

行きかたは、JR目白駅下車、「椿山荘」方面行きのバスに乗り、「椿山荘前」で下車します。椿山荘のま向かいです。

ちなみにちなみに、ここにある「ザビエル胸像」には、ザビエルの遺骨の一部が入っています。ザビ舍利。

spatさん

#20 小淵恵三 2002/ 1/22 10:39 [No.4347 / 15916]

最早「歴史上の人物」といっても差し支えないでしょう。亡くなる数ヶ月前の9月9日11月、幕張メッセで開催されていた「東京モーターショー」の会場を見学しに来たところを目撃しました。

SPたちを引き連れた仰々しい一行でしたが、「小淵さ〜ん」と来場者の女の子たちから声がかかると、ニコリとして振り向き、気さくに握手していた姿が印象に残っています。総理としてこれといった実績はありませんでしたが、どことなく憎めなかった小淵さんの人柄を表した一場面でした。

s11*3_0*さん

お題：江戸時代に起きた20大事件 2002/ 1/22 10:43 [No.4348 / 15916]

徳川300年のいわゆる江戸時代は、大名同士の戦いに明け暮れた戦国の世が完全に終息し、戦（いくさ）というものがなくなった「太平の世」といわれています。

しかし、そんな平和な時代ではあっても、世間を震撼させた数々の事件が起きました。

もっとも代表的なものはやはりこれでしょう。

#00 赤穂事件

いうまでもなく「忠臣蔵」のこと。浅野内匠頭による吉良上野介の松の廊下刃傷に始まり、赤穂浪士の吉良邸討ち入り／その後の切腹で終わる一連の事件を正確にはこう称します。こんな事件を20件挙げて下さい。

尚、ここでいう「江戸時代」とは、本当の意味での戦国時代の終焉ともいえる「大阪の陣」以後、徳川幕府の終焉を決定的にさせた「戊辰戦争」以前、つまり二つの大きな戦いを挟んだ期間というふうに限定させていただきます。

s11*3_0*さん

#01 大塩平八郎の乱 2002/ 1/22 11:24 [No.4349 / 15916]
明日の「そのとき歴史は動いた」がこれを取り上げるそうで。（詳しくはそっちを見よう！）

しかし、なぜいつの時代も官僚は腐敗するのでしょうか。
クイズ パンチ de デートさん

#02 慶安事件 2002/ 1/22 11:35 [No.4350 / 15916]

由井正雪と丸橋忠哉。
山田忍法帖の常連。柳生十兵衛に斬られることが多い。
ん？そういう話じゃない？

b_blue_heartsさん

#03 島原の乱 2002/ 1/22 12:24 [No.4351 / 15916]

天草四郎時貞をはじめ、キリシタンが原城に籠城。
信教の自由が無かったですからね。

東京夜景さん

#04 丁卯（でいほう）事件 2002/ 1/22 14:33 [No.4352 / 15916]

1806年、日本に通商を迫るロシアは択捉島で略奪行為を働きました。

北方を警護していた数百名の日本兵は戦うこともなく逃亡、たった2隻の船・数十人のロシア人にいいようにやられっぱなし。

平和のために気持ちも体もたるんでいたんですね。

えぞの浦に 立ち出で見れば

うろたえの 武士のたわけの 高は知れつつ

こんな落首が残っています。

toshy.y.takahashiさん

#05 島原大変肥後迷惑 2002/ 1/22 15:56 [No.4353 / 15916]

事件というよりは事故になってしまいますが...

寛政年間の雲仙の火山性地震によって、麓の眉山（まゆやま）が大崩落を起こして島原の町を襲い、さらには有明海に押し出された大量の土砂によって引き起こされた大津波が対岸の肥後を襲い、島原では一万人ほど、肥後でも五千人ほどの死者を数えました。

でも、「迷惑」って言われてもねえ....

hui*_k さん

↓事故も事件の内 2002/ 1/22 16:02 [No.4354 / 15916]

「人災」だけでなく「天災」もちろん
オッケーです。

すみません。お題を出す時に書き忘れました。

s11*3_0*さん

#06 伊達騒動 2002/ 1/22 16:37 [No.4355 / 15916]

秀忠による改易の嵐がようやく一段落した寛文年間のこと、
仙台藩主伊達綱宗は素行の乱れを幕府に咎められて隠居の
身となり、変わって幼少の亀千代が家督を継いだため、これ
を叔父に当たる伊達兵部が伊達一門筆頭として後見し、家老
の原田甲斐とともに藩政を動かしていましたが、これに老臣
の伊達安芸らが反発し始め、藩主毒殺未遂事件なども起こり、
ついには伊達安芸が幕府に原田らの非法を訴え出たために、
老中板倉重矩が派遣されて取り調べが始まりました。

取り調べでは伊達兵部も原田甲斐も申し開きをしなかった
ために次第に不利になり、最後の老酒井忠清の屋敷での裁
きの席上、原田甲斐は突然伊達安芸を斬り殺し、原田もその
場で酒井の家臣に斬られて絶命し、その後伊達兵部は流され、
原田家は断絶で息子らも死罪になりますが、当事者が死んで
しまったことで、仙台藩自体にはお咎めなしで決着してしま
います。

この事件はのちに「伽羅先代萩（めいぼくせんだいはぎ）」
などの芝居にも脚色され、原田甲斐は極悪人の代表のように
扱われてきましたが、山本周五郎が、原田甲斐の墓の位置な
どに着目して、仙台藩の分裂弱小化を企む幕府の策略から藩
を守る究極の策だったという見方を「樅の木は残った」で示
しました。

hui*_k さん

「肖像」のお題御礼 2002/ 1/22 16:55 [No.4356 / 15916]
今回は、ちょっと趣向を変えたつもりで「見たことがある」
という経験を条件に入れてみましたが、そうになると、
SPAT さんもおっしゃるように、いろいろまわった人でも

「ホンモノの肖像画」となるとかなり厳しくなるようで、
途中でルールの変更があったりしてご迷惑をお掛けしまし
た。

実はこうしたお題を通じて「どこそこに誰だれの肖像がある」
という情報をチャッカー手に入れようと考えていたので、
その意味では結構勉強になりました。

何はともあれお疲れさまでした。

追加情報があれば、談話室で....

hui*_k さん

#07 明暦の大火 2002/ 1/22 19:06 [No.4357 / 15916]

江戸市街の約3分の2を灰とし、10万人以上の死者を出
した火災。

江戸城の天守閣まで燃やしてしまいました。

出火元は本妙寺とされていますが、
実は当時の老中：阿部忠秋の家で蠟燭を持っていた侍女が転
んだことからのによる、
というのが本当だという話があります。

老中の家から出火では幕府の威信に関わるということから
本妙寺が濡れ衣をかぶったとか。
にざりいさん

#08 大黒屋光太夫の帰国 2002/ 1/22 20:31 [No.4358 / 15916]

寛政4（1792）年、伊勢白子の船頭大黒屋光太夫が、10
年にわたるロシア漂流の末、帰国しました。

鎖国体制化の当時において、実際に西洋文明を見てきたもの
が、帰国するのは初のこと。

知らせを受けた江戸幕府の仰天振りが目に浮かびますね。
漂流民を親切に送還してくれたロシア使節ラックスマンを、
無下に追い返すこともできず、長崎への入港許可証を与えて
返したとか。

ラックスマンにしてみれば、不満は一杯だったろうけど、当
時の体制を考えれば、日露外交に一石を投じたということで、
大変な成果ですよ。

それにしてもこの光太夫という人物が、この時期にロシアへ
漂流・帰国したのは、歴史の大いなる偶然と呼ぶべきでしょ
うか？

それとジョン万次郎

彼らがもたらした知識・語学が、その後の外交に、どれだけ
役にたったことか。

彼ら以外の、ろくでもない人物が海外知識を日本にもって帰
ることを思うと、ぞっとしますね。

ecc**ler さん

#09 天明の大飢饉 2002/ 1/22 20:47 [No.4359 / 15916]

天明二年（1782）、「田沼時代」若い多くの農民達は、労多く
益の少ない農業に見切りをつけて、景気の良い江戸や大阪な
どの都市を目指し、一攫千金を求めて流入をしていました。

このため唯でさえ農村が荒廃していた処に東北地方で冷
害が起こり、食料の需給が追いつかず大凶作となり、さらに
翌年には浅間山が大爆発し、関東甲信越から東北地方の広範
囲に火山灰が降り、飢饉は更に深刻なものとなり、噴火で舞
い上がった灰は150kmほど離れた江戸にも及んだといわれ
ています。

浅間山の大噴火があった天明三年から天明五年にかけての
東北地方の飢饉はひどく、津軽藩だけでも餓死・疫病死者は
十三万人を数えたといえます。

蘭学者の杉田玄白によると、もともと貧しい人たちは生産
の手だてがなく、親子兄弟を見捨ててわれ先にと他領に行き、
なげきながら食べ物をねだるが、行く先々の土地の者も飢饉
で同じように飢えて苦しんでいるので、他の村の者には目も
かけず、飯を与えることはしない。日々に千人、二千人の流
民たちが餓死している。

また出ることができずに残った人たちは、食べ物はすべて
食べ尽くし死んだ人の体を切り取って食べていたというこ
とであり、天明三年から四年の間に全国で何万人という数
知れない人が餓死した。本当におそろしい年であったと「著
作・後見草」でその惨状を伝えています。

飽食の時代に生きている私たちは幸せですね。

ryoanpaku_2002 さん

#番外 また逢おうぞ！ 2002/ 1/22 20:54 [No.4360 / 15916]

映画 魔界転生より

沢田研二が江戸に蘇り、真田広之まで蘇らせた上、彼の唇を奪い、最後はそれに嫉妬した千葉真一に首を落とされる…

「エロイムエッサイム」、流行しましたね。

真田広之は、これが初のキスシーンだったそうです。なんとも哀れな。

ecc**ler さん

#10 殿中抜刀事件 2002/ 1/22 21:54 [No.4361 / 15916]

江戸城内で、抜刀し刃傷に及んだ事件は、江戸時代を通して7件あります。

ぜいたくですが、まとめて回答しちゃいます。

最も有名なのが、#00にも挙げられている、「浅野内匠頭長矩が吉良上野介義央に斬りつけた事件」です。

次に有名なのは、「稲葉正休が大老堀田正俊を殺傷した事件」

それと、「佐野政言が田沼意知を殺傷して佐野世直し大明神になった事件」

せっかくなので全部書きますね。

寛永5（1628）年<将軍家光>

加害者 豊島刑部少輔明重（目付） →その場で自害，嫡子切腹，断絶

被害者 井上主計頭正就（老中 横須賀城主 60000石） →死亡

理由 婚約を破棄されて面目がつぶれた

貞享元（1684）年<将軍綱吉>

加害者 稲葉石見守正休（若年寄 下館城主 12000石） →その場でメッタ斬りされて死亡，断絶

被害者 堀田筑前守正俊（大老 山形城主 110000石） →死亡

理由 土木工事に関連して，遺恨があった（他説あり。綱吉陰謀説）

元禄14（1701）年<将軍綱吉>

加害者 浅野内匠頭長矩（勅使院使御馳走役 赤穂城主 53000石） →断絶

被害者 吉良上野介義央（高家肝煎） →軽傷，不処分

理由 （ま いいでしょ。議論があります）

享保10（1725）年<将軍吉宗>

加害者 水野隼人正忠恒（松本城主 70000石） →他家お預け，改易，家名は叔父系が相続

被害者 毛利主水正師就（長門長府藩主 50000石） →負傷，不処分

理由 忠恒の供述によると，「常々自分は不行跡で，家来からの評判もよろしくないため，

今日は自分の領地が召し上げられ毛利主水正に下されると思い斬りつけた。」

狂疾乱心と言われる。

延享4（1747）年<将軍家重>

加害者 板倉修理勝該（旗本 7000石） →切腹，断絶

被害者 細川越中守宗孝（熊本藩主 540000石） →即日死亡

理由 板倉宗家に対して，相続問題で恨みを持ち，討とうと思っていたが

細川の家紋が宗家の替え紋に似ていたため誤って斬ったという。

カン違い殺人？ （別説あり。屋敷が隣で，雨の日に雨水が入ってくるので，

苦情を言ったが相手にされなかった。。近所迷惑殺人事件）

天明4（1784）年<将軍家治>

加害者 佐野善左衛門政言（旗本 新番組番衆 500石） →切腹，断絶

被害者 田沼山城守意知（意次の嫡子 若年寄 役料 5000俵） →3日後に死亡

理由 もともと，田沼家は佐野家の家来筋であったが，横柄になったので。

文政6（1823）年<将軍家斉>

加害者 松平外記（旗本 西丸御書院番番衆） →暴れまわった末自害，断絶

被害者 本田伊織，沼間右京，戸田彦之進，間部源十郎，神尾五郎三郎

（旗本 全員同僚 西丸御書院番番衆） →本田・沼間・戸田は即日死亡

理由 イジメを受けて，引きこもり。久々に登城したが，イヤガラセをされて逆ギレ。

spat さん

#11 蛤御門の変 2002/ 1/22 22:16 [No.4362 / 15916]

元治元年（1864年）、長州藩が形成挽回の為出兵、京都守護職松平容保率いる諸藩の兵と宮門付近で戦って敗れた事件。

この際、止めようとして結局兵を率いて戦う羽目になった久坂玄瑞が負傷し、そのまま自殺しています。

この時薩摩藩は幕府側であった為、その後坂本竜馬と中岡慎太郎が仲介に入るまで、長州藩は薩摩に対して相当の憎悪を抱く事になります。

済みません、それ以前にも何かあったのでしょうか、この両藩の間には。この事のみで、と言うには余りにも深い憎悪だったような気がするんですけどね・・・。

wak*k*97 さん

wak*k*97 さん

#12 紫衣事件 2002/ 1/23 0:11 [No.4363 / 15916]

しえじけん。

幕府の宗教統制に抵抗した京都の禅僧が配流された事件です。

1613年の勅許紫衣法度以来、幕府は宗教統制を本格化しましたが、

朝廷がなお幕府に許可なく紫衣着用の勅許を続行したため、1627年、紫衣勅許の取消を含む5カ条の制禁を發布しました

た

これに対しては、大徳・妙心両寺で強硬な反対が起こり、翌年沢庵宗何ウ（字が出ませんでした）らが京都所司代に抗議書を提出しました。

その後幕府が妥協策を採って大勢は収まりましたが、

沢庵らは承服せず、29年抗議のために江戸に下向しました。幕府は沢庵ら大徳寺・妙心寺の禅僧を、陸奥・出羽の両国に

配流しました。

この事件は、後水尾天皇の譲位に多大な影響を与えることとなります。

なお 41 年、幕府は紫衣勅許の制限を緩和しました。

この事件は、一昨年大河ドラマ「葵」で、

取り上げられました（沢庵は登場せず）。

来年大河「武蔵」では・・・まあありますまい。

ykm*31*さん

#番外 偽縮緬問屋諸国漫遊事件 2002/ 1/23 10:52 [No.4364 / 15916]

元禄の頃、自らを越後の縮緬問屋と騙る老人を中心に、配下の剣客や忍者やくのいちまでも引き連れ、先々で起こる事件を勝手に裁きながら諸国を行脚する一味がいたことが判明した。

この老人は、裁きの際には「前の副将軍」などという実在しない肩書きを詐称し、無知な田舎の人々を信用させてはひとり悦に入っていたようで、各地方の奉行所などはその越権行為に頭を痛めていた。というようなことは、実際にはなかったようですが、常陸の国内では、西山荘に隠居してからも好き勝手なことばかりしていた困ったじいさんだったそうです。

hui*_k さん

#13 生麦事件～薩英戦争 2002/ 1/23 14:36 [No.4365 / 15916]

江戸から京へ登る途中の薩摩藩父島津久光の行列が東海道川崎宿の先の生麦に差し掛かったときに、4人の英国人が騎乗のまま行列の前を横切ったことから血気盛んな藩士が斬りかかり、ひとりを死なせ3人に怪我を負わせる事件が起こり、英国公使は外交ルートを通じて抗議し、幕府は穏便に済ませようと賠償金を払ったものの、薩摩藩の方は犯人が分からないと突っぱねたため、英国軍艦が薩摩に遠征して報復攻撃を行なう薩英戦争へと発展します。

結果は、薩摩藩が責任を認め英国の勝利の形には終わったものの、死者の数では英国側の方が三倍も多いほど善戦した薩

摩の力量を英国も評価して、戦後両者はむしろ接近し、英国は薩摩が維新へ進む上での強力な後押しになることとなります。

hui*_k さん

#14 曾根崎の森での心中事件 2002/ 1/23 18:09 [No.4366 / 15916]

近松門左衛門の人形浄瑠璃「心中モノ」の代表作として「曾根崎心中」がありますが、これはフィクションではありません。

元禄16年（1703）4月、大阪の曾根崎・露天神の森で実際に起きた、堂島新地の遊女お初と醤油屋の手代徳兵衛の心中事件に基づいた実録ものです。

当時、心中や殺人事件が起こると、すぐさま歌舞伎などに仕立てられて、舞台にかけられるという風習があり、近松が大阪の竹本座に依頼されて作ったのが人形浄瑠璃「曾根崎心中」でした。

近松はわずか20日前後で台本を書き上げ、心中からちょうど1ヶ月後の5月には上演されたというスピーディさ。今のようメディアが発達していない当時の、正に「ニュース速報」といったところでしょうか（もちろんすべてが実話ではなく、近松の脚色もあったでしょう）。

曾根崎での心中に限らず、心中事件は太平の世・江戸時代に頻繁に起こった事件の一つのようで、近松は他にも「心中天の網島」（これも実録）などをモノにしています。

s11*3_0*さん

#15 レザノフ来航 2002/ 1/23 19:03 [No.4367 / 15916]

#04に続いて我が専門の日露がらみ。

おっと ECCOOLER さんも光太夫のことを書いている！

その光太夫帰国の時に通行書が渡されたことは、日本との通商を目論むロシアに楽観的な観測を与えました。

光太夫帰国から12年後、光太夫と同じ運命をたどった津太夫ら4人が帰国します。そのときロシアからきたのは、国家を背負った大物・レザノフ。

しかし松平定信失脚後の日本は「鎖国」という方針を打ち出

すようになっており、レザノフ来航は歓迎されませんでした。帰国が叶わない焦りで、日本人の一人は口にナイフをつきたてて自殺を図ります。レザノフはこの姿を見て心を打たれ、通商はしなくてもいいから日本人たちを故郷に帰して欲しいと頼んだと。

長崎での交渉が決裂した日露は、やがて北方で対立を繰り返します。それが#04の事件につながっていくのですが。。。

toshy.y.takahashi さん

#16 アイヌ民族の蜂起 2002/ 1/23 19:25 [No.4368 / 15916]

江戸時代には、和人（シャモ）に対するアイヌ民族の一大蜂起が起こりました。

先ずは寛文9年（1669）の「シャクシャインの戦い」。元々はアイヌ人同士の領地争いに端を発しています。シャクシャインはその一方の陣営の副首長でした。

争いは、双方の首長が殺されるころまでエスカレートし、松前藩が調停に当たりますが、その間、使者として藩に赴いたアイヌの使者の毒殺疑惑が起きます。

シャクシャインは、このままでは松前藩によってアイヌの人々が皆殺しにされると各地のアイヌに訴え、反和人／反松前藩連合としてまとめることに成功。ここに広い地域におよぶアイヌの民族の和人に対する一大蜂起が勃発します。

アイヌ連合軍優位の内に戦いは進みましたが、松前藩は和解を申し入れることでシャクシャインをおびき出し、騙し討ちにしました。そして指導者を失ったアイヌ軍は結局敗れ去り、以後は長きに渡りアイヌ民族の虐げられた生活が続くこととなります。

それからちょうど120前後の寛政元年（1789）には、和人の場所請負人による過酷な扱いや、不公正な賃金の支払いなどの非道のふるまいに対するアイヌ人の不満から「クナシリ・メナシのアイヌ蜂起」が起こります。こちら結果はアイヌ側の敗北に終わりました。この蜂起を最後に和人とアイヌ民族の戦いは終わりを告げ、（一見）平和共存の状態まで今日に至っています。

尚、後者「クナシリ・メナシのアイヌ蜂起」については、船

戸与一「蝦夷地別件」で詳しく描かれています（興味のある方はご一読あれ）。

s11*3_0*さん

#17 池田屋事件（その1） 2002/ 1/23 21:39 [No.4369 / 15916]

池田屋事件とは、多数の尊皇攘夷志士たちが新撰組に殺傷された事件です。

当時、長州藩（現在の山口県）を中心とする志士たちが尊皇攘夷（朝廷を敬い、外国を打ち払う）をスローガンに京都で暴れまわっていました。

そんな志士たちを取り締まり、京都の治安を守るのが新撰組の仕事でした。

彼らは決して単なる人斬りではなく、彼らもまた尊皇攘夷を目指していました。志士たちと違ったのは、「幕府を倒して朝廷に政権を返す」のではなく、「幕府と朝廷が協力し合う」という公武合体派だったことです。「外国を打ち払う」という共通の目的を持ちながら、志士たちと新撰組は争い続けました。

元治元年（1864）6月5日、武具商を営んでいる男がどうにも怪しいというわけで新撰組が調べていたら、その男は古高俊太郎という志士で、仲間ととんでもないことを計画している、ということがわかりました。それは

- ①京に火を放つ。
- ②親幕派の中川宮と会津藩主松平容保を殺す
- ③天皇を奪い、倒幕を号令する。

といったもので、その話し合いのため志士たちが今夜集結するということでした。

つづく

yさん

#17 池田屋事件（その2） 2002/ 1/23 21:42 [No.4370 / 15916]

「冷血」で知られる土方歳三が拷問しても古高は集合場所を白状しません。疑わしい場所は2ヶ所ありました。「池田屋」と「丹虎」です。どちらも志士たちがよく利用している旅籠

でした。

新撰組局長、近藤勇は隊を2つに分けることにしました。

「俺の勘ではたぶん丹虎だ。奴等も勘付いて池田屋から丹虎に変更したに違いねえ」

と副長の土方歳三。近藤は

「じゃあ歳、あまえは25人連れて丹虎に行け。私は池田屋に行く。こちらは5人でいい。そのかわり精鋭を連れて行く」と言って、沖田総司、永倉新八、藤堂平助、近藤の養子の周平といったつわものを連れて行きました。後に脱走し、局中法度（隊の規則）に背いた罰として切腹する山南敬助はこの時は留守番でした。

つづく

yさん

#17 池田屋事件（その3） 2002/ 1/23 21:42 [No.4371 / 15916]

実際、志士たちの集合場所は池田屋で、集合時刻は8時でした。長州藩のリーダー的存在、桂小五郎は8時に池田屋に着きましたがまだ誰も来ていなかったのも、

「まだ誰も来てないのか……。では近くの対馬藩邸で時間をつぶすとしよう……。また来る。」

と帰ってしまいました。結果的に彼は命拾いすることになったのですが、私は桂小五郎が好きなのでこの偶然はともうれしいです。

本当なら新撰組は8時に出動するはずでした。幕府の守護職、所司代と合同襲撃する予定だったのですが、彼らが動かないので10時前にしびれを切らし、新撰組だけで出動したのです。

近藤勇、沖田総司らは池田屋へ。土方歳三率いる部隊は丹虎へ向かいました。

土方の向かった丹虎には1人もいなかったのも、

「ここではない！池田屋だ！」と加勢に行きました。

一方、池田屋では室内での闘いが始まっていました。志士は30数人。新撰組は5人です。

新撰組隊士に山崎という男がいて、日ごろから探索を主な仕事にしていたのですが、一説によると彼は手伝いとして池田屋

に入り込み、志士たちに

「お腰のもの(刀)はお預かりして隣の部屋に保管しておきましょう」

と言って刀を預かったため、襲われた志士たちは刀を手にするまでに時間がかかり次々斬られた、と言われていますが、この説が本当かどうかは疑わしいそうです。

2階の窓から逃げる志士たちもいましたが、下で待ち構えていた藤堂らに斬られました。

長州藩邸には助けを求める志士がやって来ましたが、桂小五郎は

「いま池田屋に行っても斬られるだけだ。君も行くな。」

と止めたそうです。彼が「逃げの小五郎」といわれるゆえんです。

土方隊も到着し、池田屋は大乱闘となりました。

30数名いた志士たちは7人が殺され、あとは捕らえられたり自殺したりしました。新撰組隊士では奥沢栄助など3名が戦死。肺病を患っていた沖田総司は咯血し、藤堂平助、永倉新八は傷を負いました。私は沖田総司びいきなので、咯血シーンが最大の見せ場だったような気がします（笑）

幕府の役人は、夜の12時頃、闘いが終わった頃に

「いやー、ご苦労だったね。」とやって来ました。

「なんだこいつら。いまごろ来やがって。」

様子見をしていた幕府の役人に土方、沖田らは激怒しましたが、近藤に

「まあいいじゃねえか……。もう終わったんだから。」

となだめられ、後始末は役人にまかせ屯所に引き上げました。この事件で新撰組の名は京都だけでなく全国に知れ渡りました。

「幕府のイヌ」「人斬り狼」と恐れられ、またさげすまれるようになったのです。

元治元年（1864）6月5日、「祇園祭」宵山の夜の出来事でした。。。。。

完

yさん

#18 ペリー浦賀に来航 2002/ 1/24 10:31 [No.4372 /

15916]

嘉永六年六月三日の夕刻、アメリカの東インド艦隊司令長官マシュー・C・ペリーが、4艘の黒船を率いて突如浦賀（神奈川県横須賀市）沖にあらわれ、浦賀奉行所役人を通じ、將軍に米大統領の国書を渡したいと言ってきた。

初期折衝のために乗船した浦賀奉行所月番与力・中島三郎助は、副官を通じて、

「日本の国法では外国交渉はすべて長崎で取り扱っています。長崎へまわってください。」

と説得しようとしたが、相手は

「皇帝（將軍のこと）の住む江戸に近い浦賀にわざわざ来たのだから、長崎には絶対行かない」

と強固に主張して浦賀沖を動かず、戦闘準備までととのえていた。

結局、幕府は国書を受け取ることに決め、浦賀奉行・戸田伊豆守が大統領国書を受領した。内容は以下の三点。

- 一、日本沿岸で遭難したアメリカ人船員を救助すること。
- 二、アメリカ船への燃料・食料を供給すること。
- 三、二国間の貿易をすすめること。

国書を渡したペリーはひとまず本国へ帰ったが、翌年、今度は黒船七艘を率いて再来日し、条約の締結を要求した。幕府はその威力に屈して日米和親条約に調印し、二世紀余りにおよぶ鎖国がおわった。

ryozanpaku_2002 さん

#19 大政奉還 2002/ 1/24 11:35 [No.4373 / 15916]

慶応四年に始まった戊辰戦争までを範囲とされているので、慶応三年の大政奉還はぎりぎり入りますね。

「目から鼻に抜ける伶俐」といわれた將軍慶喜のウルトラCで、イケイケで戦いたがっていた双方の連中は拍子抜けするくらいだったかもしれませんね。

hui*_k さん

#20 お蔭参りブーム到来 2002/ 1/24 12:08 [No.4374 / 15916]

伊勢の式年遷宮の翌年のことを「お蔭年」と云い、この年に

参宮するお蔭参りでは例年より参宮者が多くなるのですが、こうしたことが一種のブームとして異常な盛り上がりを示したのが江戸時代を通じて四度ほどあるそうで、おおむね60年周期で盛り上がったようです。

第二期のブームの時には阿波からの参宮者が笠と柄杓だけで街道筋から施行を受けながら行脚したことから、次からはこのスタイルが流行したそうです。

こうしたブームが後に「ええじゃないか」へと発展し、それと相俟って討幕運動も高揚していくことになったそうです。

最大の時には、一年間で、人口の十数%にあたる四、五百万人ほどがお蔭参りに出かけたのではないかといられていますから、今で云うとディズニーランドに行くくらいの感覚だったのでしょうかね。

その意味ではブーム好きな日本人ってそんなに変わっていないものですね。

hui*_k さん

お題【歴史に登場する「〇〇野】 2002/ 1/24 12:21 [No.4375 / 15916]

ちょっと気楽な、それでいて毛色の変ったお題に挑戦。

日本史に現れる、あるいは歴史に関係のある

「〇〇野」の形の地名を20箇所挙げて下さい。

ただし「野」は「の」と読むことが条件で、

同名の地名の重複は不可です。

#00 上野

江戸の鬼門を守る寛永寺の門前町として発達し、幕末には彰義隊の上野戦争などが起こっています。

明治になって寛永寺の境内を公園や動物園にし、美術館などの多くの公共施設が建てられました。

不忍池は家康入部のころまでは入り江だったそうです。

なので、以後は伊賀や洛北の「上野」は不可です。

hui*_k さん

#01 田野 2002/ 1/24 14:26 [No.4376 / 15916]

武田勝頼が最期を迎えたところで、景德院などの史跡があるほか、温泉や溪流釣り場などのレジャー施設もそろっています。

私はまだ行ったことがなく、葡萄狩りの帰りにでも、いつか行ってみたいです。

クイズ パンチ de デートさん

#02 吉野 2002/ 1/24 14:49 [No.4377 / 15916]

天智天皇の時代、大海人皇子（天武天皇）は大友皇子（弘文天皇）派による排除の動きから身の危険を感じ

当時の都である近江を離れて吉野へと赴きました。

それから時代を経て、後醍醐天皇が建武の新政後に足利尊氏に追われて逃れたのも吉野です。

後醍醐天皇はここに、いわゆる南朝を置き、正統性を主張したのでした。

なお時代は前後しますが、鎌倉初期に源頼朝の追討を逃れるために

義経が吉野に隠れ住んだこともあるとか。

にぎりいさん

#03 葛野 2002/ 1/24 15:46 [No.4378 / 15916]

「かどの」と読むそうで京都盆地の西部を占める郡の名前です。

この辺りには、新羅系の渡来人秦氏が住み、その巧みな土木技術で

今の嵐山付近に「葛野大堰（かどののおおい）」という堰を作って

桂川の水をコントロールし、嵯峨一体を耕作地に変えるなどして

財力を蓄えたそうです。

盆地内には、さらに南には高麗氏、東には賀茂氏、東南には八坂造らの

高麗系の渡来人が済んでいたといわれ、後に和氣清麻呂の発案で

山城国葛野の地を中心に新京の造営を始めたのも、渡来人高野新笠を母にもつ桓武天皇が、秦氏などの財力を頼るという要素もあったそうです。

hui*_k さん

「江戸 2 0 大事件」御礼 2002/ 1/24 16:41 [No.4379 / 15916]

皆さん、ご回答どうもありがとうございました。

回答の内容を分類整理してみますと、以下のようになります。

●諸外国との接触・軋轢

丁卯（でいほう）事件、大黒屋光太夫の帰国、生麦事件～薩英戦争、

レザノフ来航、ペリー浦賀に来航

●武装蜂起（未遂を含む）

大塩平八郎の乱、慶安事件、島原の乱、アイヌ民族の蜂起（2 件）

●殿中抜刀事件

浅野内匠頭長矩が吉良上野介義央に斬りつけた事件、稲葉正休が大老堀田正俊を殺傷した事件 他 5 件

●お家騒動

伊達騒動

●心中

曾根崎の森での心中事件

●朝廷と幕府の軋轢

紫衣事件

●災害・事故

島原大変肥後迷惑、明暦の大火、天明の大飢饉

●幕末ならではの事件

蛤御門の変、池田屋事件、大政奉還、お蔭参りブーム到来アンケート調査の結果ではないけれど、・“鎖国体制” 中での「諸外国との接触・軋轢」、・“戦のない世” における特定勢力の「武装蜂起」、・幕各や大名“個人” 同士の諍いによる「殿中抜刀事件」といった事件が目立ち、如何にも江戸時代を象徴しているように思われます。

あと私が、回答を想定していたものをランダムに挙げると、

「桜田門外の変」「絵島・幾島事件」「天一坊事件」「旗本奴と町奴の抗争～番随院長兵衛殺害」「幕末の打ち壊し」「八百屋お七事件」「振り袖火事」「安政の江戸大地震」「生類憐れみの令によるお犬さま騒動」などがあります。

どうも、皆さんお疲れ様でした。また新しいお題をがんばって考えたいと思います。

s11*3_0*さん

#04 遠野 2002/ 1/24 19:22 [No.4380 / 15916]

北上盆地と三陸海岸の中間、北上山系の裾野に位置。江戸時代は南部藩の要衝、海陸交易の地として繁栄。農畜林業が基幹産業で、柳田國男「遠野物語」で知られる伝説・民話のまち。

歴史とはちょっと違うのでNG？。

ryozanpaku_2002 さん

#05 化野(あだしの) 2002/ 1/24 21:40 [No.4381 / 15916]

京都は洛西、嵐山のさらに奥のほう（この辺、〇〇野が多いね。場所の紹介文章がややこい）

化野念仏寺という有名なお寺もごさいます。

「あだしの」とは、元々、「はかない」という意味の古語に「野辺」がついて、

「あだしなる野辺」→「あだし野」→「化野」と転じていったとか。

では、なぜここが「はかない」地なのかというと、かつて、この地域には「風葬」の習慣があり、多くの遺体がさらされていたとか。

その「はかなさ」から、「あだしなる野辺」となり、さらに「生」から「死」へと「化ける」場所ということで、「化野」の字があてられたとか。

どこまでホントの話かわからないし、異説もあるでしょうが、なんとも不気味な…

でも、化野念仏寺は、紅葉でも有名です。

8 月の「千灯供養」の行事、写真で見ると不気味だけどころかいいですね。

ecc**ler さん

#番外 伊賀野 2002/ 1/24 22:18 [No.4382 / 15916]

影丸 カバ丸

他にもあったかな？

ecc**ler さん

0 6 大野 2002/ 1/25 0:59 [No.4383 / 15916]

久しぶりの投稿です。

今回は私の出身地に隣接している福井県大野市で参加させていただきます。

大野市は福井県の東部にあり、石川県、岐阜県等と接しています。

歴史上この町が出てくるのは朝倉義景が一族に裏切られて自害した

場所ということか、滝川一益がこの地で隠棲生活をおくったと

言うことぐらいでしょうか。

朝倉義景墓所横には現在、義景公園があり、門をくぐるとセンサーで水が流れ、水琴窟なども楽しめます。

近くにはイトヨがすむ湧水池もあります。

その後、金森長近が越前大野城を築城する時に京都に模した城下町を建設しましたので「北陸の小京都」とも言われてます。

江戸期には土井利房が封ぜられ、明治維新を迎えることになります。

今手元に資料がないので詳しいことは忘れてしまいました

が、幕末の頃に大野藩独自に洋式帆船を建造したり、北海道の開拓

に自ら乗りだすなどいろんな事をしています。

・・・ほとんど観光ガイド（笑）

sin*f*007 さん

#番外 磯野 2002/ 1/25 1:13 [No.4384 / 15916]

磯野員昌（生没年不詳）

浅井氏家臣、佐和山城主。浅井長政の有力武将として多くの

戦いに参戦、姉川の戦いでは先陣を務め、織田軍 13 段の構えの内 11 段まで打ち破る猛攻を見せた。その後、謀略により内通を疑われて人質を殺されたことから織田方に降伏した。近江・新庄城主になるが、1578 年突如所領没収され、高野山に逃れた。
サザエさんネタだと思った人、手を挙げて(^^)ゞ
sin*f*007 さん

#07 羽曳野 2002/ 1/25 10:58 [No.4385 / 15916]

日本武尊は伊勢の N 野に薨じたため、父親の景行天皇はここに陵を造り葬りますが、その後日本武尊は白鳥になって飛び立つのが目撃され、陵の中を確認すると遺体が消えていたためこの白鳥を捜せると、初め大和の琴弾原、次いで河内の古市に降り立ったといわれ、これら二箇所にも陵を建てます。
白鳥はさらに古市から飛び立ち、西側の埴生の丘の上を「羽を曳くように」飛び去って和泉の大鳥神社に降り立ち、その後再び飛び立って消えてしまったとされ、日本武尊は大鳥神社の祭神にも加えられています。
こうして、埴生の丘は「羽曳野」と呼ばれるようになったと言われますが、羽曳野市古市には応神天皇陵をはじめとして百基ほどの円墳や方墳があり、古代においては「埴生」の名の通り焼き物に適した土を産する土地として栄えたであろうことが想像されます。
hui*_k さん

#08 泉佐野 2002/ 1/25 19:52 [No.4386 / 15916]

大阪府南部にある市で、最大の目玉は関西国際空港がある事です。

この地が初めて歴史上に現れるのは 5 世紀の事で、允恭天皇が皇后の妹姫にあたる衣通姫を大層愛し、ここに茅渟宮（ちぬのみや）を建てたと伝えられています。
その後、「狭い原野」という事から「狭野」というようになり、それが転じて「佐野」と呼ばれるようになったそうです。戦国時代には紀州の雑賀衆や根来寺の所領があり、信長や秀吉の紀州攻めの時は最前線基地となっています。
みなさん御無沙汰してました。参加するのは 1 ヶ月ぶりです。時々ではありますが、今年も書き込ませていただきますので、みなさんよろしく願います。
gre*t*fighb*rd さん

#09 平野 2002/ 1/25 20:17 [No.4387 / 15916]

平野は大阪の中でも、最も早くに開けた町で、戦国時代には環濠と土居をもって町を自衛し、町民によって町を運営する時治都市として、堺と共に、日本の近世史に、その足跡を残しています。その商人の富は、大阪の町づくりに力を貸し、江戸時代大和川付替によって、隆盛した河内木綿の集散地として繁栄しました。また商業の発展は、文化の交流を呼び、京都や堺と同じく、連歌や、茶道、能楽などを町民に普及させ、連歌所や民間の学問所、含翠堂の創立をみました。
今次大戦の戦火に遭わなかった町は、江戸時代の町割そのままに、新旧の町並み、数多くの社寺や地蔵堂などの文化財にめぐまれ、京都大学の西山卯三先生は、町そのものが、博物館だと話されています。
ryozanpaku_2002 さん

#番外 木野 2002/ 1/25 20:49 [No.4388 / 15916]

木野 薫（仮面ライダーアギト第 3 5 話～ 4 6 話）

あかつき号の仲間のリーダー的存在。雪山での事故以来、医師免許を剥奪されたままの天才外科医。
その実態は 4 3 歳の菊池隆則さん演じる歴代最年長仮面ライダー、アナザーアギト！
この人物が登場した時はビックリしました。ええ年したオッサンがいきなりポーズ決めて変身しましたから（笑）
仮面ライダーアギトは明後日（ 2 7 日）が最終回ですけど、無事に話がまとまるのでしょうか？たった一話で謎の青年・風のエル・地のエルの 3 人を倒すのは、 3 0 分では無理があるような・・・
gre*t*fighb*rd さん

#10 庄野 2002/ 1/25 21:47 [No.4389 / 15916]

東海道 53 次の宿場町の一つ
現在の三重県鈴鹿市
東海道では、もっともマイナーな宿場かもしれません。
このあたりは、明治以降、鉄道建設の際、経緯は知りませんが、東海道本線が、まったく離れたところに建設されたため、地名が駅名とならず、そのため知名度が…
もっとも、江戸時代当時から、東海道で一番小規模な宿場だったそうですが
ecc**ler さん

#11 北野（天満宮） 2002/ 1/25 21:52 [No.4390 / 15916]

天曆元年（947）菅原道真の霊を慰めるために創建された。古くから学問の神様として信仰を集めている。現社殿は豊臣秀頼によって慶長 12 年（1607）に再建され、八棟造と称し、桃山建築を代表する国宝である。境内は梅の名所で秀吉が北野大茶会を催したことは有名。毎年 2/上～3/下まで楼門の南東にある梅苑が公開される。また、毎月 25 日の天神さん（縁日）の宝物公開では、北野天神縁起絵巻〔国宝〕などが見られる。宝物殿は雨天拝観中止。
y さん

#番外 富士の裾野 2002/ 1/25 22:08 [No.4391 / 15916]

ゴジラをはじめとする、「日本」を襲う怪獣たちは、何故か

よくここで、自衛隊や地球防衛軍と決戦を行います。
でも、彼らは、何のためにここに行くんだろう？
都市の一般市民が決戦の犠牲にならないため？いや、でも、
最終決戦は、大都市だもんなあ。
あ、しまった。今回のゴジラ見逃した！
しかし、あさってのアギト最終回、一体どんな終わり方を
するんでしょうねえ？
まさか、「アギトの戦いはこれからだ！」って、打ち切りにな
る雑誌連載マンガみたいな終わり方じゃあるまいな？
ecc**ler さん

#12 能褒野 (のぼの) 2002/ 1/26 11:16 [No.4392 / 15916]
三重県亀山市に、現在も残る地名です。
「古事記」の、ヤマトタケルノミコト (倭建命) の征西の神話
では、伊吹山の神を退治しようとした命は、白い猪に化身
したその神を、神の使いと見誤って、無視して山へ登ったた
め、怒りに触れて山頂で大氷雨を浴びせられ、疲れ切って下
山し、この能褒野の地で、ついに「わが足は三重の勾りなし
ていと疲れたり」と語って、この地で息絶えたといひます。
足が三重に曲がったというような意味ですが、「三重」とい
う地名、県名の由来はここから来ているそうです。
倭は 国のまほろば
たたなづく 青垣
山隠れる 倭しうるわし
という、命の望郷の歌も、この地で歌われました。
六文銭さん

#13 紫野 2002/ 1/26 12:17 [No.4393 / 15916]
京都の北部、大徳寺や今宮神社のある地域です。
万葉集の「あかねさす紫野ゆき標野ゆき野守は見ずや君が袖
振る」の歌の紫野は、年代的に、天智天皇の御料地の野とい
う事で、奈良県の方で、こちらではない様ですが、京都のこ
こは洛北七野の一つで、もとは朝廷の狩猟地で、正月の子の
日に、若菜や小松を集めて、蹴鞠や和歌を詠んだりする、「子
日宴」が行われていました。
ここの大徳寺は1319年建立の古刹で、1333年に後醍

醐天皇の勅旨で五山第一位となり、その後足利義満に冷遇さ
れて寂れたり、応仁の乱で焼けたりしましたが、その後一休
宗純が再興し、後には堺の商人達の援助で壮大な堂宇を築く
ようになり、豊臣秀吉が織田信長の葬儀を行ったのもこの寺
でした。
その後、千利休がこの寺の山門に自らの像を安置し、これが
秀吉に「参拝する自分を見下ろしている」と怒らせ、利休の
切腹に繋がったとも言われています。
さらにこの紫野の地には、目立たないながら、紫式部の墓も
あります。
今日TV番組で紹介していましたが、今度38回文芸賞を受
賞した、ペンネーム「綿矢りさ」さんが、この紫野高校の
3年生ということで、かつて受賞した、作家で長野県知事に、
例のごとく名刺をもらったりしていましたが、彼女、東京へ
行って訪れたいのが三鷹、という事で、何と敬愛する太宰治
が、入水自殺した玉川上水や、お墓のある禅林寺を訪れ、涙
ぐんでいました。彼女の作品は読んでないのですが、高
校時代、実は太宰文学、読破してたりしたので、大変共感
を感じましたね。
六文銭さん

#14 日野 2002/ 1/26 13:04 [No.4394 / 15916]
東京都日野市です
江戸時代、武田家の旧家臣たちが多くすんでいたことがあり、
元々武術が盛んな土地柄でした。
幕末になると、度重なる外国船の来航に伴う幕藩体制の動揺
などで治安がさらに悪化し、日野宿では、問屋(日野本郷名
主兼帯)佐藤彦五郎の天然理心流への入門をきっかけに、剣
術が盛んになりました。
日野出身の土方歳三と井上源三郎は、佐藤道場で出会った近
藤勇や沖田総司らと共に上洛し、尊王擁護の嵐が吹き荒れる
幕末の京都で新選組を結成しました。新選組は京都の治安維
持に尽くしましたが、やがて徳川幕府は崩壊し、井上源三郎
は鳥羽伏見の戦いで、土方歳三は箱館で亡くなりました。
ryoanpaku_2002 さん

#15 蒲生野 2002/ 1/26 14:06 [No.4395 / 15916]
その「あかねさす紫野ゆき標野ゆき野守は見ずや君が袖振る」
の歌は、天智天皇の遊猟の地「蒲生野」(近江蒲生郡八日市
一帯)というところで詠まれたものだそうで、「紫野ゆき標
野ゆき」というのは「紫草の生えるご料地に行く」くらいの
意味になるようです。
天智天皇が飛鳥から大津に遷都を行ったことに対しては、飛
鳥の旧勢力の抵抗が非常に激しく、妨害のための放火も相次
いだそうで、蒲生野の遊猟はそうした混乱が一段落した記念
に行われたものの、この歌のやり取りも、旧勢力を代表する
大海人皇子(天武天皇)との間の確執を背景に、天皇に対す
るやや挑戦的な姿勢も感じられます。
後に天智天皇は山科で道に迷い行方不明のまま崩御したと
言われますが、これについても旧勢力の陰謀だったのではな
いかという説もあるそうです。
hui*_k さん

2002/ 1/26 14:53 [No.4396 / 15916]
・「北海道のへそ」と言われている。
・ラベンダー畑で有名。(私も何度か見に行きました)
・純くんと蛍ちゃんのお話も次で終了となるらしい。
ら〜ら〜らららら〜…。
にざりいさん

↓番外です 2002/ 1/26 14:54 [No.4397 / 15916]
#だけで投稿されてしまいました、申し訳ありません。
にざりいさん

↓なんどもすみません。 2002/ 1/26 14:55 [No.4398 / 15916]
ちなみに、富良野です。
コンピューターが不調なのか、あっさり投稿されてしまいま
す…。
にざりいさん

#16 熊野 2002/ 1/26 15:15 [No.4399 / 15916]

熊野那智大社社殿には『神武天皇が熊野灘から那智の海岸“にしきうら”にご上陸された時、那智の山に光が輝くを見て、この大滝を探り当てられ、神としておまつりになり、その後守護のもと、八咫鳥の導きによって無事大和へお入りになった』と記録されているそうです。

古くから『熊野詣』で賑わい、907年に宇多上皇が訪れたのを初めとして後白河法皇は24回、後鳥羽上皇は29回と参詣を重ねられたそうです。

また、花山法皇は千日の瀧籠りをされたと記録されているそうです。

奥州の藤原秀衡も熊野詣をし、その時に持参した山桜が『秀衡桜』としていまも残っているそうです。

大学生の時に行った筈なのですが、ほとんど記憶にありません。夕闇の中、あわててお参りしてそそくさと帰ってきてしまったのではなかったかな…。せっかく行ったのに、もったいないことをしました。にぎりいさん

#17 鳥辺野 2002/ 1/26 22:27 [No.4400 / 15916]

洛東の六波羅から東は、かつて鳥辺野という、化野（「徒野」とも）と並ぶ葬送の地で、桓武天皇が平安遷都の際にこの地を葬所と定め、六道珍皇寺を建てたのがはじまりと言われます。

そのため六波羅の地は、地獄への入り口として多くの僧俗を集め、空也上人

もそのひとりとしてここに六波羅蜜時を建てたのだそうです。

嵯峨天皇に仕えた小野篁は、昼は朝廷に出仕し、夜は閻魔庁に勤めていたと

いわれ、この六道珍皇寺の裏から自由に地獄に出入りしてい

たと言われているそうです。
hui*_kさん

#番外 すすきの 2002/ 1/27 10:12 [No.4401 / 15916]

札幌の南にある、一大歓楽街。学生時代、札幌にいきましたが、お金がなかったので.....
ryoanpaku_2002さん

#18 生野（銀山） 2002/ 1/27 13:33 [No.4402 / 15916]

生野鉱山は、約1200年前の大同2年（807年）に開坑された古い鉱山です。

天文11年（1542年）に本格的な探掘が始まり、織田、豊臣、徳川それぞれの直轄として栄え、明治元年には政府直轄鉱山となり、フランス人技師ジャン・フランソワ・コワニエが着任し、改革、機械化など先進的施策を挙行し、近代化を成し遂げました。

明治22年以降は、宮内省御料局の所管に移され、皇室財産になりました。次いで明治29年には、三菱に払い下げられました。

以後、時代と共に栄えてきた国内有数の鉱山も、鉱石の枯渇によって昭和48年にその長い歴史を閉じました。

ryoanpaku_2002さん

#番外 羽野 2002/ 1/27 13:39 [No.4403 / 15916]

鎌倉幕府執権、北条時宗の正室。時宗殿の御下知により得宗家に嫁ぐが、時宗の母、亀井静香から祝言早々、御成敗式目を突きつけられ、20年間に渡って口出しを禁じられる。また時宗が政を行う時は、常に二人の姉と母、亀井静香が側にいた為、庶民の間では「誰が得宗かわからん」と陰口を叩いていた。

一方、宗尊親王と名越一族は密かに手を組み得宗家転覆を狙っていた。その中心となったのは名越一族の桔梗である。桔梗は以前、時宗の二人の姉に対し、「お前等、行き遅れ！」と叫んだ為、得宗家の命令で石橋凌と離縁させられ、それ以来得宗家を憎んでいた。

だが先手を打った得宗家は名越氏の館を攻め、時章は切腹、教時は討死、桔梗は捕らえられた。

後日、桔梗は尋問に来た時宗と実時に向かって「時輔が首謀者だ」と言った事により、六波羅探題南方で時宗の兄、北条時輔の成敗が決定される。

しかし討ち手の六波羅探題北方、北条義宗はCD「ムーンライト」が予想以上にヒットした為に機嫌が良く、密かに時輔を逃がすのだった。命を助けられた時輔は、亀井静香や宗尊親王等、インパクトの強すぎるNHKに嫌気がさし、TBSの「恋がしたい恋がしたい恋がしたい」へ逃れた。

そして宗尊親王も亀井静香の命令により逆モヒカンにさせられ、「おのれ亀井静香」「憎し潰れアンパン！」と叫びながら失意の内に亡くなった。

これが世に言う2月騒動である。

暇だったので、ちょっと書いてみました。

もし、自民党抵抗勢力を支援されている方がいても、どうか気になさらないで下さい。

あんなのになるまで太る方が悪いのです（笑）

完全に番外な投稿で失礼しました。

acc*s*_r*さん

#19 日根野 2002/ 1/27 13:50 [No.4404 / 15916]

大阪府泉佐野の地名で、撰閑家である九条家所有の荘園があった場所です。荘園の方の名前は「日根荘」と呼ばれていますが。

成立は鎌倉時代で、泉佐野市のほぼ全域を荘園の領域にしていました。戦国時代に入ると、九条政基がこの地に訪れ、その様子を記した「政基公旅引付」という記録が残されています。とはいえ、この頃には和泉国守護方や紀州根来衆に挾撃され、荘園は風前の灯となっていました。このあと、「日根荘」は紀州根来衆の支配下に入ってしまう、秀吉による根来衆征伐後は、「日根荘」自体が消え去ります。

tokacyanさん

#20 交野 2002/ 1/27 14:00 [No.4405 / 15916]

桓武天皇が、王侯貴族の遊獵の地に指定した場所です。実際

に桓武天皇が、郊祀祭天の儀を執り行った場所でもあります。
「伊勢物語」八十二段には、文徳天皇の息子である惟喬親王が、「天下無敵のまめ男」在原業平を連れて狩に出かけた話があります。その時の、業平の和歌、
世中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし
また、近くにある「天の川」という所に宿泊したときには、こんな和歌を詠んでいます。
狩り暮らし棚機つ女に宿からむ天の河原に我は来にけり
tokacyan さん

お題【海の日本史の登場人物】 2002/ 1/27 14:08 [No.4406 / 15916]

最近、海を舞台とする人々の歴史像を描く歴史研究が、あちこちで見られます。
だからというわけではありませんが、海を舞台とした日本史上の人物を挙げてください。別に、海民や水軍に限らず、海に縁がある人物であれば、良いです。

#00 河野通有

鎌倉時代後期の、伊予国の守護です。

弘安の蒙古襲来の時には、小舟で蒙古の船に近づき、敵船に火を放って、蒙古軍に多大な損害を与えました。ここでの戦いは、瀬戸内海の水軍の頭領としての経験が生かされたがゆえに、これだけの戦果を上げることができたようです。

tokacyan さん

「海」は既出では 2002/ 1/27 16:00 [No.4407 / 15916]

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&board=1835208&tid=a2vbb3a4nbcjclocbcbca2v&sid=1835208&mid=164>

6 3 【海のひとつ】(#1731)

榎本武揚,東郷平八郎,ジョン万次郎,間宮林蔵,高杉晋作,坂本竜馬,九鬼義隆,高田屋嘉兵衛,支倉常長,藤原純友,神功皇后,堀江謙一,葛飾北斎,河村瑞賢,村上武吉,勝海舟,林子平,山本五十六,石原裕次郎,ペリー

それとも2回戦やりましょうか？

ryoanpaku_2002 さん

2 回戦なら # 0 1 キセリョフ善六 2002/ 1/27 17:04 [No.4408 / 15916]

ガイシュツの人名を以外を挙げるといふ2回戦を想定して、いきなり地味な人を出しましょうか。

別のお題に変わるなら、これはただの宣伝ということで。善六さんは石巻の人。1793年に嵐に遭って漂流し、翌年の夏にアリューシャンにたどり着きました。彼は2年後、イルクーツクでラックスマンが持ち帰った文書をロシア語に訳し、周囲を大いに驚かせました。そこでロシアで出世の道を選び、ロシアに帰化します。

1803年、ロシア初の世界周航企画と使節日本派遣が決定し、善六は通訳としてその船に乗り込みました。

1805年、善六さんがカムチャッカにいと、陸奥の船の乗組6人が千島に漂着。善六さんは彼らの帰国を助けるなど、自分と同じ境遇で苦しんだ人の命を救っています。

1813年、ゴロヴニン・高田屋嘉兵衛事件解決のため、善六さんは函館にやってきました。日露問題を解決した高田屋嘉兵衛の努力の陰には、この善六という人の協力があったのです。

120年後善六さんの子孫ディミトリ・キセリョフ氏が函館に領事としてやってきました。氏は、自分は日本人だからと浴衣を着て町を歩き回っていたのだとか。

<http://homepage2.nifty.com/tsu/index.htm>

toshy.y.takahashi さん

あちゃー 2002/ 1/27 18:07 [No.4409 / 15916]

既出とは、これは失礼しました m(_ _)m。
もし、2回戦が無理でしたら、お題は撤回します。

tokacyan さん

toka3aki さん 2002/ 1/27 20:37 [No.4410 / 15916]

せっかくですので、ご自身で判断してください。

2回戦可能と思えば#02を。

撤回する場合は、新題を

お願いします。

ryoanpaku_2002 さん

訂正お題【全国一宮 20 選】 2002/ 1/27 21:31 [No.4411 / 15916]

すみません、私が想定していた回答が、すでに既出でしたので、撤回いたします。

現在、大林太良の「私の一宮巡詣記」なる本を読んでおります。ちょっと、全国各地の一宮に興味を持ち出したので……。そこで、全国の一宮をお題にさせていただきます。ただ、「一宮」は時代によって変遷があったそうですので、「誰かが〇〇神社を一宮と呼んでいた」ものであればOKです。当の神社の看板に「〇〇国一宮」とあっても結構です。むしろ、アヤシすぎる自称「一宮」の方が、私としては面白いのですが。

#00 鹿島神宮

常陸国の一宮です。藤原氏の祖先であるタケミカヅチノミコトを祭神として松っております。

この神宮では鹿を飼っていますが、これは奈良公園から移したものだそうです。その奈良公園の鹿も、実は鹿島から移したという伝承があります。

tokacyan さん

#01 寒川神社 2002/ 1/27 22:10 [No.4412 / 15916]

それでは、地元の一宮を

寒川神社の創祀年代は不明です。雄略天皇(456~479)の御代に奉幣、また神亀4年(727)社殿建立と伝える記録がありますが、確かとはいえません。初めての公の記録は、仁明天皇承和十三年(846)神階従五位下を授けられたとの記録『續日本後紀』で、爾来神階の授与が度々なされております
ryoanpaku_2002 さん

#02 香取神宮 2002/ 1/27 22:15 [No.4413 / 15916]

今年の正月に参拝しました。

千葉県佐原市にある下総の一宮です。

鹿島神宮とは兄弟に当たる関係で、祭神の経津主神（ふつめしのかみ）は古事記では鹿島の祭神タケミカツチとともに大国主命に国譲りの説得に派遣されています。

やはり鹿島とともに軍神として、関東に依拠する武士を中心に尊崇を集めました。

町のすぐ北が利根川で、その先はかつては香取が浦という潟であったそうですが、江戸時代の利根川の付け替えで土砂が堆積して今のような陸地になったのだそうです。

P.S. 海の人2回戦も面白いかなと思ってネタを考えていたのですが、今後はそういう可能性も視野に入れる必要があるかもしれませんね。

hui*_kさん

#01 巖島神社 2002/1/27 22:18 [No.4414 / 15916]

安芸国一宮。

祭神は一杵島姫命・田心姫命・タギ津姫命の宗像3女神。

1017年頃に一宮としての地位が確立したとされます。

平清盛の安芸守就任以降、平氏一門の崇敬を集めて隆盛。

このころの神主は佐伯姓だったが、承久の乱後、藤原姓神主となりました。

戦国期以降、大名の庇護下にありましたが、民間でも広く信仰されました。

例祭は旧暦6月17日、管弦祭で知られます。

諸建築・所蔵文化財の多くが国宝・重文となっています。

特に海中の大鳥居や平家納経が著名です。

巖島文書を所蔵しています。

・・・しかし、いきなり難問に変わりましたね。

ykm*31*さん

↓#03です 2002/1/27 22:20 [No.4415 / 15916]

失礼しました。

ykm*31*さん

#04 浅間神社 2002/1/27 22:32 [No.4416 / 15916]

我が故郷・駿河国の一宮。

静岡県富士宮市宮町に鎮座。

現在の正称は、富士山本宮浅間大社。

富士山頂上に奥宮があります。

祭神は、木花之佐久夜毘売命（このはなのさくやひめのみこと）。

富士信仰の中心で、全国1300余に及ぶ浅間神社の総本宮。

富士山を神体として仰いだことに発生し、

806年、現在地に奉遷したと伝えます。

平安末期には、山岳仏教と習合し、富士浅間大菩薩とも呼ばれました。

源頼朝・同実朝、北条義時、足利尊氏、武田信玄・同勝頼らの崇敬を受け、

江戸時代には徳川家康により社殿が再建され、神領約1100石に及びました。

例祭は11月4日です。5月5日は流鏝馬祭です。

現社殿は1604年家康の建立で、浅間造（せんげんづくり）（重文）。

ykm*31*さん

#05 田村神社 2002/1/27 22:51 [No.4417 / 15916]

では。

讚岐一宮 田村神社。

香川県高松市一宮町。

琴電一宮駅下車 徒歩5分。

<http://www.chizumaru.com/main/czdsp.dll?X=482507.302>

[&Y=123419.954&WID=350&HEI=350](http://www.chizumaru.com/main/czdsp.dll?X=482507.302&Y=123419.954&WID=350&HEI=350)

[0&TAB=chizu&NAME=&MODE=0&CSET=2&PG=1&LK=all&CND=vand&PSZ=20&func=0&Lv=2](http://www.chizumaru.com/main/czdsp.dll?X=482507.302&Y=123419.954&WID=350&HEI=350&TAB=chizu&NAME=&MODE=0&CSET=2&PG=1&LK=all&CND=vand&PSZ=20&func=0&Lv=2)

ぼくが、この地を訪れたのは、四国徒歩巡礼中のことです。まず、大宝年間（701～704）義淵（ぎえん）僧正により法相宗の大宝院という寺が開基されました。

その後、勅命により諸国に一宮が建てられたとき、行基菩薩が讚岐一宮の田村神社を創建し、大宝院はその別当寺となって神毫山・一宮寺に改号しました。

大同年間（806～810）弘法大師がこの地を訪れ聖観世音菩薩像を刻み本尊とし、堂塔を修復して真言宗に改め、第八十三番札所として決めました。

あれ。神社の説明になってませんね。

明治期の神仏分離令で別れたケースが多いのですが、ここは1679年に、高松藩主松平頼重によって別当職を解かれ、「一宮 田村神社」と「神豪山 一宮寺」は相互に独立した関係になってます。

spatさん

#05 二荒山神社 2002/1/27 22:52 [No.4418 / 15916]

「ふたあらさんじんじゃ」と読む下野宇都宮にある神社で、こちらと日光男体山にある二荒山神社の二つが下野国一宮ということになっているそうです。

そもそも「宇都宮」という地名自体が「いちのみや」の訛ったものだそうで、以前一度二荒山神社の裏手に住んでいたときに紀州に旅行をしたのですが、途中の名古屋近くで電車と一緒にになった女子大生に「宇都宮に住んでいます」と言ったら、発音が悪かった訳でもないのに「いちのみや」と間違えられました。

もとは日光男体山のことを「二荒山」とも言い「にこう」とも読んでいたそうで、「日光」の地名もそれに由来するという話も聞いたことがあります。

hui*_kさん

#07 三島大社 2002/1/28 12:05 [No.4419 / 15916]

伊豆国の一宮は、三島にある三島大社で、祭神は大山祇神と事代主神ですから、浅間神社とも関係があることになります。伊豆は黒潮族といわれる海洋系の人々が早くから住み着いた土地だと言われ、瀬戸内の方にある神社がこちらの本社に当たるそうです。

hui*_kさん

「野」のお題御礼 2002/1/28 13:57 [No.4420 / 15916]

またまたヘンテコなお題でお騒がせを致しました。

ネタ元は、足利健亮氏の『景観から歴史を読む』（NHK出版）

という面白い本に『「野」とはなにか』という章があり、「野」で一発いけるかなという所からです。

歴史に登場する「野」と呼ばれる土地は圧倒的に畿内に集中していて、したがってこれらが歴史に登場する時代も中世以前が多いようで（前回は「江戸時代」だったのでご勘弁）。

歌に詠まれた地も多いのでネタはそれなりに豊富ですが、ちょっとマニアックなお題で、その中でみなさん工夫されて面白い回答を頂きありがたく思っています。

たとえば「日野」なんかは歴史と結びつくとは思ってもみませんでした、お見事でした。

他に、歴史と関係のありそうな「野」をあげますと、紫野を含む洛北七野という朝廷の遊獵地があったほか、阿倍野（北畠顕家）、瓜生野（楠木正行）、笠懸野（源頼朝）、習志野（明治天皇）、中野（生類憐みの令）、津和野（坂崎出羽守、森鷗外）、那須野（那須与一、乃木希典）、

武蔵野（国木田独歩、太宰治）などがありますでしょうか。

また、歌枕になっている「野」は、交野、紫野のほか、阿太の大野（あだのおおの）、印南野（いなみの）、宮城野、巨勢野（こせの）、多芸野（たぎの）、嵯峨野（芭蕉など）、猪名野（行基）、大原野、春日野（「飛火野（とぶひの）」とも）

などがありました。

同名不可にしなければ、伊賀上野（服部半蔵、荒木又衛門）なんかもありでしたから、この条件は失敗でした。

ちょっと分かり難いお題で失礼しました。

ともあれお疲れさまでした。

hui*_kさん

#番外 女一宮 2002/1/28 16:01 [No.4421 / 15916]

第109代明正天皇。

外祖父にあたるのが釣りバカで、外祖母は極道の妻です。

外曾祖父に至ってはPanasonicの画王（古）！

こう考えると、どこか変わった人に育ってしまうような気が・・・

「葵徳川三代」を見ていなかった方には、意味不明な文章で申し訳ないです。

acc*s*_r*さん

#08 海神神社 2002/1/28 17:49 [No.4422 / 15916]

「わだつみじんじゃ」と読む対馬の一宮です。

本社は峯町というところにあるそうですが、その別宮のような

ものに当たるのでしょうか、隣の豊玉町というところがあり、こちらの方は参拝したことがあります。

いずれも豊玉姫を主祭神に、夫の彦火火出見尊（山幸彦）と、息子の鵜茅葺不合尊（ウガヤフキアエズノミコト）とが祭られていて、延喜式ではいずれも名神大社に連なっています。

峯町の方は明治の頃は国幣中社でしたが、豊玉町の方の神社は村社だったそうです。

参道が海の中から真っ直ぐ続いていて、海上にも鳥居が建っている

という珍しい形で、山幸彦がこの地に3年留まり、豊玉姫を妃としたとのことで、境内には豊玉姫の墳墓もあるそうです。

hui*_kさん

#09 玉前神社 2002/1/28 18:18 [No.4423 / 15916]

千葉県の一宮町にあります。町も一宮なら、駅も上総一の宮です。

08の、豊玉姫の妹玉依姫命を祀っているそうです。由来によれば、鵜茅葺不合尊を姉に替わって育てたとかで、子育てや安産の神様として信仰を集めているそうです。

外房に面した田舎町ですが、いまは東京まで通勤快速も走っているのです、このへんから東京まで通っている人も多いでしょう。

クイズ パンチ de デートさん

#10 大宮氷川神社 2002/1/28 20:11 [No.4424 / 15916]

武蔵一之宮は大宮にあります。

『新編武蔵風土記稿』第八巻・『武蔵国郡村誌』第二巻・『国

造本記考』第二巻・『官幣大社氷川神社志要』に、出雲国簸川（ひかわ：肥川：斐伊川）の川上にある杵築大社（出雲大社）を勧請したところから、その川の名前により、氷川（ひかわ）神社と神号を賜わったと記されています。（現在の杵築大社は、簸の川上ではなく、神門川にあり、祭神や、勧請年代等に疑問が多くあります）

また、『官幣大社氷川神社志要』に「此地氷川（こほりかは）と云ひしを何時の頃よりか氷川（比加波）と改めたりと。氷川とは古へ水沼あり、下流は隅田川に接したる大なる流にして・・・中略・・・今当社御手洗は古昔水沼の残存せるものなりと。・・・三冬の比今も御手洗に堅氷を結ぶ。故に氷川（こほりかは）と云ひしを、今は氷川（ひかわ）と云ふなりと」これについては、菱沼勇氏は『武蔵国式内社の歴史地理』のなかで、氷川：ヒカワの「ヒ」は氷の意味で、上古よりコホリ（氷）の古語は「ヒ」であり、また古の「カワ」の意味は一般にある河川の事ではなく、泉または池、あるいは細い水流が広いところにたたえ、よどんでいる場所などを称したのである。相模の寒川神社のサムカワは、「清い泉」という意味である（本殿の後ろに古くは清い泉があり今でもその痕跡がのこっている）。大宮氷川神社の神池：御手洗池は、見沼が深く湾入した入江であり、ここから湧き水が出、見沼の水源となっていました。そして、柳田国男先生の「地名研究」では、東北の奥羽各地で洗い場・水汲み場等を「カハド・カード」といっており「カハ」の古い用語であると述べています。

すなわち氷川の社名は、「かわ」が「カワ：泉：池」であるとする、「カワ」そのものすなわち水源（見沼：御沼：神沼）を神聖視して先住者が水源：水田耕作、また見沼を守護する地主神に関係する神様を祀り、武蔵国造の父祖たる兄多毛比（えたもひ）命が、この地に来てそれを受け氷川神社を祀ったと思われます。

ryoanpaku_2002さん

#11 住吉大社 2002/1/28 21:05 [No.4425 / 15916]

今回のお題で、我が生国摂津の一宮はどこじゃいな？と調べたら、ここでした。

大阪では、一番初詣客の多い神社ですが、実は行ったことありません。

(キタの人間だったもので…)

神功皇后の三韓征伐成功を記念して創建された神社ですね。と同時に、海上交通の安全祈願の神社でもあり、全国約2000の住吉神社の総本山。

いま、ここのサイトを覗くと、結婚式の案内で一杯でした(縁がない世界だ…)

ecc**1erさん

#12 大山祇神社 2002/ 1/28 21:25 [No.4426 / 15916]

伊予国の一宮で、「しまなみ海道」の大三島にあります。去年のゴールデン・ウィークに行って来ましたが、宝物館の充実ぶりに圧倒されてしまいました。

俗には三島大明神と称します。祭神は大山積神、一名和多志大神とされています。#07の伊豆国一宮の三島大社の三嶋明神は、ここから移ったとされています。この神は海人の信仰に基づく祭神だそうです。反面、「早乙女祭」などの祭礼で見られるような農耕の神の側面ももつ、「両義的」な祭祀でもあります。実際、大三島はこの付近の島の中では河川の水が豊富で、農業も盛んなのです。

この神社には、平安時代の有名な能書家である藤原佐理の額があるそうです。彼がこの島を訪れたのは、大宰大貳をクビになった時で、さて都に向けて出港しようとする、波風が悪く舟が出せない。そんな夜に明神が告げた宣託にて、社の額を書いておいて行けと云われたそうです。タダでは通行させないところは、まさに後の村上水軍の時代そのままです。

tokacyanさん

#番外 川勾神社 2002/ 1/28 22:54 [No.4427 / 15916]

神奈川県二宮にある川勾神社は、律令以前の時代に、ここが「師長(しなが)国」といわれていた頃の一宮でしたが、相模国設立に伴って一宮の座を#01寒川神社に譲り渡したため、以来、二宮明神社と呼ばれるようになったそうです。

主神は、このあたりを開拓した級津彦命(しなつひこのみこと)です。

神社入口の左右には、曾我兄弟の力石と伝えられる大石があるそうです。

hui*_kさん

#13 真清田神社 2002/ 1/29 0:57 [No.4428 / 15916]

ますみだじんじゃ。

尾張国一宮で、現在の一宮市にあります。

「一宮市」があるからにはそちらに一宮があるのだろうとは思いましたが、

熱田神宮が一宮ではないというのはやはり意外な気もします。

ご祭神は、

天 火 明 命 (あめのほあかりのみこと) (御本社)、
三 明 (さんみょう) 神社 (別宮)

です。

当社の鎮座は、社伝によれば神武天皇33年。

古代悠遠の当国の開拓と日を同じくするものと伝わっています。

文化は古来、大河の流域に発達するといいますが、尾張国一宮の文化も、木曾川の流域とその開拓によって開けたものです。

当社は、平安時代、国家から国幣の名神大社と認められ、神階は正四位上に叙せられ、尾張国の一宮として、国司を始め人々の崇敬を集めました。

鎌倉時代には、順徳天皇は当社を崇敬され、多数の舞楽面をご奉納になりました。

その舞楽面は、現在も、重要文化財として当社に保存されています。

江戸時代には、徳川幕府は神領として、朱印領333石を奉りました。

また、尾張藩主徳川義直は、寛永8年(1631)当社の大修理を行う等、崇敬を篤くしました。

明治18年には国幣小社、大正3年に国幣中社に列し、皇室国家から厚待遇を受けました。

戦後は、一宮市の氏神として、一宮市民はもちろん、尾張全体及び近隣からも厚い信仰心を寄せられ今日に至っています。

尚「一宮市」の名称も当社が尾張国一宮であることに由来しており、全国で「一宮」の名称を冠する自治体は1市6町に及びますが、市制のひかかれている自治体は当社の鎮まります一宮市だけです。

ykm*31*さん

1 3 鳥海山大物忌神社 2002/ 1/29 1:04 [No.4429 / 15916]

主祭神は大物忌神で、秋田県と山形県境に日本海の面して聳える、出羽富士こと、名峰鳥海山を神体とする神社で、出羽の国の一ノ宮となっています。

古くより噴火を繰り返す鳥海山は、人々の畏敬の対象で、平安時代には鳥海山の神々を鎮めるため、朝廷より神階の贈位が繰り返行われていたといっています。

中世から近世にかけては、修験道の道場として、鳥海山大権現と呼ばれ、多くの信徒を集めていました。

鳥海山頂に本殿を祀り、麓に里宮として、吹浦口の宮、蕨岡口の宮がありますが、私、もう6、7年前に、鳥海山へ登山してまして、10月初めに登頂、大物忌神社も参拝しています。途中冷たい雨に見舞われ、一時は下山も考えましたが、登山道途中の御浜小屋で雨宿りするうちに天候も回復、山頂に着く頃には快晴となり、この時期になってもかすかに残雪が残る谷間を過ぎ、近年の噴火で吹き出した、荒々しい岩が重なる中を、最高地点の新山(標高2236m)へ登頂、月山など周辺の山々と、日本海の大展望を収めることが出来ました。

六文銭さん

1 5 白山比咩(しらやまひめ)神社 2002/ 1/29 1:45 [No.4430 / 15916]

こちらも、名山ゆかりの神社です。

主祭神は白山比咩大神と、イザナギ、イザナミの神
富士山・立山と共に、加賀の白山（標高2702m）は日本
三名山に数えられますが、太古より、「白き神々の座」と称
えられる神の山でした。

養老元年に、修験僧泰澄がこの白山に登頂した際に、白山妙
理大権現を感得したのが発祥で、それ以来、やはり修験道の
道場として隆盛を極めました。

白山の山頂に奥宮があり、加、越、濃の三国の登拝口（馬場）
があり、その中の加賀馬場が、この白山比咩神社で、加賀の
国の一ノ宮です。ロケーションは、金沢市内から、ローカル
私鉄、北陸鉄道の電車に乗り、終着の、駅名も「加賀一ノ宮」
駅からほど近いところにあります。

この麓の一ノ宮も、豪壮な社殿が印象に残っていますが、私
は白山も登頂し、奥宮へ参拝してしまして、金沢市からバス
で2時間程度の、別当出会より登山を開始、夏のシーズンな
ので、すし詰め状態の、山頂直下の山小屋「白山室堂」で泊
まった後、翌朝日の出前に登頂、眼下は雲海に埋まる中、東
側の北アルプス、槍・穂高連峰のあたりから上がる、ご来光
を目に納める事が出来ました。

六文銭さん

#16 諏訪大社。 2002/ 1/29 13:35 [No.4431 / 15916]

信濃国一の宮。全国にある諏訪神社の総本社。

上社と下社を合わせて一社を形作っています。

主祭神は「建御名方命（たてみなかたのみこと）」と「八
坂刀売命（やさかとめのみこと）」。

建御名方命は、大国主命（おおくにぬしのみこと）の第二子
で、八坂刀売命は、その妃です。

7年に一度（申年と寅年）、御柱祭と呼ばれるお祭りがあ
ります。

5丈5尺の木 16本を山から切り出し、四宮の四隅に御柱と
して建てる神事で、

山から木を切り出して運ぶ『山出し祭』の後、里を練り歩き
柱を立てる『里曳き祭』が行われます。

4年前に『里曳き祭』の方へ行ってきました。

男の人たちが支える竹棒に上らされ、しがみついた状態で

ゆさゆさ揺らされるという行事に参加するはめになり、大変
怖い思いを…。

今度は「木落とし」がある『山出し祭』の方に行きたいと思
っています。

にぎりいさん

#17 阿蘇神社 2002/ 1/29 14:04 [No.4432 / 15916]

6つの一宮町の内、思いつかなかった最後のひとつを調べて
みたら、阿蘇の外輪山の中にある一ノ宮町だと分かりました。
肥後国一宮の阿蘇神社は、その社家の阿蘇氏が祭神の子孫に
当たります。

「古事記」には神武天皇の皇子神八井耳命が阿蘇君らの祖と
あり、その息子で、かつてカルデラ湖であった外輪山を蹴破
って水を流し出して阿蘇を開拓したとされる健甞命（たけ
いわたつのみこと）が主祭神になります。

その子孫の阿蘇君一族は、阿蘇国造としてまた阿蘇大宮司家
として勢力を持ち、一部は京に登り阿蘇宿禰となり、あるい
は信濃国造などに任命されるなど肥後以外にも勢力を持ち
ます。

阿蘇氏は中世には九州で有数の武士団を形成しましたが、結
局島津に攻められ降伏し、その後は阿蘇神社社家として存続
し、明治には男爵に列せられています。

hui*_kさん

#18 筥崎宮 2002/ 1/29 18:15 [No.4433 / 15916]

「はごぎきぐう」と読み、筥崎八幡宮とも呼ばれます。

祭神は、応神天皇、神功皇后、玉依姫命です。

イザナギが筑紫で禊を行なったときに生まれたのが住吉の
三神で

あるので、筑前には大阪の住吉神社の元になる住吉神社があ
り、

かつては住吉神社が筑前国の一宮であったそうです。

ところが、時代を経て八幡信仰が高まったこともあったのか、
八幡大菩薩筥崎宮が一宮の座につくことになってしまいました。

このように、一宮というのは延喜式などでオフィシャルに定

めた

ようなものではなく、その国々で第一と思われる神社を自然
に

一宮と認めていったもののようです。

hui*_kさん

#19 日前・国懸神宮（日前宮） 2002/ 1/29 19:09 [No.4434 / 15916]

日前・国懸神宮（ひのくま・くにかかすじんぐう）。通称、
日前宮（にちぜんぐう）。

紀伊国一宮で、和歌山県和歌山市にあります。どちらも、天
照大神を先御霊としており、向かって左側の日前神宮では日
像鏡を、向かって右側の国懸神宮では日矛鏡がまつられてい
ます。

素戔嗚尊の乱暴を嘆いた天照大神が天の岩戸に隠れてしま
った時、思兼神の提案によって石凝姥命が天香山の金を採つ
て鏡を作り、天照大神に天の岩戸から出てもらおうとした訳
ですが、最初に作った鏡はあまり出来が良くなかった為に作
り直し、2番目に作った鏡は非常に良く出来たものでした。
2番目に作った鏡が、三種の神器の一つで伊勢神宮の八咫鏡
であり、最初に作った方の鏡が日前神宮の日像鏡です。

この時、鏡と同時に矛も作っていて、この矛が国懸神宮の日
矛鏡です。

天孫降臨の時、瓊瓊杵命に従って天降った天道根命が紀伊国
造に任命され、その子孫の紀氏が代々、紀伊国造として日前
宮を守護し、現在も宮司を務めています。

紀伊国一宮にふさわしく、現在でも和歌山県内で一番初詣客
の多い神社です。

gre*t*fighb*rdさん

#20 出雲大社 2002/ 1/29 23:30 [No.4435 / 15916]

大ラスは真打を。

御父神である須佐之男神（「スサノオノカミ」：八俣大蛇退治
で有名ですね。）が、大国主大神に「我娘、須勢理比売（「ス
セリヒメ」）を妻とせよ。この国土を立派に造り治めよ。」と
申されました。大神はその大業を成し遂げられ、平和で豊か

な国土が実現しました。

その後、高天原（「タカマノハラ」）の神様に国土を捧げられる事（「国譲り」）になります。その際、高天原の神様は大国主大神の至誠と業績を讃えられ、「出雲に大きな宮殿を造らせましょう。あなたはそこに鎮まり、神事（「カミゴト」）を治めなさい。」と申されました。そして「国譲り」の使者として遣わされた、天照大神（「アマテラスオオミカミ」）の第二の御子、天穗日命（「アメノホヒノミコト」）が祭祀の司として宮殿を守る事になり、こうして出雲大社が創建されたのです。

天穗日命の子孫は出雲国造（「イズモクソウ」）となって、現在も変わらぬ祭祀を奉仕しています。

ryoanpaku_2002 さん

お題 難読は人名、地名、モノ 2002/ 1/29 23:38 [No.4436 / 15916]

なかなか読みにくいもの、誤読しやすいものをあげてください。

ただし、漢字変換可能なもの限定です。

どうしても変換不能なものは、部首とつくりを説明してください。

森おう外の「おう」の字など。

#00 瓢鮎図（ひょうねんず）

如拙筆、

アユの字を使っていますが、描かれているのは鯰です。

ryoanpaku_2002 さん

#01 道祖王 2002/ 1/30 0:37 [No.4437 / 15916]

「どうそおう」ではなく、「ふなどおう」です。

?-757。

天武天皇の孫。

737 年、従四位下に叙せられ、散位頭・中務卿などを勤めました。

756 年、聖武太上天皇の遺詔により皇太子となりますが、翌年太上天皇の喪中に不謹慎な振る舞いが多く、諫めても改めなかったとして、

孝謙天皇に皇太子を廃されました。

更にこの年、橘奈良麻呂の乱に関与したとして捕らえられ、拷問されて没しました。

ykm*31*さん

#02 「寮」「司」 2002/ 1/30 1:20 [No.4438 / 15916]

またまた ひっくりめ回答します。

「寮」と「司」です。

むかしの役所名、官職名です。

時代劇見ますと、ときどき出てきますね。

時代劇ファンなら読めるはず。

○ 大寮（計 16 寮）

大舎人 [おおとねり]

図書 [ずしょ]

内匠 [たくみ]

内蔵 [くら]

縫殿 [ぬいどの]

大学 [だいがく]

主計 [かずえ]

主税 [ちから]

雅楽 [うた]

玄蕃 [げんば]

諸陵 [しりょう]

木工 [もく]

左右馬 (=左馬・右馬) [さま・うま]

兵庫 [ひょうご]

齋宮 [さいぐう]

○ 小寮（計 5 寮）

陰陽 [おんみょう]

大炊 [おおい]

主殿 [とのも]

典薬 [てんやく]

掃部 [かもん]

ちなみに こんな感じです。

カミ = 施設長 = 『頭 [かみ]』

スケ = 次長 = 『助 [すけ]』

ジョウ = 部長 = 『大允 [たいじょう / だいいん]』

課長 = 『少允 [しょうじょう / しょういん]』

サカン = 係長 = 『大属 [だいさかん]』

主任 = 『少属 [しょうさかん]』

○ 司（おもなもののみ抜粋）

隼人 [はやと]

采女 [うねめ]

主水 [もんど]

内膳 [ないぜん]

織部 [おりべ]

司には、スケがありません。三等官制です。

カミ = 『正 [かみ / せい]』

ジョウ = 『佑 [じょう / ゆう]』

サカン = 『令史 [さかん]』

内膳司だけはカミが「奉膳 [ぶぜん]」、ジョウが「典膳 [てんぜん]」です。

spat さん

#03 澤瀉 2002/ 1/30 9:11 [No.4439 / 15916]

沢瀉。 = 「おもだか」。

【面高の意。葉面の脈が高く隆起しているのいう】

オモダカ科の多年草。水田・沼畔などに自生する。

葉はやじり型で、長い柄がつく。

6・7月に高さ約 60cm の花茎を立てて、円錐状又は総状に白色三弁の単性花をつける。

塊茎は食用。野苺菰。ハナグワイ。

…と辞書に書いてありました。

植物なのはわかっていましたが、どういうものなのかは初めて知りました。

（家紋では見たことがありますが）

『クワイ』がオモダカ科だとは…。

私が初めて「澤瀉」と出会った(?)のは、歌舞伎を見に行つて、です。

歌舞伎役者には『屋号』というものがあって、お芝居中によく「〇〇屋！」と掛け声がかかるのですが、市川猿之助さんが『澤瀉屋』でして、最初は読めないし掛け声聞いて「おもがた？」と思ひ込み（『瀉』を『瀉』と混同したせいもあります…）

『おもだか』と正確に知ったのは初めての出会いから1年くらい経ってからでした。

にぎりいさん

#04 正親町天皇 2002/ 1/30 11:11 [No.4440 / 15916]

「正親町」は京都にある地名で、なぜ「おおぎまち」と読むのか長いこと疑問でしたが、これも SPAT さんが挙げられた「司」の中の一つから来ているようです。

SPAT さんが挙げられた以外の「司」のひとつに「正親司」という、大宝令や令義解に「二世以下、四世以上の皇族（皇子から皇曾孫まで）の名籍の事を掌る」とある役所があり、平安以降白川家が代々正親正（かみ）に任ぜられてきました。「王」の音読みは「ワウ」ですが、訓読みは「おほきみ」（大君の意味）で、「諸王」の訓読みは「おほきんたち」となり、これは皇族と同義にもなります。

「正親司」は字義としては「正嫡の親王」くらいの意味のようで、「おほきみのつかさ」あるいは「おほきんたちのつかさ」と読まれていたようです。

おそらく正親司の役所があった（正親司の官職にある人が住んでいた可能性もあり）ことで、正親町の地名が生じ、読みが少し詰まって「おほぎまち」になったようです。

hui*_k さん

#番外 飛鳥 2002/ 1/30 17:32 [No.4441 / 15916]

「あすか」と読めない人はさすがに少ないとは思いますが番外にしますが、なぜ「あすか」と読むかということに関しては今なお諸説紛々としています。

「飛ぶ鳥の」といえば「あすか」にかかる枕詞なので、もとは「安宿」と書いて、鳥の餌場かなにかだったのではないかと、そのため「飛ぶ鳥の」という枕詞が発生し、その連想から「飛鳥」だけで「あすか」と読むようになったのではないかとい

う説がありました。

ところで、いわゆる「訓読み」というのを考えてみると、もとは外来語たる漢字に、日本語の似た意味の言葉を勝手に当てはめてみただけの読み方ですから、これを熟語に当てはめても構わないということにもなりますね。

東雲とか為替とか似而非なんていうのも、難読ではあるけど当て字ではないので訓読みとしてオッケーとも言えますね。

hui*_k さん

#05 高麗 2002/ 1/30 18:11 [No.4442 / 15916]

こま。…「こうらい」という読みかたもありますが、そちらは普通かもと思うので、「こま」で投稿します。

『高句麗』からきていると辞書にありましたが、転じて広く朝鮮半島を意味する言葉だそうです。

朝鮮半島から伝来したものの頭につけて、

例えば「高麗楽」＝「こまがく」と読んだりするそうです。私がこの読み方と出合ったのは、またしても歌舞伎が縁でございます。

松本幸四郎さん・市川染五郎さん親子の一門が

「高麗屋」（この場合は「こうらいや」）なのですが、一門に市川高麗蔵さんという方がいらっしゃいまして、「こうらいぞう？」と悩んでおりましたら

「こまぞう」と読むと…。

今回のお題は、自分にとっては難読でも皆様には「それは普通だ！」と思われてしまうのではとちょっと悩みながら投稿しております…。

にぎりいさん

#06 任那 2002/ 1/30 19:18 [No.4443 / 15916]

みまな

以外と混乱している人います。

「日本書紀」に出てくる「任那日本府（みまなにほんふ）」は古代史の謎としていまなお論議の的になっています。

ryozanpaku_2002 さん

#番外 東京都港区狸穴町 2002/ 1/30 19:25 [No.4444 /

15916]

まみあなちょう

と読みます。

「別れても好きな人」のなかにでてきますが、実際、地名表示を見たときは。

「な、なんて読むの」

今回の「お題」皆さんに」とって投稿しにくいものになってしまいました。

まあ、気楽にいきましょう。

ryozanpaku_2002 さん

#07 蝦夷 2002/ 1/30 19:58 [No.4445 / 15916]

「エゾ」にせよ、「エミシ」にせよ、著名だからすぐ読めるけど、歴史に出てこなければ…

ところで、蘇我蝦夷の名前の由来はともかく、東北地方の人々が、何故、「蝦夷」と呼ばれるようになったのか、そして、「エミシ」の呼称が、何故、「エゾ」へと変わっていったのか、改めて考えてみると、興味のあるところですね。誰か詳しい方がいらっしゃればよろしく！

ecc**ler さん

#番外 「左様でござる」 2002/ 1/30 20:02 [No.4446 / 15916]

中学生のとき、「竜馬が行く」を読んでいる最中、登場人物のせりふで、「ヒダリサマ」って何のことじゃい？

5分ほど読みつづけていくと、何回か同じせりふが出てきて気がつきました。

今の子供は多分こんなことないだろうなあ

マンガの力は偉大だ…

（「るろうに剣心」で何度も出たもんね）

ecc**ler さん

#08 後志 2002/ 1/30 21:52 [No.4447 / 15916]

「蝦夷」で触発されてしまいました・・・。

現在は、倶知安を支庁所在地にする「支庁」の名前となっています。ただ、「シリベシ」という名前の由来は古く、日本

書紀の齊明天皇紀における阿倍比羅夫による蝦夷遠征の記録に、「後方羊蹄」という記載で記されています。比羅夫が秋田・能代・津軽の蝦夷を一堂に会した時、その場に参加したのが、「後方羊蹄」を政所とする蝦夷の人物でした。もしかしたら、「後志」という名前や「羊蹄山」という名称は、書紀を由来にしているのでしょうか？

tokacyan さん

御礼【全国一宮 20 選】 2002/ 1/30 22:04 [No.4448 / 15916]
今回、久しぶりで参加したせいで、思わぬ失敗をしてしまいました。ryoanpaku_2002 さんのフォロー、感謝します。最初のお題の二回戦を断念したのは、私が想定していた回答が既出だったためです。駄目ですね、たまの参加ですと。

こうしてみると、「一宮」という自治体名もありますが、「宮」という字が絡む所が多いのが興味深いです。こうした一宮は、平安末期から鎌倉時代にかけて同時に台頭してきた武士と、決して因縁深からぬところが多いです。その、一宮を除いた「宮」という地名が絡む回答は、以下のとおりです。

#03 厳島神社(宮島町)

#04 浅間神社(富士宮市)

#06 二荒山神社(宇都宮市)

#10 氷川神社(大宮市)

「一宮」の余談ですが、乗用車のナンバープレートには、二種類の「一宮」があったと記憶しております。

tokacyan さん

#09 塙保己一 2002/ 1/30 23:46 [No.4449 / 15916]

江戸後期の国学者。

7歳で失明するも、幕府の援助を受けて和学講談所を創立し、古典を収集・分類した「群書類従」を刊行して、歴史学・国文学研究に大きく貢献しました。

この人の名前、「はなわほきいち」と読むことはご存じの通りですが、私にとっては、どこまでが姓で、どこからが名であるかが長年の疑問でした。

高校生だった当時、「中井貴一」なる俳優が売り出し中だったのが影響してか、

「はなわほ・きいち」として覚えてしまいました。

ところが、大学進学後、司馬遼太郎の「幕末」を読んでいたら、

伊藤俊輔（博文）らに暗殺された塙次郎が塙保己一の息子だということを知り、

そこで初めて「はなわ・ほきいち」なのだと認識した次第です。

姓と名の間にスペースを置くくらいのはしてくれよ、Y川出版社・・・

単に私がまぬけなのかもしれませんが・・・

ykm*31*さん

#番外 時任三郎 2002/ 1/31 11:11 [No.4450 / 15916]

十年ほど前に、ある人が「とき にんざぶろう」と読んでしまったために、「任三郎さん」という言い方が流行りました。

「古畑任三郎」というキャラクター名も、

この辺をヒントにしているのではないのでしょうか。

hui*_k さん

#10 石出帯刀 2002/ 1/31 11:52 [No.4451 / 15916]

「いしでたてわき」と読みます。

「たてわき」とは「たちはき」の訛ったもので、「刀を佩く(はく)」というの「腰につける」くらいの意味になりますね。

もとは東宮坊の舎人監の役人で、皇太子の護衛に当たる帯刀した武官を「帯刀舎人(たちはきのとねり)」と言ったそうですから、これも古代の官職から来たのでしょうかね。

「石出帯刀」という名は、囚獄と呼ばれ、屋敷も牢内にある伝馬町の牢役人が代々世襲した名前で、明暦の大火の際に、そのまま焼き殺される囚人を不憫に思い、「明日中に浅草の寺まで戻るように」と告げて、錠を壊して百人あまりの囚人を逃がし、ほぼ全員が帯刀の義侠に依って翌日寺に現われたそうです。

hui*_k さん

#11 土方(歳三 他) 2002/ 1/31 11:56 [No.4452 / 15916]

「飛鳥」同様、今更読み間違える人はいないので、番外かも知れませんが、私のある体験から敢えて投稿させていただきます。

以前勤めていた会社での出来事。あるイベントの開会セレモニーで得意先の「土方さん」というお偉いさん(確か常務)が挨拶に立つ時、アナウンス嬢が「では次に〇〇株式会社の“つちかた様”にご挨拶を・・・」と読み上げてしまいました。そのセレモニーを仕切っていた私としては大慌て。“ひじかた”と読むのが当たり前と思ひ込み、原稿にルビをふっていなかった私のチョンボとして、後で上司からエライ怒られました。

歴史にあまり興味のない人には、すんなりと“ひじかた”とは読めないようですね。それにしても“どかた様”と読まれていたら、もっと大変なことに・・・。

「土」を、何故“ひじ”と読むのか、いろいろ調べてみましてついにわかりませんでした。私の想像では「土師(はじ)」が転じたものように思われるのですが・・・。

どなたかご存知の方で、間違っていたら、ご指摘いただけたら幸いです。

s11*3_0*さん

#12 倭文神社 2002/ 1/31 14:20 [No.4453 / 15916]

伯耆国の一宮は倭文神社と云い... このお題は終わりましたか...

でも「倭文」は難読なので...

「倭文」は普通は「しづ」と読み、「倭文織」と書いて「しづおり」と読みます。

「倭文」とは麻糸を織るのに、赤や青に染色した緯(よこいと)をランダムに配置することで、色が鮮やかにアヤをなすようにした織物だそうです(認識が違っていたらごめんなさい)。

「倭文神社」は「しとりじんじゃ」と読むそうで、「しとり」とは「しづおり」が詰まったものだとされています。

実は、三島由紀夫が、ずいぶん影響を受けただろうと思われる、知性と感性の豊かさな実母が倭文重（しづえ）さんという人で、読みの由来を調べてみて知りました。

ただ、なぜ「倭文」と書いて「しづ」と読むのかは、結局分かりませんでした。

hui*_kさん

#13 倭迹迹日百襲姫命 2002/ 1/31 20:11 [No.4454 / 15916]

やまとととひももそひめのみこと

神代の時代、大国主神の「幸魂、奇魂」が「大和の国の三輪山（三輪山）に住みたい」といったと日本書紀に書かれています。また、第10代天皇崇神天皇のころ、国内に疫病がはやり、どうしたものかと天皇は大変お困りになりました。そこで天皇のおぼで、倭迹迹日百襲姫命（やまとととひももそひめのみこと）に神憑かりして、やおろずの神に占いをされました。「大国主神を、大田田根子に祀らせよ」とのお告げがありました。そして大国主神をたてまつり、疫病はおさまったということです。

その後、倭迹迹日百襲姫命は大国主神の妻となりました。ところが、大国主神は昼は来ないで夜だけ倭迹迹日百襲姫命のところに来てくのでした。そこで彼女は夫の大国主神に姿を見たいと願いました。大神は答えました。「明日の朝、あなたの櫛函に入っていよう。しかし、私の姿に驚かないように」倭迹迹日百襲姫命は変に思いましたが、朝になるのをまって櫛函を開けてみました。中には美しい小さな蛇がはいっていたのでした。それを見て倭迹迹日百襲姫命は驚いて叫んでしまったのです。すると大神は恥じて、人の形になりました。そして、「お前は私に恥じをかかせた。」といって、大空を踏んで御諸山（三輪山）に登りました。倭迹迹日百襲姫命はその姿を見て悔い、どすんと座り込んだのでした。その時、箆で陰部を突いて死んでしまったのでした。そして倭迹迹日百襲姫命の墓が箸墓古墳と伝えられています。

ryoanpaku_2002さん

#14 徳川慶喜とか 2002/ 1/31 20:48 [No.4455 / 15916]

(よしのぶ)

知ってるから読んでるだけでしょ。

みんな。

江戸時代の殿様って、読めない人多い。

徳川さんだけあげても、これ↓は読めん。

徳川家茂 将軍家十四代目（いえもち）

徳川頼職 1680～1705 紀伊家四代目（よりもと）

徳川重倫 1746～1829 紀伊家八代目（しげのり）

徳川治宝 1771～1852 紀伊家十代目（はるとみ）

徳川斉順 1801～1846 紀伊家十一代目（なりゆき）

徳川斉彊 1820～1849 紀伊家十二代目（なりかつ）

徳川慶福 1846～1866 紀伊家十三代目（よしとみ）(徳川家茂)

徳川茂承 1844～1906 紀伊家十四代目（もちつぐ）

徳川綱誠 1652～1699 尾張家三代目（つななり）

徳川宗睦 1732～1799 尾張家九代目（むねちか）

徳川斉温 1819～1839 尾張家十一代目（なりはる）

徳川斉荘 1810～1845 尾張家十二代目（なりたか）

徳川慶臧 1836～1849 尾張家十三代目（よしつぐ）

徳川茂徳 1831～1884 尾張家十五代目（もちなが）

徳川綱条 1656～1718 水戸家三代目（つなえだ）

徳川宗堯 1705～1730 水戸家四代目（むねたか）

徳川宗翰 1728～1766 水戸家五代目（むねもと）

徳川治保 1751～1805 水戸家六代目（はるもり）

徳川治紀 1773～1816 水戸家七代目（はるとし）

徳川斉脩 1797～1829 水戸家八代目（なりのぶ）

spatさん

#番外 駿河銀行 2002/ 1/31 21:03 [No.4456 / 15916]

「駿河銀行」が数年前「スルガ銀行」に改名しました。

「読んでもらえない」からとか。

spatさん

#番外 神奈川県横須賀市不入斗町 2002/ 1/31 21:47

[No.4457 / 15916]

いりやまず・ちょう

と読みます。

山口百恵が一時、横須賀市立不入斗中学校に在学していました。

ryoanpaku_2002さん

#番外 高知東急 2002/ 1/31 21:54 [No.4458 / 15916]

たかち・のぼる

東急電鉄より抗議をうけ、現在は高知東生と名乗っています。

高島礼子のダンナと言ったほうがとおりが良い。

高知県出身でデビューが27歳と遅かったことから、「東（東京）へ急いでのぼれ」という意味があったとか。

ryoanpaku_2002さん

#15 童謡 2002/ 1/31 23:16 [No.4459 / 15916]

「わごうた」と『日本書紀』等では読んでいます。

「童」という漢字の初義は刑余の服役者であり、奴隷でもあった。奴隷には結髪は許されず、髪は長く垂れたままの状態であるから、小児の垂れ髪を「わらは」と称した。こうした服役者が作業中に歌う歌を「童謡」という。彼らの共通した感情がそこに示されるので、一種の政治批判的なものとして史書にも録されるが、本来「謡」とは呪言であり、呪歌であった。

（以上白川静『字訓』より）

『日本書紀』の中でも特に難解な「童謡」は、斉明紀六年十二月の条にあるもので、

「摩比邏矩都能俱例豆例於能幣陀乎邏賦俱能理歌理鵝美和陀騰能理歌美鳥能陸陀鳥邏

賦俱能理歌理鵝甲子騰和與騰美鳥能陸陀鳥

邏賦俱能理歌理鵝

とあります。意味が判る方はご教示を。

sakisakiさん

#16 旧中山道 2002/ 2/ 1 0:15 [No.4460 / 15916]

某フジテレビ女子アナウンサーが「いちにちじゅうやまみち」と読んだことで有名。

そのようなたわけ者は私の周囲にはいないと思っていたのに、

あろう事か私の友人が「きゅうなかやまどう」と読みおった。
この人物は、『東海道五十三次』というのは、関所が 53 個あるからか？」

とものたまった。

日野富子の時代じゃあるまいし・・・

こうやってみると、このトピに参加されている方々の間では当然のことでも、

一般人にはキワモノなのかもしれない。

ykm*31*さん

#番外 静岡銀行 2002/ 2/ 1 0:36 [No.4461 / 15916]

スルガ銀行が出たからには、静岡銀行も出すのが静岡人の心意気というものであろう。

略称「静銀」は、「しずぎん」ではなく、「シブぎん」と読む。

今を遡ること 10 数年前、

世がバブルに狂奔し、多くの金融機関が「積極融資」その実「放漫融資」に出る中で、

独り静銀は我が道を行くかの如くであった。

土地にも、株にも、絵画にも興味を示すことなく、堅実経営を続けたのである。

折しも、静岡県富士市を本拠とする大昭和製紙という企業があり、

当時その名誉会長だった斉藤了英なるボケ老人がゴッホヤルノアールを買いあさり、

「死んだら棺桶に入れて一緒に焼いてくれ」と世迷い言を申し、

世間の大ひんしゅくを買っていた頃だった。

そして 10 年後・・・

多くの金融機関が不良債権問題に苦しみ、青息吐息の中で、静銀だけはいまだ健在である。

新聞の経済欄をご覧あれ、静銀の株価と売買高は地銀の中でもトップクラスである。

そんな堅実経営が売りの静銀・・・

私の母はそのケチぶりに敬意を表して、「シブ銀」と呼ぶのであった。

ykm*31*さん

#番外 千葉県の難読地名 2002/ 2/ 1 11:19 [No.4462 / 15916]

1.海士有木

2.飯山満

3.木下

4.三直

5.小食土

答え 1.あまありき 2.はざま 3.きおろし 4.みのう 5.やさしど

千葉は、ほかにもへんな地名がいっぱいありますね。なぜだかは知りませんが。

クイズ パンチ de デートさん

#17 勘解由小路 2002/ 2/ 1 12:05 [No.4463 / 15916]

「勘解由」は「かげゆ」ですが、「勘解由小路」は「かでのこうじ」と読みます。

安倍晴明以来の陰陽道を継承した賀茂氏が、後に「勘解由小路」を称しましたが、嗣子が暗殺されたために途絶え、土御門家が継承しました。

戦国期に衰えたものの、家康によって土御門家も再興され、勘解由小路家も幸徳井(かでい)家という名前で復興されたそうで、これも難読です。

京都のお公家さんには「万里小路」と書いて「までのこうじ」と読む人もいますね。

hui*_k さん

#18 金玉均(韓国人の名前) 2002/ 2/ 1 13:44 [No.4464 / 15916]

かつては「きんぎょくきん」と読んでいましたが、最近韓語に近い読みで「キムオッキュン(Kim Ok-kyun)」とするようです。

韓国人は発音を重んじるとのことから、それまで同じ漢字圏だからとことで、かつてに日本語読みをしていたのが改められ、原語に近い発音で読むことになりました。

金大中氏は「きんだいちゅう」から「キムデジュン」に変わ

りましたし、朴正熙も「ぼくせいぎ」から「パクチョンヒ」に、李承晩は「りしょうばん」から「イスンマン」に変わっています。

ですから今後の韓国人の名前は全て難読名になってしまうこととなります。

では、本当に発音を重んじるかというと、「李」は「イ」と読みますが、多くの方が英語の名詞には「L e e」と書くようなので、それも怪しい所です。

もっとも、韓国語の漢字の読みは、王仁博士が日本に漢字を伝えた当時からあまり変わっていないようで、日本語の呉音の読みを正仮名遣いにすれば、ある程度類推は可能なので、少し勉強して慣れておくと面白いことも多いと思います。

例えば「建立」は呉音正仮名遣いで「こんりふ」ですが、ハングルでは「こんりっふ」くらいで発音するそうです。

「蝶」はハングルでは「ちょぷ」だそうですし....

hui*_k さん

#19 大海人皇子 2002/ 2/ 1 14:10 [No.4465 / 15916]

おおあまのおうじ

と思っていました。色々調べてみますと、おおあまの・みこ、おおしあまの・みこ、なんてのもありました。

父は田村皇子(舒明天皇)、母は宝皇女(斉明・皇極天皇)。中大兄皇子(天智天皇)・間人皇女(孝徳天皇皇后)の同母弟。ただし出生を疑う説もある。正妻は初め大田皇女であつたらしいが、その死後、菟野皇女(持統天皇)に代わったものと思われる。大田皇女との間には大津皇子と大伯皇女があり、菟野皇女との間には草壁皇子をもうけた。子には他に、高市皇子(母は尼子娘)、十市皇女(母は額田姫王)、長皇子・弓削皇子(母は大江山皇女)、舎人皇子(母は新田部皇女)・新田部皇子(母は五百重娘)、穂積皇子・紀皇女・田形皇女(母は蘇我赤兄の娘)、忍壁皇子・磯城皇子・泊瀬部皇女・多紀皇女(母は穴人大鷹の娘)、但馬皇女(母は氷上娘)などがある。漢風諡号は天武天皇、和風諡号は天淳中原瀛真人(あまのぬなはらおきのまひと)天皇。万葉集には明日香清御原宮(御宇)天皇とある。

なお諱の「大海人」は、凡海(おおしあま)氏の養育を受けたことに拠る命名と思われる。凡海氏は海部(あまべ)を統率

した伴造氏族で、『新撰姓氏録』には右京・摂津国居住の凡海連が見えるが、ほかにも周防・長門・尾張など各地に居住したことが史料から窺える。

kos*uya*h*nab*shi さん

#20 先斗町 2002/ 2/ 1 17:54 [No.4466 / 15916]

ぼんとちょう。

初めは高瀬川を上り下りする高瀬舟の船頭や旅客目当ての

旅籠屋（…これも難読??）が茶立女を置いていたのが、

1859 年に芸者稼業の公許があり、祇園と並ぶ花街として有名になりました。

春と秋の「鴨川をどり」は 1871 年以來の歴史があります。

先斗町には、隣の木屋町へ抜ける露地が 50 もあり、

幕末には、勤皇と佐幕に分かれて抗争した志士たちが追われてこの露地に身を潜めたり待ち伏せしたりしたところ

で、露地に番号をつけたのは長州藩だといひます。

町名は、ポルトガル語の「岬」＝「ポルト」（“先の尖った”の意）から

由来する（だから「先」を「ぼん」と読ませるのでしょいか？）とか、

町が高瀬川と加茂川にはさまれているので

皮（川）と皮にはさまれた鼓を叩くとポンと音がするのをもちったとか、

英語の「POINT」からとか、いろいろ言われているそうです。

高校の修学旅行で宿泊したのが先斗町から近かったらし

くある先生が「先斗町には行かないように」と言ひました。

どうしてなのかたずねる人達に、先生はただ「どうしても」と繰り返すだけ。

“行くな”と言われると行きたくなるからか、けっこう行った人がいるようでした。

でも行った人は「別になににもなかつたよ。どうして行つたらだめだったんだろう？」と言ひて言ひました(^^)

にざりいさん

お題【名前の読みに「とも」がつく人物】 2002/ 2/ 1 18:12 [No.4467 / 15916]

全国の「名前の読みに〇〇がつく人」シリーズファンの方々、長らくお待たせ致しました。

「よし」「のぶ」「まさ」「タカ」に続く第五弾は「とも」です。

日本史、世界史を問ひません。歴史上の人物の中で、

名前の読みに「とも」の文字列を含む人を

20 人挙げて下さい。

苗字に含まれても、名前に含まれてもオッケーです。

両方にまたがっていてもOKですが、外国人で名前が先になる場合は

その順番で両方にまたがっている場合に限ります。

連濁で「ども」になるものはNGとし、あくまでも「とも」のみです。

今回も「とも」の部分をはらがないにして表してみて下さい。

#番外 田口ともロヲ

最近テレビで見かけなくなつたなあ...

hui*_k さん

#1 源 頼とも 2002/ 2/ 1 18:28 [No.4468 / 15916]

「源 頼朝」。1147～1199。

日本で最初の武士による政権である鎌倉幕府の初代将軍。

13 歳で初陣の平治の乱(1159)では敗れて捕らえられますが

池禅尼に助けられ、伊豆の蛭ヶ小島に流されます。

そして 1180 年、打倒・平家に立ち上がり、1185 年に平家を滅ぼします。

1192 年、征夷大將軍に任命され、鎌倉幕府を開きました。（“いいくに” 作ろう、鎌倉幕府）

死因は落馬、とか？

にざりいさん

難読 御礼 2002/ 2/ 1 18:32 [No.4469 / 15916]

よくよく、考えてみればここに集いし皆さんにとっては難読でも何でもなひものばかりですものね。

お題失敗かなとも思ひましたが、無事終了してよかつたです。吉良上野介義央など、中学生のころまったくよめませんでした。

そうそう、わたしの友人は今でも月極駐車場をゲッキョクチュウシャジョウと読んでいます。

ryoanpaku_2002 さん

#02 大友皇子 2002/ 2/ 1 18:34 [No.4470 / 15916]

おおとものみこ 生没年 648(大化 4)～672(天武 1)

系譜など 天智天皇の皇子。母は伊賀采女宅子娘(やかこのいらつめ)。伊賀皇子とも称された。天武天皇と額田女王(ぬかたのひめみこ)の間の子十市皇女(とおちのひめみこ)を妃とし、皇女との間に葛野王をもうけた。『新撰姓氏録』は淡海真人の祖とする。

略伝 671(天智 10)年 10 月、太政大臣に任じられる。同年 12 月、天智天皇は崩じ、翌年、吉野から東国に脱出した大海人皇子との間で内乱が勃発（壬申の乱）、近江国瀬田の決戦に大敗し、山前の地で自ら命を絶つた。皇子の首級は吉野側の将軍大伴吹負の手で不破行宮に届けられたといひう。

『懐風藻』巻頭に 2 首を残す。同書の小伝によれば、淡海帝の長子で、体格・容貌共にすぐれ、博学で文武の才に長じていた。藤原内大臣（鎌足）の息女を妾とし、親愛した。弱冠の年（20 才）、太政大臣に拜され、23 才の時皇太子となつた。沙宅紹明ら帰化人学者を招いて賓客とした、などある。

1870(明治 3)年、即位を認められて弘文天皇と追諡された。ryoanpaku_2002 さん

#03 サマセツと・もーム 2002/ 2/ 1 22:44 [No.4471 / 15916]

「月と 6 ペンス」を書いた、イギリスの小説家。

・・・といひことだけしか知らない。

ykm*31*さん

#番外 ウイツともア 2002/ 2/ 1 23:00 [No.4472 / 15916]

「誰だそりゃ？」と皆さんが思うのも無理はあるまい。

思い起こせば 4 年前・・・

長野五輪開幕直前だというのに、世は日本の W 杯サッカー初出場に沸き立っていた。

代表監督は「岡ちゃん」と祭り上げられ、一種の社会現象を引き起こしていた。

彼の皮算用「1勝1敗1分」を、日本国民のほとんどが支持していた。

彼を含む日本国民には、暗黙の了解があったはずだ。

「いくら何でもジャマイカには勝つだろう」

そんな日本国民の妄想を、木っ端微塵に打ち砕いたのがウィットモアその人であった。

軽一く 2 ゴールを決め、日本人を茫然自失させたのである。半月前までのアイドルは、もはや国賊扱い。

岡ちゃんは暫く異国の地にとどまらざるを得なかった・・・さながら現在の小泉首相の如くである。

愚かなることよ、日本人・・・

そこの貴男！そこの貴女！

よもや「いくら何でもチュニジアには勝つだろう」などとは思っておるまいな？

私は思っているが。

ykm*31*さん

#04 ピーと・モンドリアーン 2002/ 2/ 1 23:42 [No.4473 / 15916]

オランダ出身の抽象画家で、オランダ語で Piet Mondriaan と綴るのですが、ニューヨークで活躍するようになり、A を一個除いて Mondrian とフランス人風に変えてしまいました。

「新造形主義」を創始し、ニューヨークのMOMAにある「ブロードウェイ・ブギウギ」を代表とする、赤、青、黄色を基調とした格子状の幾何学模様は、一度は目にしたことのある画風だと思います。

グッゲンハイムにもいくつかの作品がありました。

hui*_k さん

#05 とも野与右衛門 2002/ 2/ 2 2:20 [No.4474 / 15916]
友野与右衛門。生没年不詳。

江戸前期の新田開発者にして、箱根用水の開削者です。

生まれは江戸浅草。

駿河国東部・駿東郡は富士山麓の火山灰地質による旱害に悩んでいました。

そこで、同郡深良村名主・大庭源之丞を中心とし、百姓らが芦ノ湖の水を黄瀬川に加水する用水路を計画しました。

その資金援助をしたのが与右衛門です。

1666年4月、小田原藩・沼津代官へ許可を出願し、7月末から開始されました。

70年に通水し、約4000石の新田が開発されました。

用水口は芦ノ湖字四ッ留に設けられ、

深良村と芦ノ湖間の箱根外輪山を

720間(約1300m、一説に738間)にわたって鉄鑿(てつのみ)

で岩盤を開削し掘り抜いたもので、

甲州流の土木技術によったものです。

与右衛門らは、元締めとして工事費を年貢米から回収し、

その後、用水の共同管理は「井組二十九ヶ村」に移管しました。

与右衛門は、同時期に武蔵国吉田新田（現横浜市中区）開発にも工事人として参加しています。

工事費を年貢米から回収したとなれば、一応は公共事業か。しかし、立案から竣工まで、ほぼ民間主導なのでしょう。

300年後だったら多分「プロジェクトX」に採り上げられるだろうなあ・・・

ykm*31*さん

#06 とも (の) 善男 2002/ 2/ 2 14:38 [No.4475 / 15916]

伴善男。811～868。

「伴」氏は、元は「大伴」氏であるが

淳和天皇が『大伴皇子』と名乗っていたことから、改姓したそうです。

伴善男は仁明天皇の信頼を得ていました。

藤原良房らと『続日本後紀』の編纂にも従事。

864年には大納言に。これは大伴氏(伴氏)にとっては730年の旅人以来のことです。

866年、応天門が放火される事件がおこります。

当初、善男は政敵であった源信を犯人として告発しましたが藤原良房の調べで逆に善男が犯人として捕らえられ、伊豆に流されました。

にざりいさん

#07 巴(ともえ)御前 2002/ 2/ 2 15:57 [No.4476 / 15916]
木曾義仲の養父中原氏の娘で、木曾義仲の妻。

女性ながら武芸に優れ、合戦にも常に参加していた。「平家物語」によれば、義仲と別れるとき敵の首を引きちぎったという。

一説では義仲の戦死後、和田義盛の妻となり、朝比奈義秀を生んだ。

toshy.y.takahashi さん

#08 秀吉の姉 とも 2002/ 2/ 2 16:07 [No.4477 / 15916]
三好良房に嫁ぎ。秀次、秀勝、秀保の3男子をもうけるが、

弟・秀吉と秀長の養子となり、3人とも不運な最後をとげた。ともの晩年は、さだかではない。

ryozanpaku_2002 さん

#09 藤原純とも 2002/ 2/ 2 18:01 [No.4478 / 15916]

平まさ門の乱に呼応したかのように、瀬戸内であばれまわる。あわせて承平天慶の乱と申す。

二人が示し合わせて、と言う方が、物語として面白いが、残念ながら、共同謀議の証拠はないそうです。

b_blue_hearts さん

#10 住とも政とも 2002/ 2/ 2 18:17 [No.4479 / 15916]

住友政友(1585年～1652年)

天正13年、越前は丸岡に生まれ、京都で仏教の修行を

しかし、後に還俗。45歳のころ、京都に「富士屋(ふじや)」の屋号で書物と薬の店を開業。

やがて、娘婿の友以(とももち)が、実父の蘇我理右衛門と協力。大坂に進出し、銅山の開発や貿易で成功。

現代の住ともグループに

ということらしい。

ecc**ler さん

#番外 犬神佐とも 2002/2/2 19:10 [No.4480 / 15916]

犬神佐智 (いぬがみ すけとも)

> 精巧なゴム製の仮面の下からは、仮面と

> そっくりなあごからくちびるが現れた。

> そこには別に異常はなかった。しかし、

> 仮面が鼻のあたりまでめくられたとき、

> 小夜子が三度きゅっと悲鳴をあげた。

> そこには鼻がなかったのである。鼻のか

> わりになにやらドロドロとした赤黒い肉

> 塊が、膿みくずれたようにはじけている

> のである。

横溝正史「犬神家の一族」(角川文庫)より

ゴムマスクは松子の子、佐清 (すけきよ)

梅子の子は、佐武 (すけたけ)

竹子の子が、佐智 (すけとも) です。

spat さん

#11 田沼意とも 2002/2/3 0:40 [No.4481 / 15916]

田沼意知。1749-84.4.3

意次の子。1781年奏者番、83年若年寄。

オランダ人からの評価は高く能吏でしたが、

84年、新番・佐野善左衛門政言に江戸城本丸御殿中の間で刺され、それがもとで死去。

原因は、

佐野から請託を受けて金を取りながら約束を果たさなかったため恨みを買ったとか、

家来筋の田沼家が佐野家の系図・旗を奪ったからとか、

更には、門閥譜代らによる政治的な暗殺とかいわれています。

折から、江戸廻米による米価安定と田沼政権への嫌悪から、佐野は「世直し大明神」とされました。

この事件が契機となり、意次の勢力は衰退します。

ykm*31*さん

#番外 谷佳とも 2002/2/3 0:44 [No.4482 / 15916]

谷佳知。

オリックス・ブルーウェーブの中軸選手といっても一部野球ファンしか知らないが、

YAWARA ちゃんの彼氏、といえは全国民が納得する。

ykm*31*さん

#12 平とも盛 2002/2/3 12:46 [No.4483 / 15916]

平知盛 (1152年～1185年)。平清盛の四男で、母は平時子 (二位の尼)。

8歳で蔵人となり、武蔵守、中務権大輔、左近衛中将、参議、従二位権中納言、とすすむ。

清盛の死後、兄の宗盛を補佐して平氏を支えた知勇の武将。壇ノ浦の合戦では、一族の最期を見届けてから、体が浮かばないように鎧を二重に着て海に飛び込みました。

平家物語によると「見るべきほどのことは見つ」と言って入水したとか。

この言葉がとてもかっこよく思えて、小学生の頃から知盛ファンに。

歌舞伎で壇ノ浦の後も知盛が生きていたことになっている話があるのですが、それでも最期はやっぱり敗れて入水します。その入水シーンがすごいです。

碇の鎖を体にぐるぐる巻き、その碇を持ち上げて高いところから後ろにどーっと倒れていくのです。

うまく説明できてなくてすみません。(ちなみに演目は『義経千本桜』)

あれでますます知盛ファンに。

にざりいさん

#13 大とも宗麟 2002/2/3 18:10 [No.4484 / 15916]

大友宗麟

戦国武将

海外の動向に目を向けたキリシタン大名

戦国時代の武将、キリシタン大名。豊後の守護・大友義鑑(よしあき)の子。実名は義鎮(よししげ)で宗麟は法号。受洗名は

フランシスコ。

1550年(天文19)政変で死亡した父の跡を継ぐと積極的な対外進出政策を推進し、54年肥後一国の平定に成功した。同時に周防の大内義隆滅亡後、弟・晴英を後継者に送っていたが、57年毛利氏の侵攻を受け、倒されてしまう。同年豊前・筑前、肥前を制圧し、幕府に盛んに働きかけて在来の豊後・肥後両国守護職のほか、肥前・豊前・筑前・筑後4カ国の守護職を得る。59年には九州一円を統括する九州探題の名称も得た。しばしば戦いを交えた毛利氏が北九州から撤兵してからは、九州一の大大名として権勢をふるった。

一方、海外にも関心を示し、51年ザビエルを招いたおりの会談を契機に、インド副王と通信を重ねたほか、明へもたびたび使者を送った。また、キリスト教の布教を保護し、府内沖ノ浜などを南蛮船の貿易港としてフィリピン等へ貿易船を派遣した。さらに、博多の一部を教会領に寄進した。晩年の78年には自ら受洗し、1582年(天正10)大村氏、有馬氏とともに天正少年使節団を派遣した。

75 - 76年ごろ家督を嫡子義統(よしむね)にゆずったが、78年島津氏の日向進出に対抗した耳川の戦いで大敗し、第一線に復帰。しかし、劣性を挽回できず、衰退に向かった。86年島津氏の圧力にたえかね自ら上洛し、秀吉に支援を要請。翌年、秀吉の九州征伐直後に病没した。

支配者とキリスト教徒のふたつの立場で振幅のあった宗麟の評価は、毀誉褒貶の差が大きく、一定していない。

ryoanpaku_2002 さん

#14 大とも金村 2002/2/4 12:31 [No.4485 / 15916]

NG 臭い、、、、

大伴金村。

継体天皇を担いだ、大和朝廷の実力者。

五代だか六代の天皇に仕えている長生き。

何を考えたか、新羅に任那を割譲。

半島の勢力を大きく後退させる。

半島経営に失敗したとして、物部氏らに責任追求されるが、欽明天皇は

「まあまあ、今まで頑張ってたんだし」

と庇って、おとがめなし。

結局引退したものの、かなりの高齢のハズで、引責辞任とは言い難く、、、

どっかの外務官僚とだぶって見えマスです。ハイ。

b_blue_hearts さん

#14 徳川継とも 2002/ 2/ 4 12:46 [No.4486 / 15916]

徳川継友（1692～1730）。

尾張徳川家6代目。3代目綱誠の子供。

綱誠から吉通→五郎太ときた直系が絶えたため、1713年に尾張家当主となります。

その後、江戸幕府8代将軍の座を巡り、紀伊徳川家の吉宗と争います。

6代将軍家宣の正室：天英院は吉宗を推し

7代将軍家継の生母である月光院は継友を推したと言われ、大奥の勢力争いも絡む騒動となったそうです。

にざりいさん

↓#15 です 2002/ 2/ 4 12:47 [No.4487 / 15916]

遅かりし。

にざりいさん

#16 北畠とも教 2002/ 2/ 4 12:55 [No.4488 / 15916]

北畠具教は、きたばたけともりの、と読んだと記憶しますが、どうだったっけ？

伊勢国司の北畠家当主として、家柄がいいだけでなく、塚原ト伝に教わったとされる剣術の達人だったといえます。

織田信長の侵攻にあい、信雄を養子として迎えることで和議しますが、最期はその信雄に暗殺されてしまうのです。

クイズ パンチ de デートさん

#番外 テツ a n d とも 2002/ 2/ 4 13:08 [No.4489 / 15916]

♪なんでだろう なんでだろう なんでだ なんでだろう...

♪

この間のメチャイケに出ていた、お笑いユニットです。

hui*_k さん

#番外 ともさかりえ 2002/ 2/ 4 13:18 [No.4490 / 15916]

もとがひらがなの名前なので、ぜんぜん違和感なし。漢字は友坂、なのでしょうか？

クイズ パンチ de デートさん

#番外 さかともえり 2002/ 2/ 4 14:08 [No.4491 / 15916]

と、ゆーのも。

b_blue_hearts さん

#番外 桜とも蔵 2002/ 2/ 4 14:10 [No.4492 / 15916]

ともぞう、ココロの俳句。

「ああともや、もともとともや、ともぞうや」

ちびまる子のおじいさん。

b_blue_hearts さん

#17 源とも長 2002/ 2/ 4 14:29 [No.4493 / 15916]

数多い源氏の「とも」がつく人の中でも、地味キャラを出してしまった。

#01 頼朝の兄で、悪源太義平の弟。

平治の乱の時、父に従い参戦するが、その時まだ16歳。

戦いに敗れ逃避行するうち、落ち武者狩りの荒法師の軍勢と遭遇し流れ矢に当たって負傷。これがもとで破傷風になり、動けない体に。

さらに敵の追っ手がせまった際、足手まといになるまいと自決した。

toshy.y.takahashi さん

#番外 山口とも子 2002/ 2/ 4 15:23 [No.4494 / 15916]

この人が出るCMを見ると、商品のためのCMというよりは、山口智子のためのCMに見えてしまう....

hui*_k さん

#18 具平親王（ともひらしんのう） 2002/ 2/ 4 16:43 [No.4495 / 15916]

村上天皇の皇子で、漢学者、歌人。村上源氏の祖。

具平親王の子が源師房で、その子孫は村上天皇から出た源氏なので村上源氏と呼ばれました。

久我・岩倉・北畠・中院・六条・千種氏等は、村上源氏から生まれた家です。

gre*t*fighb*rd さん

#19 京極高とも 2002/ 2/ 4 18:07 [No.4496 / 15916]

高次の弟、信濃飯田城主だったが関ヶ原参戦など活躍し、丹後宮津城主12万5千石で加増されています。

キリシタン大名でもありました。

クイズ パンチ de デートさん

#番外 明日出てくれるかな？ 2002/ 2/ 4 18:58 [No.4497 / 15916]

いいともー！

acc*s*_r*さん

#番外 松島とも子 2002/ 2/ 4 18:59 [No.4498 / 15916]

むかし、スヌーピーのサリー（チャーリーブラウンの妹）の声はこの人でした。

ルーシーはうつみみどり、チャーリーは谷啓さんでした。

hui*_k さん

#番外 松島とも子 2 2002/ 2/ 4 19:30 [No.4499 / 15916]

ライオンはミネラル麦茶がからだに良い事を知っていて、襲ったの、、、

b_blue_hearts さん

#20 岩倉とも視 2002/ 2/ 4 19:32 [No.4500 / 15916]

明治維新の数少ない、公家側の功労者。

明治新政府のもとでも、岩倉使節団の全権大使として、欧米をまわりました。

しかし、岩倉にかんする、資料は大変少なくHPで探してもあまりでてきませんでした。

孝明天皇毒殺の黒幕ともいわれ、あまり良いイメージがない

のも事実でしょう。

昔、500円札の肖像画にもえがかれていました。

ryoanpaku_2002 さん

#20 五代とも厚 2002/2/4 19:46 [No.4501 / 15916]

ギリギリでラスト間に合ったかな？

五代友厚 1835-1885

旧薩摩藩士で、文久2年(1862)に、高杉晋作と共に上海の貿易調査船で密航してドイツの汽船を買いつけ、翌年の生麦事件の和平交渉を、長崎のグラバー邸で名高いグラバーと行き、慶応元年(1865)には、正式に欧州を視察し、殖産興業の必要性を知り、明治維新時には新政府に出仕し、外国事務局判事として大阪に勤務しましたが、1年で官職は辞め、実業家として大阪が本拠の多くの企業を設立し、明治11年には初代大阪商工会議所の会頭に就任、関西実業界の基礎を築きました。50歳で若くして世を去った時は、大阪の街のおかみさん達までが、五代はんは大阪の恩人や」と言っていて、その死を悼んだ伝えられます。

六文銭さん

↓ #番外で 2002/2/4 19:57 [No.4502 / 15916]

お願いします。タッチの差でまた、本番の投稿が出来なかったですね。

特撮関係で、「とも」が付くキャラクターを考えてたけど、思いつかないな・・・

六文銭さん

#(^o^) ~♪ ともよ~ ともよ~ 2002/2/4 20:14 [No.4503 / 15916]

(^o^) ~♪

ともよ~ ともよ~ ともよ

ともよ 見てくれ うなるムチ~

で いかが。六文銭のダンナ

あ。人名じゃないか。

spat さん

#番外 原田知代 2002/2/4 20:22 [No.4504 / 15916]

「おう、ねえちゃん お勘定払ってくんな」

「えっ、わたし、さっき 払ったと思うよ。。。払たと思よ。。。

はらだともよ！」

spat さん

お題 旅にいざなうもの（維新以前） 2002/2/4 20:43 [No.4505 / 15916]

五代とも厚も既出で、特撮系も思いつかず、そうこうしているうちにチャンスが巡ってきたので、久々にお題です。

明治維新以前に世の中に出たもので、人を旅にいざなうものを挙げてみましょう。

- ・文学作品
- ・浮世絵
- ・芝居
- ・道中記、名所図会
- ・講集団などのシステム
- ・信仰

e t c

文学作品など、別に「旅」が題材でなくても構いませんが、それに触れた人が、

「その場所にあこがれる」ような作品をお願いします。

#00 伊勢代参講

江戸時代のシステム。何軒かの家で、「伊勢講」を結成し、積立金を払い、毎年、「代表の者」が、伊勢参りをして、全軒分の御札を購入するというシステム。

「代わりに参る」ので「代参講」。

これのおかげで、庶民にとって、「物見遊山の旅」が身近なものになりました。

ecc**ler さん

#番外 ウルトラ警備隊西へ 2002/2/4 21:20 [No.4506 / 15916]

ウルトラセブン第14話および15話

事件の舞台が関西なので、このタイトル。

京都国際会議場や神戸港ポートタワーを舞台にウルトラ警備隊やセブン、スーパーロボットキングジョーが暴れまわります。

さあ、これを見て、「神戸に行ってみたい！」などと思った当時の子供たちは今？

ecc**ler さん

#01 東海道五十三次 2002/2/5 0:09 [No.4507 / 15916]
定番中の定番ですが、やっぱりこれを挙げさせていただきます。

歌川広重が東海道を画題として描いた風景画の錦絵揃い物です。

広重の東海道物は30種以上あるそうですが、

中でも1834年に完結した保永堂版の横大判錦絵「東海道五十三次」は、その構図と彫摺の妙味で特に著名です。

私の出身地の市が旧東海道宿場町で、昔から親しみをもっていたのですが、

展覧会で保永堂版を見たときには冗談抜きで楽しめました。登場人物が多彩なんですね、

弥次喜多のような男連れ、力士、大名行列、子供、女連れ、駕籠かき、馬子、虚無僧、

川越人足、茶店の婆さん、客引き女（特に御油宿のは旅人の首を絞めんばかり）・・・

表情が生き生きとしていいですね。

その土地の名物は必ず取り入れ、保永堂の宣伝も欠かさず、特に名物がないような所でも、雪景色（蒲原、亀山）、にわか雨（庄野）などの風景が見る人を惹き付けます。

まあいろいろけちを付けようと思えばつけられる作品なのでしょうが、

それを克服してあまりある作品だと思っています。

ykm*31*さん

#01 東海道中膝栗毛 2002/2/5 8:47 [No.4508 / 15916]

つい、40年前までは
道中記、という言葉は死語ではなかったのですが
今は、聞きませんねえ。
十返舎一九の滑稽道中記で
「やじきた」のほうがとおりがよいかもかもしれません。
五右衛門風呂には、笑いましたが
これも、40年以上前なら
実感できたのですが
いまでは・・・
彦左衛門_Oさん

↓#02 でした 2002/2/5 8:49 [No.4509 / 15916]
すみません
彦左衛門_Oさん

#03 尾張屋版江戸切絵図 2002/2/5 10:29 [No.4510 / 15916]
今でも江戸の地理を知るのには欠かせない古地図ですが、当時は江戸の土産として、この切絵図が刷り込まれた手拭いなどが喜ばれたそうで（以前 toka さんから聞いた話）、こうして江戸への夢を膨らませた人も多かったのではないのでしょうか。
尾張屋版のほかに近江屋版というものもあったそうです。
hui*_k さん

「とも」のお題御礼 2002/2/5 13:33 [No.4511 / 15916]
みなさまお疲れさまでした。
源頼とも、大とも皇子、サマセツともーム、ピーともンドリアン、とも野与右衛門、とも善男、ともえ御前、秀吉の姉とも、藤原純とも、住とも政とも、田沼意とも、平とも盛、大とも宗麟、大とも金村、徳川継とも、北島とも教、源とも長、とも平親王、京極高とも、岩倉とも視
お蔭様で、岩倉家の通字「具」が祖である村上天皇の皇子具平親王に由来するという学術的大発見(?)もあり、意義深いお題になりました。
そう言えば、北島氏も村上源氏でしたね。

あなたの周りも名前に「具」のつく人がいたら、村上源氏かもしれないので、「とも達」になっておきましょうね。
hui*_k さん

番外 伊豆七島新島 2002/2/5 18:29 [No.4512 / 15916]
どうも本題でいい回答が見つからないので、番外。
私の高校生あたりの時代、伊豆の新島がナンパのメッカとかで、やたら若者が夏に海を渡りました。サーフィンとかもブームだったので、そういった時代背景もあったろうと思います。
自分もサーフィンなんかやらないのに、KIKI のロゴがはいった小物を持ってました。いま考えると恥ずかしいけど、車に積んでるティッシュボックスカバーがまだ KIKI だったりします。
いまの若い人はどうなのでしょう、新島なんかには行かないかな。
クイズ パンチ de デートさん

#04 奥の細道 2002/2/5 18:57 [No.4513 / 15916]
初めて投稿させていただきます。
「月日（つきひ）は百代（はくだい）の過客（かかく）にして、行（ゆき）かふ年も又旅人也。」
有名すぎて気がひけますが、ご存知松尾芭蕉の綴った奥の細道の冒頭です。
格調高い名文ですね。
元禄2年、芭蕉48歳。門人の曾良41歳。
西行を慕い、みちのくに旅立つ。
sen**n_mabo**shi さん

#05 古今集 2002/2/5 19:45 [No.4514 / 15916]
もちろん、古今和歌集のこと。
元禄2年、芭蕉48歳。門人の曾良41歳。
西行を慕い、みちのくに旅立つ。
古今集の歌枕を訪ねて。
彦左衛門_Oさん

#06 般若心経 2002/2/5 19:55 [No.4515 / 15916]
をはじめとするお経の数々。
♪♪そこ～にゆうけばあ～、どおんなゆうめもお～～♪
♪♪かあ～なうとお～お、い～うよお～♪
と、イヌ、サル、キジ、
もとい
サル、ブタ、河童を引き連れて、玄奘三蔵は、遙か天竺へ旅立ちました。。。。
b_blue_hearts さん

#07 伊勢物語 2002/2/5 20:28 [No.4516 / 15916]
「むかし、おとこありけり。」という、在原業平をメインとした、「まめ男」の歌物語。
二条后(陽成帝のおかん)との悲恋かはたまた政争の敗北か、ここでは業平の「東下り」が語られます。隅田川のほとりで、渡し守に「この水鳥は？」という問いかけたとき、詠んだのがこの歌です。
名にし負はばいざ事問はむ宮こ鳥わが思ふ人はありやなしやと
平安京を離れ、想いはあの人のことばかり、その悲恋の語り
が時代を越えて伝わっております。
ちなみに、浅草には「言問橋」という橋が、隅田川に架かっており、たもとは「言問だんご」を売っている店があるそうです。
というか、私は「伊勢物語」をメインにしたサイトを開いております。
※Hikozaemon_o さん：
西行の和歌がある有名な勅撰集は「新古今和歌集」です、「古今和歌集」はそれより200年前の時代です。それと、西行の歌集でしたら、「山家集」です。
西行の和歌で私が好きなのは、これです。
ねがはくは花のしたにて春死なんそのきさらぎの望月の比(ころ)
http://isweb19.infoseek.co.jp/novel/toka3aki/waka8/waka8_18.xml
tokacyan さん

#08 入唐求法巡礼行記 2002/ 2/ 5 20:38 [No.4517 / 15916]

慈覚大師円仁の作。838年から847年の間における円仁の唐での求法旅行の様子を日記体で記録したもの。ライシャワー博士の研究によって、世界的に有名になった。その叙述は淡々としているが、当時の唐の寺院での日常や唐の交通の有様、外国人がどのように遇されているかといったことが細かい観察眼のもとに書かれている。

室町時代以降はほとんど忘れ去られたが、鎌倉時代までは仏徒の間でかなり知られた書物だったようで、日蓮の『立正安国論』にも引用されているという。この書を読み異国への憧憬を大きくした僧もいたかも・・・ sakisaki さん

#09 四国八十八所巡礼 2002/ 2/ 5 22:13 [No.4518 / 15916]

お遍路さん。
弘法大師が42歳のとき、四国八十八ヶ所の霊場を開いたとされているそうです。
八十八ヶ所となった理由としては、弘法大師が釈迦の八大霊塔の土を持ち帰って、その倍数だとか「八十八使」という人間の惑を払う霊場として定められたとか、「五十八仏」と「三十五仏」があって、これらの仏像を合わせ拝むためであるとか、
煩惱の数であるとか、男42・女33・子供13の厄年を合わせた数とか、諸説あるそうです。

また、弘法大師が亡くなった後、高弟の真済がその遺跡を遍歴して始まったとされる説もあるそうです。

札所を巡礼することを「うつ」というそうです。
これは、昔の巡拝者が、自分の名前を書いた木札をお寺に「打ち付けていた」ことから使われていた言葉（今では納札に変わっている）だそうです。

1番札所から88番札所まで番号順に巡るのを「順打ち」、

逆回りは「逆打ち」といって
逆打ち1回は順打ち3回相当のご利益・功德があるといわれているそうです。

すべての霊場をいっぺんに打ち上げるのは「通し打ち」、
適度に区間を区切って打つのは「区切り打ち」といい、
1番札所から始める必要はなく、1度にすべての札所を回ることもないそうです。

「一国参り」といって、ひとつの県を一国とし、回ることもあるそうです。
にぎりいさん

#10 龍馬の手紙 2002/ 2/ 5 23:42 [No.4519 / 15916]
ちょっとくたびれてリサーチする気力がないので、記憶だけで書いてます。

誤りがありましたらご指摘下さい。
坂本龍馬が姉乙女に書き送った手紙が十何通か残っていますが、
中でも妻おりょうとの新婚旅行の報告は出色でしょう。
寺田屋遭難事件後、西郷吉之助の勧めに従い、薩摩国での湯治に夫婦で出かけます。
温泉ついでに、霧島連山・高千穂の峰に登り、天の逆鉾を引っこ抜いたりして遊びます。

乙女への手紙には、真ん中にでっかく高千穂の峰を描き、頂上に「サカホコ」が刺さっている様子を描いています。
「図解入り手紙」といったところですよ。

まるで小学生が「ぼくこんなところへいったんだよ」と自慢げに親に話している様子で微笑ましいこと。

でも、読んでいる乙女は、土佐藩どころか高知城下を離れることすらできない身。

弟の自慢話に微笑みつつも、「自分も行ってみたいなあ」と少し寂しさを覚えたのでしょうか。

ykm*31*さん

#11 富士講 2002/ 2/ 6 12:43 [No.4520 / 15916]
富士山に登る人の組織集団で、江戸時代に大流行した。山に登って家族の繁栄を願うだけなら問題ないように思うが、幕

府はその拡がりを警戒して、講仲間を作ることを禁止したり、富士の水を病人に飲ませることを禁止したり、いろいろ禁令を出したようだ。

東京にも、現在も築山（ミニ富士山）と浅間神社が散在していますが、あれはこの講の名残りです。

クイズ パンチ de デートさん

#12 白山信仰 2002/ 2/ 6 13:28 [No.4521 / 15916]
岐阜と郡上八幡を結ぶ道は郡上街道と呼ばれ、「その剣難は貨物の運搬、馬背をもってするも、なお容易ならざりき」といわれたほど難所に続く難所でしたが、白山への参詣登山のメインルートとして、夏のシーズンには「上り千人下り千人」と言われるほど多くの参拝客で賑わいを見せ、場所によっては通行税が課せられたほどであったそうです。

hui*_k さん

#13 女郎買い 2002/ 2/ 6 15:03 [No.4522 / 15916]
こういう目的もあったことを忘れちゃあいけません。
宿場には飯盛り女もいました。
年齢は今のコギャルと同じくらいだったそうです。
人間と云うのは時代を経ても余り変わっていないようです。
hui*_k さん

番外 高丘親王航海記 2002/ 2/ 6 21:49 [No.4523 / 15916]

現代の作品ではありますが、澁澤龍彦の『高丘親王航海記』には、エクゾティシズムの徒と化した高丘親王の夢のような渡唐求法の旅が描かれています。

高丘親王は、平城天皇の第三皇子で、空海の高弟でもありました。叔父の嵯峨天皇の即位により皇太子となるが、菓子の変で廢太子となり間もなく出家しています。861年唐に渡り、865年には天竺に行くことを決意し唐を出発していますが、その後消息を絶ちました。

『高丘親王航海記』は、この高丘親王の渡唐後の足取りを幻想的な筆致で描いた澁澤龍彦の遺作ですが、澁澤さんが亡くなってもう15年になろうとしているのですね。

月日が経つのは早いものです。

未読の方はご一読を。

sakisaki さん

#14 土佐日記 2002/ 2/ 6 22:03 [No.4524 / 15916]

内容は、土佐守(とさのかみ)の任を終えての京都までの船旅の日記です。

紀貫之は男ですけど、女が書いている、という設定で書かれています。冒頭の「男もすなる日記といふものを、女もしてみんとてするなり」、というのには有名ですね。

ryoanpaku_2002 さん

#15 観音百霊場 2002/ 2/ 6 23:23 [No.4525 / 15916]

西国33ヶ所

板東33ヶ所

秩父34ヶ所

あわせて 百観音霊場

観音経33巻 観音33化身

にちなんだ数だそうです。

なんで秩父だけ一つ多いんだっけな

元祖スタンプラリーです。

（「スタンプラリーとは違います」という言い方をする人もいますが、確かにどっちの言い方もできます）

わたくしごとですが。

ちなみに 既出の「四国」は全行程完全徒歩でまわりました。

22歳のときの体力で42日かかりました。

あわせて、「日本188ヶ所霊場」という言い方もします。

spat さん

#番外 「姓は車 名は寅次郎」 2002/ 2/ 7 1:44 [No.4526 / 15916]

「人呼んでフーテンの寅と発します」

寅さんの行ったところには 行ってみたいくなります

spat さん

#番外 内田康夫氏ー旅情ミステリー 2002/ 2/ 7 2:40

[No.4527 / 15916]

探偵ー浅見光彦などで有名な作家、内田康夫氏にはいつとき結構はまってました。

内田康夫氏以外にもこういう作家はいますが、内田康夫氏の初期の作品には、本当に、推理小説として名作が多かったと思います。

私が思う、彼の作品での旅情ミステリーの最高傑作は「平家伝説殺人事件」です。

浅見光彦が登場した2番目の作品なのでかなり古い小説です。

浅見光彦が最近のキャラクターとかなり違ったおもむきになってます。

ともあれ、内田康夫氏ほど旅情をかきたてる人は少ないでしょう。

例えば、「天河伝説殺人事件」などは、奈良県の天河を全国的な観光地にしたように思います。

ちょっと歴史トビからはずれましたね。

sen**n_mabo**shi さん

#番外 西村京太郎の鉄道ものミステリ 2002/ 2/ 7 14:49 [No.4528 / 15916]

ドラマを見る限り、鉄道や列車の名前が違うだけで、ミステリの中身は同じような気が・・・(違うか)

クイズ パンチ de デートさん

#番外 温泉、グルメが付属してるドラマ 2002/ 2/ 7 14:56 [No.4529 / 15916]

温泉旅行しながら名産品もいろいろ食べて、それで事件が解決するんだからスゴイ！（女性が3人で行動するのは黄金パターン）

片平なぎさ、船越英一郎のコンビのヤツも同様の傾向がみられる場合がある。

クライマックスは岸壁など、風向明媚だとなお良い。それまでの展開が陳腐だと、そこで説明調の台詞が長々と続いてしまうのは御愛嬌。

クイズ パンチ de デートさん

#16 東方見聞録 2002/ 2/ 7 15:01 [No.4530 / 15916]

すみません、くだらないのばかり投稿して。

マルコ・ポーロの著書は黄金の国、ジパングをヨーロッパの人に目指させるきっかけになりました。

モンゴル帝国では知事などの要職にあった彼が、帰国後はウソつき扱いされて落ちぶれていたそうで、ちょっと不思議な感じですよ。

クイズ パンチ de デートさん

#17 「環海異聞」 2002/ 2/ 7 15:34 [No.4531 / 15916]

どうも、しょっちゅう投稿している幕末日露関係のものです。いやそういうのが専門なので(わら

1804年にロシアから世界を一周して帰国した仙台漂流民は取調べで見聞したことを話し、蘭学者大槻玄沢はそれをまとめて「環海異聞」という本を出しました。

ロシアについては、先に漂流し帰国した大黒屋光太夫の「北槎聞略」が圧巻ですが、「環海異聞」は今は絶滅したアリュシャンやポリネシアの当時の様子を伝える優秀な書物として残っています。

toshy.y.takahashi さん

#18 秋里籬島 2002/ 2/ 7 19:23 [No.4532 / 15916]

あきさとりとう 生没年は知りませんが、近世後期に活躍した作家

といっても、あまりご存知ない方も多いかと思いますが。

実は、「名所図会」という、いわば江戸時代の旅行ガイド、そのさきがけとなった「都名所図会(1780年)」を執筆。名所図会は、その他にも畿内版だけで十数冊が刊行されていますが、そのほとんどを執筆するという、超人的な活躍を成し遂げた方です。

各地の案内文も、実によく研究されており、地誌学の知識も相当であったとうかがわれます。

名所図会そのものは、江戸時代のベストセラーの一つ、庶民が購入した目的は、明らかに旅行ガイドですが(挿絵も見事で、見るだけでも楽しい)、

この人物の業績は、それにとどまらず、地誌学の先駆者といっても良いかと思います。

ecc**ler さん

#番外 東海道中膝栗毛 (すり) 毛 2002/ 2/ 7 19:32 [No.4533 / 15916]

ご存知、「東海道中膝栗毛」のパロディ版

野次喜多道中のように、男二人が男を磨くために伊勢を目指します。

ここでいう「男を磨く」とは、「女」でね。

要は江戸時代のエロ小説。ただし、滑稽本として、ギャグ満載です。

なんと4人の作家で書き次がれ(しかも同じペンネーム)

どんどんギャグの質が低下していったとか

ecc**ler さん

#19 更級日記 2002/ 2/ 7 20:25 [No.4534 / 15916]

近世モノは不得手ですので、また中世モノから回答します。作者は菅原孝標女で、作者の少女時代から晩年までの思い出を綴った作品です。その始まりが、上総に赴任した父親に同行したその帰路です。その冒頭に、京都にあこがれ、観音様に「源氏物語を読みたいのお願い！」と祈るシーンがあります。

お題である「旅」に関する場面では、竹芝寺の伝説や、富士川の伝説に言及しているところがあります。

残念ながら、未読だったりします。

tokacyan さん

#20 水戸黄門漫遊記 2002/ 2/ 7 22:40 [No.4535 / 15916]

嘉永2年(1849)に死んだある講釈師が、当時大流行していた十返舎一九の滑稽本『東海道中膝栗毛』にならって例の話の筋を考案したのが『漫遊記』の始まりだといえます。また、助さん格さんがお供をする(それ以前はお供は俳人という設定でした)という筋立ては、さらに下って明治20年代に大阪の講談界から生み出されたものようです。光圀は西山荘に隠居後、領内を廻って民衆と接したといえますから、

この話が全国的なものとしてされてしまったらしいのです。そしてその死後、江戸期の民衆の間に、水戸といえば「黄門様の国」という理想化された話が広まりました。特に水戸からはるかに離れた遠国の人々にまで広まっていったのは、江戸後期の大旅行ブーム(温泉湯治、巡礼)などが関係しているのではないかと考えられています。

うーんNGギリギリ、判定を。

ryozanpaku_2002 さん

お題【京の出来事】 2002/ 2/ 7 23:25 [No.4536 / 15916]

エー、さって一... ってこれは小林完吾さん

桓武天皇の平安京造営からこんにちまでの間に、

京の都で起こった20大事件を上げてください。

地域としては洛外も含み、概ね山城国内であれば

オケケです。

#00 大原寂光院放火

だれやあ、火いつけたんはあ！！

hui*_k さん

#01 鹿ヶ谷の謀議 2002/ 2/ 7 23:51 [No.4537 / 15916]

1177年5月、後白河上皇の近臣が平氏討伐を図った事件。

藤原成親・成経父子、平康頼・西光(藤原師光)・俊寛など上皇の近臣が、

京都東山鹿ヶ谷の俊寛の山荘で反平氏の謀議を行い、

これが多田行綱の密告によって発覚。

平清盛は関係者を検挙し、西光は死罪、成親は備前国に配流後殺害され、

成経・康頼・俊寛は鬼界ヶ島へ流され、上皇近臣の勢力は壊滅的な打撃を受けました。

上皇本人の責任は不問に付されたものの、

この事件を契機に上皇と平氏の対立は一挙に深まり、

79年11月、清盛はクーデターを起こし上皇を鳥羽殿に幽閉しました。

ykm*31*さん

大政奉還 2002/ 2/ 8 0:01 [No.4538 / 15916]

場所は二条城でしたっけ？

二条城って碁盤目にそろった京の町を遮るように築城されていますよね。

発掘すると築城以前のお宝がごろごろできそうですよね。

sau**noke さん

#02 大政奉還 2002/ 2/ 8 0:03 [No.4539 / 15916]

失礼しました。

sau**noke さん

#03 本能寺の変 2002/ 2/ 8 0:24 [No.4540 / 15916]

歴史に与えた影響、「もし、〇〇が無かったら」という意味では日本史上トップレベルの事件ですね。

幕末好きな私としては「龍馬暗殺」などもあげたかったのですが、幕末の京都暗殺事件は数え上げられないので止めときました。

tammy0243638 さん

#番外 泣き虫先生のスクール・ウォーズ 2002/ 2/ 8 0:27 [No.4541 / 15916]

<語り・田口トモロヲ>

昭和49年、京都府立伏見工業高校に、一人の教師が赴任した。

日本ラグビー界にその人ありと知られた、山口良治31歳である。

伏見工業の悪名は、京都中に鳴り響いていた。

暴走行為によるバイクの事故は京都一。

校内の廊下をバイクが走り回っていた。

リーゼントにサングラス、パンチパーマに剃り込みなど、

ヤクザまがいの風体の生徒たちが闊歩していた。

カツアゲに傷害事件は後を絶たず、周囲の高校の生徒たちは通学路を大きく迂回した。

誰もが見放したツッパリ高校生たち・・・

これは、ラグビーを通じて彼らと戦った、1人の熱きラグーマンの、ドラマである。

風の中のすばるう

砂の中のぎいんがぁ

みんなどこへいったぁ 見送られることもなくう

草原のぺがぁさすう

街角のびいいなすう

みんなどこへいったぁ 見守られることもなくう

地上にある星を 誰も覚えていない

人は空ばかり見ているう

つばめよ高い空からぁ 教えてよ地上の星いをお

つばめよ地上の星はぁ 今どこにあるのだろおおお

<中略>

昭和51年春の京都府大会。

決勝戦で宿敵・花園と再び対決した伏見工業は、18対12で勝利し、京都一を勝ち取った。

オール・フォー・ワン、ワン・フォー・オール。

泣き虫先生がツッパリたちに語り続けたこの言葉が、

伏見工業高校の伝説の始まりとなった。

5年後の昭和56年、平尾誠二を擁する伏見工業は、遂に全国高校ラグビー選手権大会で初優勝をなし遂げたのである。

58歳となった、山口良治さん。

その涙は今も、涸れ果てることはない。

行く先を照らすのは

まだ咲かぬ見果てぬ夢

遙か後ろを照らすのは

あどけない夢

ヘッドライト・テールライト 旅はまだ終わらない

ヘッドライト・テールライト 旅はまだ終わらない

(C)JASRAC 第.....号

ykm*31*さん

#04 応仁の乱 2002/2/8 1:54 [No.4542 / 15916]

1467-1477。

将軍家や畠山氏や斯波氏などの管領家の継嗣問題がからみ、

細川勝元と山名宗全が東西の両将となって勃発。

日本中の守護大名を巻き込み、11年間戦われ、のちに自然消滅。

これによって京都市街は焼け野原になったといわれる。

以後、時代は戦国時代へと向かう。

sen**n_mabo**shiさん

#05 木曾義仲入京 2002/2/8 11:45 [No.4543 / 15916]

驕慢さの目立った平氏を追い出したのは良かったものの、その後乱暴狼藉を働いたとして京都の貴族の間ではとかく評判の悪かった義仲ですが、乱暴狼藉などは義仲入京以前から頻々と繰り返されていたようで、要は田舎者が入ってきたから気に入らなかつただけなんでしょうね。

以仁王の遺児である北陸宮を擁したことなどもあって後白河上皇に嫌われて平家追討の遠征を命じられ、その間に「逆賊」認定。

hui*_kさん

#06 室町幕府の開設。 2002/2/8 12:48 [No.4544 / 15916]

1338年、足利尊氏が征夷大将軍に任命され、京に幕府を開きました。

『室町幕府』の名称は3代将軍・義満が京と室町の邸宅(花の御所)で

政治を行ったことから言われているそうです。

鎌倉幕府に続くふたつ目の武家政権ですが

その後の江戸幕府にしても、京から離れた関東に政権を置いたのに対し

室町幕府は京、つまり天皇のお膝元に幕府を開きました。

これはやはり南北朝のことがあったから離れられなかつたということでしょうか。

(よく知らないです、ごめんなさい)

にざりいさん

#07 平治の乱 2002/2/8 14:31 [No.4545 / 15916]

1159年。

武家が勢力を強め、その中の筆頭である平清盛と、それに対抗しようとする源義朝が戦火を交えた。

内裏を占領した源氏だが、天皇・上皇に逃亡され逆賊となり、頼政ら摂津源氏が関東源氏を見限る形で義朝は不利に。

有名なのは重盛と義平の一騎打ち。重盛は不利になるや敗走するが、これは平氏の巧みな誘導作戦であった。これを追う源氏は内裏から引きずり出され、その間に平氏の別働隊が内裏を占領してしまう。

それでも悪源太義平の奮戦で一時は優勢になる源氏だったが、やがて大軍に押される形で敗勢。さらに義朝を見限った摂津源氏が平氏の側につくと勝負は決まった。

義朝は逃亡中に殺され、義平は捕らえられて死刑。

tosh.y.takahashiさん

#08 蛤御門の変(禁門の変) 2002/2/8 16:36 [No.4546 / 15916]

元治元年(1864年)7月、京都の長州藩兵、尊攘派浪士に対する薩摩と会津などの幕府側諸藩兵の戦い。

前年に京で政変があり、京都から長州などの尊攘過激派の公卿(七卿の長州落ち)や勢力の放逐があった。

それに対抗して、来島又兵衛や久坂玄瑞などが長州藩兵を、久留米の神官で尊攘派のカリスマ、真木和泉などが尊攘派浪士を率いて上京、幕府側と尊攘派の睨み合いとなった。

そしてついに7月19日、長州勢が蛤御門に入り戦闘となった。

薩摩はこのとき長州との対立から幕府側にたつて戦う。

戦いは1日で幕府側の勝利に終わったが、京都は3日3晩火が消えず、2万8千戸が焼失したという。

この後、長州は朝敵の汚名をきせられ、長州征伐へ歴史は展開する。

現代にいたるまで続く、長州と会津の怨恨の一端ともいえるべき事件でもある。

sen**n_mabo**shiさん

#09 坂本龍馬暗殺 2002/2/8 19:44 [No.4547 / 15916]

慶応三年十一月十五日。

午後九時すぎ、近江屋の軒下に7人の刺客が到着した。見廻組組頭・佐々木只三郎を中心とした、今井信郎、渡辺吉太郎（渡辺一郎？）、高橋安次郎、桂隼之助、土肥仲蔵、桜井大三郎である。

佐々木はひとりで土間に入ると、2階へ大声で来意をつげた。2階表の間の藤吉は楊枝を削る手を止め、土間におりると土間にひとりの武士が立っており、

「十津川郷士の者だが、坂本先生ご在宅ならばお目にかかりたい」

と、手札を渡した。

藤吉が「はい」と手札を持って2階の階段を登ったので、竜馬が居ると確信し、今井信郎、渡辺一郎、高橋安次郎が入り込み藤吉の後を追った。

藤吉が階段を登りつめたところで、背中を真っ二つに斬り下げ、叫ばせまいと思ひ、続けて太刀を浴びせ絶命させた。表の間で騒ぎが聞こえた（藤吉が倒れた音や呻き声）が、竜馬は帰ってきた峰吉と藤吉が相撲をして戯れていると思ひ、「はたえなッ！」

と、怒鳴った。

竜馬の居場所を確信した刺客は、雷光のように奥の間に飛び込み、一人は竜馬の前額部を、一人は中岡の後頭部を鋭く斬撃した。

とっさに事態を把握した竜馬は床の間の佩刀陸奥守吉行をとろうとし、素早く背後へ身をひねったが、これが敵に背後をさらす形となり、左肩先から左背骨にかけて強烈な斬撃を受けた。

そして、三の太刀が頭上に叩き降ろされたのを鞘ぐるみで受け止めたが、敵の斬撃凄まじく、陸奥守吉行の鞘を割り刀身を削り、勢いで流れて竜馬の前額部を深く薙ぎ払った。

「石川（中岡慎太郎の変名）、刀はないか、刀はないか」

と叫びながら、竜馬は崩れ落ちた。

中岡も佩刀を屏風の後ろに置いていたので、それを取る間もなく、九寸の短刀をもって奮戦したが、全身十一ヶ所に傷を受け、ついには倒れた。

刺客は去り際に中岡の尻を一突きし、その痛みで中岡は意識を取り戻し、刺客は「もうよい、もうよい」と言って立ち去

った。

この間、わずかに数分。戸外の見張りを含めた刺客団は、近江屋の潜り戸から表に出た。首領格の男は小謡を唄いながら、悠然と去っていったといわれている。

ほどなく竜馬が意識を取り戻し、気丈にも座りなおし、佩刀の鞘をはらって刀身を行灯の光で確かめながら、

「石川、手がき利くか」

と竜馬はたずねた。「利く」と中岡が答えると、六畳間の隣室を這って廊下に進み、階段口まで行き、

「新助、医者」

と叫んだが、声に力なく1階の家人までとどかない。竜馬は欄干を掴み座りなおし、

「おれは脳をやられた。もう、いかん・・・」

と言い終わると前のめりに倒れ、息絶えた。

中岡は気力を振り絞り、屋根伝いに北隣の道具師井筒寡兵衛の屋根まで這ったが、そこで力尽きた。

竜馬はその日のうちに絶命。藤吉は翌十六日、中岡は翌々十七日それぞれ落命した。

〈参考：司馬遼太郎「竜馬がゆく」〉

もちろん真実は今なお不明です。

ryoanpaku_2002さん

旅にいざなうもの 御礼 2002/ 2/ 8 19:47 [No.4548 / 15916]

皆様、ありがとうございました。

番外については、ほぼ予想どおりと言うか、「しまった、先越された」てなところでしたが、本編はさすがでしたね。

竜馬の手紙とか、般若心境については、

「しまった、その手があったか！」

あと、「環海異聞」は、さすがでした。

今回、何気に指摘されましたが、やっぱり自分の興味・知識が、近世に偏ってるなあと感じさせていただきました。

それも、時代の変わり目とかじゃなくて、江戸時代の真ん中の安定期とかに興味があるんだよなあ。

実感

では、また何か思いついたときには、よろしく

ecc**lerさん

市電開業 2002/ 2/ 8 19:54 [No.4549 / 15916]

明治28年2月1日、日本で最初の営業用電車として、京都電気鉄道が営業開始。

後に京都市に買収されて、京都市電になります。

昭和53年に全廃されますが、今にして思えば、市電を廃止するよりも、クルマの通行規制をした方が、観光・環境いろんな面で良かったんじゃないかなあ？

ecc**lerさん

#番外 ホテルニュージャパン火災 2002/ 2/ 8 19:57 [No.4550 / 15916]

昭和57年2月8日です。

「きょう」の出来事でした。

ecc**lerさん

ごめんなさい #10 です 2002/ 2/ 8 20:17 [No.4551 / 15916]

「市電開業」は、#10です。

失礼いたしました。

ecc**lerさん

#11 宮中への落雷 2002/ 2/ 8 23:10 [No.4552 / 15916]

903年、菅原道真が大宰府で死して後、醍醐天皇と藤原基経の娘との間に生まれた二人の皇子が病死、道真公の祟りではないかと言う噂が広まりました。

そして930年、よりによって宮中に雷が落ちて数人の公家が死傷、これこそ道真公の祟りが本物であると人々は震え上がったようです。

しかし日本人とは不思議なもので、祟りを鎮める為に祭った人物を学問の神様にしてしまう・・・。そうやって、怒りを逸らそうとでもしたんでしょうか？

wak*k*97さん

#12 滝川事件 2002/ 2/ 9 0:59 [No.4553 / 15916]

1933年の滝川幸辰京大教授処分事件。

前年末の中央大学での講演を貴族院議員菊池武夫が赤化思想として議会で攻撃、

鳩山一郎文相も著書「刑法読本」を客観主義刑法理論と非難、同教授の辞職または休職を要求しました。

小西重直京大総長及び法学部教授会は処分を拒否しましたが、

文官高等分限委員会が休職を決定したので、

法学部教官は全員辞表を提出、総長は辞任しました。

後任の松井元興総長は滝川ら 6 教授の辞表を文相に提出し、新解決案を協議、

結局 7 教授・5 助教授などが辞職しました。

この時他学部の教授会は静観、他大学の教授会も動きませんでした。

法学部学生始め京大学生・東大学生も反対運動を展開しましたが、

夏休みとともに沈静化しました。

ykm*31*さん

#番外 京の出来事 2002/ 2/ 9 2:00 [No.4554 / 15916]

梁山高校に転校してきた麻宮サキ（南野陽子）の担任は、みずばらしい中年教師西脇。

しかしそれは仮の姿。正体は、特命エージェント・西脇(蟹江敬三)だった。

そして同じ2年B組には、スケバン中村京子(相楽ハル子)がいた。

同じクラスの新聞部部长上原は、二人にそれぞれ果たし状を渡し、

対決シーンの写真を学校新聞に載せ、目障りなスケバンを学校から追い出す計画を立てる。

京子は、高輪学園の初代麻宮サキを名乗る偽物と思い、果たし状に乗せられサキを襲うが、サキに完敗してしまう。

しかし、果たし状が偽物と気付いた二人には友情が芽生えていた。

二人のその姿を見た上原は感動し、カメラのフィルムを抜いてしまうのだった。

京子は、サキに仁義を切った。

「当校番長さん、お姐さん、陰ながらお許しこうむります。向かいます上様とはお初にお目に

かかります。

従いまして私、生まれは東京新宿でございます。

姓名の儀は中村京子。通り名をビー玉のお京とはっします。ご覧の通りしがなき者にごぞんす。行く末、お見知りおかれ

まして、

よろしくおひきたてのほどをお願いいたします。」

とある一日の、ビー玉お京の出来事だった。

ykm*31*さん

#13 宝暦事件 2002/ 2/ 9 6:14 [No.4555 / 15916]

京の徳大寺家に仕えた竹内式部は、

山崎闇斎の垂下神道や軍学を学び、

家塾を開いて公卿たちに大義名文論を説いた。

そのため幕府はこれを危険人物とし、1759（宝暦8）年、兵法を教えたことを理由に京を追放した（宝暦事件）。

幕府によって尊皇論者が弾圧を受けた最初の事件。

c6h14o6 さん

#14 鳴くよ鶯 平安遷都 2002/ 2/ 9 11:09 [No.4556 / 15916]

京の始まりを

そもそも、平安京遷都の目的は怨霊から逃れることにあった。

時の権力者桓武天皇ははじめ、長岡への遷都を計画していた。しかし、天皇の寵臣であった遷都の責任者、藤原種継が暗殺され、計画に暗雲が立ちこめた。桓武天皇は、謀反の疑いを弟の早良親王にかけ、乙訓寺に幽閉してしまう。親王は断食をして抗議するがむなしく、淡路島に流される途中で非業の死を遂げてしまったのだ。

天皇の身边で不幸が続発するのはその直後である。夫人の死を皮切りに、生母、皇后も他界。さらに疫病、飢饉など災難にも見舞われた。天皇は親王の崇りと怖れ、わずか 10 年で長岡京造都を中止。794（延暦 13）年、逃げこむように平安京の造営を始めたのである。

ところで、東京遷都の詔は発せられぬままとのことですので、京都の人は天皇様は東京にお出かけになっているとのこと。

ryoanpaku_2002 さん

#15 応天門の変 2002/ 2/ 9 12:25 [No.4557 / 15916]

平安時代きつての疑獄事件にして、未だに謎の部分の多い事件である。

貞観8（866）年閏3月10日の夜、応天門が炎上。

事件発生後、犯人として、大納言伴善男がよりによって左大臣であり、臣籍皇子である源信を放火犯として訴えた。

そのため一時は左大臣源信邸が包囲される事態にまでなった。

しかし、ときの太政大臣藤原良房のとりなしによってこの告発にともなう処分は保留となった。

だが、さらに事件は異様な展開をみせた。

事件の5ヵ月後、備中権史生（要は小役人）である大宅鷹取が事件の真犯人として、大納言伴善男・伴中庸父子を訴え出たのであった。

この取り調べに伴善男は頑強に否定し続けた。

その間に、伴善男の従者の生江恒山らが鷹取の密告を恨み、その娘を殺害した。

生江恒山らはつかまり、その取調中に応天門の放火は伴中庸の仕業と自白したのであった。

最終的に、伴善男は大逆罪として斬刑となるところを、とくに死一等を減ぜられて伊豆に遠流となった。

伴中庸・紀豊城らの共犯、縁座の者十二人もそれぞれ遠流となった。

これにとって、古代以来の名族（大伴氏の末裔）伴氏は実質的に権力の中核から下ろされ、歴史からその名を消す。

しかし、この事件は未だに謎の部分が多いとされている。

結局、この事件とともに、太政大臣藤原良房は人臣位を極める摂政に就任する。

歴史に言う摂関政治が始まり、藤原氏の権力は磐石のものとなった。

現代では結果論から、藤原氏による謀略説を述べる人が多い。sen**n_mabo**shi さん

#番外 義経と弁慶の出会い 2002/ 2/ 9 13:47 [No.4558 / 15916]

「義経記」によると、刀を集めている弁慶はあと1本で1000本になるという時、義経と五条の橋で出会った。弁慶は義経の刀を奪おうとするが、忍術使いのような義経の動きに翻弄される。後日再びその場で対決し、義経が完勝。弁慶はその後義経の忠臣となり、死ぬまで付き添った。史実じゃないから番外ね。

toshy.y.takahashi さん

#16 保元の乱 2002/ 2/ 9 17:23 [No.4559 / 15916]

平治の乱がでているなら、保元の乱も出さなくてはいけないでしょう！

保元元年（1156）、皇位継承問題や摂関家の家督争いを発端として、後白河天皇・藤原忠通には源義朝・平清盛がつき、崇徳上皇・藤原頼長の側には源為義（義朝の父）・為朝（義朝の弟）・平忠正（清盛の叔父）が従い、一族で敵味方に別れて争いました。

戦いは後白河天皇陣営が勝利し、敗れた崇徳上皇は讃岐に流され、藤原頼長は流れ矢に当たって死亡、源為義と平忠正は斬首、源為朝は伊豆大島へ流されました。

ところでみなさん、保元の乱（1156年）と平治の乱（1159年）の年号はどうやって覚えました？

これは高校生の時に日本史の教師から教わった語呂合わせなんですけど、

「保元の乱」

一ころ（1156）ほげほげ保元の乱！

「平治の乱」

異国（1159）のへい、じーさん！

↑共に1000の桁は省略します

僕はこの意味不明で脱力感のある語呂合わせのおかげで一発で覚えました。と言うより、頭から離れませんでした(笑)

gre*t*fighb*rd さん

#17 蜷川虎三、京都府知事に当選 2002/ 2/10 0:10

[No.4560 / 15916]

1950年4月、社会党の蜷川虎三が、民主戦線統一会議の推薦を受け京都府知事に当選。

以後7期28年間にわたる革新府政の始まりでした。

蜷川虎三(1897-1981)は、東京都出身。

農商務省水産講習所を経て京大卒。

京都帝国大学講師・助教授を経て1939年教授。45年経済学部長。

翌年辞職し、48年初代中小企業庁長官となるが、吉田茂首相と衝突して50年懲戒免職。

京都府知事選に立候補したのは、その年のことです。

著書「統計利用における基本問題」「洛陽に吼ゆ-蜷川虎三の回想録」

私は、大学入学後、京都の中学・高校を出た友人に聞いて初めて知ったのですが、

京都は革新府政の影響で日教組の勢力が強いと。

何でも、音楽の教科書の最終頁にある「君が代」の上に、別の歌のコピーを貼らされたとか。

まあ地元の方には今更取り立てていうほどのことでもないかもしれませんが・・・

つい100年前までミカドのいらした土地とはとても思えなかった・・・

ykm*31*さん

#18 池田屋事件 2002/ 2/10 0:43 [No.4561 / 15916]

元治元年（1864）6月5日夜、京都三条小橋の旅館、池田屋に集う尊王攘夷派の志士たちを、近藤勇率いる新撰組が襲撃しました。

この事件に先かげては、三条木屋町の武具商、枅屋喜右衛門こと、尊王攘夷派の志士、古高俊太郎が、新撰組に捕縛され、家宅捜索の結果、数十人が徒党して、洛中に放火し、その混乱に乗じて天皇を長州に移し、中川宮、松平容保の参内する途中を要撃するという計画が明らかになったと言います。

古高捕縛の報を受けて、池田屋で善後策を協議中の、長州藩の桂小五郎、吉田稔麿、杉山松助、肥後藩の宮部鼎蔵、土佐藩の北添佑摩らを、近藤勇、沖田総司他精鋭10名が午後1

0時に襲撃、吉田、宮部、北添など7名を討ち取り、10名余りを捕縛しました。近藤の愛刀虎徹は刃え渡って激闘にも刃こぼれなど見せず、沖田はこの際数人を斬った後、結核で倒れたとも言われています。

そして桂小五郎は、間一髪屋上に出て脱出し、二条大橋の下に身を隠していたのを、芸者幾松（後の木戸松子夫人）が、握り飯を運んで援助したといわれます。

六文銭さん

#19 昭和御大典 2002/ 2/10 1:50 [No.4562 / 15916]

昭和3年（1928）11月10日、前々年の昭和元年12月25日に皇位を継承した昭和天皇の即位礼(御大典)が、京都御所で行われました。

当日は、皇霊に即位の報告をする「賢所大前の儀」即位の勅語の下す「紫宸殿の儀」が行われ、当時の田中義一首相他政府要人こぞってこの儀式に参列した他、同月25日には桃山の明治天皇陵に、天皇の即位の報告が行われるなど、京都市内ではこの年、即位関連の様々な儀式が行われ、天皇の行幸の際には、多くの京都市民が沿道に正座して迎えた写真が残されています。

平成になっての現天皇の即位の礼は、東京の皇居で行われているので、京都ではこれが最後になっていますが、この時代まで京都で開催と言うのは、まだ千年の都の権威が残っていたのか、明治維新の遷都に不満を持つ京都の人々への不満解消もあるのでしょうか？

六文銭さん

#20 方広寺鐘銘事件 2002/ 2/10 13:38 [No.4563 / 15916]

豊臣秀吉が創建した方広寺の大仏が地震によって破損していたので、その再建を家康は豊臣氏にしきりにすすめました。豊臣氏は多大な費用を出費して大仏をつくりはじめましたが、3年後に火災にあって、大仏は完成しないまま焼失してしまいます。それでも、家康は大仏の再々建をすすめます。再び工事がはじめられ、4年後に無事完成しました。

しかし…、あらたにつくられた鐘(かね)の銘文に「国家安康、君臣豊楽」の文字があり、徳川氏は言いがかりを豊臣

氏につけます。「国家安康」は、「家康」の2文字を引き裂いており、これは家康を呪うものだと。また、「君臣豊楽」は、豊臣氏が「君」として繁栄することを祈ったものだと…。

この言いがかりに対して誤解を解くために、豊臣氏は使者を派遣しますが、家康は豊臣氏の国替えか淀殿が人質として江戸に住むかの条件を出します。結局、この条件を受け入れることのできない豊臣氏は戦いにふみきり、大坂の役(1614年の冬の陣、1615年の夏の陣)となるのです。そして、徳川方に攻められて豊臣秀頼と

ryoanpaku_2002さん

#20 方広寺鐘銘事件訂正 2002/ 2/10 13:51 [No.4564 / 15916]

豊臣秀吉が創建した方広寺の大仏が地震によって破損していたので、その再建を家康は豊臣氏にしきりにすすめました。豊臣氏は多大な費用を出費して大仏をつくりはじめましたが、3年後に火災にあって、大仏は完成しないまま焼失してしまいます。それでも、家康は大仏の再々建をすすめます。再び工事がはじめられ、4年後に無事完成しました。

しかし…、あらたにつくられた鐘(かね)の銘文に「国家安康、君臣豊楽」の文字があり、徳川氏は言いがかりを豊臣氏につけます。「国家安康」は、「家康」の2文字を引き裂いており、これは家康を呪うものだと。また、「君臣豊楽」は、豊臣氏が「君」として繁栄することを祈ったものだと…。

この言いがかりに対して誤解を解くために、豊臣氏は使者を派遣しますが、家康は豊臣氏の国替えか淀殿が人質として江戸に住むかの条件を出します。結局、この条件を受け入れることのできない豊臣氏は戦いにふみきり、大坂の役(1614年の冬の陣、1615年の夏の陣)となるのです。そして、徳川方に攻められて豊臣秀頼と淀殿は自害、豊臣家は滅亡しました。

ryoanpaku_2002さん

お題：明治・大正の文豪たち 2002/ 2/10 15:52 [No.4565 / 15916]

さて、しばらくぶりでまわってきたようなので。

明治・大正期の文豪を20人、挙げてください！ この時代に活躍していれば、昭和にかかっている人々も当然アリということ。

詩人小説家脚本家OK。

#00 芥川龍之介

のちに「新思潮派」と呼ばれる理知主義の代表作家。大正4年の「羅生門」でデビュー、翌年の「鼻」が文壇に登場するきっかけとなった。

昭和2年に服毒自殺。

toshiy.takahashiさん

#01 坪内逍遙 2002/ 2/10 20:44 [No.4566 / 15916]

「小説神髓」などを著し明治文学の基礎を築いた文豪で、小説家劇作家としての活躍のほか、早稲田で教鞭を執り、シェークスピアの紹介、舞台劇の発展などの活動もしました。つい最近『役行者』を読んだばかりなので…。

hui*_kさん

#02 夏目漱石 2002/ 2/10 22:07 [No.4567 / 15916]

1867～1916。

有名などころでは「吾輩は猫である」とか「坊ちゃん」でしょうか。でも私の好きなのは「こころ」と「夢十夜」だったりします。「夢十夜」はあんまり有名じゃないのかな。私的にはお薦め作品なんですけど…。

wak*k*97さん

#03 森鷗外 2002/ 2/11 0:19 [No.4568 / 15916]

1862～1922。

もともとは東京大学医学部卒の軍医。

ドイツ留学経験あり。

ドイツ留学時の経験をもとに、「舞姫」を1890年に発表。以後、陸軍軍医の勤務のかたわら、さかんな文筆活動を行う。「山椒太夫」、「高瀬船」、「雁」などが有名な作品です。

私が個人的に好きなのは、「百物語」、「二人の友」、「杯」、「護寺院原の敵討」などです。

当時の文壇に対して、その独自で高踏的な態度が異彩を放ちました。

そういう意味で夏目漱石と双璧をなす明治の文豪と言えるでしょう。

sen**n_mabo**shiさん

#04 二葉亭四迷 2002/ 2/11 9:59 [No.4569 / 15916]

1864～1909。本名：長谷川辰之助。

父が江戸詰の尾張藩士で、江戸・市谷の尾張藩上屋敷で誕生。

その後、名古屋～松江と移り住む。

成長して陸軍士官学校を志し3度受験するが3度とも失敗、東京外国語学校露語科に入学。

坪内逍遙の『小説神髓』を読み、逍遙に面会し、文筆活動を始める。

結核で死去。

代表作は「浮雲」「平凡」など。

「浮雲」は最初、坪内逍遙の名義で世に出たそうです。

ペンネームの二葉亭四迷(ふたばていしめい)は、「くたばってしまえ」からきているとか…。

にざりいさん

#05 石川啄木 2002/ 2/11 12:52 [No.4570 / 15916]

「東海の 小島の磯の白砂に 我泣きぬれて 蟹とたわむる」

「ふるさとの 訛りなつかし 駐車場の 人ごみの中に そを聴きに行く」

「さいはての駅に降り立ち 雪明かり さびしき町に あゆみ入りにき」

1886-1912。歌人・詩人。本名一(はじめ)。

岩手県出身、誕生翌年より渋民村で育つ。

1902年、盛岡中学を中退し上京、与謝野寛の知遇を得て「明星」他に詩を発表。

05年、詩集「あこがれ」を出版。

生活のため浜民村の小学校代用教員となり、以後、地方紙の記者として北海道各地を転々とする。

再び上京して小説家を志すが失敗。

失意の思いを短歌に表し「一握の砂」(1910)を書く。

09年生活に根ざす文学を唱えて評論「食ふべき詩」を発表。

翌年大逆事件の報道に衝撃を受けて社会主義に関心を持ち、自然主義文学批判の評論「時代閉塞の現状」を書く。

詩風も変化し、11年には「果てしなき議論の後」他を創作。肺結核で死亡後、歌集「悲しき玩具」が刊行された。

高校の教科書で触れただけですの大したことは言えませんが、

ストレートに胸を打つ作品の数々は没後90年経っても全く色褪せていないように思います。

「はたらけど はたらけどなお我が暮らし 楽にならざり じっと手を見る」

ykm*31*さん

#06 永井荷風 2002/2/11 13:27 [No.4571 / 15916]

読んだことがあるのは、昭和初期に出た『つゆのあとさき』と『墨東綺譚』（「墨」はサンズイ付き）だけですが、仏米留学後に書かれた「ふらんす物語」「あめりか物語」などは明治後期に書かれたもので、西洋文明を漱石などと共通の文明批判精神を生涯持ちつづけ、上流知識人でありながら常に私娼やカフェーの女給を友として市民階級や他の文壇人とは一線を画し続けました。

<http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&board=1000004&tid=bancfbfmjaaa47>

[a4ja4ha4j&sid=1000004&mid=395](http://messages.yahoo.co.jp/bbs?.mm=GN&action=m&board=1000004&tid=bancfbfmjaaa47)

hui*_kさん

#07 樋口一葉 2002/2/11 13:52 [No.4572 / 15916]

1872～1896。本名：樋口奈津（夏子）

結核により、24歳の若さで亡くなりました。

代表作は、「たけくらべ」「にぎりえ」など。

生まれは現在の台東区竜泉で、竜泉には現在『一葉記念館』

があります。

毎年11月23日の『一葉祭』（一葉の命日）には無料公開しているそうです。（通常は大人100円）

晩年は本郷に移り住みました。

生活を助けるために筆をとることを決意したといわれており、

半井桃水（なからいとうすい）に師事。

何年か前（けっこう前）、樋口一葉の生涯がドラマになりました

見て感動したように思うのですが、誰が一葉を演じたかすごく記憶が曖昧です。

たぶん、大原麗子だったかと。師の半井桃水は石坂浩二が演じていたような。

そのドラマでは二人に恋愛感情があったように描かれていたと記憶しているのですが、

実際はどうだったのでしょうかね。

ところで、「詩人」は文豪でしょうか？

にぎりいさん

#08 志賀直哉 2002/2/11 14:27 [No.4573 / 15916]

1883－1971

宮城県（俺の地元だ）石巻の出身。人道主義の総称で知られる「白樺派」の活動に参加し、完成された文体で名作をたくさん生み出した。

「城之崎にて」の短編、「暗夜行路」のような長編の代表作が有名。芥川龍之介とは好敵手とも言える関係で、激しく文学論争をしたこともある。

＞ところで、「詩人」は文豪でしょうか？

詩人も童話作家もアリ、

ということでお願いします（＾＾）

マイナーな人が出てきても楽しいですね！

toshy.y.takahashiさん

#09 田山花袋 2002/2/11 20:25 [No.4574 / 15916]

明治24年、尾崎紅葉を訪れ、小説家を志します。英語を学びながら西欧文学に触れた花袋は新しい文学を試み、明治40

年『蒲団』の発表により、日本の自然主義の確立者として、近代文学界に大きな足跡を残しました。

ryoanpaku_2002さん

#10 正岡子規 2002/2/11 22:28 [No.4575 / 15916]

詩人が良いそうだから、拡大解釈して歌人俳人もオッケーですよね。

子規は伊予松山の人で帝大では漱石と同級でマブダチ、二人の間の書簡のやり取りは漢文で冗談を言い合ったりしていますが、若くから肺病をやみ漱石らの助力も甲斐なく卒業はできませんでした。

根岸の庵で根岸短歌会をはじめ、あるいは「ホトトギス」などを通じて、写生文、写生句を中心とした明治期の短歌、俳句の流れを作りました。

漱石は子規の誘いも合って卒業後松山の中学の教師になり、後にその経験をもとに『坊ちゃん』を書きますが、居心地は良くはなかったようです。

晩年は長く松山で病床にあったため、庭が見えるようにと友人たちが障子にガラス窓を入れてくれて、病床から見る景色を歌に詠んだり、『病床六尺』などのエッセイも書いています。

hui*_kさん

#番外 ギョエテ 2002/2/11 23:27 [No.4576 / 15916]

文豪森鴎外はドイツの文豪ゲーテの名前をこう紹介しました。

「ギョエテとは俺のことかとゲーテ言い」と言われることもあります。

でもドイツのテレビで「G o e t h e」の発音を聞いたら、口を思いっきりウムラウトにした状態で「ゲー」と発音するので、日本語で表すと「ギョエーテ」くらいにいちばん近いのも確かです。

それでも遠いのも確かです。

hui*_kさん

#11 谷崎潤一郎 2002/2/12 11:16 [No.4577 / 15916]

1886～1965。東京生まれ。代表作は『細雪』など。

同人誌『新思潮』に発表した『刺青』『麒麟』が永井荷風に絶賛されて、華々しく文壇に登場。

女性の官能美をたたえ、女性に奉仕することを男性の喜びとする「拝跪性」をテーマとしていて

「耽美派」「悪魔主義」といわれています。

関東大震災後に関西に移住。1924年に「痴人の愛」を発表。この頃から、古典美への傾斜が見られる。

1921年にいわゆる『小田原事件』がおこります。

これは、その頃親交を深めていた作家のS氏が、谷崎潤一郎に虐げられていた夫人の千代に同情し

そこから愛情へと発展したことから、一度はS氏に夫人の“譲渡”を約束したものの

結局は翻意、谷崎潤一郎とS氏は絶交となり、お互いに三角関係の内情をつづった長編小説で激しく応酬。

しかし5年後には和解。その後谷崎潤一郎が昭和2年に出会った松子へ

恋慕したこともあるのですが、結局は千代をS氏へ“譲渡”することを決意。

1930年には谷崎潤一郎、千代、S氏の三者連名の挨拶状が公表されたそうです。

そして谷崎潤一郎は松子と、千代はS氏と再婚したのです。

にぎりいさん

#番外 宮武外骨 2002/2/12 11:36 [No.4578 / 15916]

宮武外骨 (みやたけがいこつ)。1867～1955年。

この奇妙な名を持つ人物は生涯に40点以上もの雑誌を刊行した。その一方で、風俗研究者としても活躍し『筆禍史』や『賭博史』などの著書も70点ばかり残している。

彼の発刊した「滑稽新聞」は権力への風刺に満ちていて、彼自身罰金刑や入獄させられることたびたびでした。

そういう風潮に反発して、逆にほとんど伏せ字で紙面を埋めた新聞を発行したりしたようで、よくその時代にやりよって感じでしょうか。

雑誌では文豪と呼べないと思いますので番外に。

クイズ パンチ de デートさん

#12 島崎藤村 2002/2/12 15:11 [No.4579 / 15916]

多くの人がちょうど「品川庄司」みたいに

「島崎某」と「藤村某」との合作ペンネーム

だと思ったことがあるのではないのでしょうか。

木曾福島だか馬籠だかの人で、

田山花袋と並ぶ自然主義を代表する文豪

出世作『破戒』はドストエフスキーの『罪と罰』を翻案したとも云われ、それゆえ設定には無理があるといわれるものの、当時の日本人には大きな衝撃だったようです。

hui*_kさん

#13 国木田独歩 2002/2/12 15:47 [No.4580 / 15916]

1871－1908

東京専門学校、現早稲田大学に入ったが中退。日清戦争の従軍記者として名をあげ、文壇へと進むことになった。

#09 田山花袋とともに著した「抒情詩」、文集「武蔵野」などで#02 夏目漱石、#12 島崎藤村とともに新文学として注目される。

しかし経営していた独歩社の倒産以降、精神面のみならず健康面でも衰弱し「独歩集第二」の刊行を見ることなくこの世を去った。

toshy.y.takahashiさん

#14 尾崎紅葉 2002/2/12 17:49 [No.4581 / 15916]

1867～1903。東京芝の生まれ。

本名は徳太郎、別号は「半可通人」「緑山」「十千万堂」など。

代表作は「金色夜叉」(未完)

円熟した文言一致体で、後代の文章の模範とされました。2年程前に熱海へ行ったときに見てまいりました、『お宮の松』&『貫一・お宮の像』

『お宮の松』は2代目なのだそうです。

『貫一・お宮の像』は、座り込んでいるお宮を貫一が足蹴にしているところですよ。

「…来年の今月今夜になったならば、僕の涙で必ず月は曇ら

して見せるから…」

そして貫一は鬼のような高利貸しになっていくのですね。

金色夜叉が未完だということを始めて知りました。

ちなみに未読です(…;))

にぎりいさん

#15 伊藤左千夫 2002/2/12 17:57 [No.4582 / 15916]

文豪なのかわかりませんが、一応・・・。

1864年に生まれ、正岡子規に師事しています。Nと馬酔木を刊行、ホトトギスに野菊の墓を発表してます。(作品はこれしか知らないが)

アララギにも歌や歌論を発表しています。

クイズ パンチ de デートさん

「京の出来事」お題御礼 2002/2/12 19:28 [No.4583 / 15916]

起こった年は少しいい加減ですが、

いちおう時代順に並べてみました。

#14 平安遷都 794

#15 応天門の変 866

#11 宮中への落雷 909

#16 保元の乱 1156

#07 平治の乱 1159

#01 鹿ヶ谷の謀議 1177

#05 木曾義仲入京 1184

#06 室町幕府の開設 1336

#04 応仁の乱 1467

#03 本能寺の変 1582

#20 方広寺鐘銘事件 1614

#13 宝暦事件 1758

#18 池田屋事件 1864

#08 蛤御門の変 1864

#09 坂本龍馬暗殺 1867

#02 大政奉還 1867

#10 市電開業 1895

#19 昭和御大典 1928

#12 滝川事件 1933

#17 蜷川虎三京都府知事当選 1950

こうしてみると、鎌倉時代、江戸中期が少なく、平安、室町、織豊、幕末に事件が多いように思われます。これら以外に出そうだったのは、嘉吉の一揆、嘉吉の乱、観応の擾乱、天文法華の乱、醍醐の花見、寺田屋騒動... まだまだありそうですが...

hui*_k さん

#16 幸田露伴 2002/ 2/12 19:40 [No.4584 / 15916]

慶応三年如月 2 6 日、江戸神田に生まる。幕臣幸田成延の三男。

明治 1 5 年頃、菊池松軒について漢学を修め、1 6 年、電信修技学校に入る。

翌年卒業して余市駅に赴任。2 0 年、任を捨てて上京。

2 2 年雑誌「都の花」に『露団々』の小説を発表。この年、読売新聞社の客員となり、小説『風流仏』を刊行、尾崎紅葉の硯友社と並立して、文壇を二分するほどの地位を得、文学史上“紅露時代”を作った。

2 4 年『五重塔』を発表、人間と芸術の偉大さと永遠性を表現。

五重塔ってずうと法隆寺のことだと思っていました。

実は上野。

ryozanpaku_2002 さん

#番外 小泉八雲 2002/ 2/12 19:42 [No.4585 / 15916]

パトリック・ラフカディオ・ハーンは、アイルランド人の軍医チャールズ・ブッシュ・ハーンを父に、ギリシア人女性ローザ・カシマチイを母に、ギリシアのレフカダ島に生まれた。

アメリカでジャーナリストとして活躍した後、1890 年に雑誌専属の旅行記者として来日した。しかし横浜に着くと間もなく、彼は契約の問題からこの仕事を忌避した。

それから彼は松江に移り、島根中学の英語教師に赴任する。松江で彼は生涯の親友・西田千太郎と知り合い、武家の娘小泉セツと結婚した。

1891 年に彼は熊本に移り、旧制第五高校講師として 3 年

間勤めた。当時の学長・嘉納治五郎は柔道を世界に普及させた人物として知られている。

その後、神戸で新聞記者として働いた彼は 1896 年、この地で日本に帰化して、名前を小泉八雲と改めた。この名前は「古事記」からとったものである。

その年彼は東京に移り、東京帝国大学の教員となった。ここでは学生の尊敬を集め、彼らの中から多くの者が文学の世界で活躍した。

さらに彼は多くの日本に関する本を書き、アメリカで出版した。それらは西洋において日本の風土や民俗を紹介する役割を担った。

1903 年に彼は帝国大学を退職し、翌年早稲田大学で教鞭をとるが、その年に狭心症で世を去った。

ryozanpaku_2002 さん

#17 斎藤茂吉 2002/ 2/12 20:38 [No.4586 / 15916]

1882-1953、山形県生まれで東大医学部卒。

東大時代に正岡子規に感動して、伊藤左千夫に入門。1 9 1 3 年に歌集『赤光』を刊行。万葉集の研究でも名高い。

とのことですが、自分としては、高校時代に習った「死にたまふ母」の印象が強いです。

母の危篤を聞き、東京から急いで戻る。そのときの心中、そして母の最後を看取る連作、感動したなあ

ecc**ler さん

#番外 言文一致 2002/ 2/12 20:45 [No.4587 / 15916]

二葉亭四迷などによって提唱された、日常に話す言葉によって、文章を表現しようという運動。

初期には、さまざまな試行錯誤が試みられるものの、明治 40 年代には、小説の技法として定着。

しかし、まだまだ一般には、旧来の文語文で、文章を書く者も多かったという。

以上、明治・大正の「文語」→「ぶんご」→「ぶんごう」でした(^_^;

(このお題、番外がむつかしいよー)

ecc**ler さん

#18 小林多喜二 2002/ 2/13 0:03 [No.4588 / 15916]

これまでの回答をおおざっぱに分類すると・・・

<明治>

写実小説・・・坪内逍遙、二葉亭四迷、尾崎紅葉

ロマン主義・・・島崎藤村（初期）、樋口一葉

ロマン主義にして自然主義の先駆・・・国木田独步

自然主義・・・島崎藤村、田山花袋

自然主義批判・・・石川啄木

独自の存在・・・森鷗外、夏目漱石

<大正>

白樺派・・・志賀直哉

耽美派・・・永井荷風、谷崎潤一郎

新思潮派・・・芥川龍之介

・・・という感じになるのでしょうか。

では、プロレタリア文学からもご登壇願います。

こばやしたきじ。1903-33

秋田県出身。小樽高商卒業後、同地の銀行に勤める。

労働運動・共産主義運動に関わり、その経験を作品化する中で、

プロレタリア文学の有力な新人として注目される。

以降「蟹工船」をはじめ、政治と創作主体との内面的統一を目指した作家活動を続けました。

1931 年共産党に入党、組織活動に献身するが、

33 年特別高等警察の拷問により虐殺されました。

ykm*31*さん

#番外 文豪 2002/ 2/13 0:30 [No.4589 / 15916]

私も、#05 啄木を出すときに、

「文豪・夏目漱石とはよく言うが、文豪・石川啄木とか、文豪・正岡子規とはいわないなあ」

と思っていました。

そこで、調べてみることにしました。

ぶんごう【文豪】

NEC のワープロ専用機。

故・遠藤周作と野村宏伸の「やってますやってます」という

CM、あるいは

「ブンゴ、ブンゴ、ブンゴ、ブンゴ、平成書体で文字がキレイです」

という CM ソングで知られる。

思えば、文豪ノート 5SJ を酷使して論文を書いたことも私にとって良き思い出だ。そんな私も、1996 年には遂に Macintosh の誘惑に負け、

更に昨年をもってビル・ゲイツの軍門に下った。

ワープロ専用機、今もあるのだろうか・・・

ちがーう！！

ぶん-ごう【文豪】

文章・文学にぬきこんでいる人。文章・文学の大家。「明治の-」

ぶん-がく【文学】

(1)学問。学芸。詩文に関する学術

(2)(literature)想像の力を借り、言語によって外界及び内界を表現する芸術作品。

すなわち詩歌・小説・物語・戯曲・評論・随筆など。文芸。

(3)(4)略

(以上「広辞苑」より)

文豪とは即ち literature の大家と考えれば、

小説家には限られないということになるのでしょう。

しかし、「文豪」というと漱石、というイメージがあるのは何故だろう・・・

ykm*31*さん

#19 徳富蘆花 2002/ 2/13 1:39 [No.4590 / 15916]

明治元年－昭和 2 年

熊本県水俣市出身、本名は健次郎、評論家で、「国民新聞」「国民之友」を刊行した徳富蘇峰（猪一郎）は実兄に当たる。三島通庸の息子・弥太郎と、大山巖元帥の娘・信子をモデルとした「武雄と浪子」を主人公とした「不如帰」(明治 3 1 年) は # 1 4 の尾崎紅葉の「金色夜叉」と共に、明治の恋愛小説の双璧と呼ばれました。

傾倒する、ロシアの文豪トルストイのヤスナヤ＝ポリヤナの邸宅を、明治 3 9 年に訪れ、その晴耕雨読の生活に感銘し、

帰国後、現在は東京都世田谷区の粕谷の地に移住、晩年をこの地で過ごし生涯を終える。粕谷での生活の日々を随筆「みみずのたはこと」に著す。

彼の住居跡は、現在「蘆花恒春園」と呼ばれる公園になり、蘆花の旧居も保存されてささやかな資料館となっています。また、最寄りの京王線の駅が「芦花公園」となっていたり、「芦花中学校」や、老人ホームの「芦花ホーム」が所在するなど、彼の名はこの地域にすっかり定着しています。

六文銭さん

#20 菊池寛 2002/ 2/13 10:25 [No.4591 / 15916]

では新思潮派からもう一人。

菊池寛は芥川や久米正雄らと『新思潮』などを発刊し、自らも『恩讐の彼方に』や『父帰る』などを発表しています。後に『文芸春秋』を起し『芥川賞』『直木賞』を設けて新人の発掘、作家の育成に努めています。

hui*_k さん

お題【故事に由来する諺、慣用表現など】 2002/ 2/13 10:27 [No.4592 / 15916]

ことわざ、地口、慣用句、慣用表現などの中で、歴史上の故事や慣習などに由来するものを 2 0 個あげて下さい。

#00 御用

もとは「お上の命令」とか「お役所の用事」

くらいの意味で使われていた筈です。

新聞なんかでは、窃盗クラスの犯罪者が逮捕されることを指します。

新聞以外ではその意味には使いません。

hui*_k さん

#01 背水の陣 2002/ 2/13 10:48 [No.4593 / 15916]

韓信が趙軍と戦ったとき、背後の河を防壁として戦ったこと

から。(逃げ道を断ったわけではないが、いまはそういう意味で使われる)

こういう回答でいいのでしょうか。

クイズ パンチ de デートさん

そうですね感じで、次は# 0 2 から 2002/ 2/13 11:27 [No.4595 / 15916]

例としてもベストな回答ですね。

hui*_k さん

文豪：御礼 2002/ 2/13 15:17 [No.4597 / 15916]

談話室にも書きましたが、文芸板で書くべきことかと後で思い直したものです。

でもみなさま、歴史好きな方は「文学史」も強いですね～これからもよろしくお願ひします。

toshy.y.takahashi さん

#02 矛盾 2002/ 2/13 16:00 [No.4598 / 15916]

武器商人が大宣伝。

「この矛はどんな盾でもつきとおす」

「この盾はどんな矛でもとおさない」

それじゃあ、その矛でその盾を突いたらどうなるの？

商人は答えることが出来なかった。ここから「矛」と「盾」をつけて「矛盾＝つじつまが合わないこと」の故事が誕生。

「試したことはないし（だからこうして両方とも存在するのです）、売り物を傷つけるわけにはいきません。実験は、お客様がお買い上げになった上で…」

toshy.y.takahashi さん

#03 小田原評定 2002/ 2/13 16:28 [No.4599 / 15916]

秀吉の小田原攻め。

北条方は、戦うべきか降伏すべきか、籠城か、野戦か、議論百出したものの、誰も決断できず、

そうこうしている間に、秀吉軍の城攻め布陣が完成。

戦わずして敗れました。

うだうだして、結局結論の出ない会議を、以後、小田原

評定と呼ぶ。

かなり、誇張されていると言う説もありますが。

「会議は踊る、されど進まず」

ってのもあります。

昔から、会議と言うのは不毛なものが多かったんでしょうね。

b_blue_hearts さん

#04 弁慶の泣き所 2002/ 2/13 16:39 [No.4600 / 15916]

豪傑武蔵坊弁慶も、向こう脛を叩かれると思わず泣き出す。

弱点は、誰にでもある事、また、その弱点。

「アキレス腱」は、不老不死の薬品をぬり損なった場所ですが、向こう脛も、なんかそういう逸話があるんでしょうかね？

b_blue_hearts さん

#05 洞ヶ峠を決め込む 2002/ 2/13 19:47 [No.4601 / 15916]

といえば、日和見の代名詞となっています。

その主人公は筒井順慶(1549～1584)です。

順慶は、大和守護代筒井順昭を父に、摂家九条氏養女を母にして生まれますが、3歳の時に父の順昭を失います。このとき、順昭と声がよく似た「木阿弥」という琵琶弾き僧を、順昭にしたてて死亡を隠したところから「元の木阿弥」との語が生まれたともいわれています。

順慶は、天文19年に家督を相続。興福寺の衆徒の棟梁としてその勢威は大和一円に及びましたが、松永久秀の台頭により一時苦境に立たされました。その後、織田信長に臣従し、久秀失脚後、大和1国を与えられて郡山城に住みました。信長の重臣明智光秀に仕えて各地を転戦するのですが、やがて光秀は信長を討ち、羽柴秀吉と争うことになます。光秀は、山崎の合戦で恩顧をかけていた順慶に協力を求めますが、順慶はこれを断り、光秀は合戦に敗れてしまいます。このとき、順慶は山城、摂津、河内の国を見おろす洞ヶ峠に駐屯して戦局を傍観、秀吉勝利と見るや直ちに峠を下り、秀吉に味方したことから、日和見の代名詞「洞ヶ峠を決め込む」の語を生みしました。

しかし、実際には、順慶は洞ヶ峠には出陣しておらず籠城していたというのが真相です。

その後、秀吉の配下となりますが、1584年8月11日、36歳という若さで肺結核で亡くなりました。その順慶は、茶の湯、謡曲などに優れた教養高い武将であったといえます。

ryoanpaku_2002 さん

#06 天王山 2002/ 2/13 19:54 [No.4602 / 15916]

京都府乙訓郡大山崎町にある山です。

天正九年(1582)、羽柴秀吉と明智光秀が戦った山崎の合戦で、秀吉軍は先に天王山を占領して光秀軍を破りました。この事から大事な場面や勝負の分岐点という意味で使われます。

名神高速道路の天王山トンネルで事故が多いのは、入り口が上り坂になってスピードが急に落ちるからだそうです。

決して落ち武者達の亡霊ではないのでご安心を(笑)

あやうくネタがかぶる所でした・・・

gre*t*fighb*rd さん

#07 臥薪嘗胆 2002/ 2/13 22:26 [No.4603 / 15916]

中国春秋時代の事。呉の王、夫差が父の仇である越王句踐を討つべく、その苦しみを忘れない為に常に薪に身を臥して我が身を苦しめた。また、句踐は呉を討って会稽の恥を雪ぐ為に苦い肝を嘗めて報復を忘れまいとした故事から来た言葉。仇を討つ為に長い間苦勞する事を指して言う言葉…と思っていたら、成功を期して艱難辛苦に耐え忍ぶ事も指すとか。後者はともかく、前者は何だか執念深い話だなあ…と本で読んだ当初、思った事があります。

wak*k*97 さん

#08 顰に倣う 2002/ 2/13 22:58 [No.4604 / 15916]

中国春秋時代の越の話。

絶世の美女とうたわれた西施が胸の病に苦しみ咳き込んで眉を顰めることがあった。その表情が何とも美しいと感じた里の醜女が家に戻り、西施の表情をまねて眉を顰めてみせると、それを見た里人たちは、金持ちは門を堅く閉ざし、貧乏

人は妻子を連れて逃げ出したという。(『莊子』天運)

このことから、事の本質、良し悪しを考えずにいたずらに人まねをすること、また人にならって事を行うことを謙遜という言葉となりました。最近では後者の使い方が多いように感じます。

なお、美女西施は前節にも出た越王句踐の謀臣范蠡にスカウトされて呉王夫差に献上され、その美しさで夫差を惑わし、呉の政治を乱す一因をなしたとされます。

sakisaki さん

#09 弘法も筆のあやまり 2002/ 2/14 0:11 [No.4605 / 15916]

嵯峨天皇・橘逸勢と並んで「トリオ・ザ・筆名人」(←「三筆」だよ)と呼ばれた弘法大師、書き間違えたのは「應天門」の「應」の字。

額が掛けられてから、「まだれ」の「丶」を打ち忘れたことに気がついた弘法大師空海、あわてて筆を投げ、点を打った(わあ)。周りの観客(いたんですね)は感心して拍手した、てほんまかいな。

『今昔物語』に載っている話だそうです、「どんな名人上手でも失敗することがある」という譬えになっています。

同義語：「猿も木から落ちる」

「河童の川流れ」

関連語：「弘法筆をえらばず」

tai**さん

#10 賽は投げられた 2002/ 2/14 0:56 [No.4606 / 15916]

ユリウス・カエサル(Gaius Julius Caesar,前100-44)は、前60年、ポンペイウス及びクラッススと同盟して第1回三頭政治を立て、元老院に対抗しました。

しかしクラッススがシリア遠征で戦死した後、ポンペイウスは元老院と結んでカエサルに対抗します。当時カエサルはガリア(今のフランス及び北イタリア)で強大な軍団を養成していましたが、

ポンペイウスと元老院の結託を知り、軍団を率いてローマの手前ルビコン川の袂まで来ます(BC49)。

しかし元老院は、「最終勧告」を発し、彼を「ローマの敵」と宣言していたのです。

この川を渡ることは、共和制ローマに対する反逆となる・・・ここで彼は、あの有名な言葉を口にするのです。

「賽は投げられた」(ALEA JACTA EST)

勇躍彼とその軍団は川を渡りローマに入ります。

そして4年にわたる戦いの後、ポンペイウスらをうち破ってローマを統一します(パクス・ローマーナ)。

そして元老院より終身独裁官、最高司令官に任ぜられて全権力を掌握することになります(BC44)。

しかし、絶頂を極めたかに思えた彼の元に、既に魔手が伸びていたのです・・・

ykm*31*さん

#11 ブルートゥス、お前もか 2002/ 2/14 1:02 [No.4607 / 15916]

TU QUOQUE, BRUTE.

カエサルは、マルクス＝ブルートゥスを首謀者とした共和主義者により暗殺されてしまうのです(BC44)。

そのマルクス＝ブルートゥスは、カエサルの愛人の息子で、カエサルも彼をかわいがっていました。

その彼に裏切られたときの驚きと絶望の言葉とされています。

しかしこの「ブルートゥス」は、暗殺者の一団に加わっていたマルクス＝ブルートゥスの従兄弟、

デキウス＝ブルートゥスであるという説が有力です。

#こちらはNGかな？

ykm*31*さん

12 漱石枕流 2002/ 2/14 6:50 [No.4610 / 15916]

三国時代の後に中国を一統した晋の時代、

中都の人孫楚は才藻卓絶の教養人でしたが、若い頃から隠遁の志があり、親友の王済にこう言おうとしました。

「當(まさ)に石に枕し、流れに漱がんとす」。

(隠遁して俗世を離れ自然に親しむ)

ところが「石に漱ぎ、流れに枕す」と言い間違っしまい、それを王済に指摘されてしまいます。

「川の流れに枕することはできないし、石で口をすすぐのは無理じゃないか」

負けず嫌いの孫楚はこう言い返した。

「流れに枕するのは耳を洗おうとしてのことだし、石で口をすすぐのは歯を磨こうとするからだ」。

(耳を洗うという語は、古代中国の隠者許由に天下を譲りたいと堯帝が伝えた所、汚らわしい語を聞いたと許由が川の流れに自分の耳を洗ったという故事に基づく)

ここから負けず嫌い、へそまがり意味する「漱石枕流」が生まれ、文豪「夏目漱石」もここからペンネームを取っています。しかし負けず嫌いというなら「漱石」でなくとも「枕流」としてもいいように思うが、「夏目チンリュウ」としなかったところは流石に見識があるというべきでしょうか・・・ sakisaki さん

#13 敵に塩を送る 2002/ 2/14 10:06 [No.4611 / 15916]

武田信玄が今川・北条に塩留めされたとき、上杉謙信が塩を送ってあげた・・・ライバルが困っているときに、何か施しをする意味になってます。

実際は、戦国の世でも領地争いと経済活動は別で、それほど不思議なことではなかったようです。

今でも、糸魚川から長野方面に「塩の道」というのが残っています。

クイズ パンチ de デートさん

#14 泣いて馬謖を斬る 2002/ 2/14 10:43 [No.4612 / 15916]

孔明は先方を任せた馬謖に、山のふもとに陣を張れと命令したのに、馬謖は独断で山頂に陣を張ってしまう。敵の魏軍は水の補給路などを断ってしまったので、馬謖陣営は食料さえとれなくなってしまう。

孔明は馬謖を常日頃かわいがっていたが、この責任を取らせるため馬謖を処刑します。

葬儀の時、孔明はずっと泣いていたとか。

転じて、いまは組織や法を守るために、情けをかけていた人やモノを切り捨てる意味に使われています。

クイズ パンチ de デートさん

#15 白眉 2002/ 2/14 13:36 [No.4613 / 15916]

ももとは、三国志の蜀の初代皇帝、劉備(要は三国志の主人公)に参謀として仕えた馬良のこと。

襄陽の馬氏5兄弟はみな優れた資質の持ち主であった。

その中でも、馬良は最も優れた人物とみなされていた。

彼には眉に白い毛が混じっており、白眉と呼ばれた。

転じて、最も優れたものを指す言葉となった。

例えば、映画の最高の1シーンをその映画の白眉というふうに使われます。

ちなみに馬良は、劉備が関羽の復讐戦のために呉と戦って敗れた戦で、劉備を守って壮烈な戦死を遂げました。

彼が生きていたならば、孔明もどれだけ助かったことでしょう。

みなさんご存知と思いますが、馬謖の兄が馬良です。

三国志の兄弟が連続登場ということで、投稿させていただきました。

馬謖は優れた兄と比較されるために、いつも無理をしていたようで、そのことが後の死罪となる軍律違反の一端になっていたように、よく小説には書かれています。

sen**n_mabo**shi さん

#16 尾生の信 2002/ 2/14 13:48 [No.4614 / 15916]

尾生は女と橋の下で会う約束をし、待っていたが女は来ない。

やがて川の水位が上がってきた。尾生は約束をたがえることなく橋の下で女を待ったまま、溺死してしまった。

融通が利かないことや愚直な様を、「尾生の信」と呼ぶことがあったようです。

芥川龍之介は大正9年に、この題名で短い作品を書いて発表しました。

toshy.y.takahashi さん

#17 目からウロコ 2002/2/14 14:28 [No.4615 / 15916]

> すると、たちまち目からうろこのようなものが落ち、

> サウロは元どおり見えるようになった。

↑ 日本聖書協会『聖書 新共同訳－「使徒言行録」 第9章 18節』より

> 熱心なユダヤ教徒であったサウロは、はじめはキリスト教徒を迫害していました。

> 捕らえたキリスト教徒をエルサレムに連行するための旅の途中で、

>突然、天からの光に照らされ、そこにイエスが現れ、途端に彼の目が見えなくなっていました。

> イエスの弟子のアナニアが、寝ているサウロの上に手を置いて祈ると、

>たちまち目からうろこのようなものが落ち、サウロは元どおり見えるようになったのです。

> 彼はその場で洗礼を受け、キリスト教に改宗したのです。

> このサウロとは、後の使徒パウロのことです。

「Scales Fall from One's Eyes」という英語のことわざが、英米作家の翻訳を通して日本語に入ってきたものと思われる。

あ〜めん

(・∧)+

spat さん

#18 目には目を 歯には歯を 2002/2/14 15:17 [No.4616 / 15916]

紀元前18世紀、バビロン第1王朝（古バビロニア王国アムル人）、第6代の王、ハンムラビは両河地方を統一し、法典を制定した。

『ハンムラビ法典』は、シュメール人の法を継承し、集大成した成文法。前282条。刑法は復讐法の原則にたつ。1901年に石碑が発見された。

法はイスラエル人にも継承された。

以下、日本聖書協会『聖書 新共同訳』より引用。（最後は違うよ）

『出エジプト記』 21章23節

モーセに十戒が与えられた第20章に続く、

さらに具体的な「法」の内容を示す、くだり。（21章から31章）

> 人々がけんかをして、（中略） 損傷があるならば、

> 命には命、目には目、歯には歯、手には手、足には足、

> やけどにはやけど、生傷には生傷、打ち傷には打ち傷をもって

> 償わねばならない。

『レビ記』 24章19節・20節

神の律法のくだり。（17章から26章を『神聖法集』という）

> 人に傷害を加えた者は、それと同一の傷害を受けねばならない。

> 骨折には骨折を、目には目を、歯には歯をもって人に与えたと同じ傷害を受けねばならない。

『申命記』 19章21節

裁判における証人の規定。

> あなたは憐れみをかけてはならない。

> 命には命、目には目、歯には歯、手には手、足には足を報いなければならない。

『アマゾンライダーここにあり』

「仮面ライダーアマゾン」の主題歌。

> キバが光るぞ 歯には歯を

> ツメがうなるぞ 目には目を

> 正義のためなら 鬼となる

> アマゾンライダーここにあり

spat さん

19 江戸の敵を長崎で討つ 2002/2/14 19:32 [No.4617 / 15916]

文政のころ、大阪の職人が浅草ででっかい釈迦涅槃像を展示して大評判。負けてはならじと江戸の職人もおっきな布袋さんの像を作るも、とてもかなわない。ところが・

同じころ、長崎の興行士が、からくり仕掛けのオランダ船模型で、大阪の涅槃像など及びもつかない大評判。

そんなわけで、「江戸の敵を長崎が討った」と言われ始め、

後に「長崎で」に変わったのだという。

ほんとの話か？これ？

ecc**ler さん

#番外 さわらぬウルトラにたたりなし 2002/2/14 19:40 [No.4618 / 15916]

番外がないんで、今作った言葉なんだけど

このまえ、あるサイト見ていたら

ウルトラマンは、地球に来た当初、ハヤタ隊員の操縦するビートルを事故とはいえ撃墜。

その一部始終を見ていたベムラーを、証拠隠滅のため、問答無用で殺す。

（確か護送中だったはず）

さらにマイクロ化して無抵抗のバルタン星人約20億人をも皆殺し。

うーん、なんて短気で恐ろしい宇宙人なんだ。こんなのに、宇宙の平和をあずけて大丈夫なんだろうか？

考えてみれば、彼がその気にさえなれば、地球の征服や破壊なんて、か〜んたんだよね。

ecc**ler さん

#番外 ゴウに入っちは ゴウに従え 2002/2/14 19:48 [No.4619 / 15916]

初代ウルトラマンが、今度赴任する後輩に助言しました。

「まあ、ゴウに入っちは ゴウに従えだよ。ハッハッハ」

イマイチ先輩の言う意味のわからないこの後輩、

さて地球に来てはみたものの、どうしたものかさっぱりわかりません。

すると、「ゴウ」という名の青年がいるではありませんか。

「ははん。このことだな、先輩」

早速新米君、「郷」青年と合体です。

先輩のいいつけを誤解して守ったために、

郷青年の意志に従ってしまい、

すっかり人生と生活を振り回されました。

。

。

。
きょうは、そういうお話です。(0|0)X=====※
spat さん

#番外 ブタもおだてりゃ木に登る 2002/ 2/14 20:12
[No.4620 / 15916]

TVアニメ『タイムボカン』シリーズの『ヤッターマン』で作られた言葉です。

ヤッターマンと3悪人（ドロンジョ・ボヤッキー・トンズラー）との戦いで、まず3悪人が優勢になり、ドロンジョが作戦を考えたボヤッキーの事を褒めると、コクピット前部からブタ型のメカが木に登った状態が出てきて

「ブタもおだてりゃ木に登る プーッ！」

そして油断したところをヤッターワンから次々と出てくる今週のビックリドッキリメカに攻撃されて、毎回ポロポロになって逃げる3悪人でした・・・

ドクロベエ「ほ～れ、お仕置きだべ～」

gre*t*fighb*rd さん

#番外 無事是名馬 2002/ 2/14 21:38 [No.4621 / 15916]

中国の故事のようですが、以外に新しく、菊池寛がいった言葉です。

競馬ファンで馬主であった菊池はたいした成績も残していなかった愛馬が長く走ってくれたことに感謝して思わず口をついてでたとのこと。

ryozanpaku_2002 さん

#20 敵は本能寺にあり 2002/ 2/14 21:41 [No.4622 / 15916]

「本当の目的は別にあるというたとえ。人の目を欺いて、ほかの目的を習うことをいう。織田信長の家臣であった明智光秀が、備中の毛利を攻めることを命じられて出陣したとき、突然進路を変え、「我が敵は本能寺にあり」と言って、信長のいる本能寺に攻め入った故 事による。」

ryozanpaku_2002 さん